

地方厚生（支）局医療課長
都道府県民生主管部（局）
国民健康保険主管課（部）長
都道府県後期高齢者医療主管部（局）
後期高齢者医療主管課（部）長

） 殿

厚生労働省保険局医療課長
(公印省略)

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の
一部改正等に伴う実施上の留意事項について

標記については、令和元年 8 月 19 日に厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部を改正する件（令和元年厚生労働省告示第 89 号。以下「算定告示」という。）が告示され、令和元年 10 月 1 日より適用されることとなったところであるが、実施上の留意事項は下記のとおりであるので、その取扱いに遺漏のないよう貴管下の保険医療機関及び審査支払機関等に対し、周知徹底を図られたい。

なお、本通知は、令和元年 10 月 1 日から適用することとし、従前の「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」は、令和元年 9 月 30 日限り廃止する。

記

第 1 DPC 対象患者について

- 1 DPC 対象患者は、算定告示に定める診断群分類点数表に掲げる分類区分（以下「診断群分類区分」という。）に該当する入院患者とする。
- 2 1 にかかわらず、次に掲げる患者に係る療養の給付に要する費用の額は、診療報酬の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 59 号）別表第一医科診療報酬点数表（以下「医科点数表」という。）若しくは別表第二歯科診療報酬点数表（以下「歯科点数表」という。）、入院時食事療

養に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準（平成 18 年厚生労働省告示第 99 号）又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法（平成 18 年厚生労働省告示第 496 号）により算定する。

- (1) 当該病院に入院した後 24 時間以内に死亡した患者又は生後 1 週間以内に死亡した新生児
- (2) 厚生労働大臣の定める評価療養、患者申出療養及び選定療養（平成 18 年厚生労働省告示第 495 号）第 1 条に規定する評価療養又は第 1 条の 2 に規定する患者申出療養を受ける患者
- (3) 臓器移植を受ける患者であって、医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定するもの
 - ア K014 皮膚移植術（生体・培養）
 - イ K014-2 皮膚移植術（死体）
 - ウ K514-4 同種死体肺移植術
 - エ K514-6 生体部分肺移植術
 - オ K605-2 同種心移植術
 - カ K605-4 同種心肺移植術
 - キ K697-5 生体部分肝移植術
 - ク K697-7 同種死体肝移植術
 - ケ K709-3 同種死体膵移植術
 - コ K709-5 同種死体膵腎移植術
 - サ K716-4 生体部分小腸移植術
 - シ K716-6 同種死体小腸移植術
 - ス K780 同種死体腎移植術
 - セ K780-2 生体腎移植術
 - ソ K922 造血幹細胞移植
- (4) 医科点数表のうち次の区分番号の点数を算定する患者
 - ア A106 障害者施設等入院基本料
 - イ A306 特殊疾患入院医療管理料
 - ウ A308 回復期リハビリテーション病棟入院料
 - エ A308-3 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア入院医療管理料 1 から 4 までを算定する直前に療養に要する費用の額を算定告示別表により算定していた患者を除く。）
 - オ A309 特殊疾患病棟入院料
 - カ A310 緩和ケア病棟入院料
 - キ A400 短期滞在手術等基本料（1 に限る。）
- (5) 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者（平成 24 年厚生労働省告示第 140 号。以下「五号告示」という。）に該当する患者
- (6) 算定告示第 4 項の規定に基づき以下のいずれかに該当する病院の病棟に入院する患者
 - ア 月平均の入院患者数が、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に 100 分の 105 を乗じて得た数以上の病院
 - イ 医師又は歯科医師の員数が医療法第 21 条第 1 項第 1 号又は第 22 条の 2 第 1 号の規定により有しなければならないこととされている員数に 100 分の 70 を乗じて得た数以下の病院

- 3 診断群分類区分に該当しない患者の診療報酬は、医科点数表若しくは歯科点数表、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準又は保険外併用療養費に係る療養についての費用の額の算定方法により算定する。

第2 診断群分類区分等について

1 診断群分類区分の適用の考え方

- (1) 入院患者に対する診断群分類区分の該当の有無は、厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名（平成20年厚生労働省告示第95号。以下「定義告示」という。）に定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名等から、診断群分類定義樹形図（別添1。以下「ツリー図」という。）及び診断群分類定義表（別添2。以下「定義テーブル」という。）に基づき主治医が判断すること。

ツリー図は、定義テーブルに定める診断群分類ごとに、手術、処置等又は定義副傷病の有無等に応じた分岐及び当該分岐ごとに設定された14桁のコード（以下「DPCコード」という。）で構成され、DPCコードのうち、診断群分類区分に該当する分岐の14桁のコード（診断群分類点数表に定める診断群分類番号を指す。）を実線で、診断群分類区分に該当しない分岐の14桁コード（以下「医科点数表算定コード」という。）を点線で表したものであり、主治医はこれに基づき適切なDPCコードを選択するものとする。

なお、診断群分類区分に該当しないと判断された患者等、診断群分類点数表により診療報酬を算定しない患者については、医科点数表に基づき算定することとなった理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載し、当該患者のうち以下に該当するものに限り、併せてDPCコードを記載すること。

- ① 五号告示第二号に該当した患者
 - ② 診断群分類点数表に定める入院日Ⅲを超えた患者
 - ③ 医科点数表算定コードに該当した患者
- (2) 「傷病名」は、入院期間において治療の対象となった傷病のうち医療資源を最も投入した傷病（医療資源を最も投入した傷病が確定していない場合は入院の契機となった傷病をいう。）について、主治医が疾病及び関連保健問題の国際統計分類ICD-10（2013年版）に準拠した平成二十七年総務省告示第三十五号（統計法第二十八条第一項の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類の「（1）基本分類表」（以下「ICD-10」という。）から選択すること。

ただし、ICD-10のうち以下のものについては、選択しないこと。

- ・ 詳細不明の寄生虫症（B89）
- ・ 他章に分類される疾患の原因である連鎖球菌及びブドウ球菌（B95）からその他及び詳細不明の感染症（B99）
- ・ 心拍の異常（R00）からその他の診断名不明確及び原因不明の死亡（R99）まで（ただし、鼻出血（R04.0）、喀血（R04.2）、気道のその他の部位からの出血（R04.8）、気道からの出血、詳細不明（R04.9）、熱性けいれん＜痙攣＞（R56.0）、限局性発汗過多＜多汗＞（症）（R61.0）、全身性発汗過多＜多汗＞（症）（R61.1）、発汗過多＜多汗＞（症）、詳細不明（R61.9）及びブドウ糖負荷試験異常（R73.0）を除く。）

また、独立した（原発性）多部位の悪性新生物＜腫瘍＞（C97）、部位不明の表在損傷（T1

4.0)から損傷、詳細不明(T14.9)までについては選択せず、主たる部位の ICD-10 を選択すること。

(3) 手術等が実施されていない期間に診断群分類区分の適用を判断する場合には、予定されている手術等（入院診療計画等により確認されるものに限る。）も勘案した上で診断群分類区分の適用を判断すること。

(4) 一の入院期間において複数の傷病に対して治療が行われた場合においても、一の診断群分類区分を決定すること。

(5) 同一の傷病に対して複数の手術等が行われた場合等においても、一の診断群分類区分を決定するものとし、決定するに当たっては次の点に留意すること。

入院中に、定義告示に掲げられた複数の手術等の診療行為が行われ、同一疾患内の複数の D P C コードに該当する可能性がある場合の取扱いについては、「手術」、「手術・処置等 1」及び「手術・処置等 2」及び「定義副傷病」の全ての項目において、ツリー図において、下に掲げられた D P C コードを優先して選択すること。

(6) 医科点数表において「区分番号 K○○○の○○術に準じて算定する」と規定されている手術について診断群分類区分を決定するに当たっては、準用元の手術で判断すること。

(7) 主治医による診断群分類区分の適用の決定は、患者の退院（D P C 算定対象となる病棟等以外の病棟への転棟を含む。）時に行うものとする。

2 診断群分類点数表の入院期間等

(1) 診断群分類点数表の入院期間

診断群分類点数表の入院期間は、同表に掲げられた入院日（日）に応じ、以下によるものとする。

① 入院期間Ⅰ：入院日Ⅰに掲げる日数以下の期間

② 入院期間Ⅱ：入院日Ⅰに掲げる日数を超え入院日Ⅱに掲げる日数以下の期間

③ 入院期間Ⅲ：入院日Ⅱに掲げる日数を超え入院日Ⅲに掲げる日数以下の期間

(2) 定義副傷病

① 定義副傷病は、手術あり・なし別に、定義テーブルの定義副傷病欄のフラグによるものとする。なお、フラグは以下のとおり定義する。

ア 手術あり・なし共通の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 1）

イ 手術なしの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 2）

ウ 手術ありの場合の定義副傷病（定義副傷病欄フラグ 3）

② 定義副傷病は、入院時併存症（入院当初に患者が既に持っている傷病）及び入院後発症傷病（入院後に発症した傷病）の両方を含むものである（疑い病名は除く。）。

3 用語等

(1) 「J C S」は Japan Coma Scale の略称である。なお、該当する J C S は、D P C 算定対象となる病棟等への入院等の時点で判断するものとする。ただし、入院等後に当該病棟において発症した傷病が医療資源を最も投入した傷病となる場合は、当該傷病の発症時に判断する。

(2) 「G A F」は Global Assessment of Functioning の略称である。

(3) 「15 歳以上」等の年齢については、診断群分類区分が適用される入院時の年齢等による。

(4) 定義告示中の「手術」の欄において「+」により複数の手術が並列されている手術は、同

- 一入院期間中に並列された全ての手術が実施された場合に該当するものとする。
- (5) 定義告示及び算定告示中の手術、処置等の定義は、次に掲げるものを除き、医科点数表の区分によるものとする。
- ① 「化学療法」とは、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤の使用（当該入院中に処方されたものに限ることとし、手術中の使用及び外来又は退院時に処方されたものは含まない。）をいい、抗生剤のみの使用及び G-CSF 製剤、鎮吐剤等の副作用に係る薬剤のみの使用等は含まない。
 - ② 「放射線療法」とは、医科点数表第 2 章第 12 部に掲げる放射線治療（血液照射を除く。）をいう。
- (6) 「電気生理学的検査」とは、医科点数表第 2 章第 3 部に掲げる検査において、保険医療材料（特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）（平成 20 年厚生労働省告示第 61 号。以下「材料価格基準」という。）別表Ⅱ区分 114(2)に掲げる保険医療材料を、「050070 頻脈性不整脈」では 3 本以上、「050210 徐脈性不整脈」では 2 本以上使用して実施した電気生理学的検査をいう。
- (7) 「動注化学療法」とは、医科点数表第 2 章第 6 部に掲げる注射のうち G002 動脈注射により化学療法を実施することをいう。
- (8) 手術あり又は手術なしにおける「手術」とは、医科点数表第 2 章第 10 部に掲げる手術（輸血管管理料を除く。）の有無をいう。
- (9) 「全身麻酔」とは、医科点数表第 2 章第 11 部に掲げる麻酔のうち L007 開放点滴式全身麻酔又は L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔をいう。
- (10) 「メトトレキサート大量療法」とは、骨肉腫に対してメトトレキサート 5 g 以上（バイアル換算で 25 本以上）投与する化学療法をいう。
- (11) 「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）神経根ブロック」、「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）腰部硬膜外ブロック」及び「神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素）仙骨部硬膜外ブロック」とは、医科点数表第 2 章第 11 部に掲げる麻酔に規定される L100 神経ブロック（局所麻酔剤又はボツリヌス毒素使用）に掲げる「1」の神経根ブロック、「2」の腰部硬膜外ブロック及び「5」の仙骨部硬膜外ブロックをいう。
- (12) 060350 急性膵炎における重症度等の「重症」とは、急性膵炎の重症度判定基準（2008 年改訂）（厚生労働科学研究補助金難治性膵疾患克服研究事業 難治性膵疾患に関する調査研究班）により重症（予後因子 3 点以上又は造影 C T grade 2 以上）として判定される病態をいう。なお、重症度が判定できない「不明」の場合にあつては「軽症」の診断群分類区分を選択するものとする。
- (13) 定義告示における慢性肝炎等の分類中に規定するインターフェロン β の「一定期間以上投与した場合に限る。」とは、一入院期間中における 7 日以上の投与をいうものであり、連続 7 日以上の投与に限るものではない。
- (14) 010060 脳梗塞における年齢、出生時体重等の発症時期及び JCS は、診断群分類区分の適用開始時を起点として選択するものとする。なお、診断群分類区分の適用開始後に発症した場合は、発症後 3 日以内、発症時点での JCS を選択すること。
- また、重症度等の「発症前 Rankin Scale」とは、発症前概ね 1 週間の ADL を病歴等から推定し、以下に掲げる 0 から 5 までのうちいずれかを選択すること。なお、病歴からも全く

推定ができない場合にあつては、5を選択すること。

- 0 全く症候がない
- 1 明らかな障害はない：日常の勤めや活動は行える
- 2 軽度の障害：自分の身の回りのことは介助なしで行える
- 3 中等度の障害：何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える
- 4 中等度から重度の障害：歩行や身体的要求には介助が必要である
- 5 重度の障害：寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする

(15) 040080 肺炎等における病態等分類の「市中肺炎」への該当の有無は、主治医の判断によるものとするが、肺炎のうち以下に該当しないものを市中肺炎の例として示すので、参考にすること。

- ・ 入院 48 時間以降に病院内で発症した肺炎
- ・ 重篤な免疫抑制状態
- ・ 老人施設と長期療養施設で発症した肺炎
- ・ 慢性下気道感染症の急性増悪

また、重症度等の「A-DROP スコア」とは、以下の 5 項目のうち入院時（入院中に発生した場合は発症時）の状態に該当する項目の合計数をいう。

- ・ 男性 70 歳以上、女性 75 歳以上
- ・ BUN 21 mg/dL 以上又は脱水あり
- ・ SpO₂ 90%以下（PaO₂ 60Torr 以下）
- ・ 意識障害あり
- ・ 血圧（収縮期）90 mmHg 以下

第 3 費用の算定方法

1 診療報酬の算定

(1) 診断群分類点数表等による 1 日当たりの診療報酬は、患者の入院期間に応じて、診断群分類点数表の「点数」欄に掲げる点数に医療機関別係数を乗じて得た点数に基づき算定する。

各月の診療報酬は、1 日当たりの診療報酬に当該月の入院日数を乗じて得た点数に基づき算定する。この場合において、月ごとの合計点数に端数が生じた場合には、当該点数の小数点以下第 1 位を四捨五入するものとする。

(2) 医療機関別係数

医療機関別係数は、厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、基礎係数、機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数（平成 24 年厚生労働省告示第 165 号。以下「係数告示」という。）に定める基礎係数、機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数を合算したものとする。

① 機能評価係数Ⅰの算定方法

機能評価係数Ⅰの算定については、基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（平成 30 年 3 月 5 日保医発 0305 第 2 号）に基づき、地方厚生（支）局長に届出を行い、各月の末日までに要件審査を終え、届出を受理した場合は、翌月の 1 日から合算する。また、月の最初の開庁日に要件審査を終え、届出を受理した場合には当該月の 1 日から合算する。なお、平成 30 年 4 月 16 日までに届出書の提出が

あり、同月末日までに要件の審査を終え届出の受理が行われたものについては、同月 1 日に遡って合算できるものとする。

ただし、機能評価係数 I の算定については、係数告示に定める病院の D P C 算定対象となる病棟等における医科点数表の届出に基づく診療料について算定することとし、D P C 算定対象となる病棟等以外の病棟における医科点数表の届出に基づく診療料については算定できないものとする。

なお、次に掲げる機能評価係数 I の適用日は、他の機能評価係数 I の適用日と取扱いが異なるので十分に留意すること。

ア 地域医療支援病院入院診療加算

区分番号 A204 に掲げる地域医療支援病院入院診療加算については、当該病院が月の初日に医療法第 4 条第 1 項の規定により地域医療支援病院として都道府県知事の承認を受けた場合は同日より、月の途中で当該承認を受けた場合は翌月 1 日より、新たに入院した患者であるか否かにかかわらず入院中の全ての患者に対して加算することができる。

イ 臨床研修病院入院診療加算

区分番号 A204-2 に掲げる臨床研修病院入院診療加算については、実際に臨床研修を実施している月に限り加算することができる。

ウ データ提出加算

区分番号 A245 に掲げるデータ提出加算については、当該加算が算定可能な月に限り、加算することができる。

(3) 診断群分類点数表等により算定される診療報酬

診断群分類点数表には、医科点数表に掲げる点数の費用のうち、①に掲げる点数（②に掲げる点数の費用を除く。）の費用が含まれるものとする。なお、②に掲げる点数の費用のほか、診断群分類点数表に含まれていない費用については、医科点数表又は歯科点数表により算定する。

① 診断群分類点数表に含まれる費用

- ア 第 1 章第 2 部第 1 節 入院基本料
- イ 第 1 章第 2 部第 2 節 入院基本料等加算
- ウ 第 1 章第 2 部第 4 節 短期滞在手術等基本料
- エ 第 2 章第 1 部 医学管理等の費用
- オ 第 2 章第 3 部 検査の費用
- カ 第 2 章第 4 部 画像診断の費用
- キ 第 2 章第 5 部 投薬の費用
- ク 第 2 章第 6 部 注射の費用
- ケ 第 2 章第 7 部第 2 節 薬剤料
- コ 第 2 章第 8 部第 2 節 薬剤料
- サ 第 2 章第 9 部 処置の費用
- シ 第 2 章第 13 部第 1 節 病理標本作製料

② ①に掲げる点数の費用から除かれる費用

- ア 入院基本料のうち、A100 一般病棟入院基本料の注 4 重症児（者）受入連携加算、注

- ５ 救急・在宅等支援病床初期加算及び注 12 A D L維持向上等体制加算、A104 特定機能病院入院基本料の注 5 看護必要度加算及び注 10 A D L維持向上等体制加算、A105 専門病院入院基本料の注 3 看護必要度加算、注 4 一般病棟看護必要度評価加算及び注 9 A D L維持向上等体制加算に掲げる費用
- イ 入院基本料等加算のうち、A205 救急医療管理加算からA206 在宅患者緊急入院診療加算まで、A208 乳幼児加算・幼児加算からA213 看護配置加算まで、A219 療養環境加算からA233-2 栄養サポートチーム加算まで、A234-3 患者サポート体制充実加算からA242 呼吸ケアチーム加算まで、A244 病棟薬剤業務実施加算（２に限る。）及びA246 入退院支援加算からA250 薬剤総合評価調整加算までに掲げる費用
- ウ 短期滞在手術等基本料のうち、A400 短期滞在手術等基本料 1 に掲げる費用
- エ 医学管理等の費用のうち、通則に掲げるオンライン医学管理料、B000 特定疾患療養管理料からB001-3-2 ニコチン依存症管理料まで及びB001-6 肺血栓塞栓症予防管理料からB014 退院時薬剤情報管理指導料までに掲げる費用
- オ 検査の費用のうち、D206 心臓カテーテル法による諸検査、D295 関節鏡検査からD325 肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、膵臓カテーテル法まで及びD401 脳室穿刺からD419-2 眼内液（前房水・硝子体液）検査までに掲げる費用
- カ 画像診断の費用のうち、通則第 4 号及び第 6 号に掲げる画像診断管理加算 1 並びに通則第 5 号及び第 7 号に掲げる画像診断管理加算 2 及び画像診断管理加算 3 並びに区分番号 E 003 造影剤注入手技（3 のイ（注 1 及び注 2 を含む。）に規定する費用に限る。）に掲げる費用
- キ 注射の費用のうち、区分番号 G 020 無菌製剤処理料に掲げる費用
- ク 処置の費用のうち、区分番号 J 001 熱傷処置（５に限る。）、J 003 局所陰圧閉鎖処置（入院）、J 010-2 経皮的肝膿瘍等穿刺術、J 017 エタノールの局所注入、J 017-2 リンパ管腫局所注入、J 027 高気圧酸素治療、J 034-3 内視鏡的結腸軸捻転解除術、J 038 人工腎臓から J 042 腹膜灌流まで、J 043-6 人工膵臓療法、J 045-2 一酸化窒素吸入療法、J 047 カウンターショック、J 047-2 心腔内除細動、J 049 食道圧迫止血チューブ挿入法、J 052-2 熱傷温浴療法、J 054-2 皮膚レーザー照射療法、J 062 腎盂内注入、J 116-5 酵素注射療法、J 122 四肢ギプス包帯（４から 6 までに限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J 123 体幹ギプス包帯から J 128 脊椎側弯矯正ギプス包帯まで（既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）、J 129 治療装具の採型ギプス（４に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）並びに J 129-2 練習用仮義足又は仮義手（２に限る。ただし、既装着のギプス包帯をギプスシャーレとして切割使用した場合を除く。）に掲げる処置料並びに J 038 に掲げる人工腎臓（１から 3 までに限る。）に当たって使用した保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分 040(1)及び(5)に掲げる材料に限る。）並びに J 042 に掲げる腹膜灌流（１に限る。）に当たって使用した薬剤（腹膜灌流液に限る。）及び保険医療材料（材料価格基準別表Ⅱ区分 051 から区分 053 までに掲げる材料に限る。）に係る費用
- ケ 病理標本作製料のうち、区分番号 N 003 術中迅速病理組織標本作製に掲げる費用
- コ H I V 感染症の患者に使用する抗 H I V 薬に係る費用

サ 血友病等の患者に使用する遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子製剤、遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅷ因子製剤、乾燥人血液凝固第Ⅸ因子製剤（活性化プロトロンビン複合体及び乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体を含む。）及び乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子加活性化第Ⅶ因子製剤に係る費用

(4) 特定入院料の取扱い

医科点数表に掲げる特定入院料のうち、A300 救命救急入院料、A301 特定集中治療室管理料、A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料、A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料、A301-4 小児特定集中治療室管理料、A302 新生児特定集中治療室管理料、A303 総合周産期特定集中治療室管理料、A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料、A305 一類感染症患者入院医療管理料又はA307 小児入院医療管理料の算定要件を満たす患者については、当該病院が医科点数表に基づく届出を行っている場合には、特定入院料を算定することができる期間に応じ、算定告示別表4から6の表の右欄に掲げる点数を加算する。なお、当該点数を算定する際の包括範囲は、(3)に定める範囲とし、特定入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算は、次に掲げるものとする。

① A300 救命救急入院料を算定している間に算定できる入院基本料等加算（クについては、A300 救命救急入院料の注2に係る加算を算定しない場合に限り算定できる。）

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算

ウ A234-3 患者サポート体制充実加算

エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）

カ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

キ A247 認知症ケア加算

ク A248 精神疾患診療体制加算

② A301 特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算

ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算

エ A232 がん拠点病院加算

オ A234-3 患者サポート体制充実加算

カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

キ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）

ク A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）

ケ A247 認知症ケア加算

コ A248 精神疾患診療体制加算

③ A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算

ア A205-2 超急性期脳卒中加算

イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算

- ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A232 がん拠点病院加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - キ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A247 認知症ケア加算
 - ケ A248 精神疾患診療体制加算
- ④ A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A230-4 精神科リエゾンチーム加算
 - エ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - オ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - カ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - キ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A247 認知症ケア加算
 - ケ A248 精神疾患診療体制加算
- ⑤ A301-4 小児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - カ A248 精神疾患診療体制加算
- ⑥ A302 新生児特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - オ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- ⑦ A303 総合周産期特定集中治療室管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - オ A244 病棟薬剤業務実施加算（2に限る。）
 - カ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - キ A248 精神疾患診療体制加算

- ⑧ A303-2 新生児治療回復室入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ウ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - エ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- ⑨ A305 一類感染症患者入院医療管理料を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A205-3 妊産婦緊急搬送入院加算
 - ウ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - エ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - オ A246 入退院支援加算（1のイに限る。）
- ⑩ A307 小児入院医療管理料1又は2を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
 - ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
 - エ A221-2 小児療養環境特別加算
 - オ A226-2 緩和ケア診療加算
 - カ A232 がん拠点病院加算
 - キ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - ク A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ケ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - コ A248 精神疾患診療体制加算
- ⑪ A307 小児入院医療管理料3又は4を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
 - ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
 - エ A221-2 小児療養環境特別加算
 - オ A234-3 患者サポート体制充実加算
 - カ A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - キ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
 - ク A248 精神疾患診療体制加算
- ⑫ A307 小児入院医療管理料5を算定している間に算定できる入院基本料等加算
- ア A205-2 超急性期脳卒中加算
 - イ A206 在宅患者緊急入院診療加算
 - ウ A212 超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算
 - エ A221-2 小児療養環境特別加算
 - オ A231-2 強度行動障害入院医療管理加算
 - カ A231-4 摂食障害入院医療管理加算
 - キ A234-3 患者サポート体制充実加算

- ク A236 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ケ A246 入退院支援加算（1のイ及び3に限る。）
- コ A248 精神疾患診療体制加算

(5) 入院日Ⅲを超えた場合の取扱い

入院期間が診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲを超えた日以降の診療報酬は医科点数表により算定する。ただし、次の点に留意すること。

- ① 悪性腫瘍患者等（化学療法等を実施されたものに限る。）に対して、診断群分類点数表に掲げる入院日Ⅲまでに化学療法等を実施されない場合は、入院日Ⅲを超えた日以降も当該患者に投与する抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料及び当該薬剤に関する医科点数表に掲げる第2章第5部投薬、同章第6部注射（G020 無菌製剤処理料の費用を除く。）の費用は算定することはできない（当該抗悪性腫瘍剤等以外の薬剤に関する医科点数表に掲げる第2章第5部投薬、同章第6部注射の費用は算定することができる。）。

なお、「化学療法等を実施された」診断群分類区分とは、次のいずれかに該当する診断群分類区分をいう。

ア 悪性腫瘍患者に対する化学療法（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」）に係る診断群分類区分（いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。）

イ ア以外であって、特定の薬剤名（成分名）を含む診断群分類区分（この場合にあっては悪性腫瘍患者以外の患者が含まれるため留意すること。）

この際、入院日Ⅲを超えた日以降に算定できない「抗悪性腫瘍剤等の当該薬剤料」とは、アに該当する診断群分類区分にあつては、悪性腫瘍に対する抗腫瘍用薬、ホルモン療法、免疫療法等の抗腫瘍効果を有する薬剤（第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」に定義される薬剤）に係る薬剤料であり、イに該当する診断群分類区分にあつては、明示された薬剤（ただし、明示された薬剤以外の薬剤と併用療法とすることが添付文書等により医学的に明らかなものについては当該併用薬剤も含む。）に係る薬剤料である。

上記以外の薬剤（例：糖尿病に係る薬剤料）については別に薬剤料を算定することができる。

- ② 入院日Ⅲを超えた日以降に手術を実施した場合は、「手術あり」の分岐を選択すること。

(6) 外泊の取扱い

- ① 入院患者の外泊期間中の入院料等については、患者の入院している病棟について病院が届け出ている入院基本料の基本点数の15%又は特定入院料の15%を算定するが、精神及び行動の障害の患者について治療のために外泊を行わせる場合は更に15%を算定できる。

ただし、当該入院基本料の基本点数又は特定入院料の30%を算定することができる期間は、連続して3日以内に限り、かつ、月（同一暦月）6日以内に限り。

- ② 入院中の患者が在宅医療に備えて一時的に外泊する場合に、当該在宅医療に関する指導管理が行われた場合には、上記の点数に加え、区分番号C100に掲げる退院前在宅療養指導管理料を外泊初日1回に限り算定できる。

- ③ 外泊期間は、診断群分類点数表等による診療報酬の算定にあたり、入院期間として算入するものとする。

(7) 同一傷病等での再入院に係る取扱い

- ① DPC算定対象となる病棟等に入院していた患者（地域包括ケア入院医療管理料を算定

する病床において診断群分類点数表によって算定する患者を含む。)が、当該病棟等より退院した日の翌日又は転棟した日から起算して7日以内にDPC算定対象となる病棟等(地域包括ケア入院医療管理料を算定する一般病棟の病床を含む。)に再入院(DPC算定対象とならない病棟へ転棟した後の再転棟及び当該保険医療機関と特別な関係にある保険医療機関に再入院した場合も含む。以下「再入院」という。)した場合について、次に該当する場合は、当該再入院は前回入院と一連の入院とみなすこととし、当該再入院の入院期間の起算日は初回の入院日とする。なお、退院期間は入院期間として算入しない(DPC算定対象とならない病棟への転棟期間は入院期間として算入する。)

ア 直近のDPC算定対象となる病棟等に入院していた際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類の上2桁が同一である場合又は直近のDPC算定対象となる病棟等に入院していた際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類の上6桁が同一である場合(以下「同一傷病」という。)

イ 再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に、定義テーブルにおいて診断群分類ごとに定める「医療資源を最も投入した傷病名」欄に掲げるICDコード以外のICDコード又は診断群分類「180040 手術・処置等の合併症」に定義されるICDコードを選択した場合

また、直近の入院における「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院時の「入院の契機となった傷病名」の診断群分類の上2桁が異なり同一傷病の一連の入院に該当しないにも関わらず、直近の入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」と再入院の際の「医療資源を最も投入した傷病名」の診断群分類の上2桁が同一である場合は、再入院の際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容と経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

- ② 予め当該病院に再入院することが決まっております、再入院時の「医療資源を最も投入した傷病名」が悪性腫瘍であり、かつ、化学療法(第2の3の(5)の①に掲げる「化学療法」)に係る診断群分類区分(いわゆる「化学療法あり」の診断群分類区分を含む。)に該当する場合は、①に該当する場合でも同一傷病での再入院に係る取扱いから除き一連の入院とはみなさない。当該規定を適用する場合については、化学療法の実施日(予定日)及びレジメンを含む化学療法の概要を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、当該規定は、再転棟の場合は適用されないので留意すること。

(8) 同一傷病等による7日以内の再入院に当たっての特定入院料の加算については、前回入院と一連の入院と見なした日数を限度日数とすること。

(9) 地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室に転室する場合等の取扱い

DPC算定対象となる病棟から地域包括ケア入院医療管理料に係る届出を行っている病室(一般病棟に限る。)に転室した場合、第2の2の(1)の③に掲げる診断群分類点数表に定める入院日Ⅲまでの期間は、引き続き転室前と同じ診断群分類区分により算定することとし、起算日は当該入院日とする。なお、診断群分類点数表で算定する期間は、地域包括ケア入院医療管理料を算定することはできない。

また、DPC算定対象となる病棟に入院していた患者が退院の翌日から起算して7日以内に地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室に再入院(転室)する場合は、「入院の契機

となった傷病名」の診断群分類を決定し診療報酬明細書の摘要欄に記載することとし、当該診断群分類に基づき（７）の規定に該当する場合は、一連の入院として直近のD P C算定対象となる病棟において算定した診断群分類区分と同じ区分により引き続き算定することとし、起算日は初回の入院日とする。

なお、（７）の規定に該当しない場合は、地域包括ケア入院医療管理料を算定する病室への当該再入院（転室）となった際の「入院の契機となった傷病名」に係る治療内容及び経過について、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(10) 退院時処方取扱い

診断群分類区分の決定に当たり、退院時処方（退院後に在宅において使用するための薬剤を退院時に処方することをいう。以下同じ。）した場合は、当該薬剤の処方投入した医療資源に含めないこと。

ただし、その場合において、別に薬剤料のみを算定することができる。

(11) 入院中の患者に係る対診・他医療機関受診取扱い

診療上必要があり、入院中の患者に対し他の保険医療機関の保険医の立合診察（以下「対診」という。）が実施された場合又は入院中の患者が他の保険医療機関を受診し診療が実施された場合における診療の費用（対診が実施された場合の初・再診料及び往診料を除く。）は、当該保険医療機関の保険医が実施した診療の費用と同様に取扱い、当該保険医療機関において算定すること。

なお、この場合の医療機関間での診療報酬の分配は、相互の合議に委ねるものとする。

(12) 第1(6)に該当する場合は、以下のとおり取り扱うこと。なお、再度診断群分類点数表により算定することとなった場合の入院期間の算定の起算日は、入院の日とする。

① 月平均の入院患者数が、医療法の規定に基づき許可を受け、若しくは届出をし、又は承認を受けた病床数に100分の105を乗じて得た数以上となった場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後、100分の105を乗じて得た数未満となった場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

② 医師等の員数が医療法で有することとされている医師等の員数の100分の70以下となった場合は、当該月の翌月から医科点数表により算定すること。その後、医師等の員数が100分の70を超えた場合は、当該月の翌月から再度診断群分類点数表により算定すること。

(13) 診断群分類120290産科播種性血管内凝固症候群及び130100播種性血管内凝固症候群（以下「D I C」という。）によって請求する際は、一連の入院の中で医療資源を最も投入したのがD I Cであるか否かについて、よりの確な診療報酬明細書審査を行うため、以下の内容が記載された症状詳記を添付すること。

- ・D I Cの原因と考えられる基礎疾患
- ・厚生労働省D I C基準によるD I Cスコア又は急性期D I C診断基準（日本救急医学会D I C特別委員会）によるD I Cスコア
- ・入院期間中に実施された治療内容（D I C及びD I Cの原因と考えられる基礎疾患に対する治療を含む。）及び検査値等の推移

(14) 診断群分類点数表等による診療報酬の算定方法

対象患者の診療報酬は、(1)から(13)により算定する。

なお、入院時食事療養費に係る食事療養の費用については、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準により算定する。

2 診療報酬の調整等

(1) 診療報酬の請求方法は、患者の退院時に決定された請求方法をもって一の入院期間において統一するものとする。

(2) 入院当初は診断群分類点数表により療養に要する費用の額を算定していた患者が、退院時には医科点数表により療養に要する費用の額を算定することとなった場合等、入院期間内において診療報酬の請求方法が複数存在する場合は、退院（DPC算定対象となる病棟等以外の病棟に転棟する場合を含む。）時に決定された請求方法により必要な請求を行うものとする。

(3) 転棟した場合等の取扱い

① DPC算定対象となる病棟以外の病棟に転棟した場合には、転棟した日の診療報酬の算定は医科点数表によるものとする。この場合において、DPC算定対象となる病棟以外の病棟における入院料等の算定に当たっては、入院期間の算定の起算日は入院の日とする。

② DPC算定対象となる病棟以外の病棟からDPC算定対象となる病棟に転棟し、診断群分類点数表等により診療報酬を算定する場合には、当該病棟に転棟した日を診断群分類点数表等による入院期間の算定の起算日とする。

なお、DPC算定対象となる病棟からDPC算定対象となる病棟以外の病棟に転棟し、その後、DPC算定対象となる病棟に再転棟した場合についても同様の取り扱いとする。

ただし、1の(7)に該当する場合はこの限りではない。

(4) 退院の日、DPC算定対象となる病棟等以外の病棟に転棟（地域包括ケア入院医療管理料に係る届出を行っている病室において診断群分類点数表により診療報酬を算定していた患者の当該病室以外への転室を含む。）した日の前日又は入院日Ⅲを超えた日の前日（以下「退院の日等」という。）における療養に適用する診断群分類区分と退院の日等の前日までににおける療養に適用した診断群分類区分とが異なる場合には、退院の日等の属する月の前月までに療養に要する費用の額として算定した額と同月までの療養について退院の日等における療養に適用する診断群分類区分により算定した額との差額を、退院の日等の属する月の分の費用の額を算定する際の点数において調整する。

(5) 同一傷病等での7日以内の再入院となった患者の取扱いについては、初回入院、再入院を合わせて一入院とし、(1)～(4)に準じて取り扱うこと。

3 その他

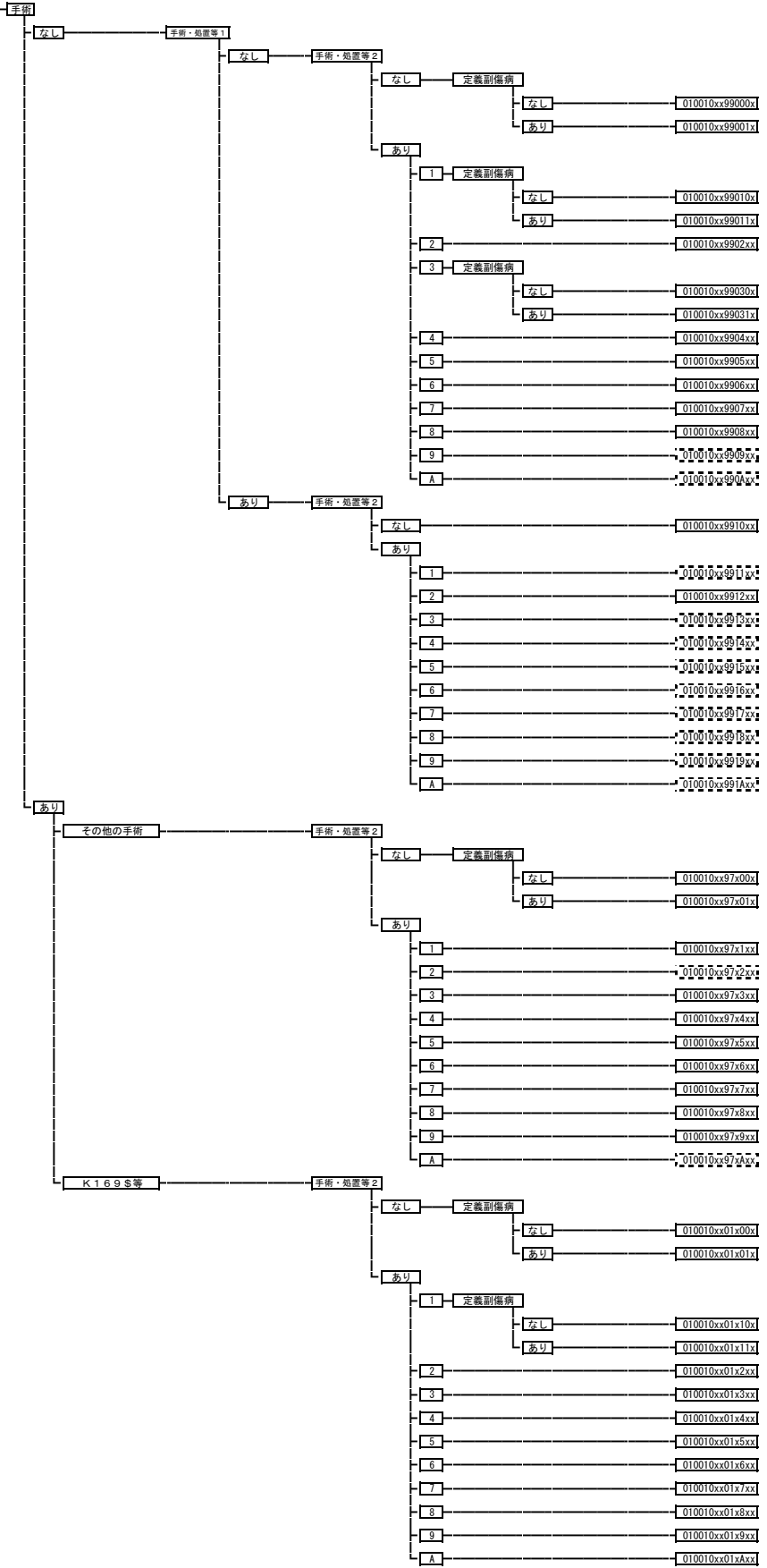
(1) 外泊及び転棟した場合等の取扱いについては、適切に取り扱われるよう十分に留意すること。

(2) 入院中の患者に対して使用する薬剤は、入院する病院において入院中に処方することが原則であり、入院が予定されている場合に、当該入院の契機となる傷病の治療に係るものとして、あらかじめ当該又は他の病院等で処方された薬剤を患者に持参させ、当該病院が使用することは特別な理由がない限り認められない。なお、特別な理由とは、単に病院や医師等の方針によるものではなく、個々の患者の状態等に応じた個別具体的な理由であることが必要である（やむを得ず患者が持参した薬剤を入院中に使用する場合については、当該特別な理

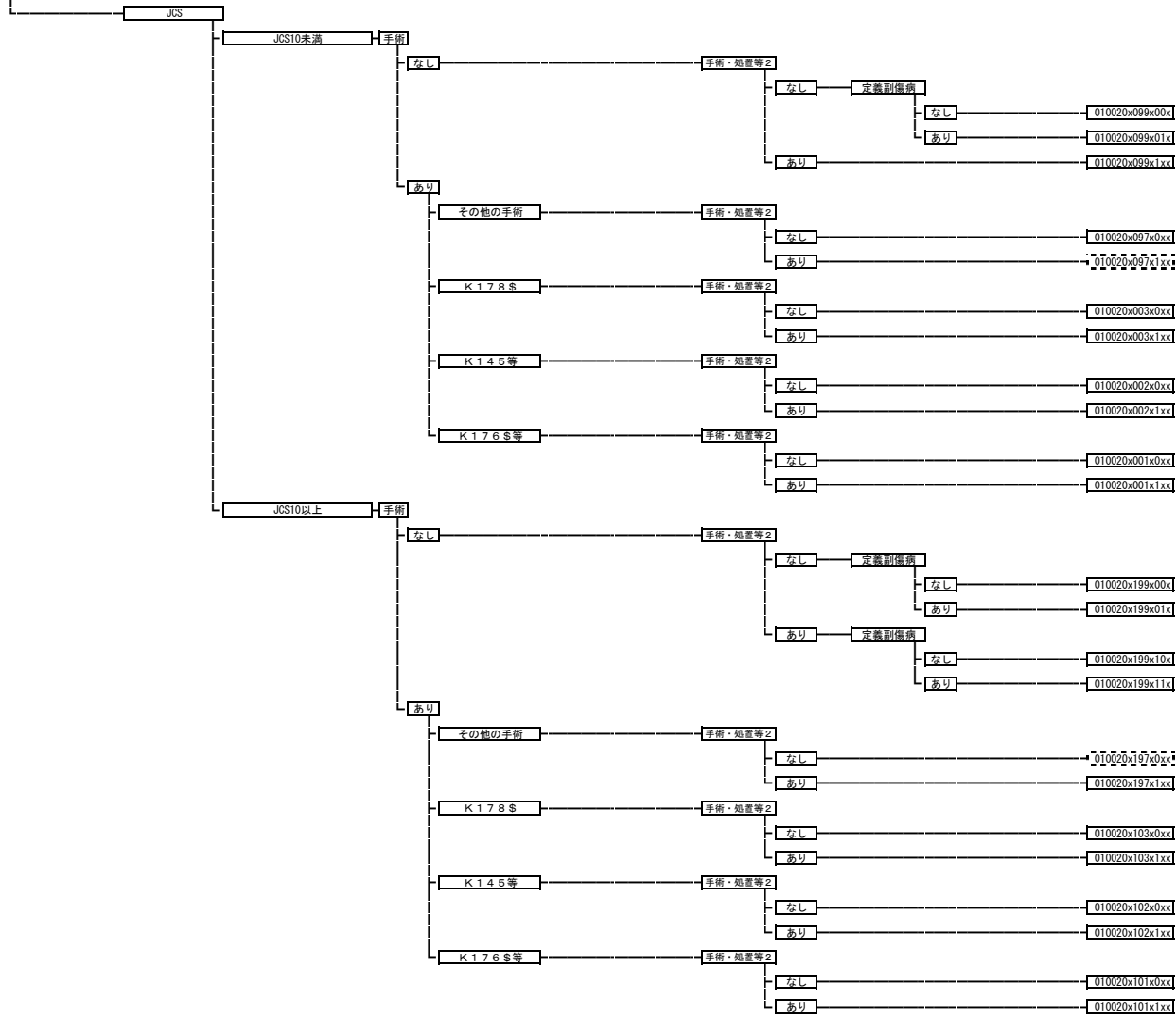
由を診療録に記載すること。)

010010 脳腫瘍

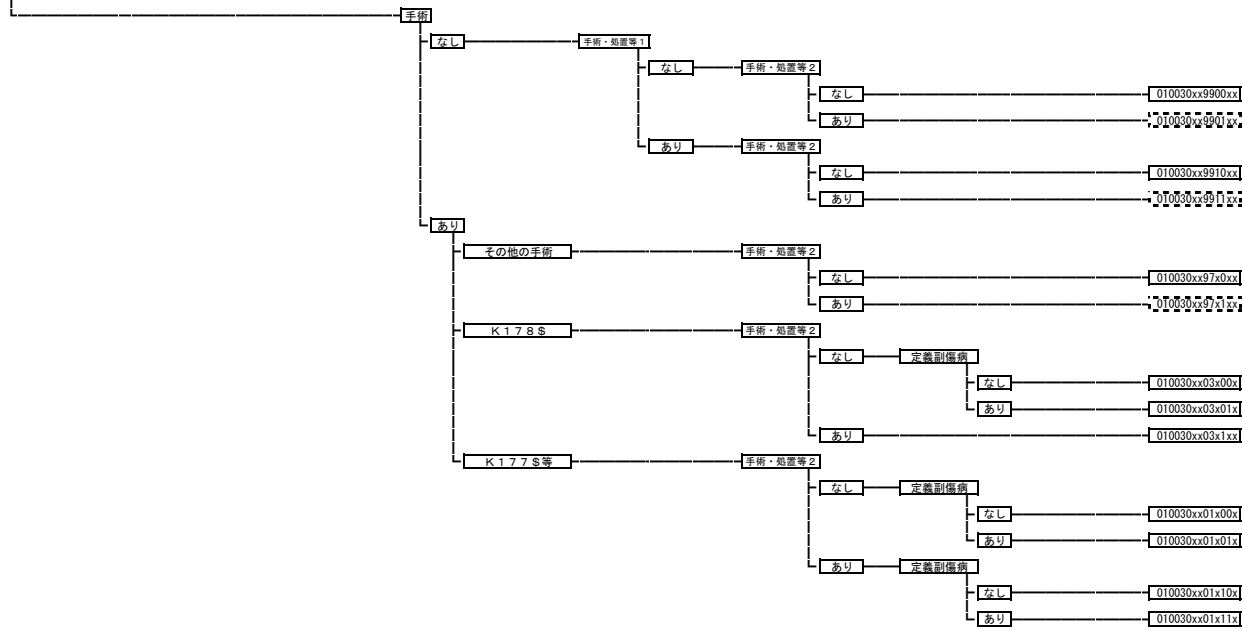
手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: PET、SPECT
 3: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 5: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 6: ガンマナイフによる定位放射線治療
 7: メトトレキサート（注射薬に限る。）
 8: エベロリムス、テモゾロミド（内服薬による初発の初回治療に限る。）
 9: ベハシズマブ
 A: テモゾロミド（注射薬に限る。）



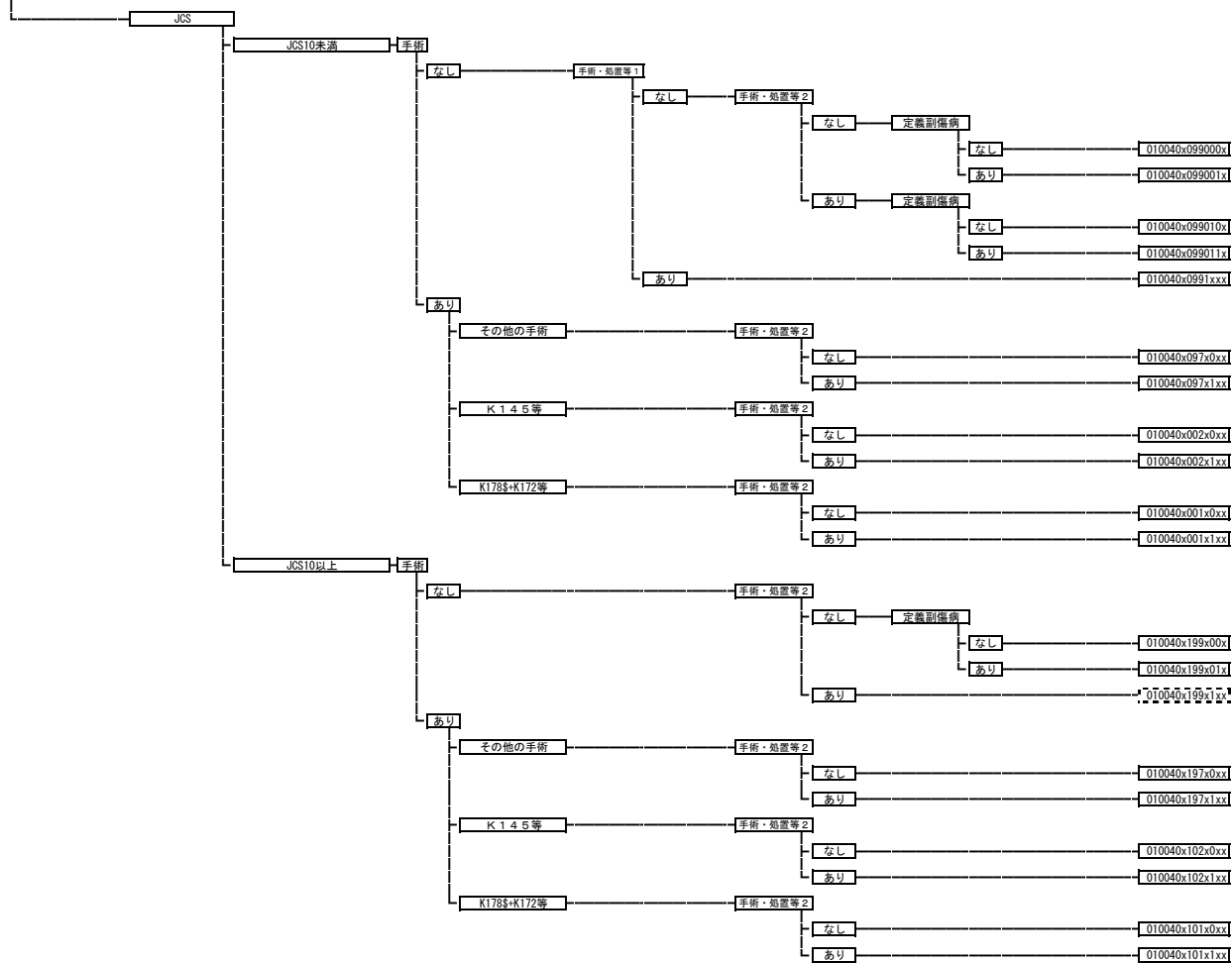
010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤



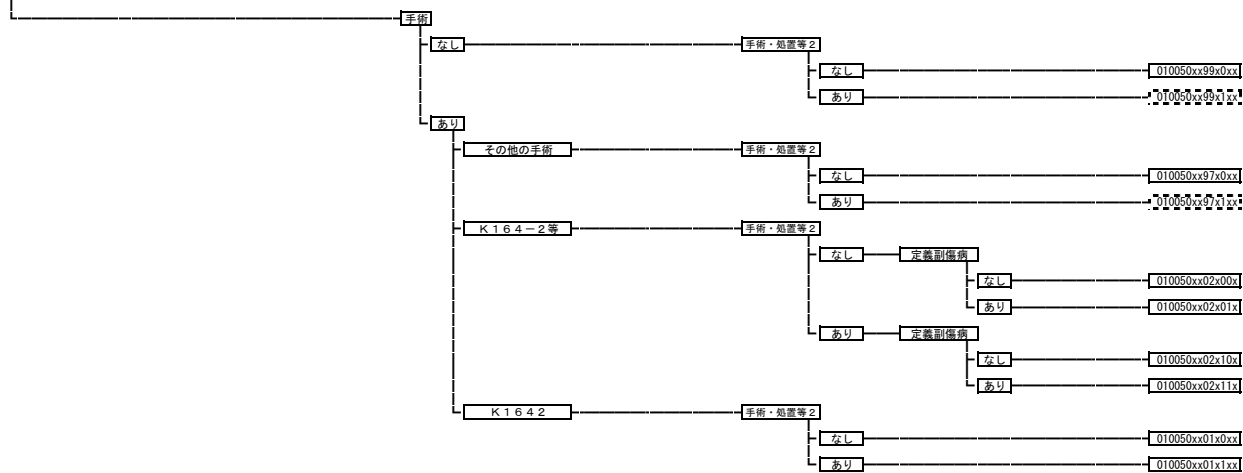
010030 未破裂脳動脈瘤



010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）



010050 非外傷性硬膜下血腫



脳卒中の発症時期
JCS

手術・処置等1
1: 胃腸抜去術など
2: 造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法
主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合

手術・処置等2
1: 人工呼吸など
2: 廃用症候群リハビリテーション料、
脳血管疾患等リハビリテーション料
3: 非放射線性キセノン脳血流動態検査など
4: エタラボン
5: tPA

定義副傷病
1: 水頭症など
2: 肺炎など

発症4日目以降又は無症候性
JCS10未満

手術

なし

手術・処置等1

なし

手術・処置等2

なし

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990000

1

010060:0990001

あり

1

重症度等

0

010060:0990010

1

010060:0990011

2

重症度等

0

010060:0990020

1

010060:0990021

あり

1

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990100

1

010060:0990101

あり

1

重症度等

0

010060:0990110

1

010060:0990111

2

重症度等

0

010060:0990120

1

010060:0990121

2

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990200

1

010060:0990201

あり

1

重症度等

0

010060:0990210

1

010060:0990211

2

重症度等

0

010060:0990220

1

010060:0990221

3

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990300

1

010060:0990301

あり

1

重症度等

0

010060:0990310

1

010060:0990311

2

重症度等

0

010060:0990320

1

010060:0990321

4

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990400

1

010060:0990401

あり

1

重症度等

0

010060:0990410

1

010060:0990411

2

重症度等

0

010060:0990420

1

010060:0990421

5

定義副傷病

なし

重症度等

0

010060:0990500

1

010060:0990501

あり

1

重症度等

0

010060:0990510

1

010060:0990511

2

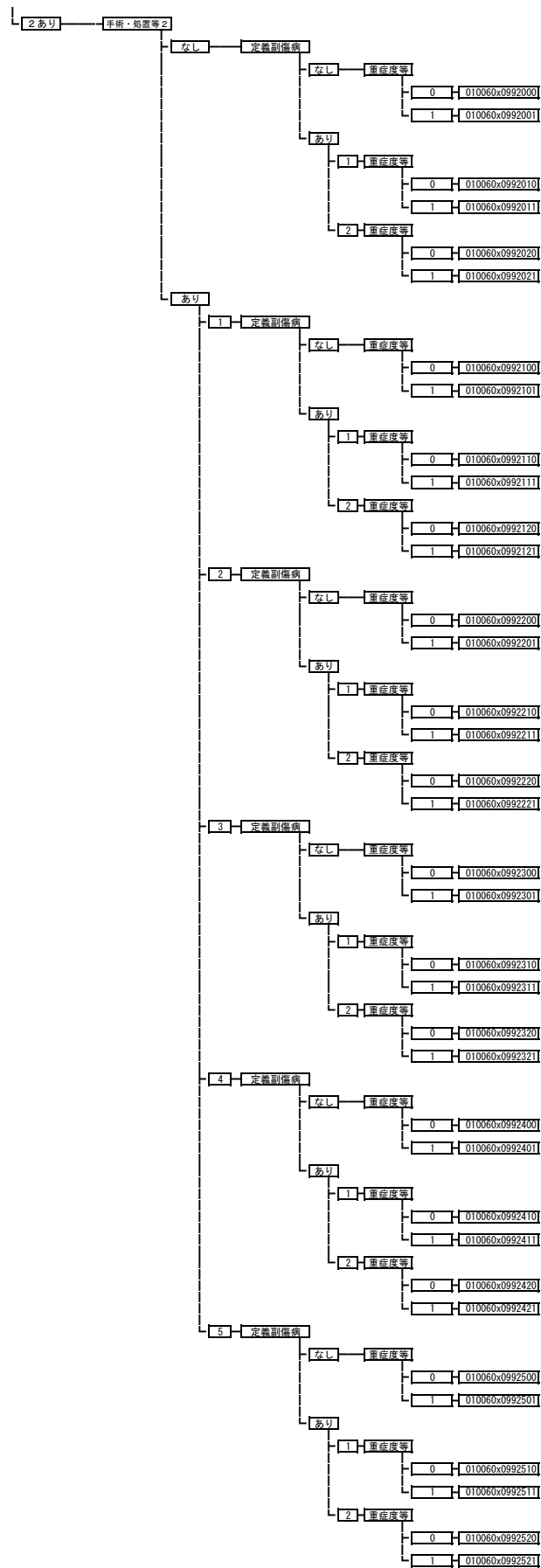
重症度等

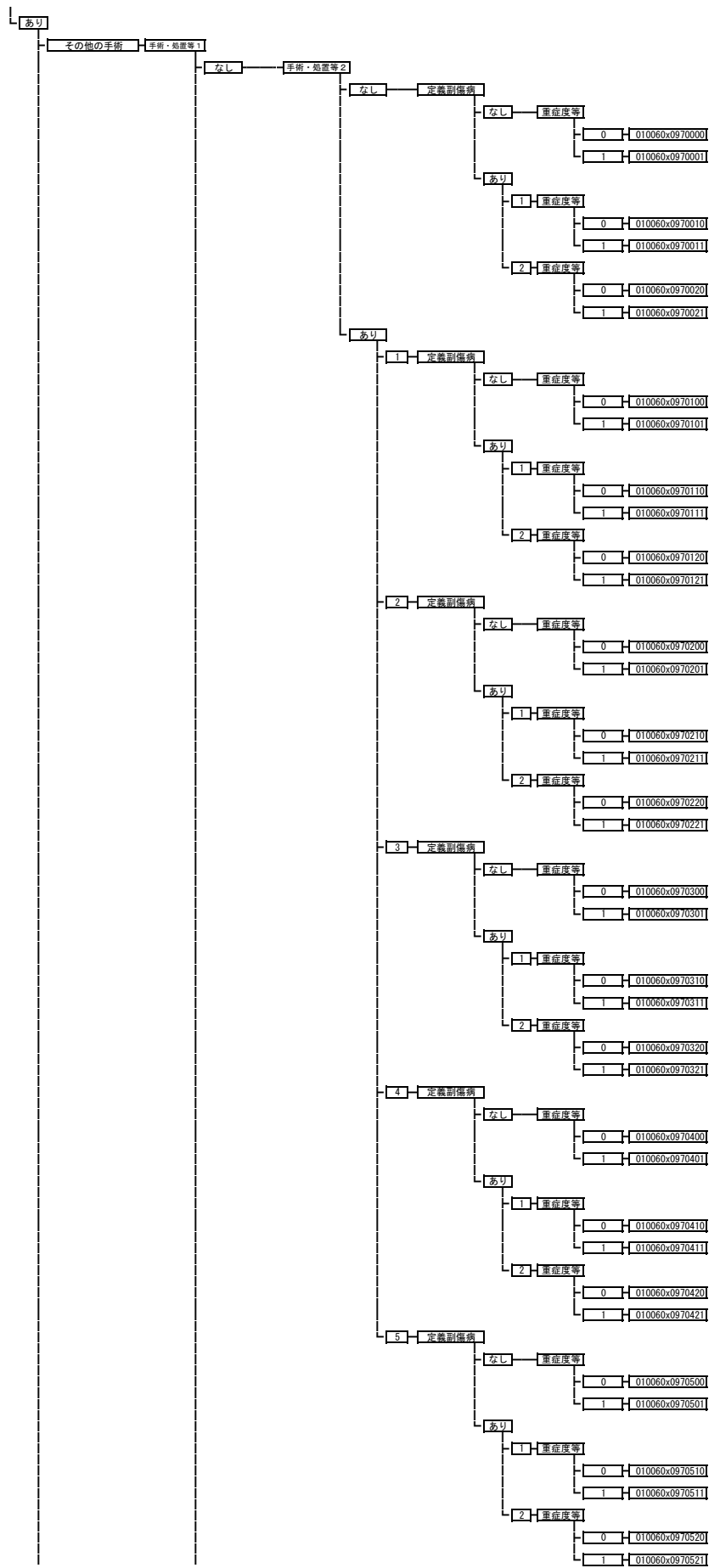
0

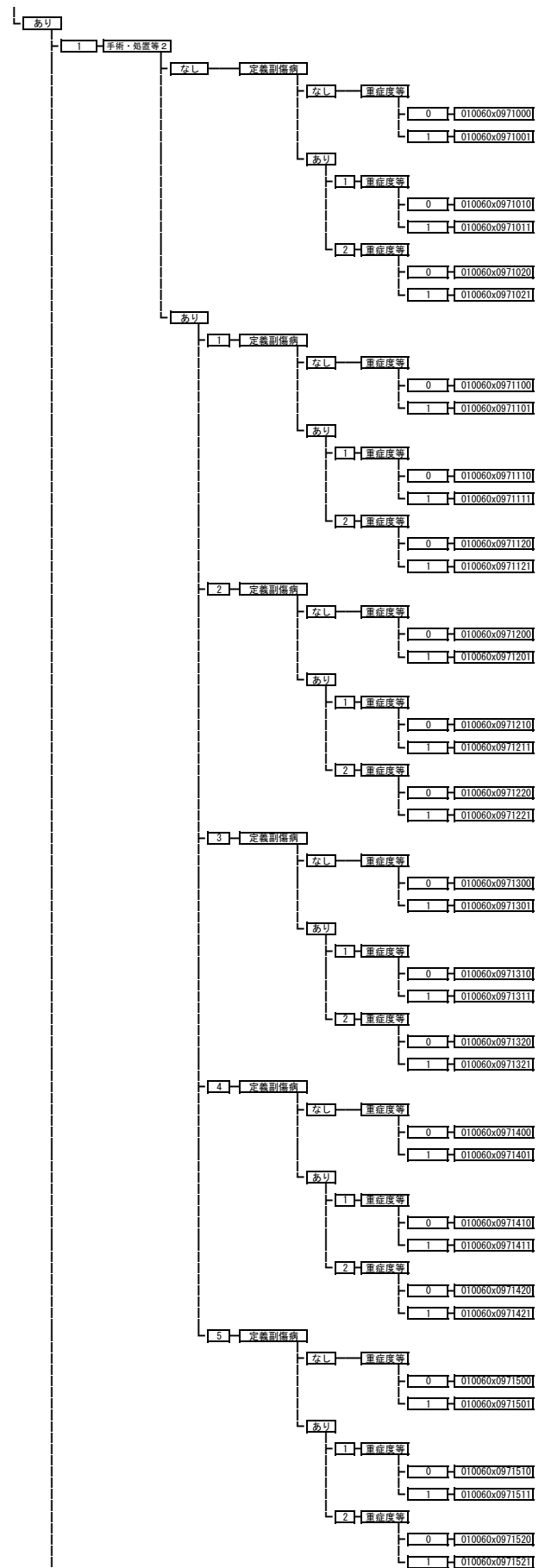
010060:0990520

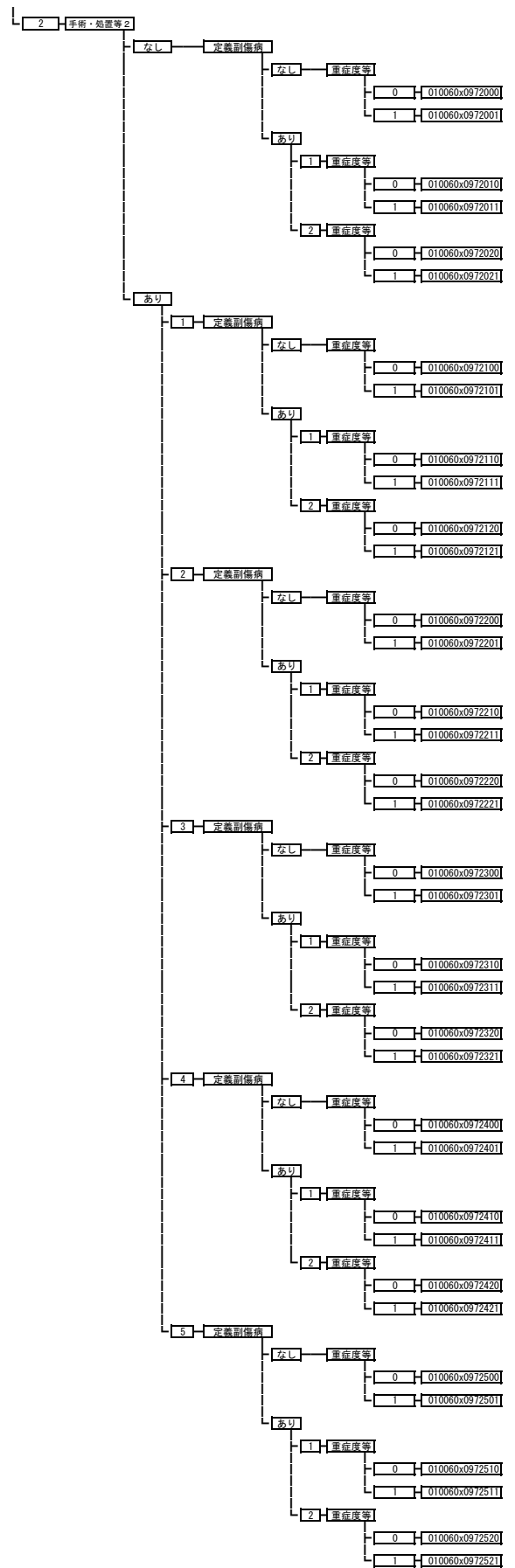
1

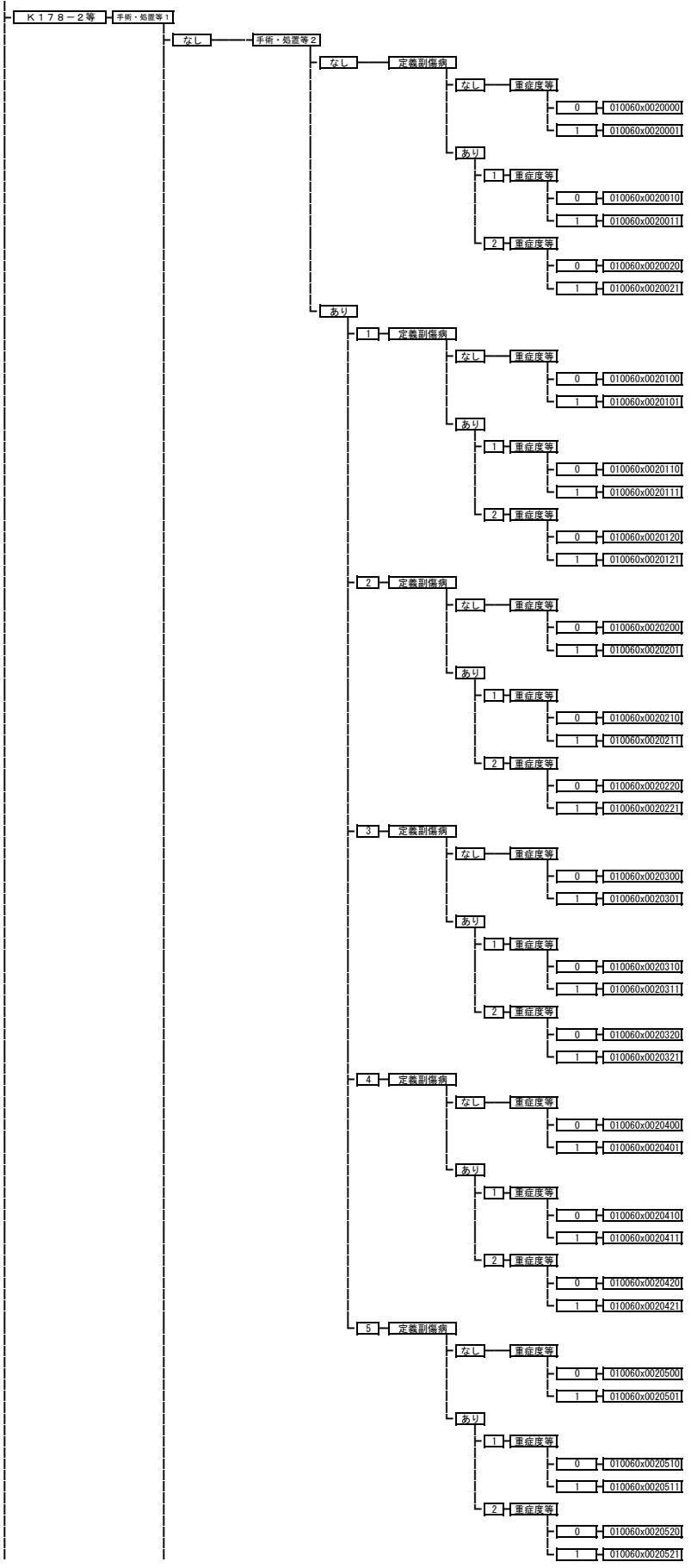
010060:0990521

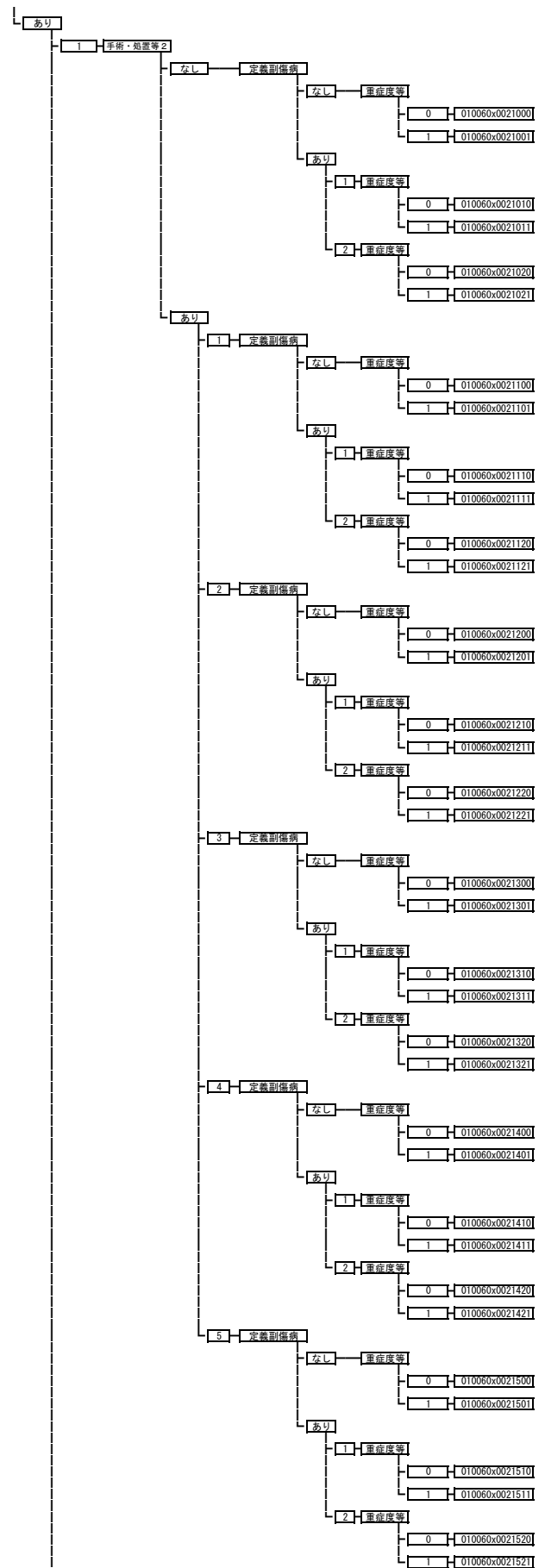


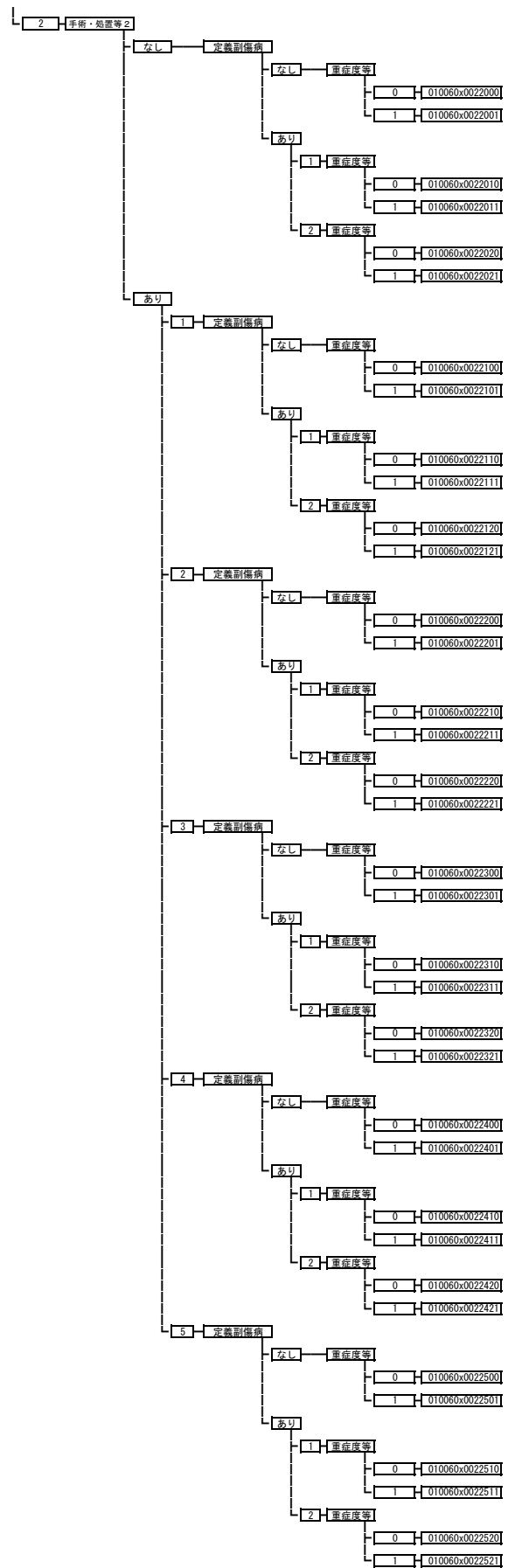


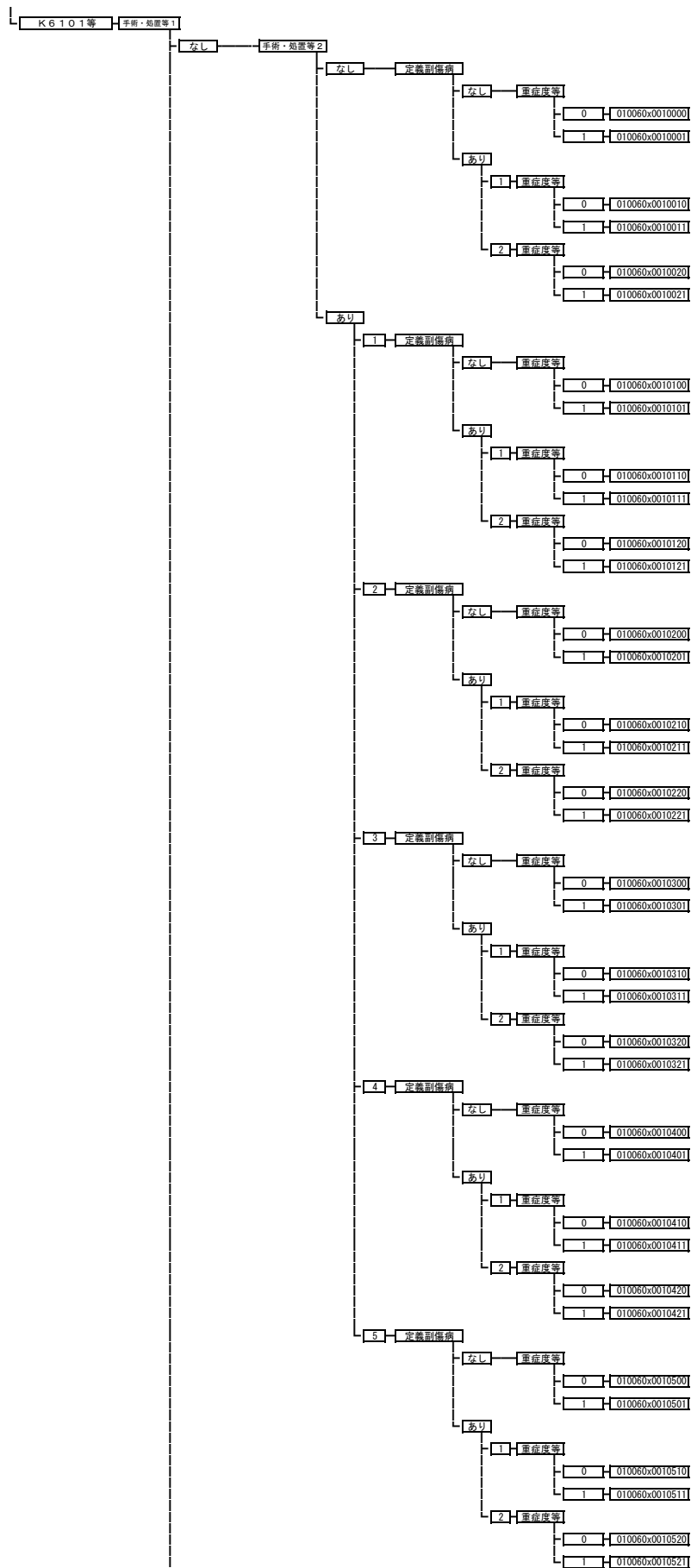


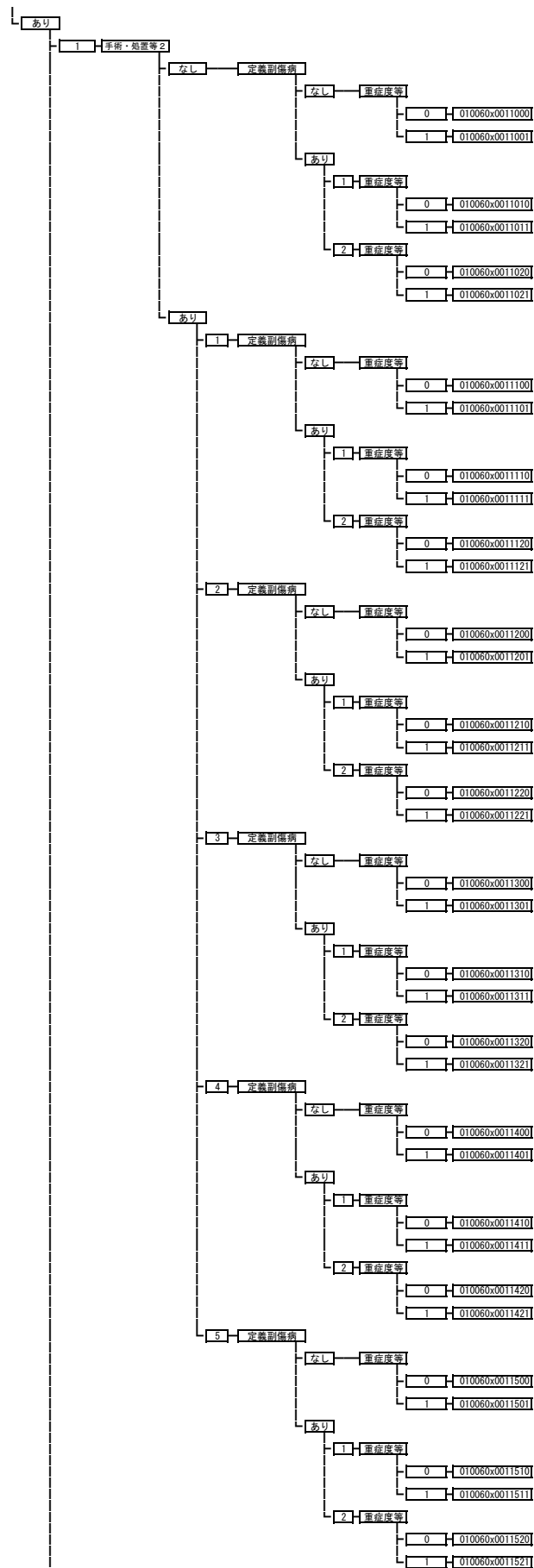


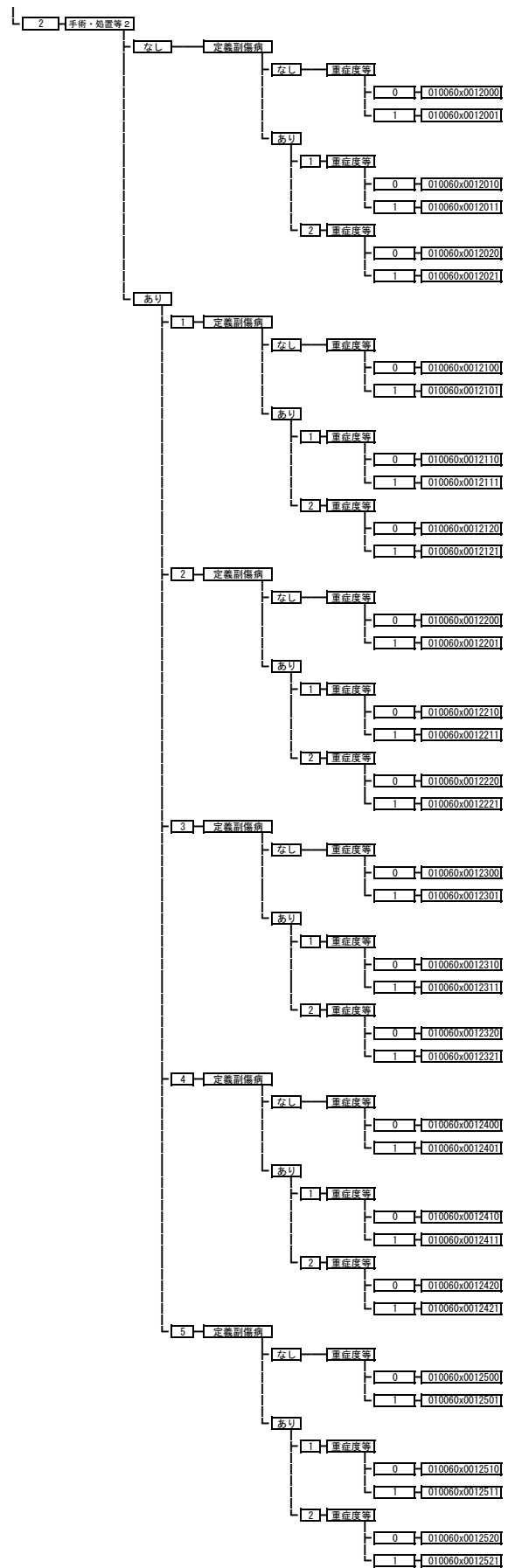


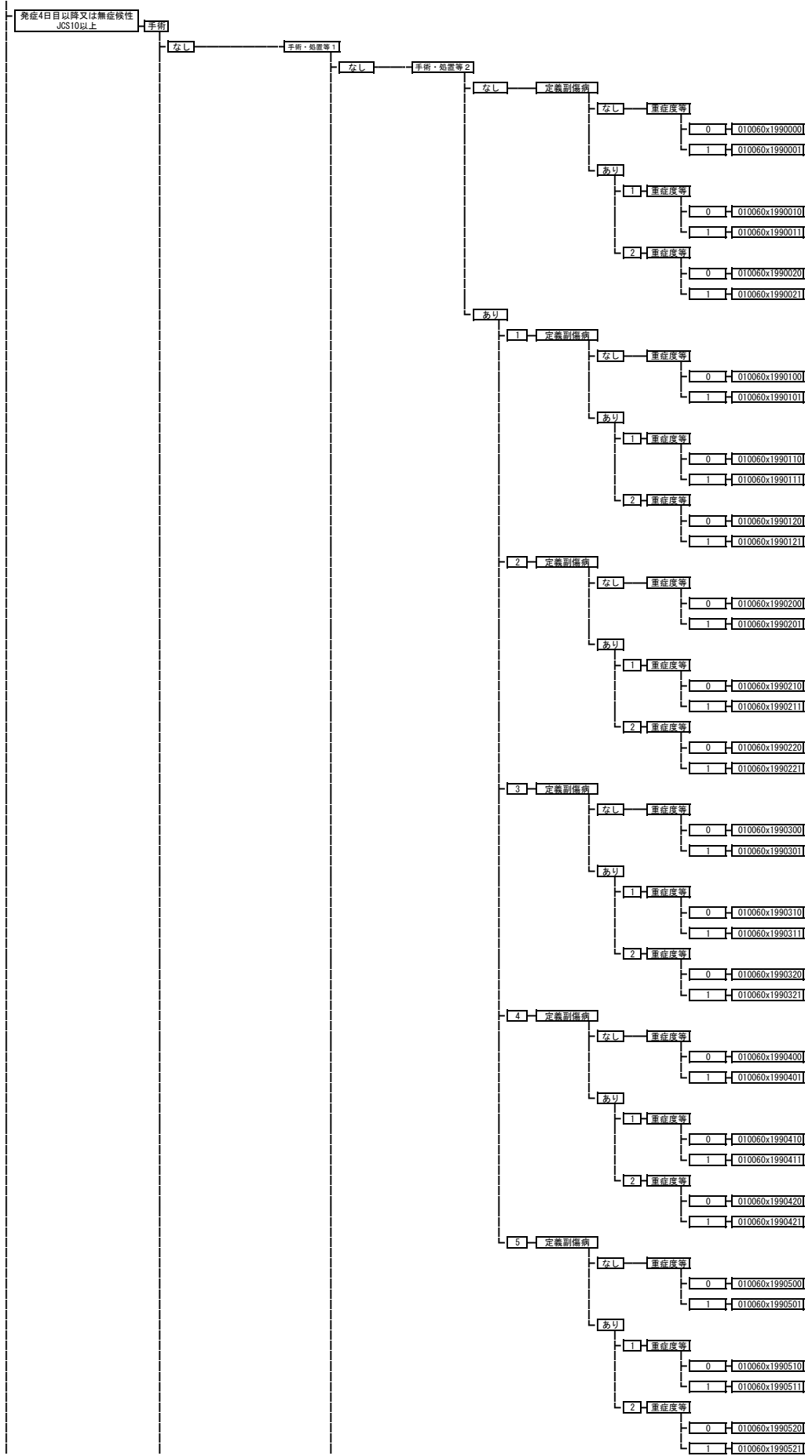


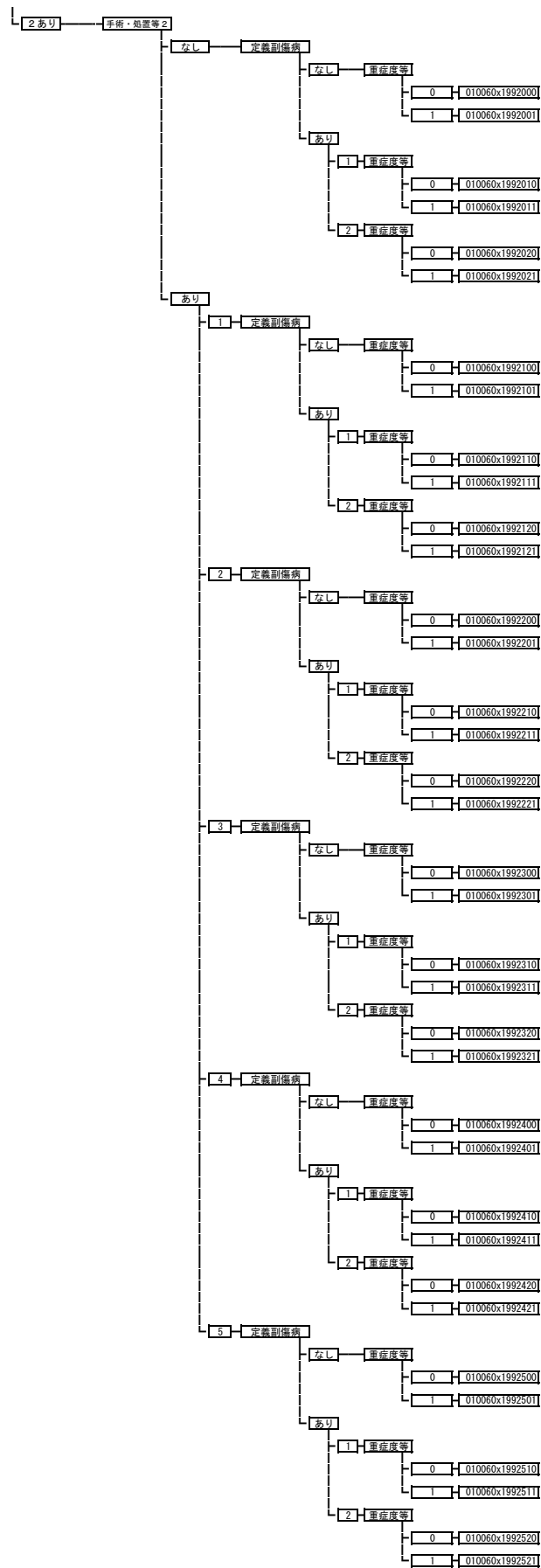


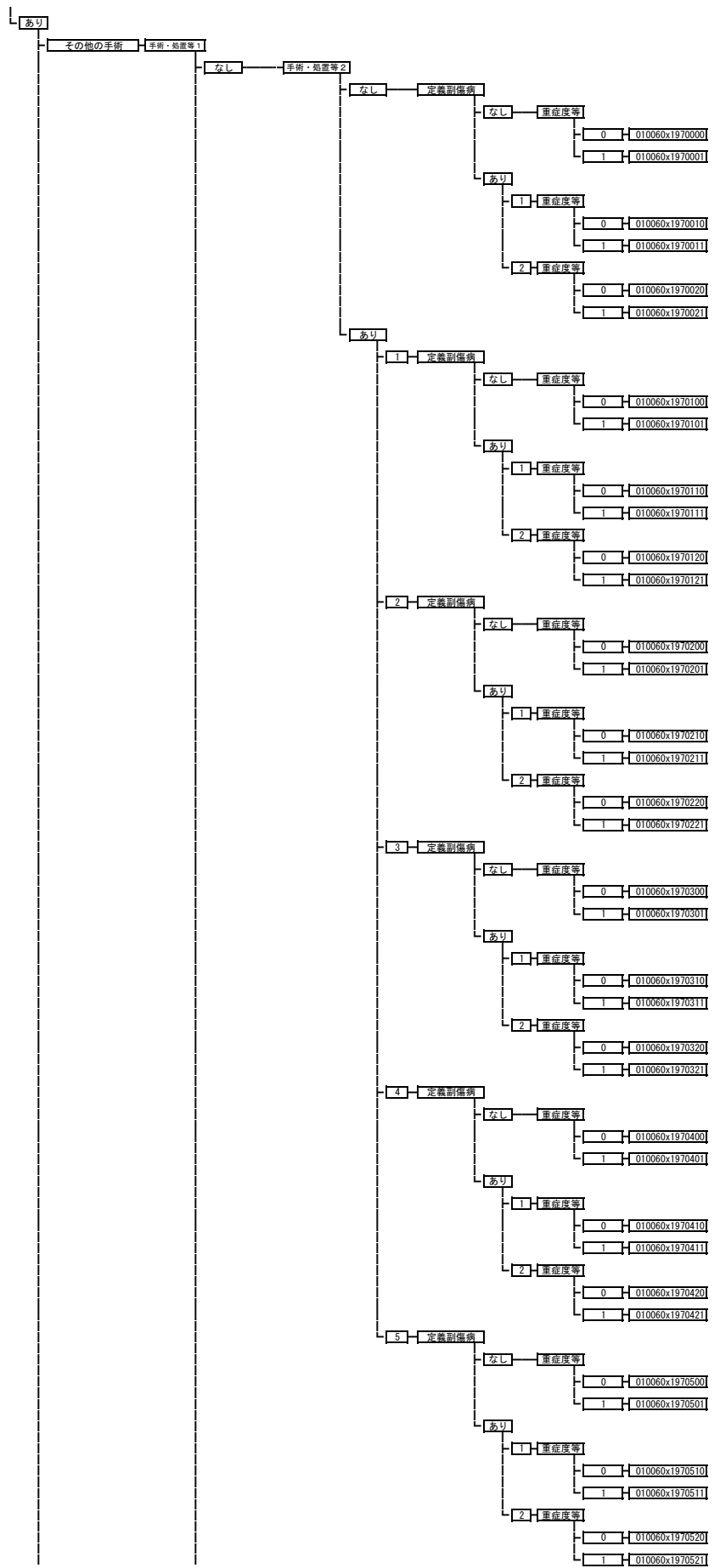


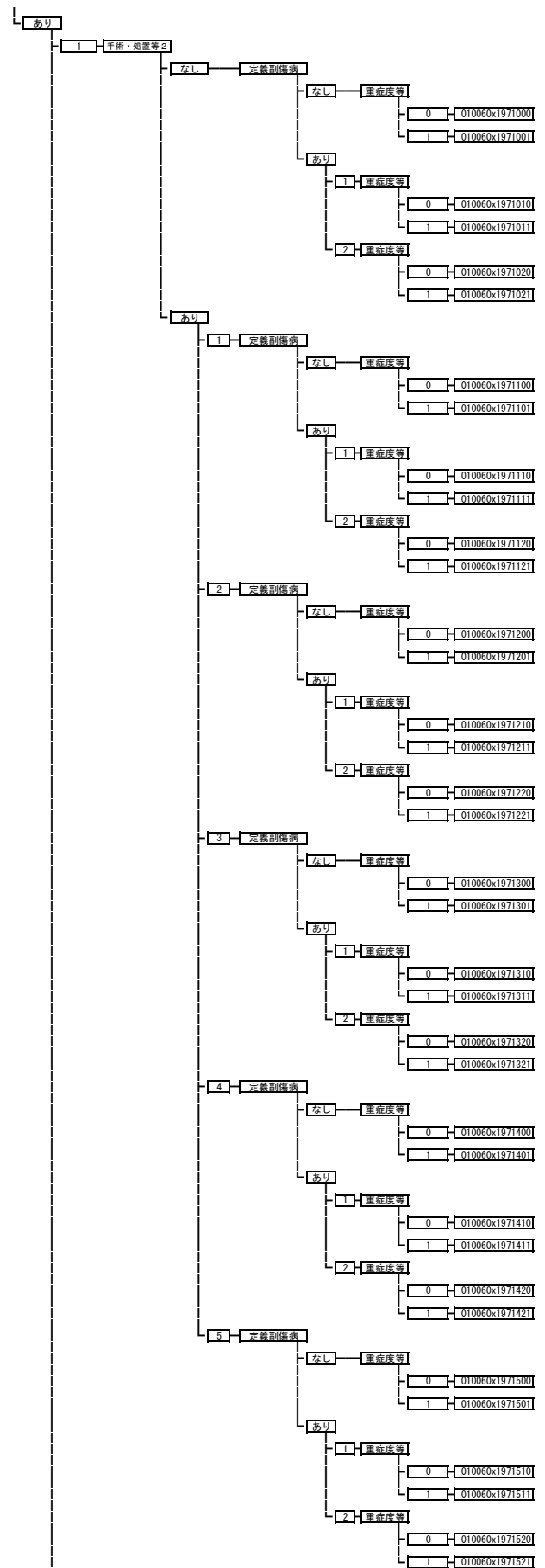


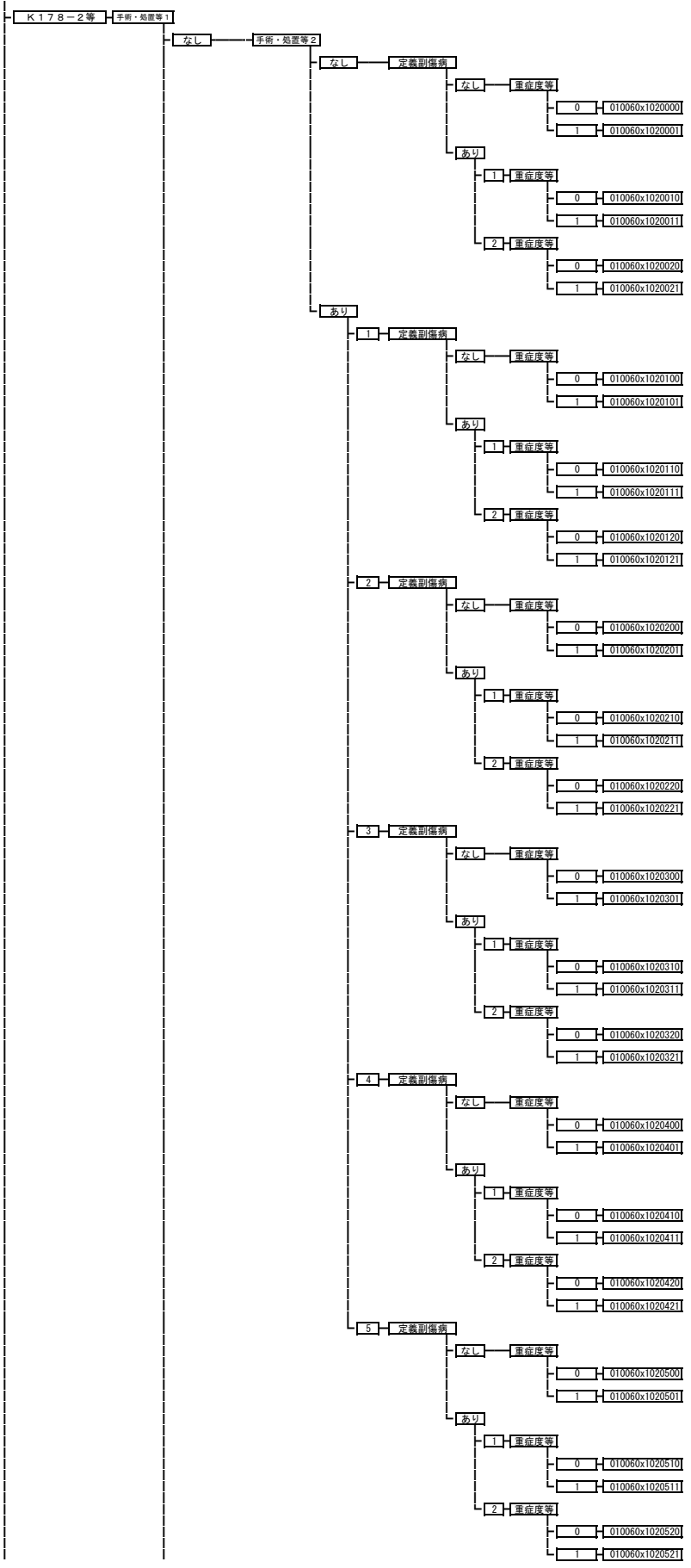


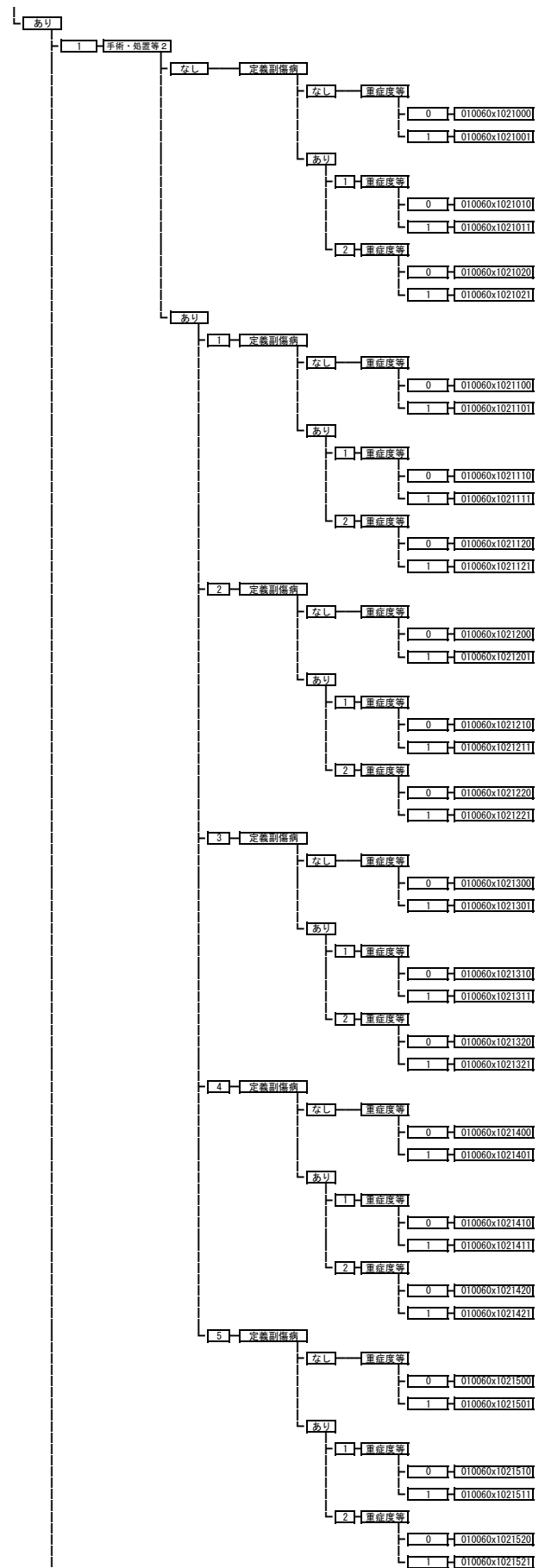


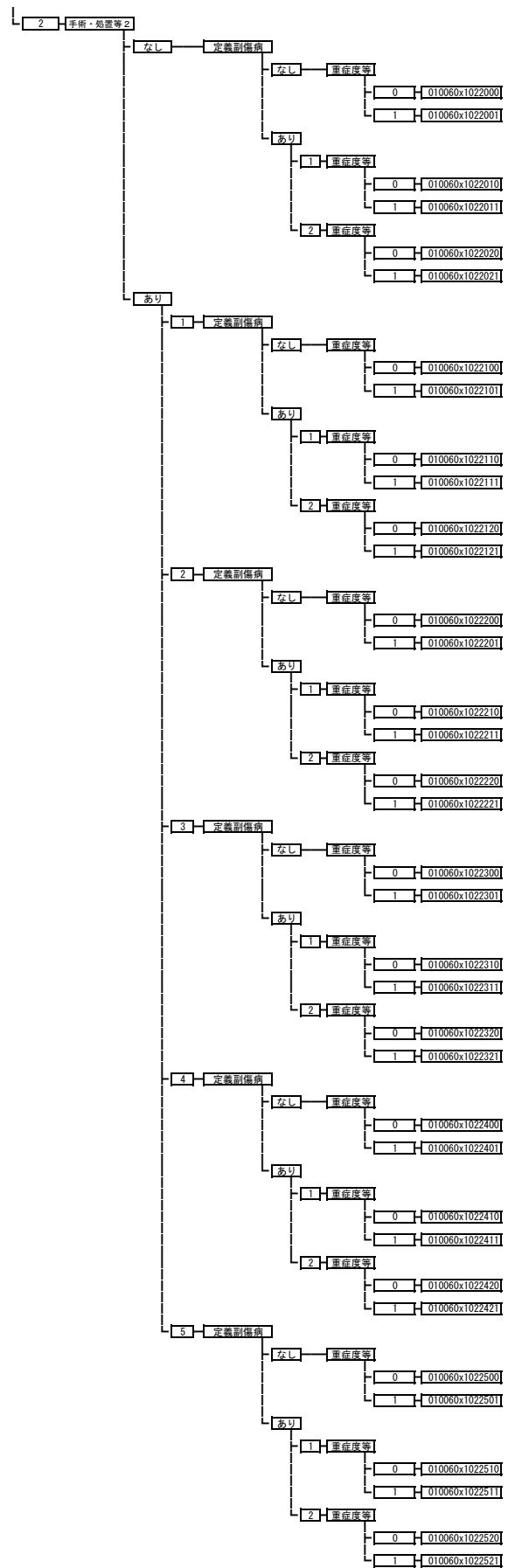


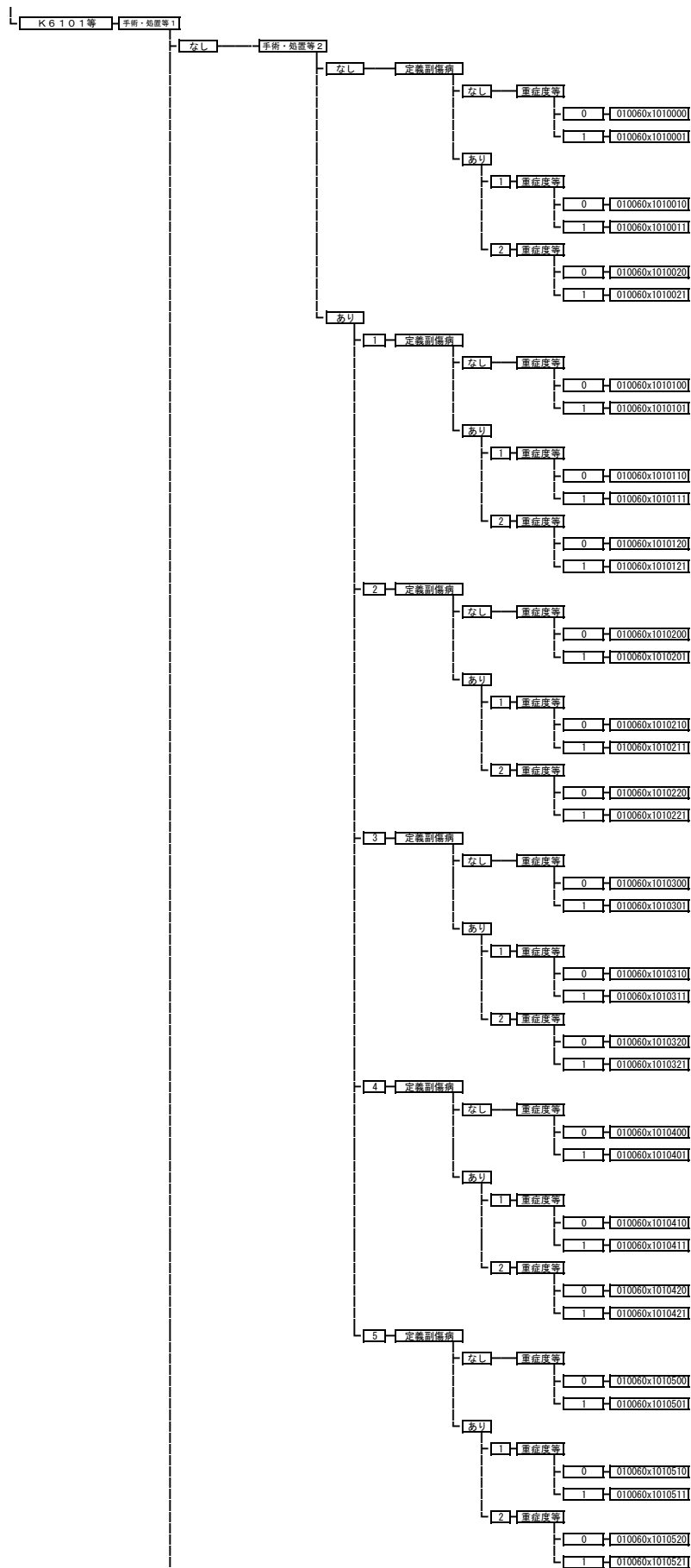


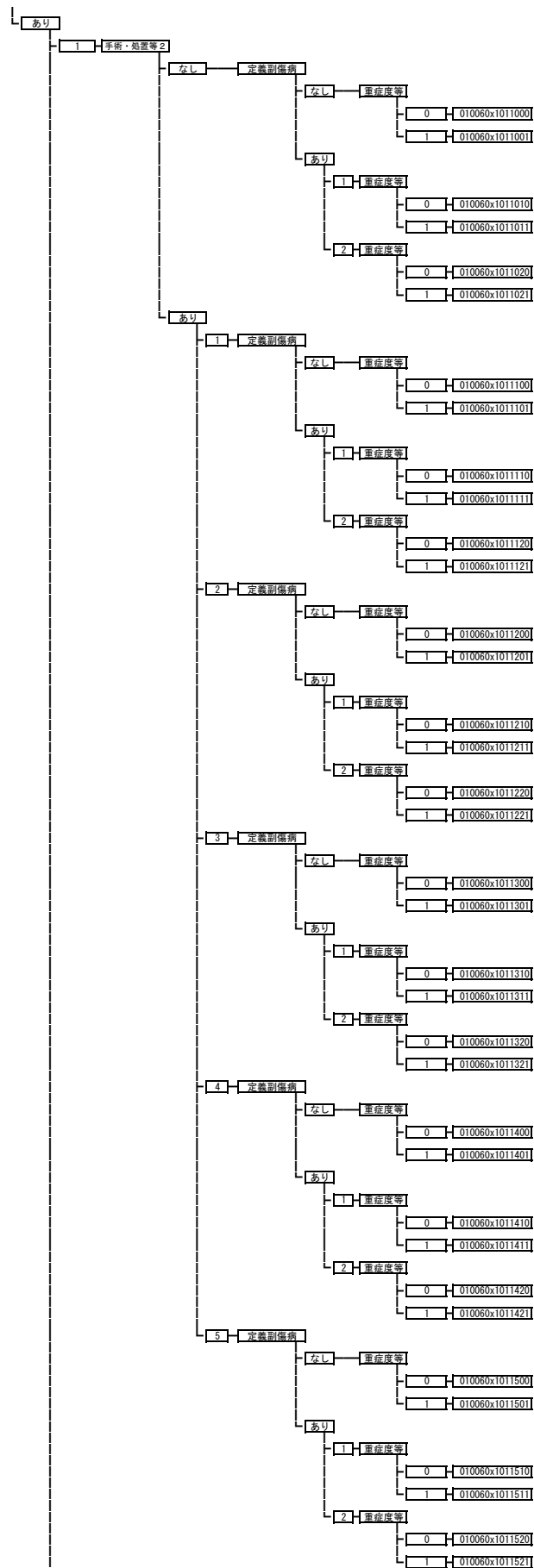


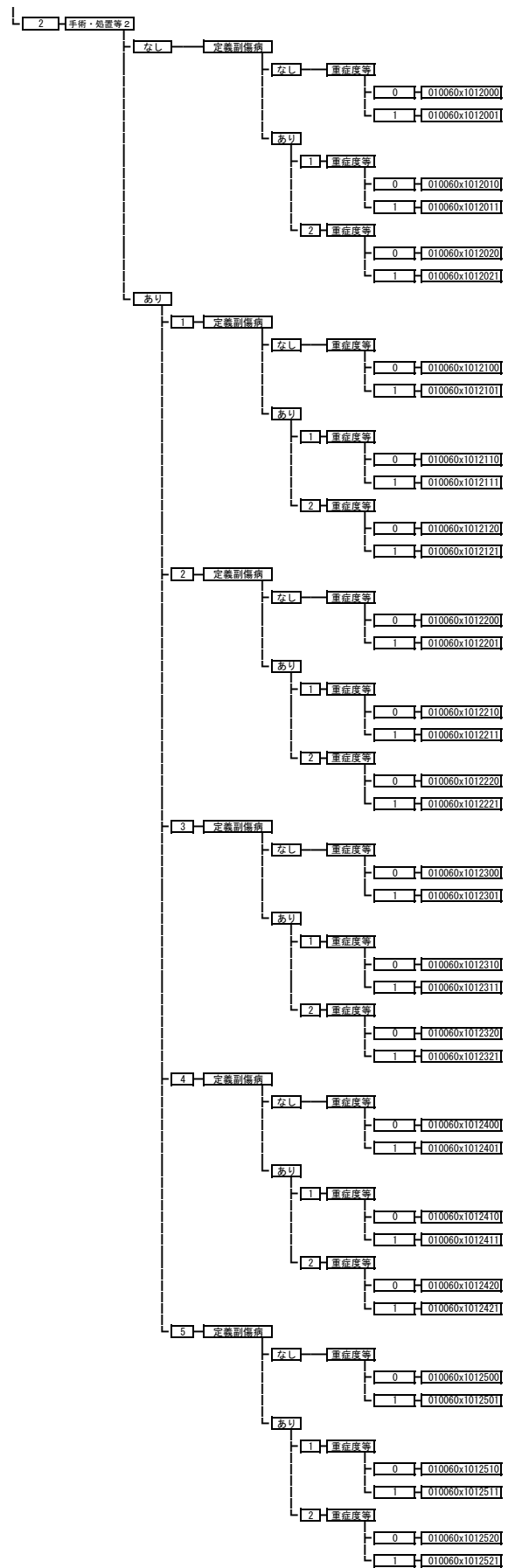


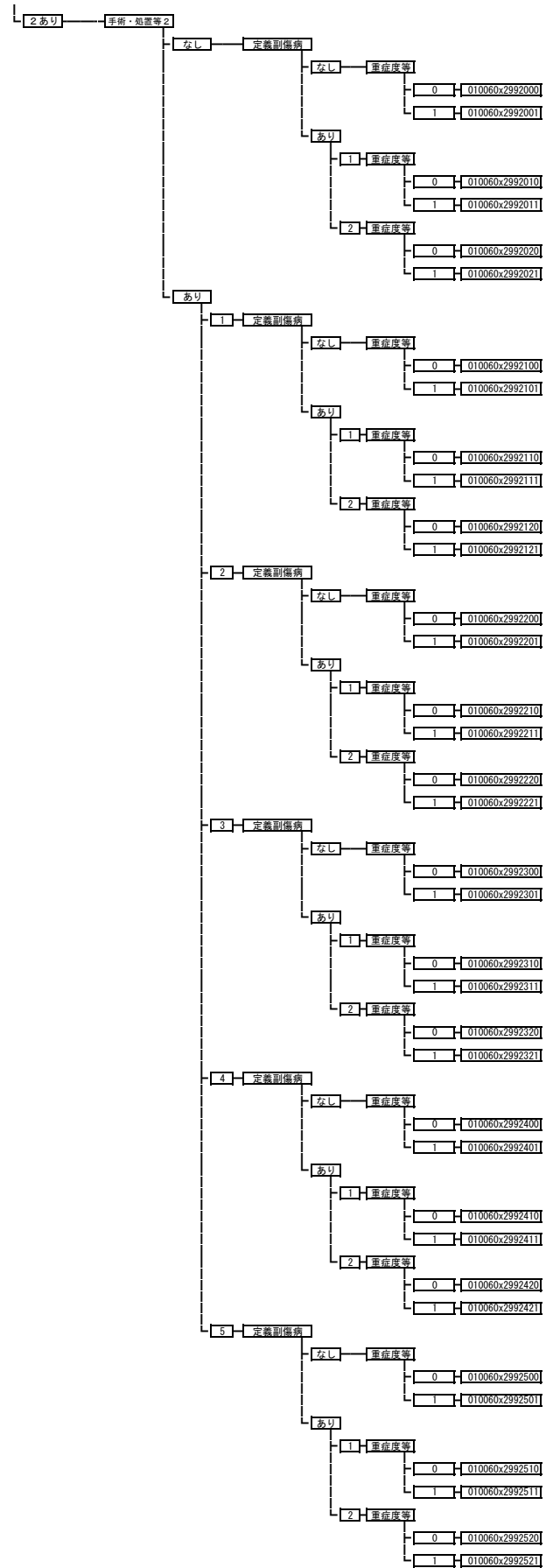


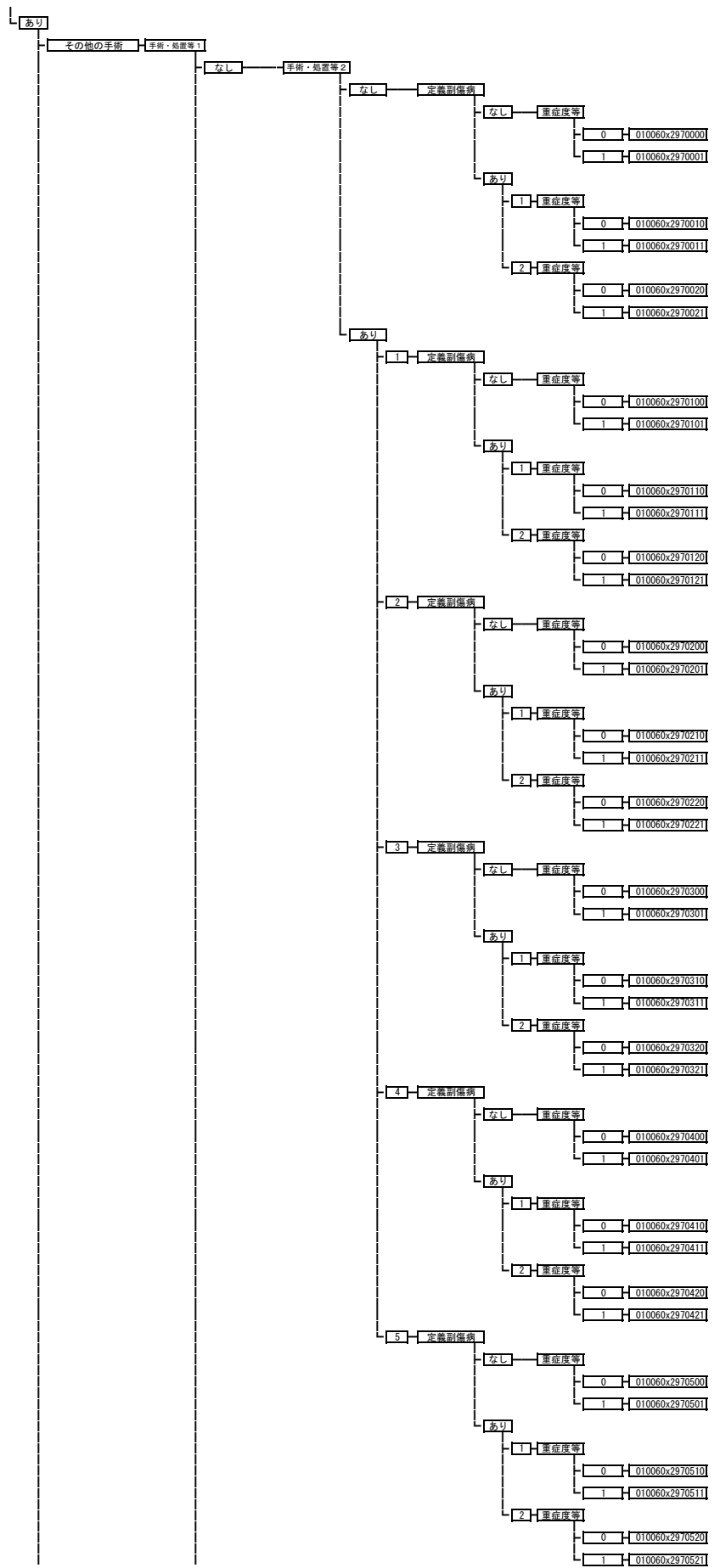


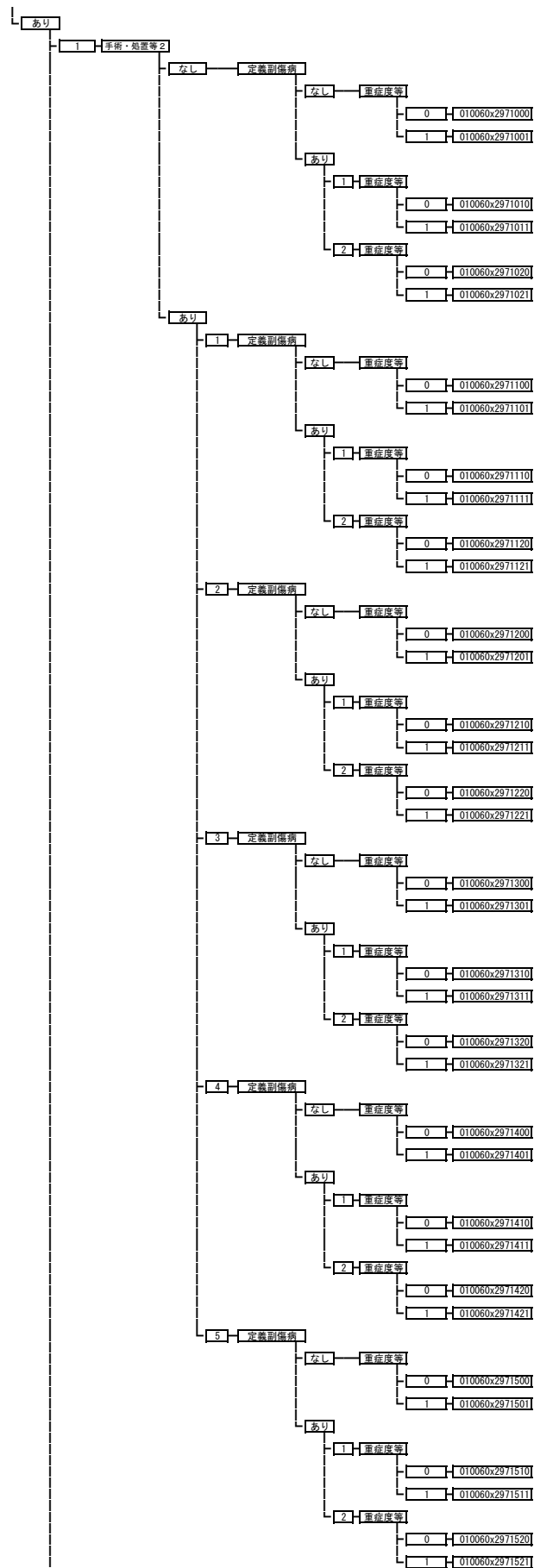


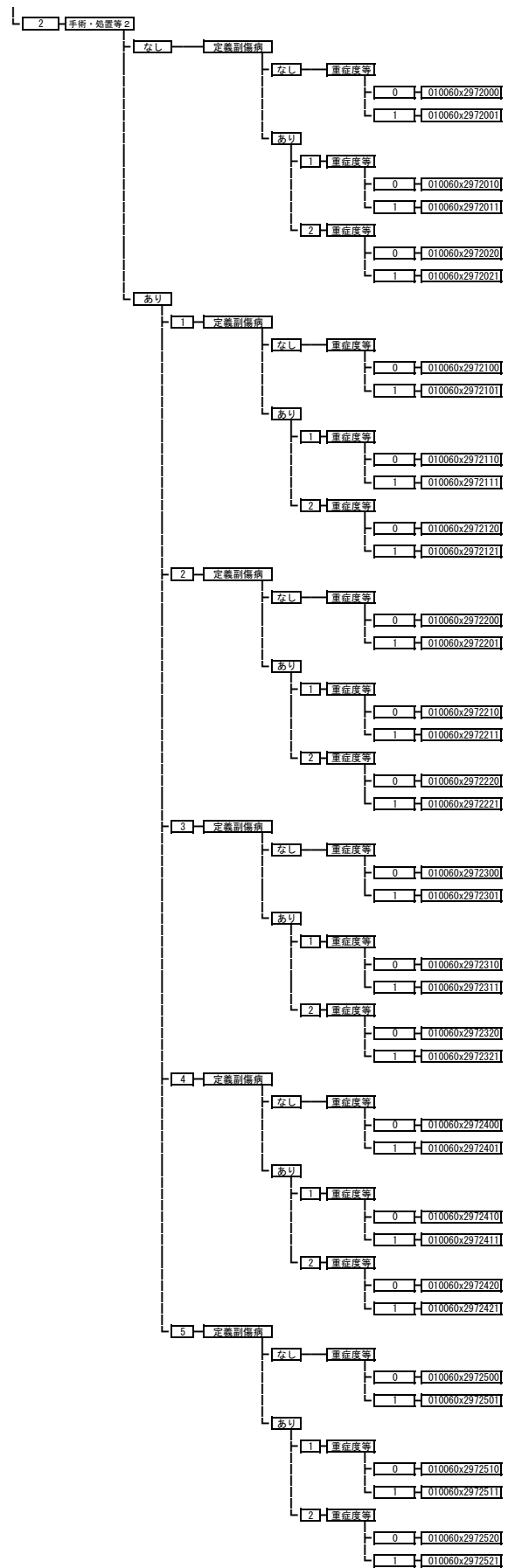


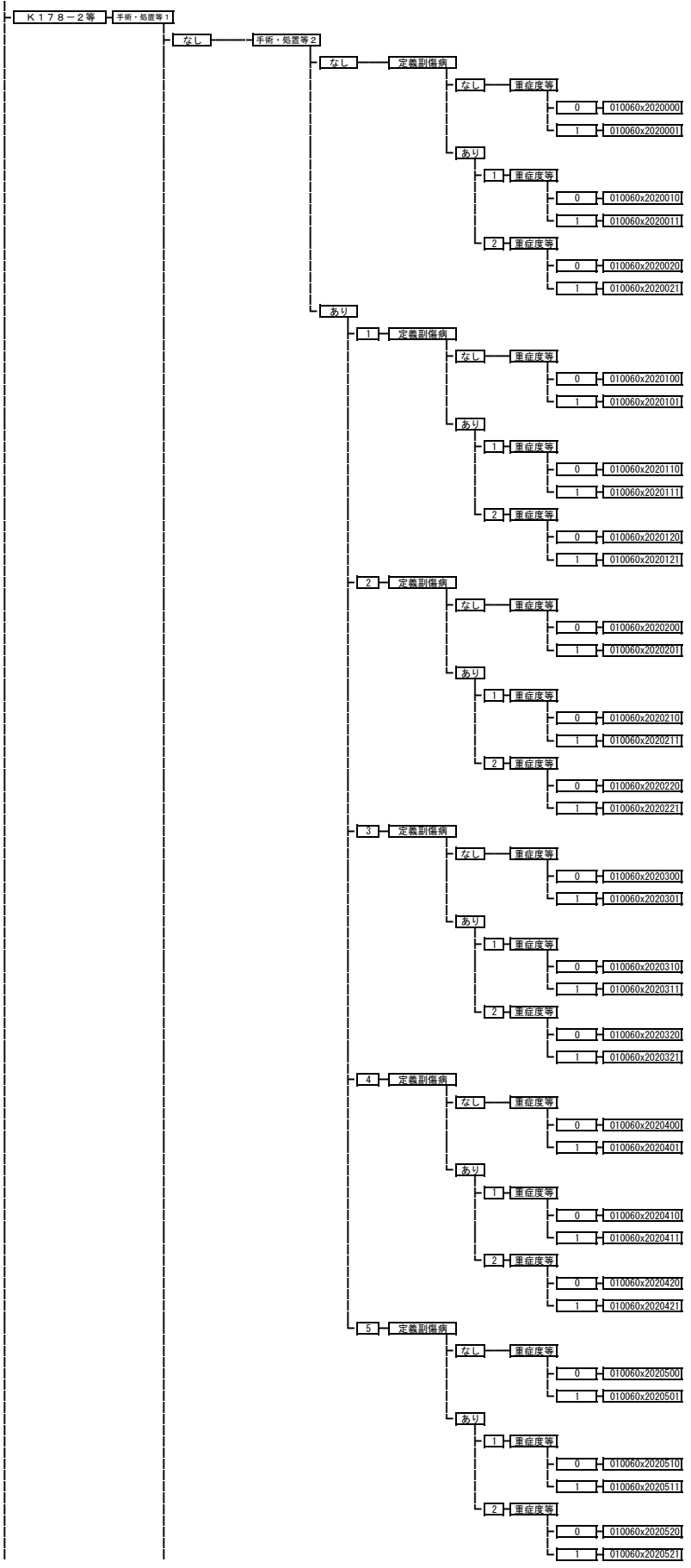


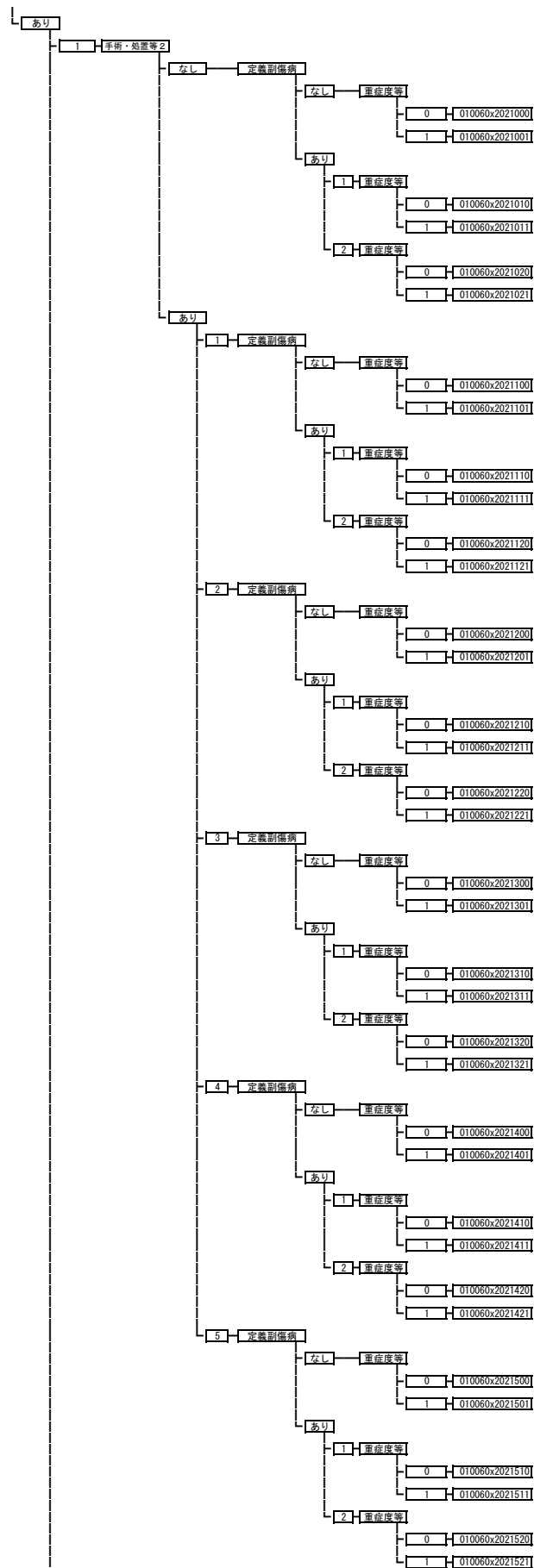


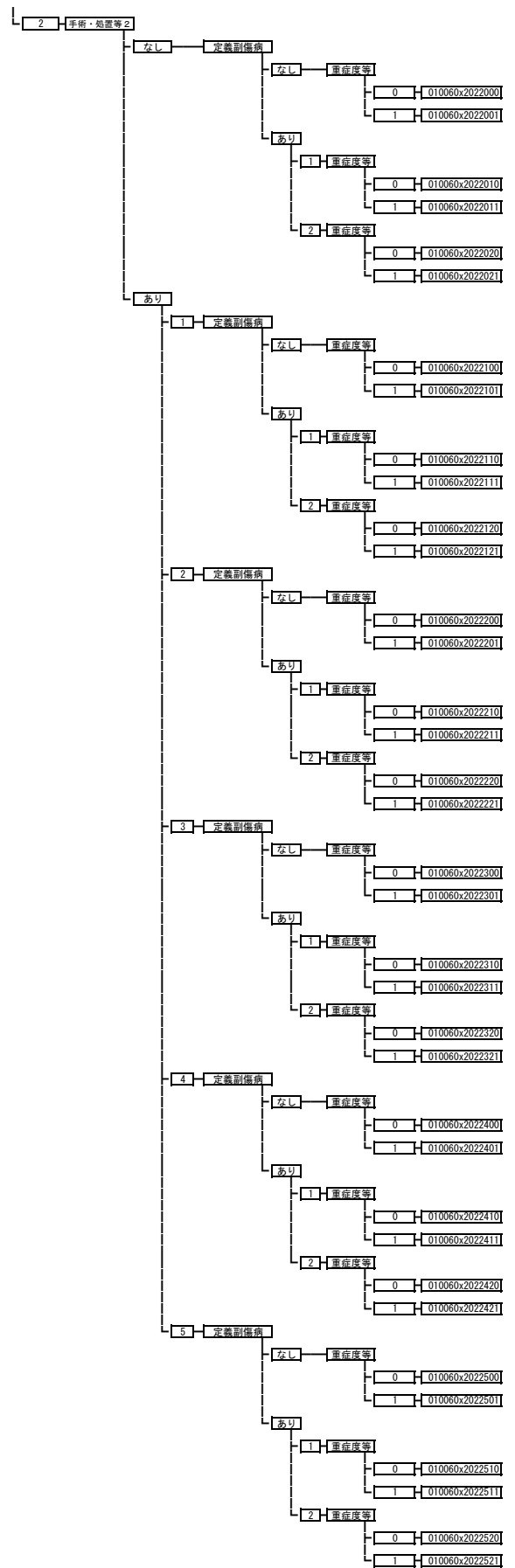


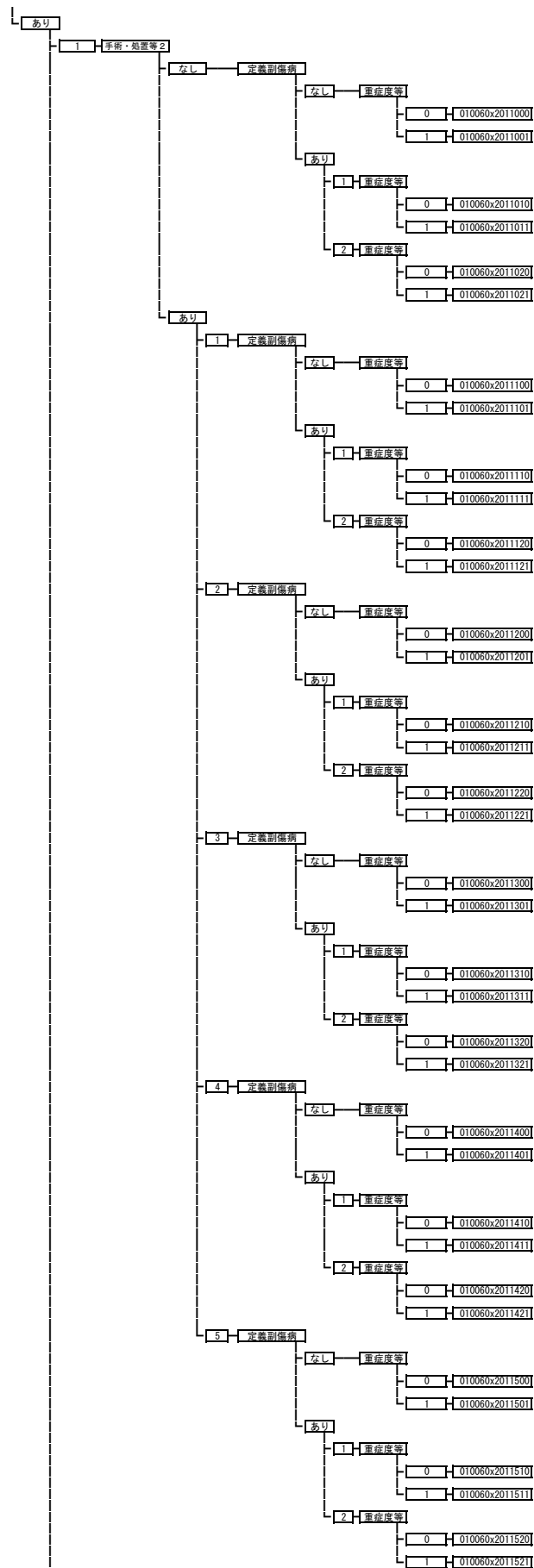


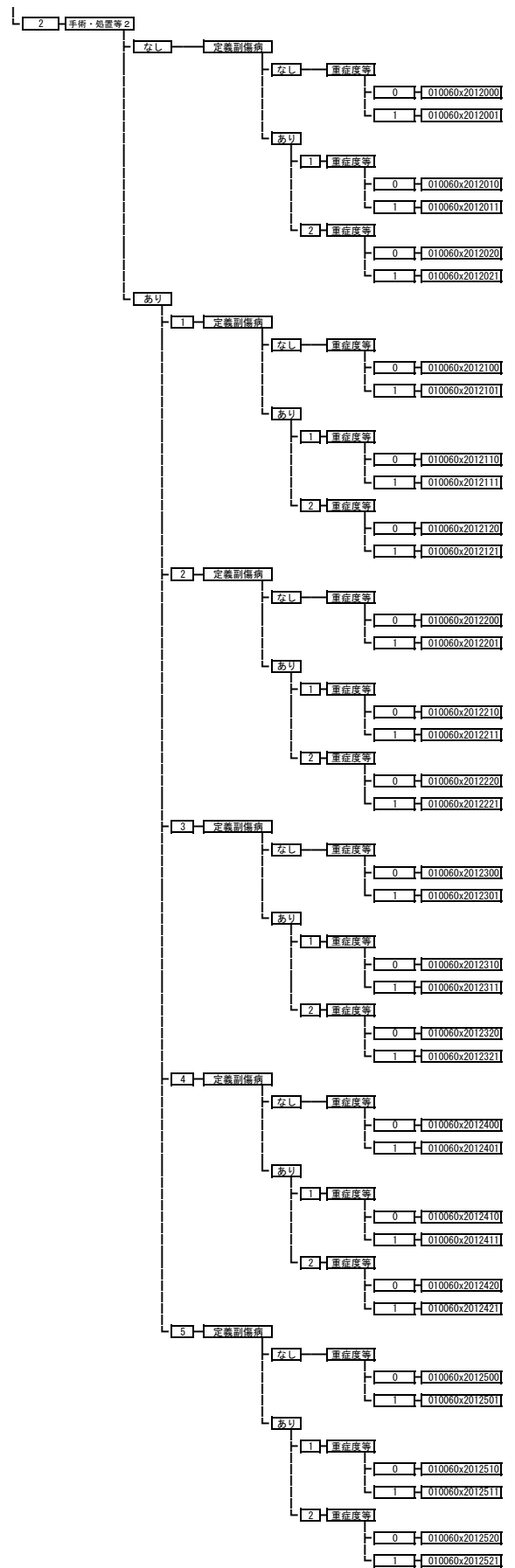


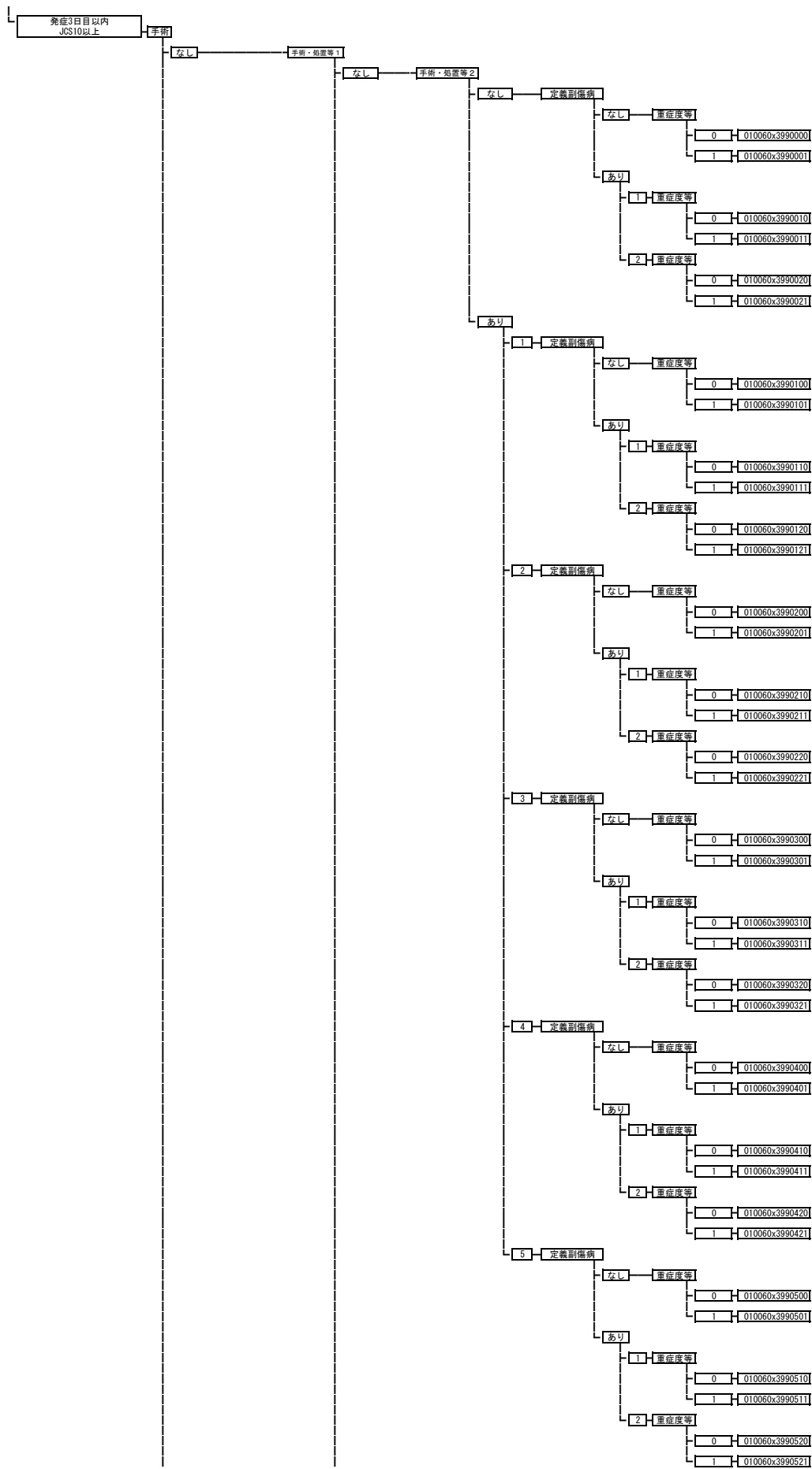


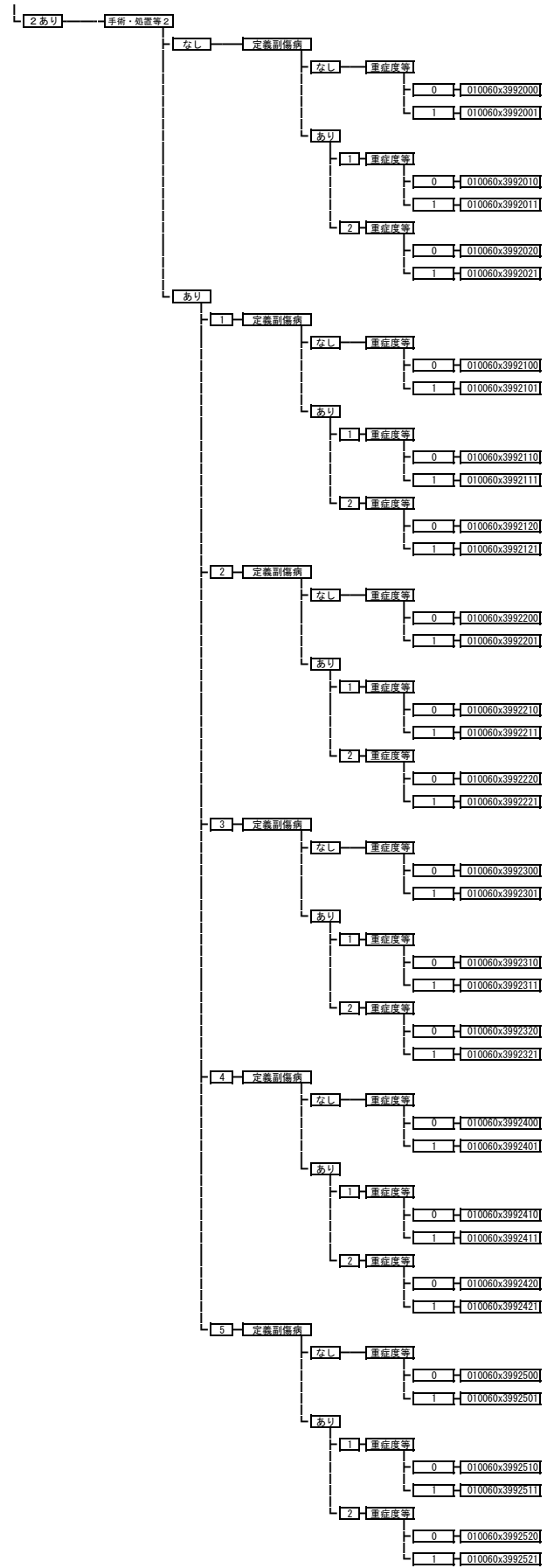


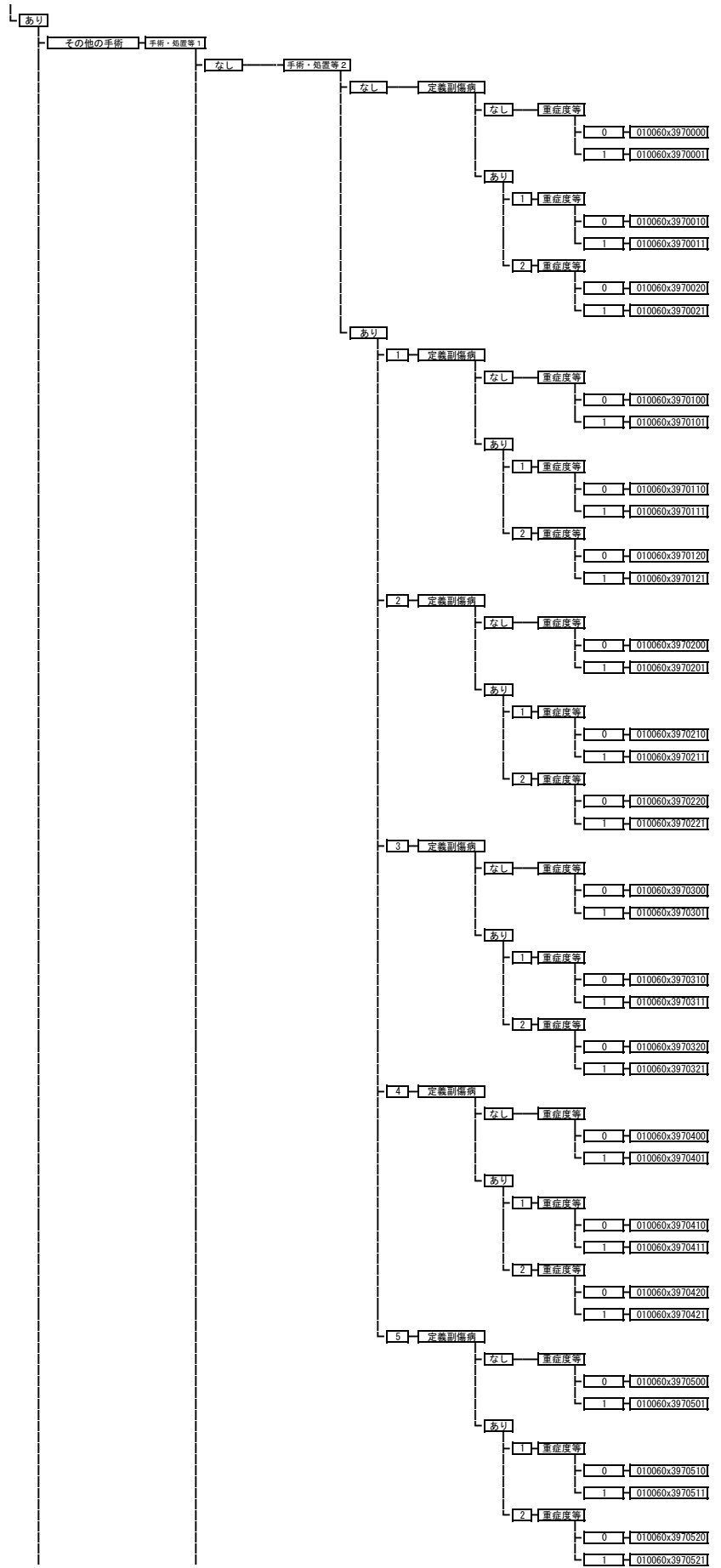


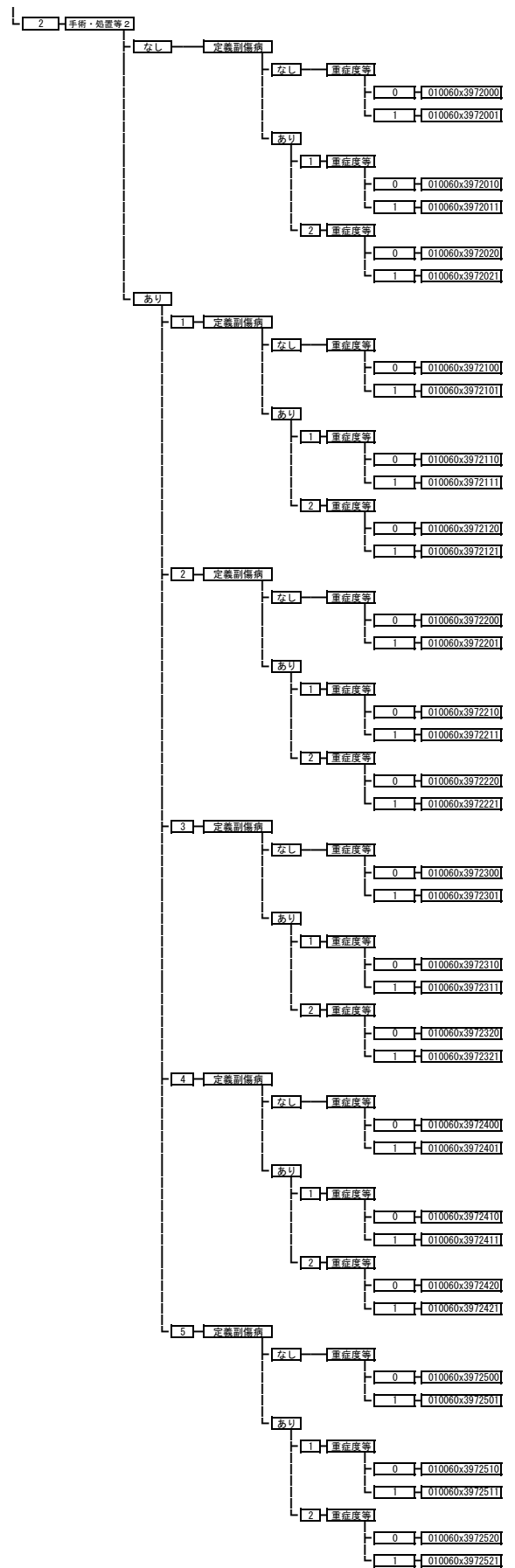


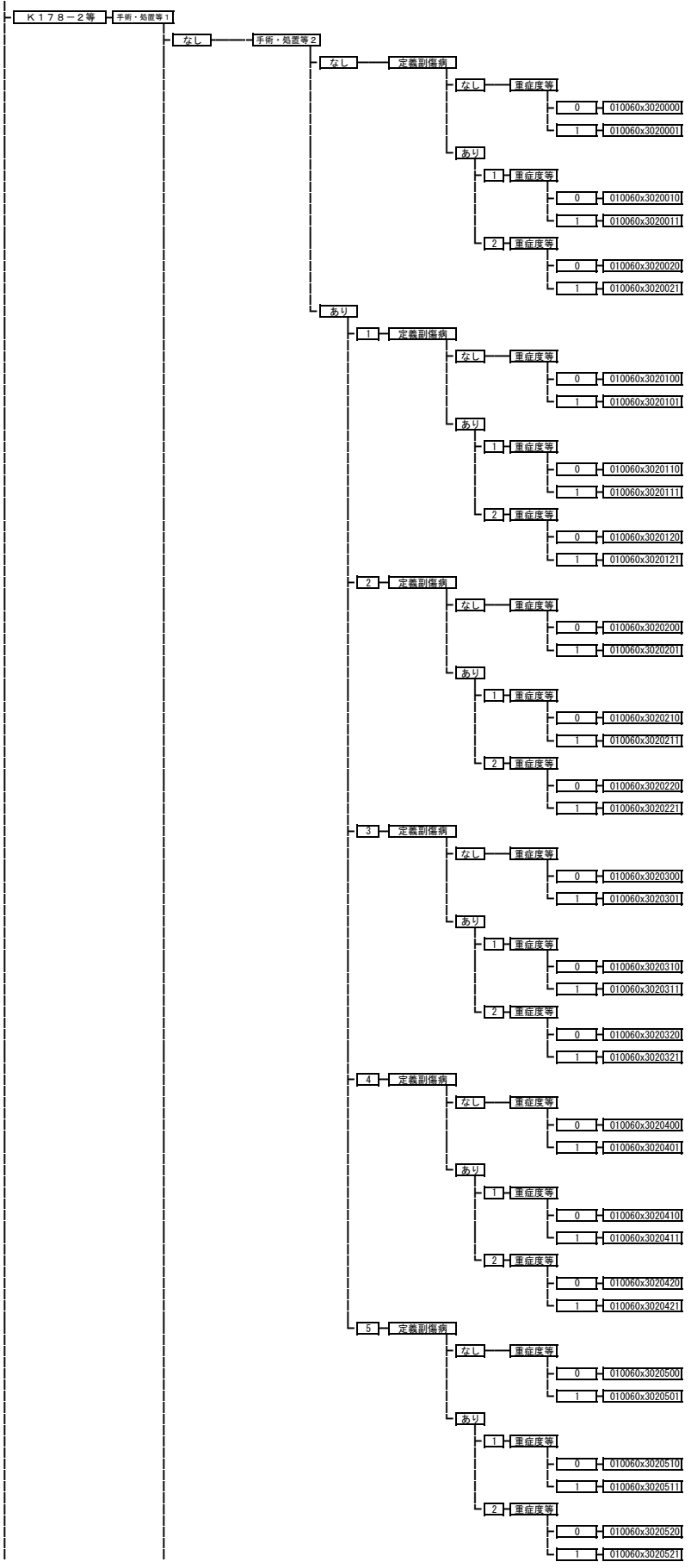


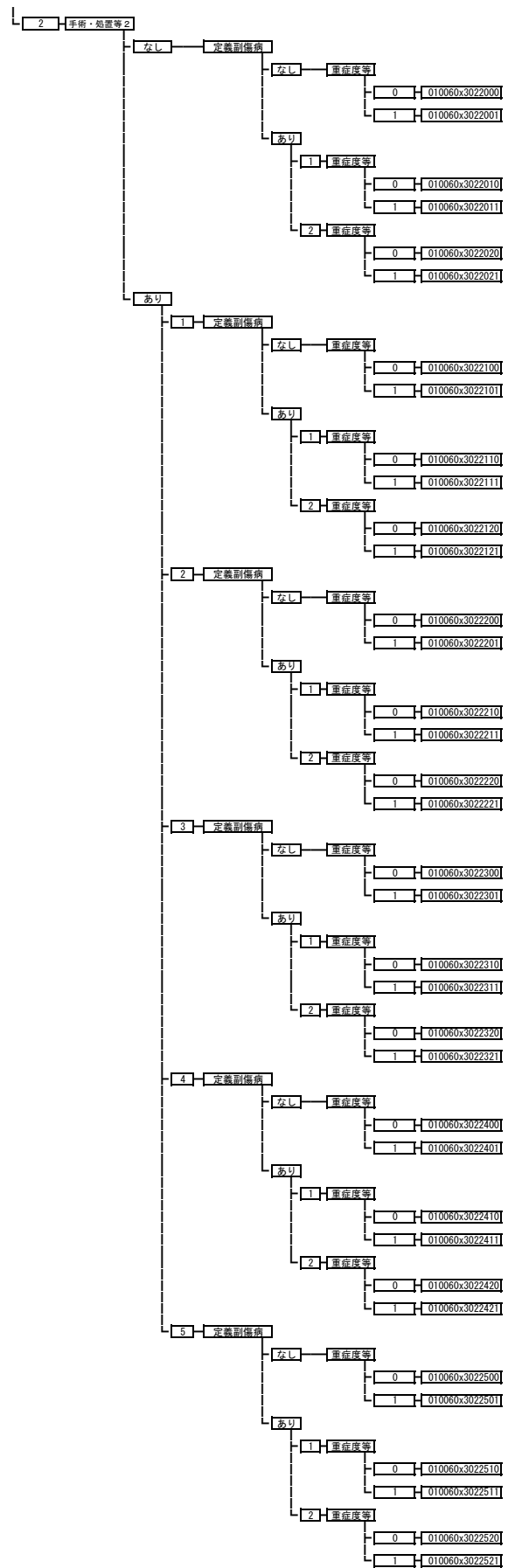


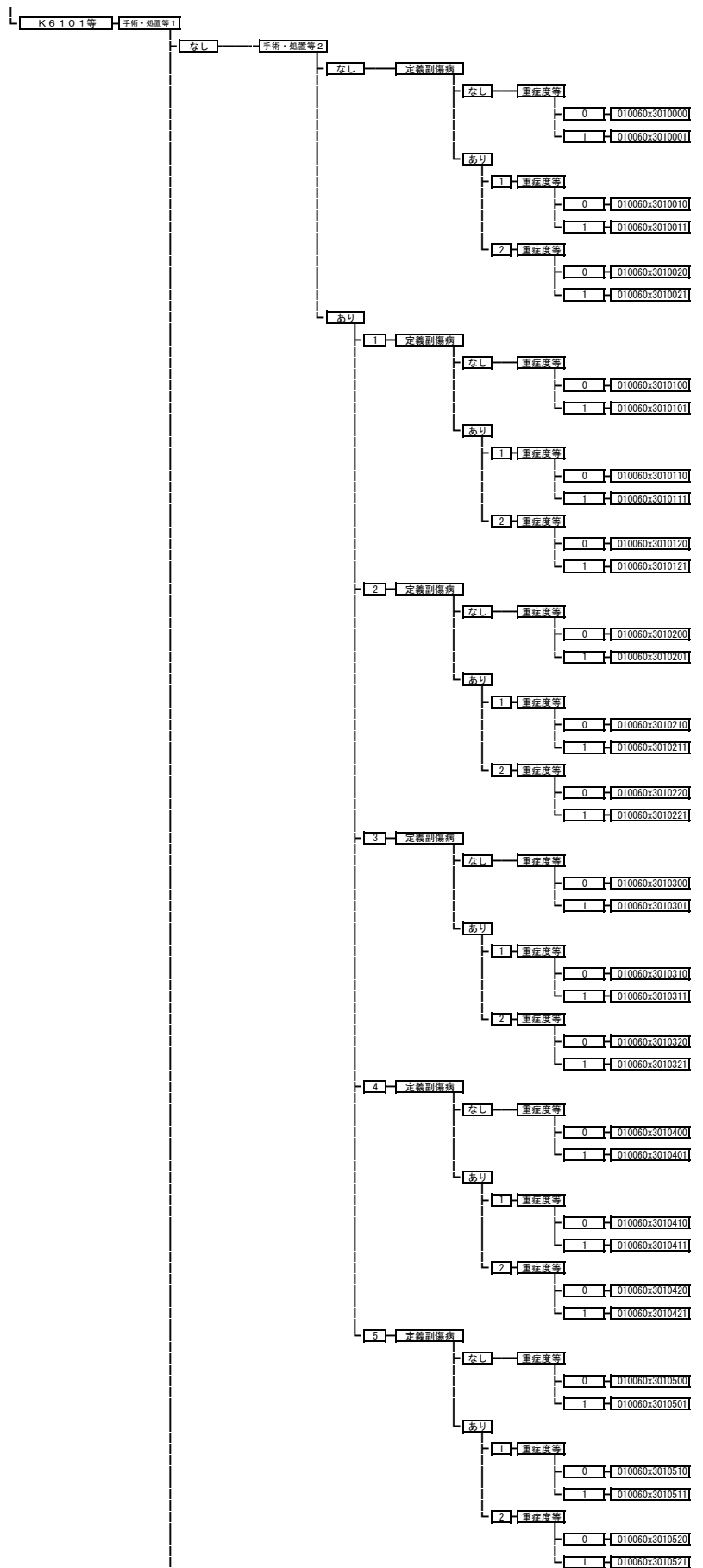


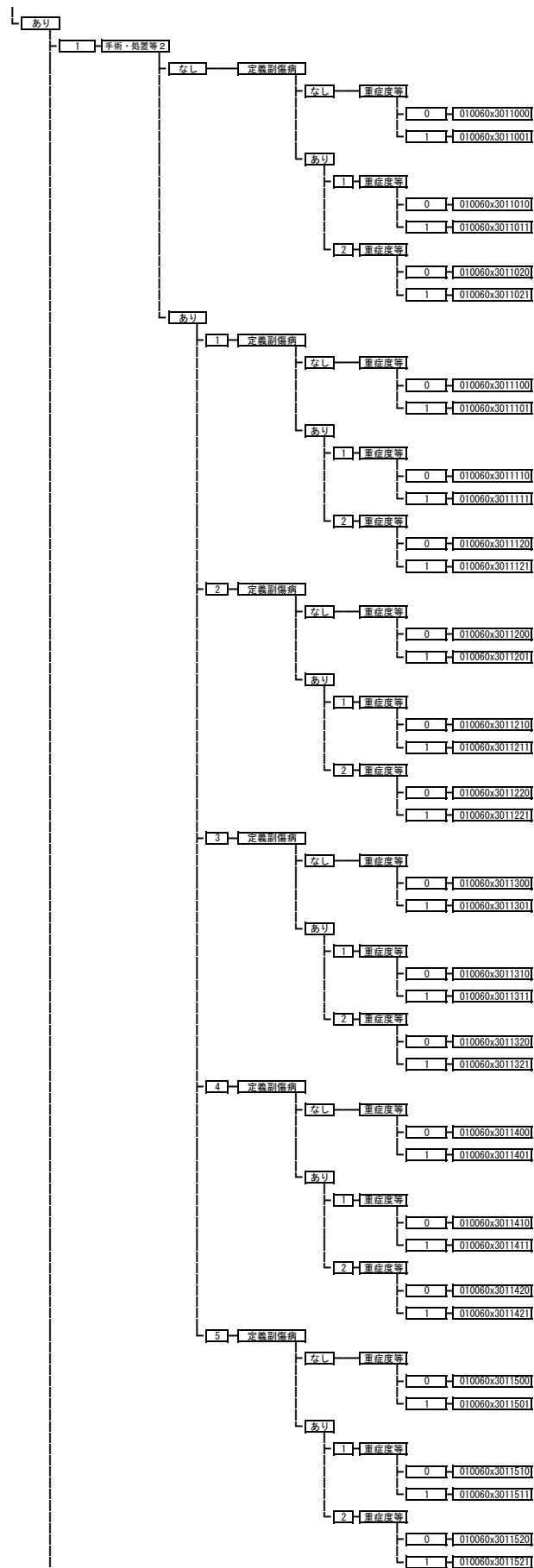


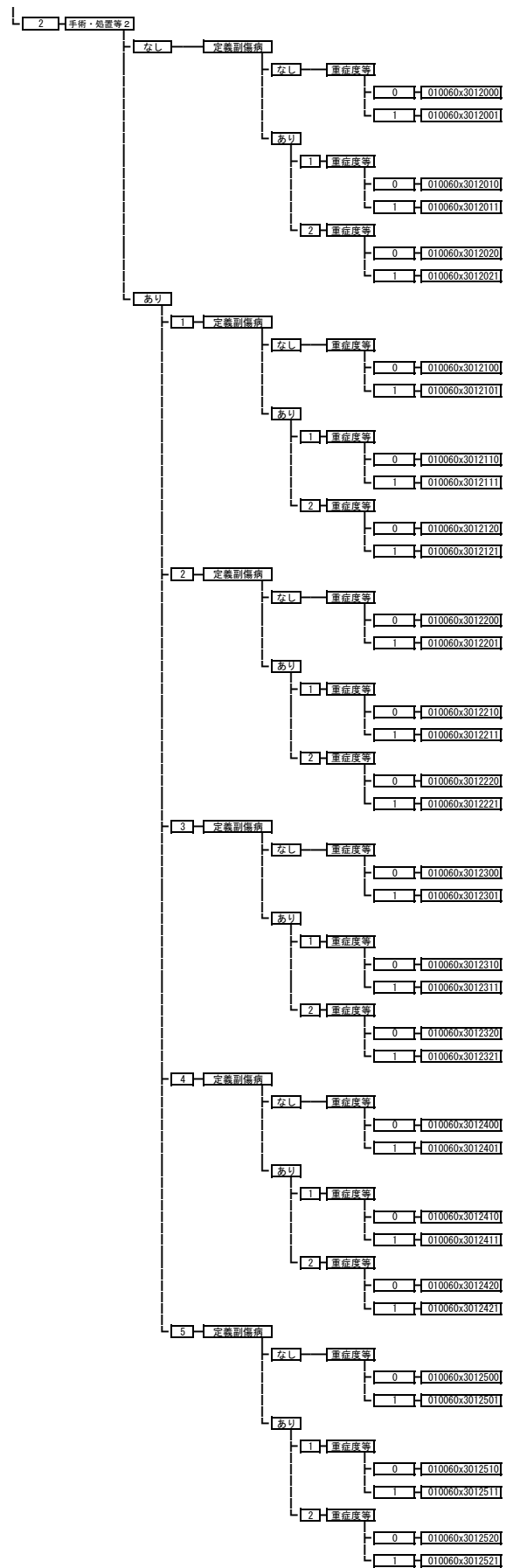












010061 一過性脳虚血発作

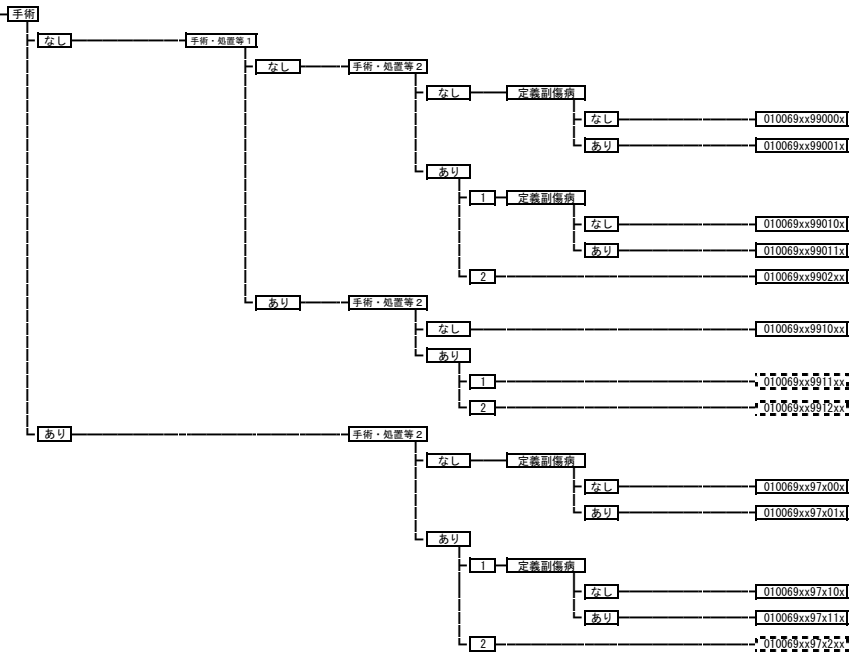
手術・処置等2

なし 010061xxxx0xx

あり 010061xxxx1xx

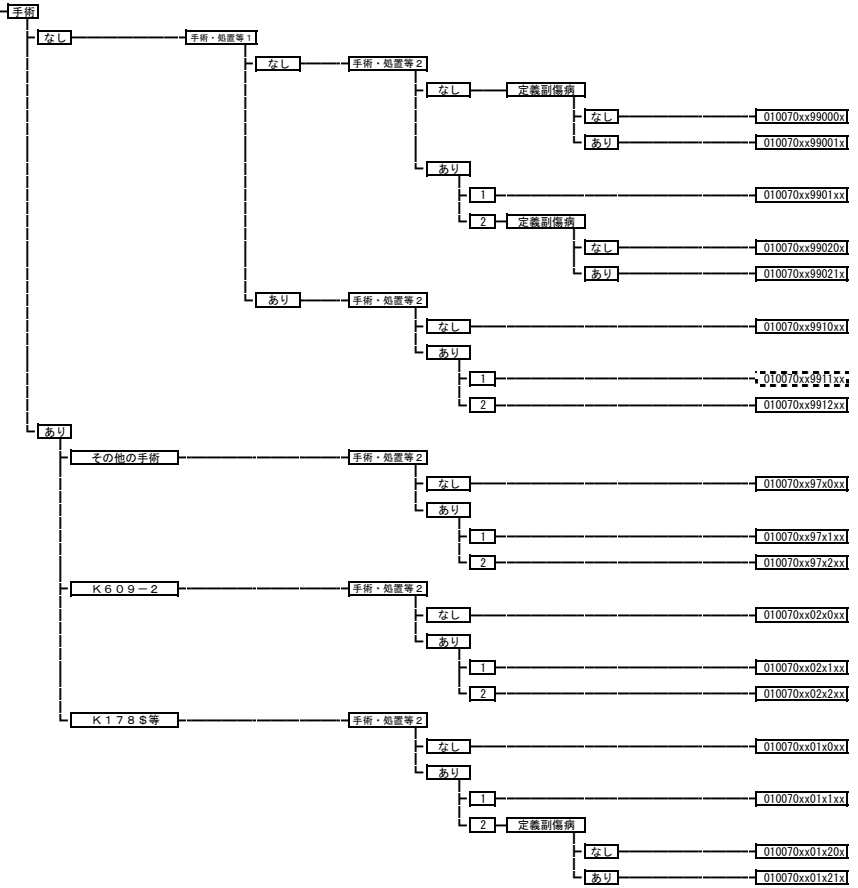
010069 脳卒中の続発症

手術・処置等 2
1:人工呼吸など
2:非放射線性キセノン脳血流動態検査など



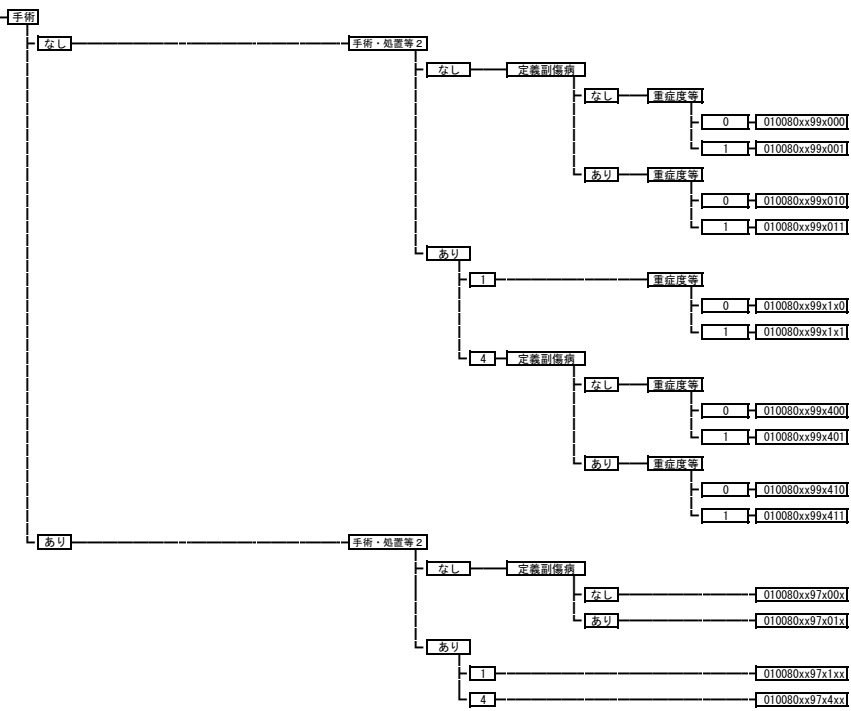
010070 脳血管障害

手術・処置等 2
1:人工呼吸など
2:非放射線性キセノン脳血流動態検査など



010080 脳脊髄の感染を伴う炎症

手術・処置等2
1:人工呼吸など
4:ガンマグロブリン



010083 結核性髄膜炎、髄膜脳炎

010083xxxxxxxx

010086 フリオン病

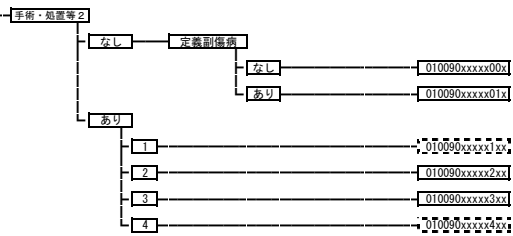
010086xxxxxxxx

010089 亜急性硬化性全脳炎

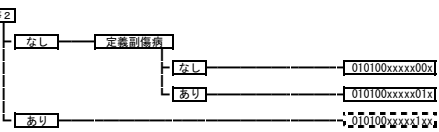
010089xxxxxxxx

010090 多発性硬化症

手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
2:血漿交換療法
3:インターフェロン、グラチラマー酢酸塩
4:ナタリズマブ

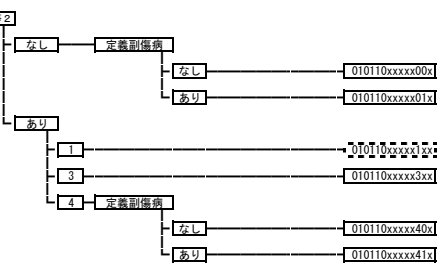


010100 脱髄性疾患（その他）

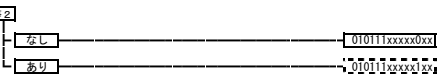


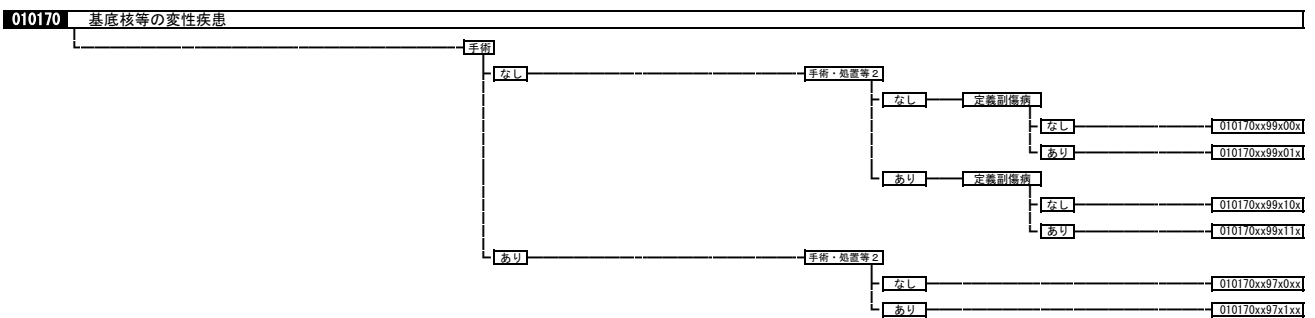
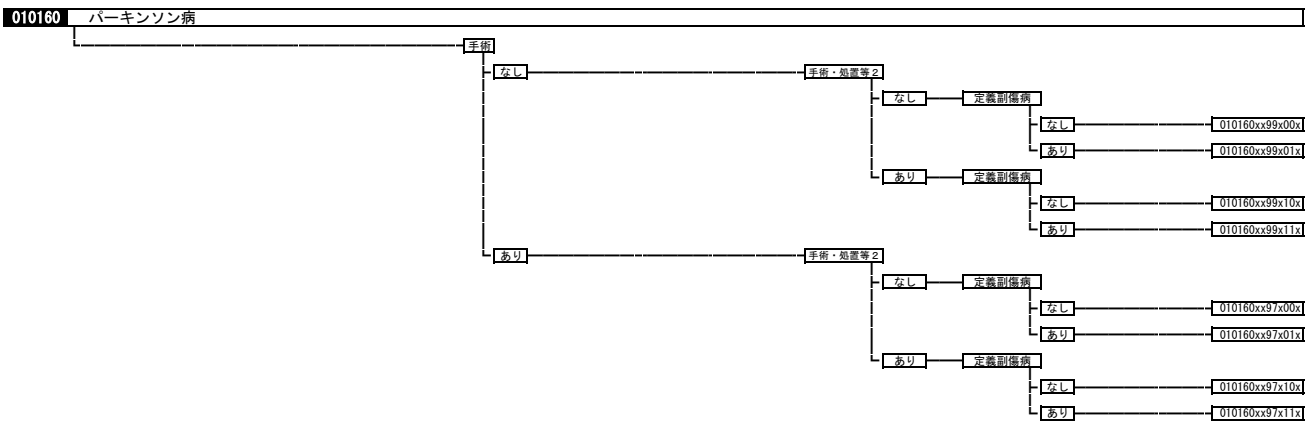
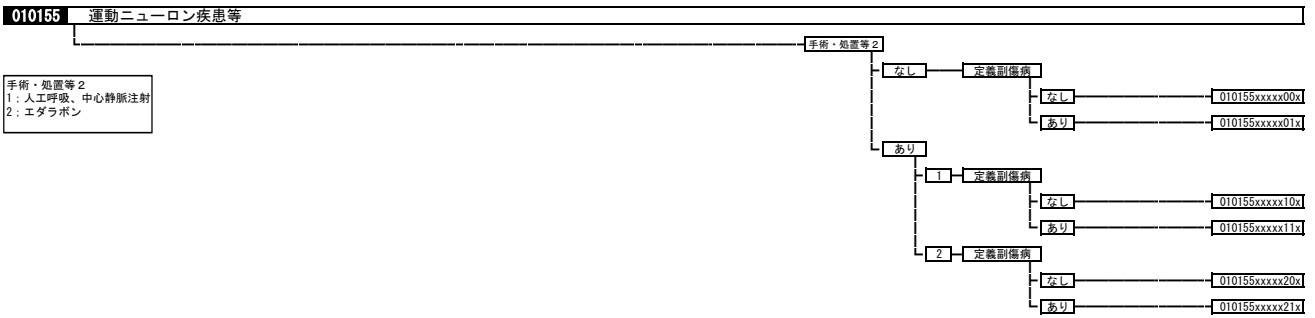
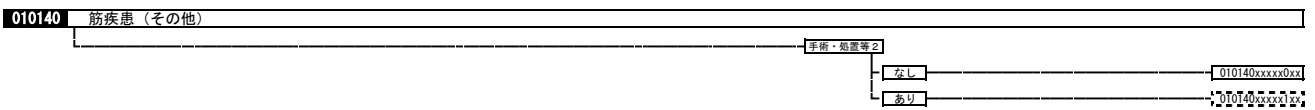
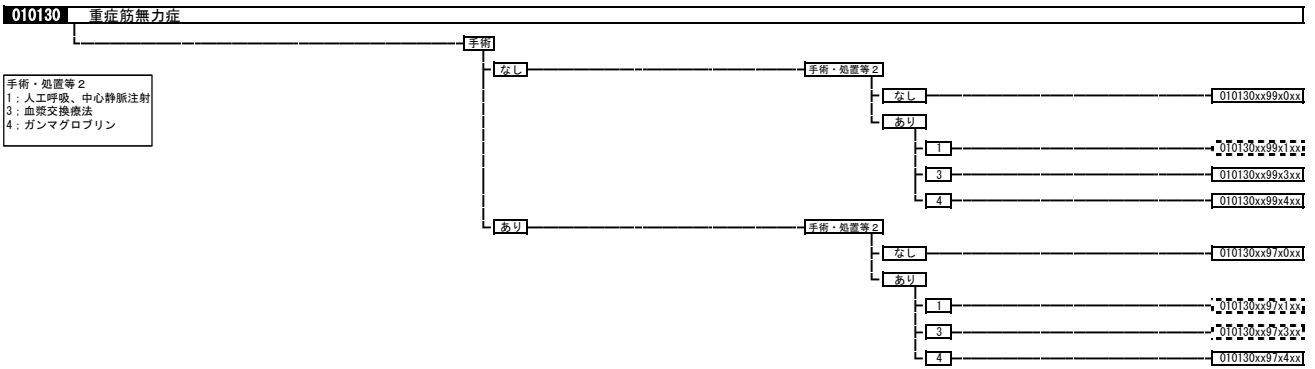
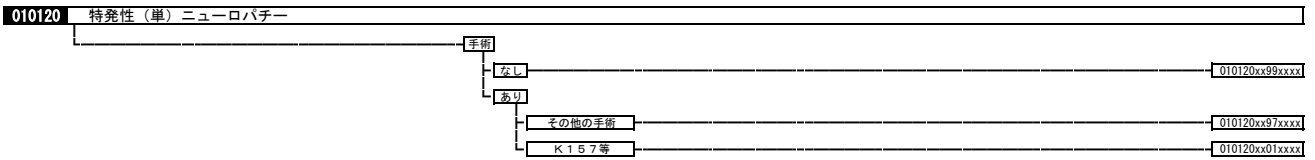
010110 免疫介在性・炎症性ニューロパチー

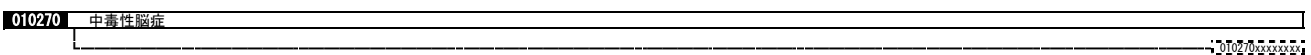
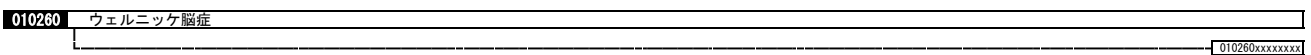
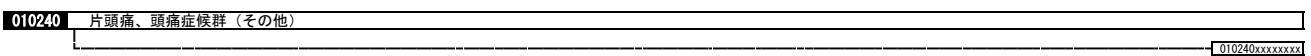
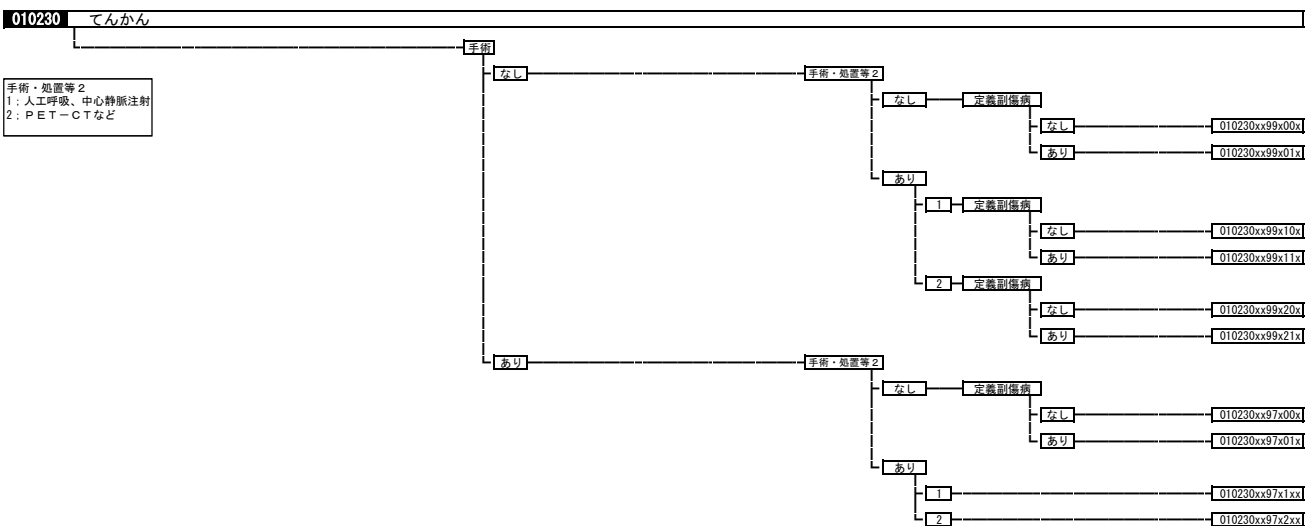
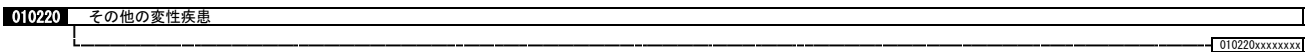
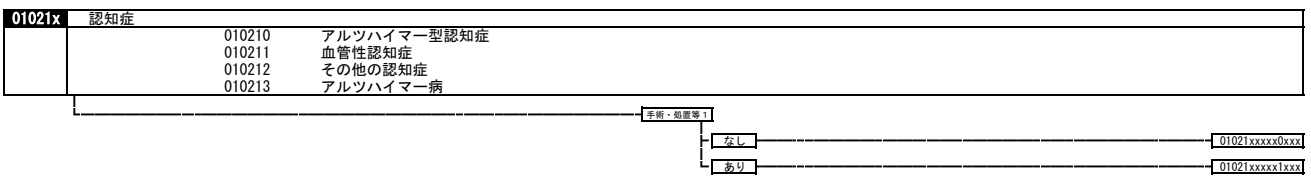
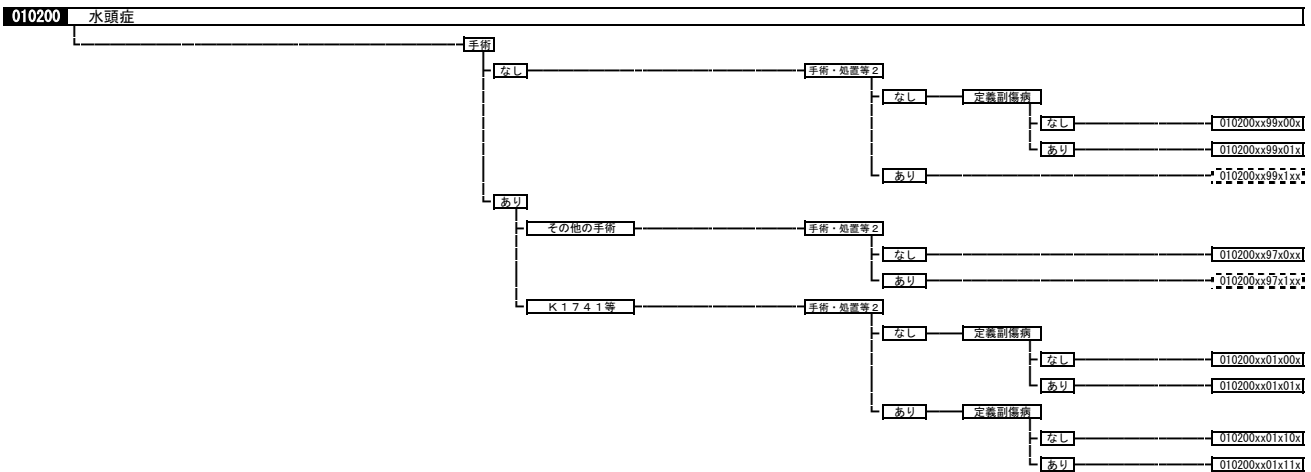
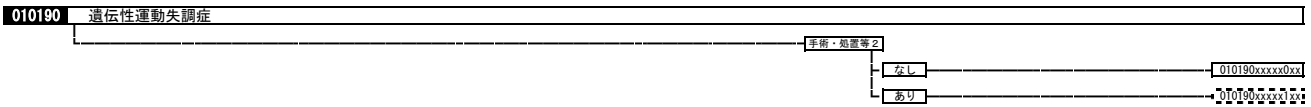
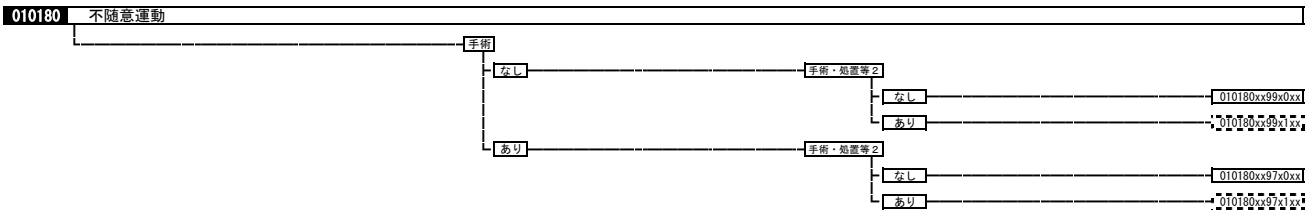
手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
3:血漿交換療法
4:ガンマグロブリン

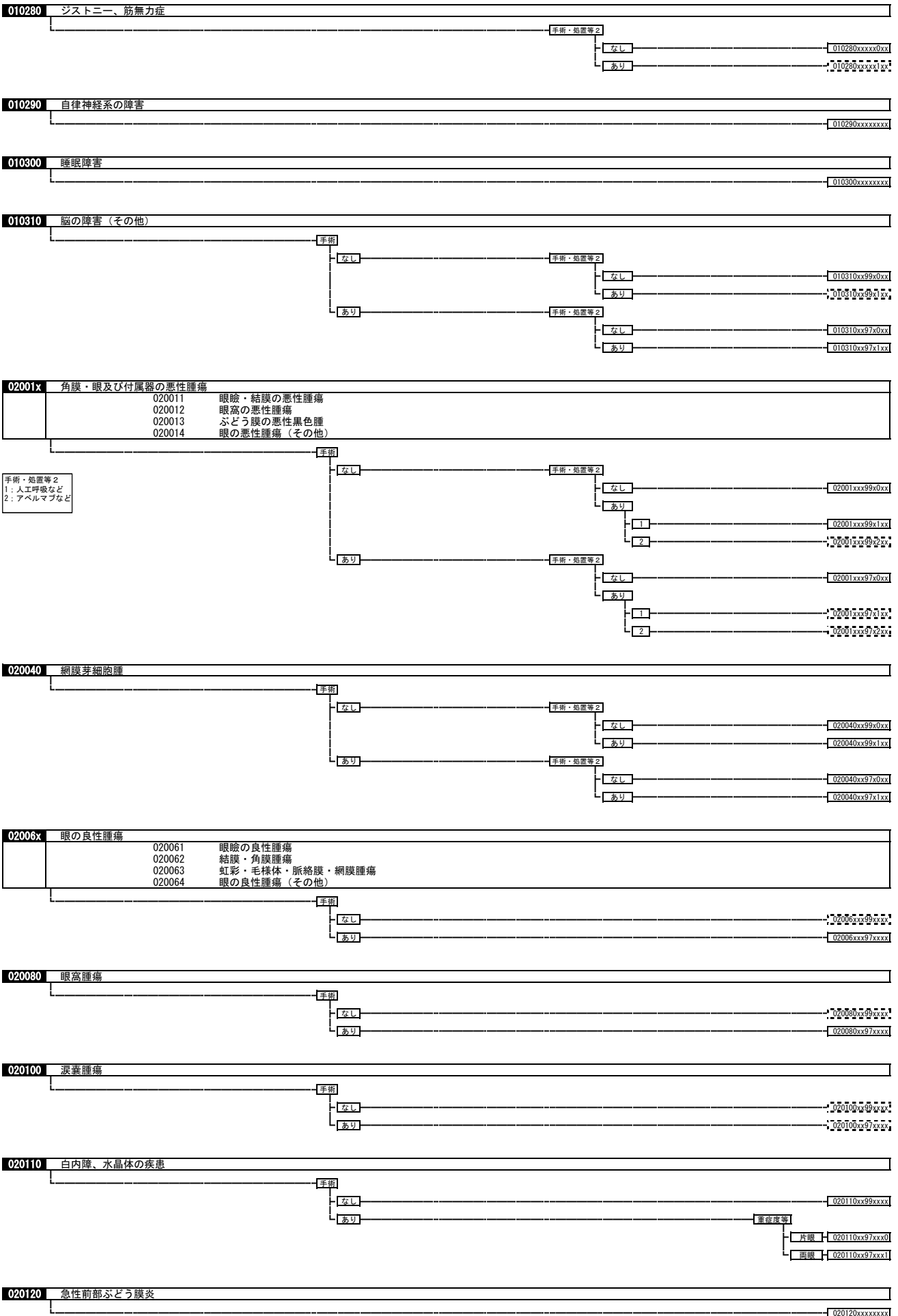


010111 遺伝性ニューロパチー









手術・処置等 2
 1：人工呼吸など
 2：アレルマブなど

020130 原田病

020130xxxxxxx

020140 網脈絡膜炎・網膜炎・急性網膜壊死

020140xxxxxxx

020150 斜視（外傷性・癒着性を除く。）

手術

なし
あり

020150xx99xxxx
020150xx97xxxx

020160 網膜剥離

手術

なし
あり

重症度等

片眼 020160xx97xxx0
両眼 020160xx97xxx1

020180 糖尿病性増殖性網膜症

手術

手術・処置等2
1:人工腎臓 その他の場合、全身麻酔
2:ラニビズマブ、アフリベルセプト

なし

手術・処置等2

なし
あり

020180xx990xxx

あり

手術・処置等2

なし

重症度等

片眼 020180xx97x0x0
両眼 020180xx97x0x1

あり

1

重症度等

片眼 020180xx97x1x0
両眼 020180xx97x1x1

2

重症度等

片眼 020180xx97x2x0
両眼 020180xx97x2x1

020190 未熟児網膜症

手術

なし
あり

020190xx990xxx
020190xx970xxx

020200 黄斑、後極変性

手術

手術・処置等2
1:ベガブタニブナトリウム
2:ラニビズマブ、アフリベルセプト

なし

手術・処置等2

なし
あり

020200xx990xxx
020200xx991xxx
020200xx992xxx

あり

手術・処置等1

なし

手術・処置等2

なし
あり

020200xx970xxx

あり

1

020200xx970xxx

2

020200xx970xxx

あり

手術・処置等2

なし

重症度等

020200xx9710xx

あり

1

重症度等

020200xx9710xx

2

重症度等

020200xx9710xx

020210 網膜血管閉塞症

手術

なし

手術・処置等2

なし
あり

020210xx990xxx
020210xx991xxx

あり

その他の手術

手術・処置等2

なし
あり

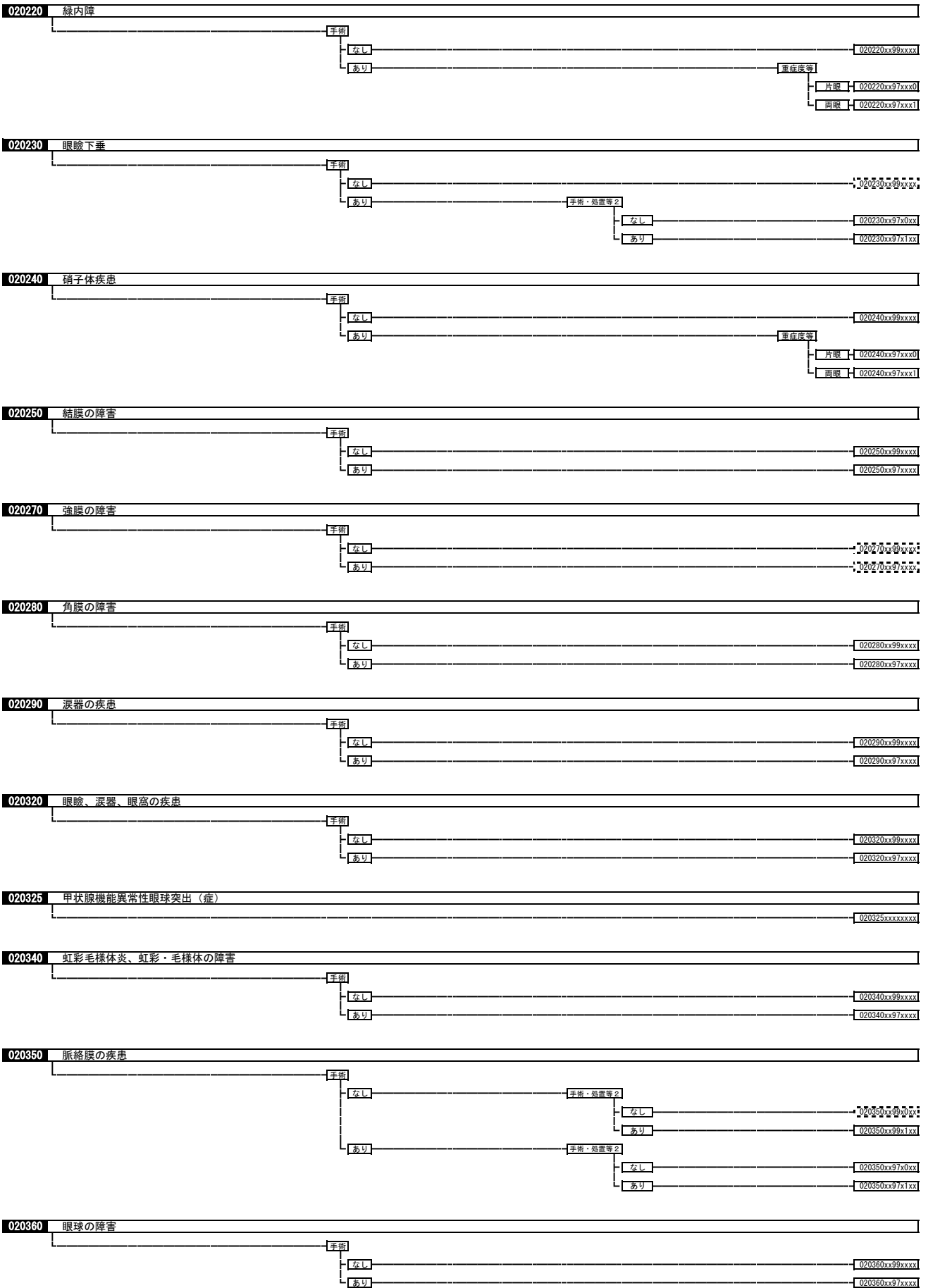
020210xx970xxx
020210xx971xxx

K281

手術・処置等2

なし
あり

020210xx010xxx
020210xx011xxx



020370 視神経の疾患

手術

なし

020370xx99xxxx

あり

020370xx97xxxx

020380 眼球運動障害

手術

なし

020380xx99xxxx

あり

020380xx97xxxx

020390 視覚・視野障害

020390xxxxxxxx

020400 眼、付属器の障害

手術

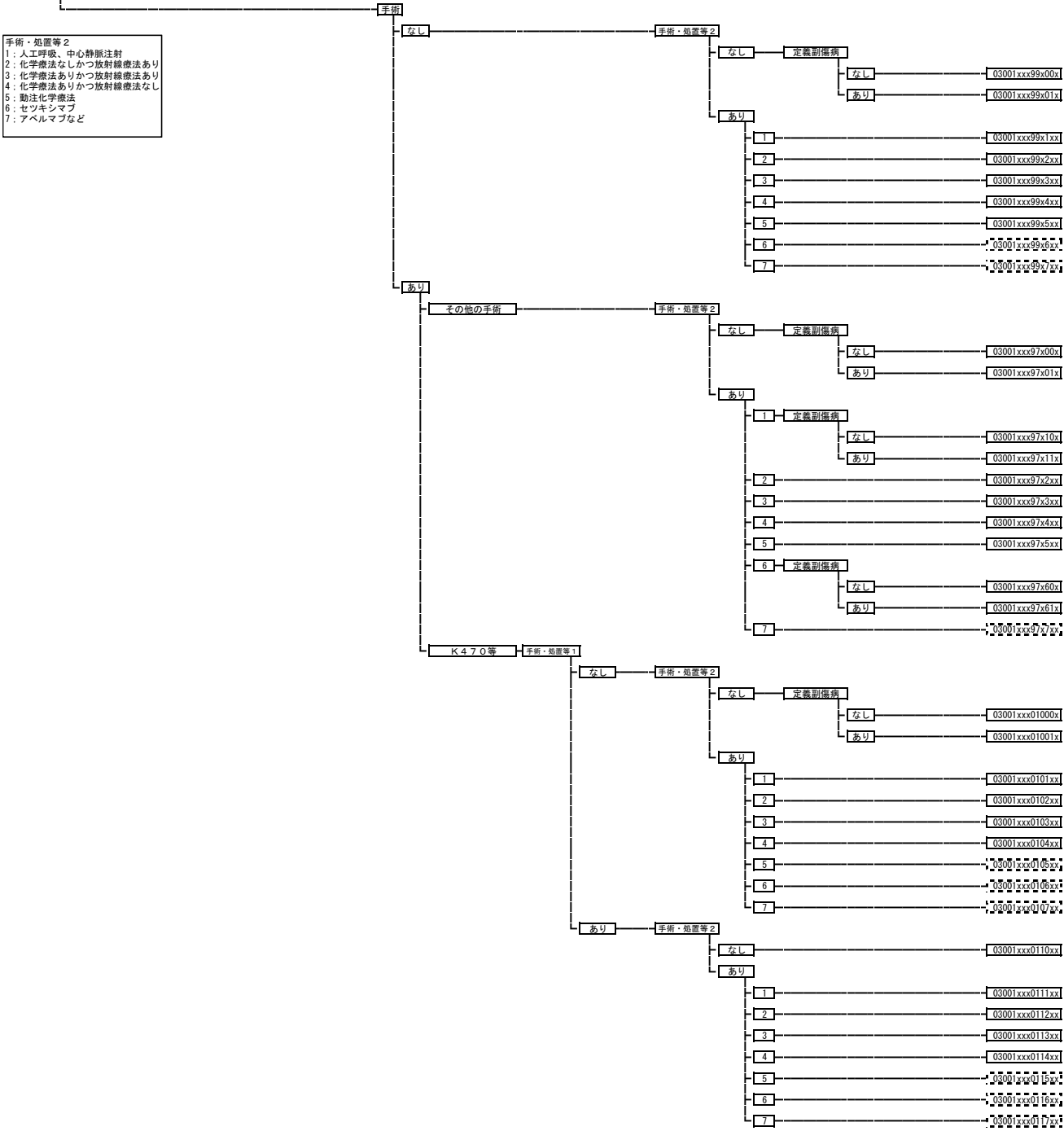
なし

020400xx99xxxx

あり

020400xx97xxxx

03001x	頭頸部悪性腫瘍		
	030010	口腔・下顎、口唇の悪性腫瘍	
	030011	唾液腺の悪性腫瘍	
	030012	上咽頭の悪性腫瘍	
	030013	中咽頭の悪性腫瘍	
	030014	下咽頭の悪性腫瘍	
	030015	喉頭の悪性腫瘍	
	030016	鼻腔・副鼻腔の悪性腫瘍	
	030017	転移性頭頸部悪性腫瘍	
	030018	聴器の悪性腫瘍	
	030019	頭頸部悪性腫瘍（その他）	



手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: 動注化学療法
 6: セツキシマブ
 7: アベルマブなど

030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍		
		手術	
		なし	030150xx99xxxxx
		あり	030150xx97xxxxx

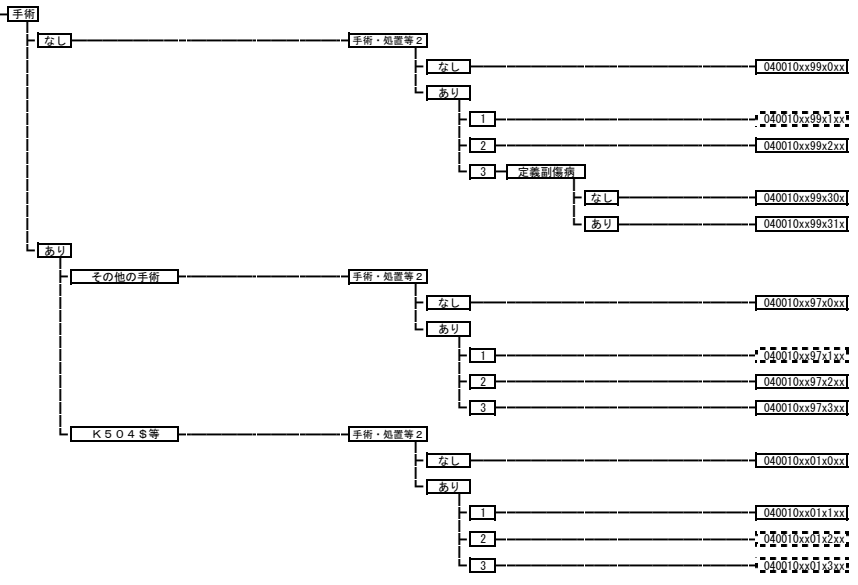
030180	口内炎、口腔疾患		
		手術	
		なし	030180xx99xxxxx
		あり	030180xx97xxxxx

030190	唾液腺炎、唾液腺腫瘍			
		手術		
		なし		030190xx99xxxx
		あり		030190xx97xxxx
030200	腺内唾石			030200xxxxxxxx
030220	ガマ腫			030220xxxxxxxx
030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患			030230xxxxxxxx
030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎			
		手術		
		なし		030240xx99xxxx
		あり		
		その他の手術		030240xx97xxxx
		K36B等		030240xx01xxxx
030245	伝染性単核球症			030245xxxxxxxx
030250	睡眠時無呼吸			
		手術		
		なし		
		手術・処置等1		
		なし		030250xx990xxx
		あり		030250xx991xxx
		あり		
		手術・処置等1		
		なし		030250xx970xxx
		あり		030250xx971xxx
030270	上気道炎			030270xxxxxxxx
030280	声帯ポリープ、結節			030280xxxxxxxx
030290	声帯麻痺			
		手術		
		なし		030290xx99xxxx
		あり		030290xx97xxxx
030300	声帯の疾患（その他）			
		手術		
		なし		030300xx99xxxx
		あり		
		その他の手術		030300xx97xxxx
		K38S等		030300xx01xxxx
030320	鼻中隔弯曲症			030320xxxxxxxx
030330	急性副鼻腔炎			
		手術		
		なし		030330xx99xxxx
		あり		030330xx97xxxx
030340	血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>			030340xxxxxxxx
030350	慢性副鼻腔炎			030350xxxxxxxx
030360	副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞			030360xxxxxxxx
030370	鼻ポリープ			030370xxxxxxxx

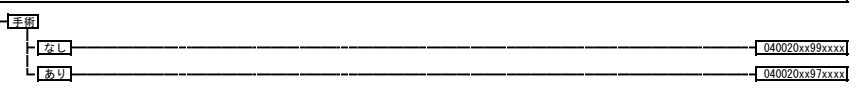
030380	鼻出血				030380xxxxxxxx
030390	顔面神経障害	手術	なし		030390xx99xxxx
			あり	手術・処置等1	
				なし	030390xx970xxxx
				あり	030390xx971xxxx
030400	前庭機能障害	手術	なし		030400xx99xxxx
			あり		030400xx97xxxx
030410	めまい（末梢前庭以外）				030410xxxxxxxx
030425	聴覚の障害（その他）	手術	なし		030425xx99xxxx
			あり		030425xx97xxxx
030428	突発性難聴				030428xxxxxxxx
030430	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞	手術	なし		030430xx99xxxx
			あり		030430xx97xxxx
030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	手術	なし		030440xx99xxxx
			あり	その他の手術	030440xx97xxxx
				K31B	030440xx02xxxx
				K319S	030440xx01xxxx
030450	外耳の障害（その他）	手術	なし		030450xx99xxxx
			あり		030450xx97xxxx
030460	中耳・乳様突起の障害	手術	なし		030460xx99xxxx
			あり	その他の手術	030460xx97xxxx
				K319S	030460xx01xxxx
030470	内耳の障害（その他）				030470xxxxxxxx
030475	耳硬化症				030475xxxxxxxx
030490	上気道の疾患（その他）				030490xxxxxxxx
030500	唾液腺の疾患（その他）				030500xxxxxxxx

040010 縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍

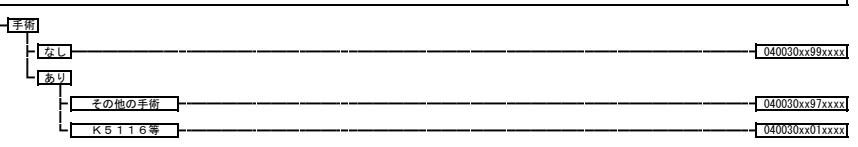
手術・処置等2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:放射線療法
 3:化学療法ありかつ放射線療法なし



040020 縦隔の良性腫瘍

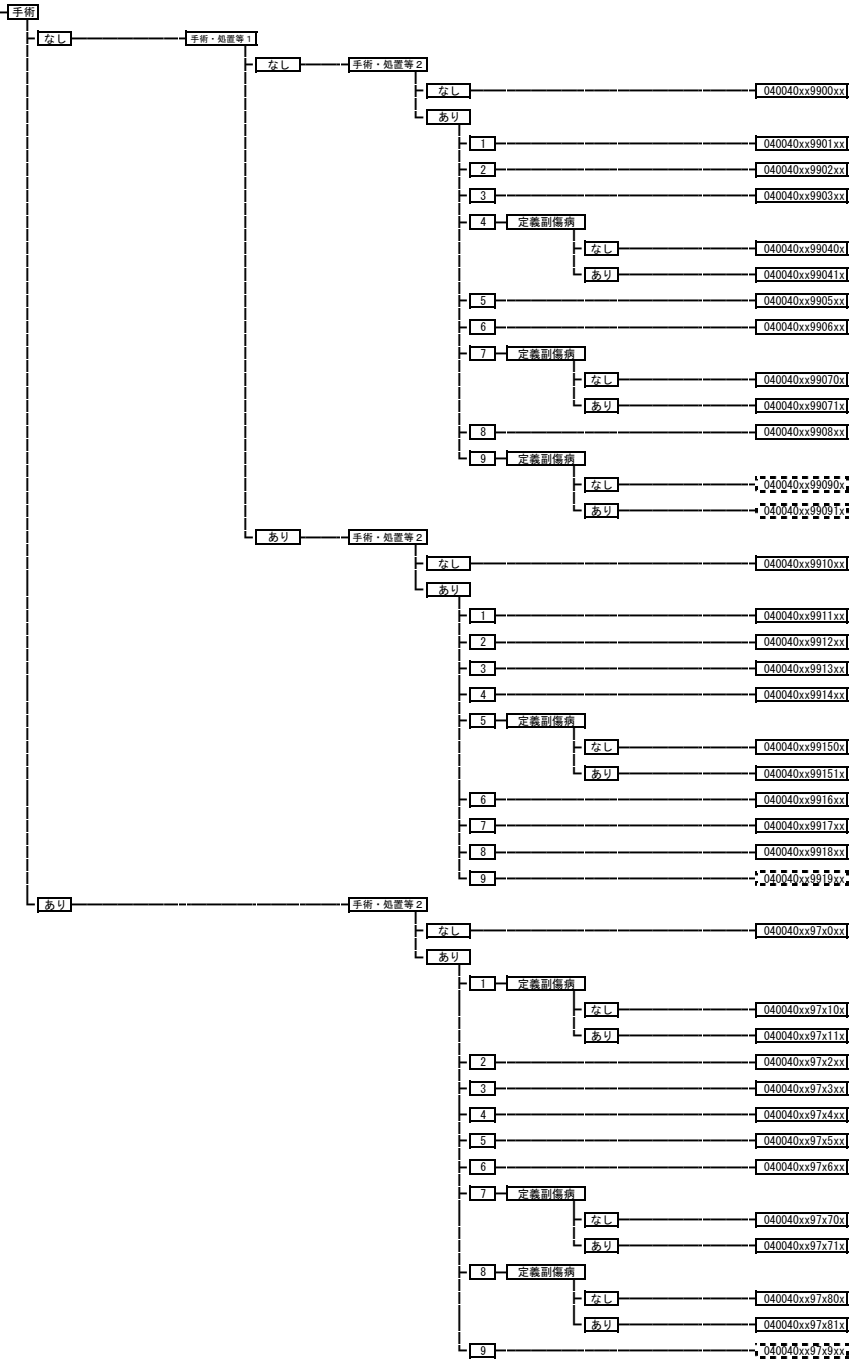


040030 呼吸器系の良性腫瘍



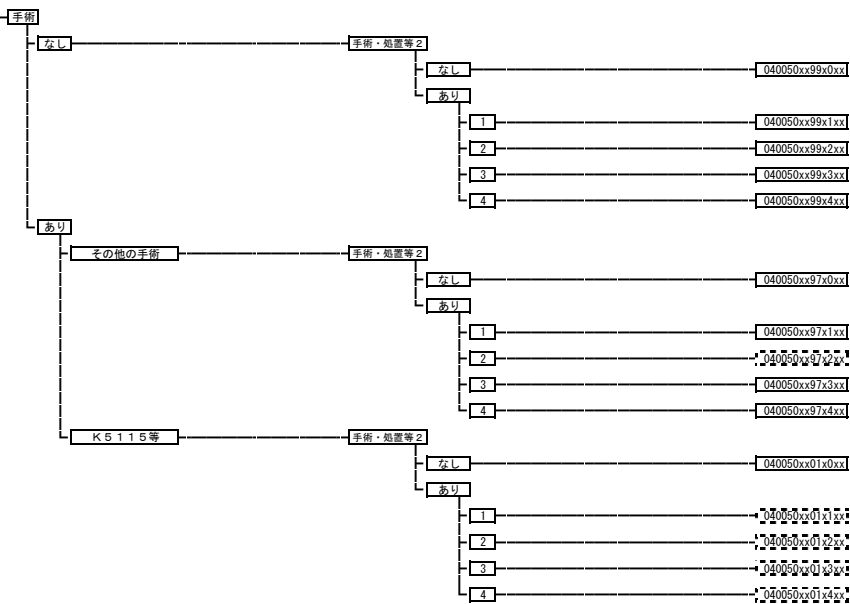
040040 肺の悪性腫瘍

- 手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: カルボプラチン/パクリタキセルありなど
 6: オシメルチニブ/シムルニブなど
 7: ペメトレキセド/ナトリウム水和物
 8: ペバシズマブ、ラムシルマブ
 9: ベムプロリズマブなど

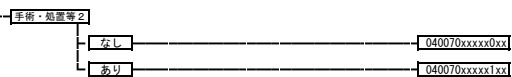


040050 胸壁腫瘍、胸膜腫瘍

手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: ベメトレキセドナトリウム水和物



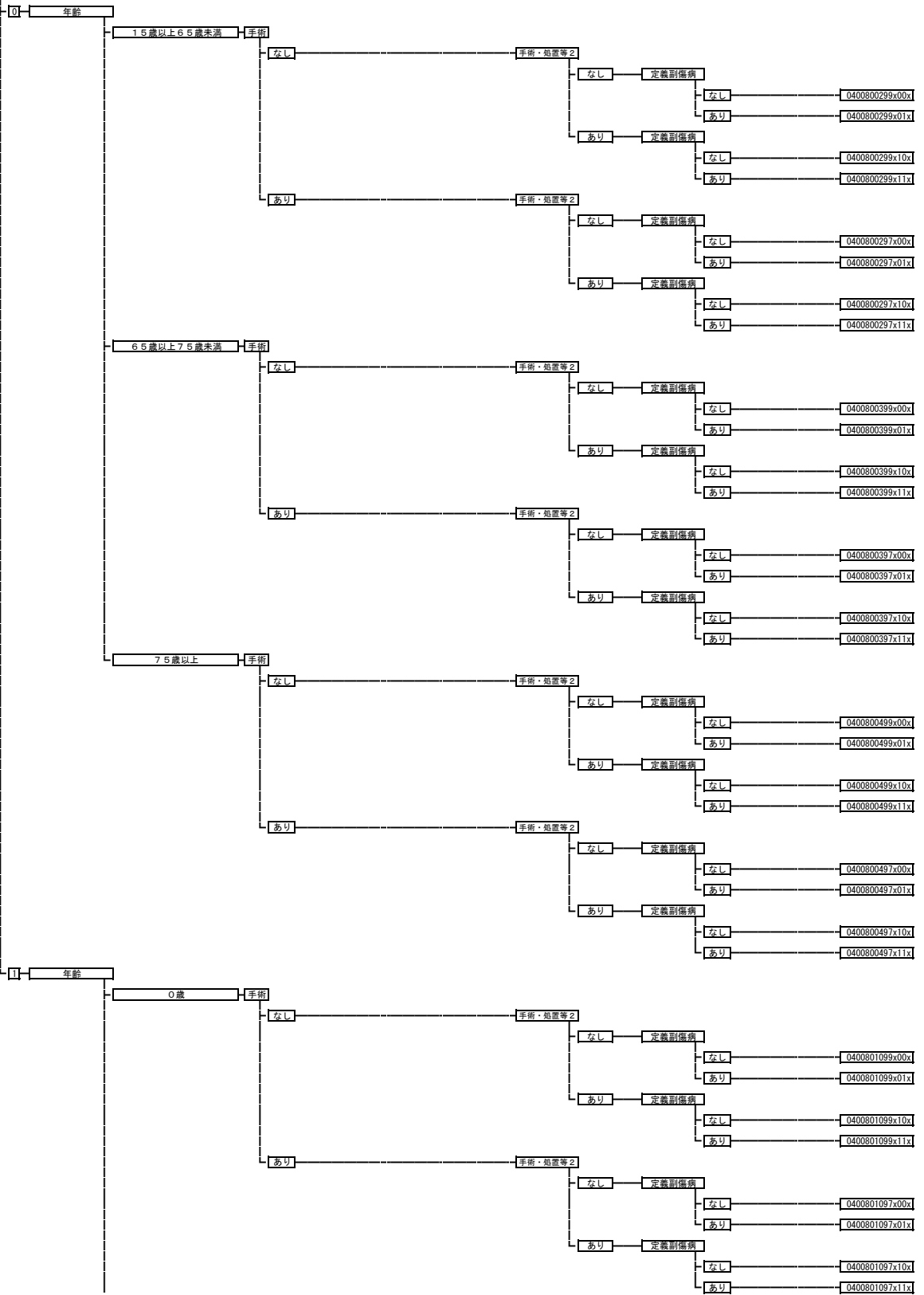
040070 インフルエンザ、ウイルス性肺炎

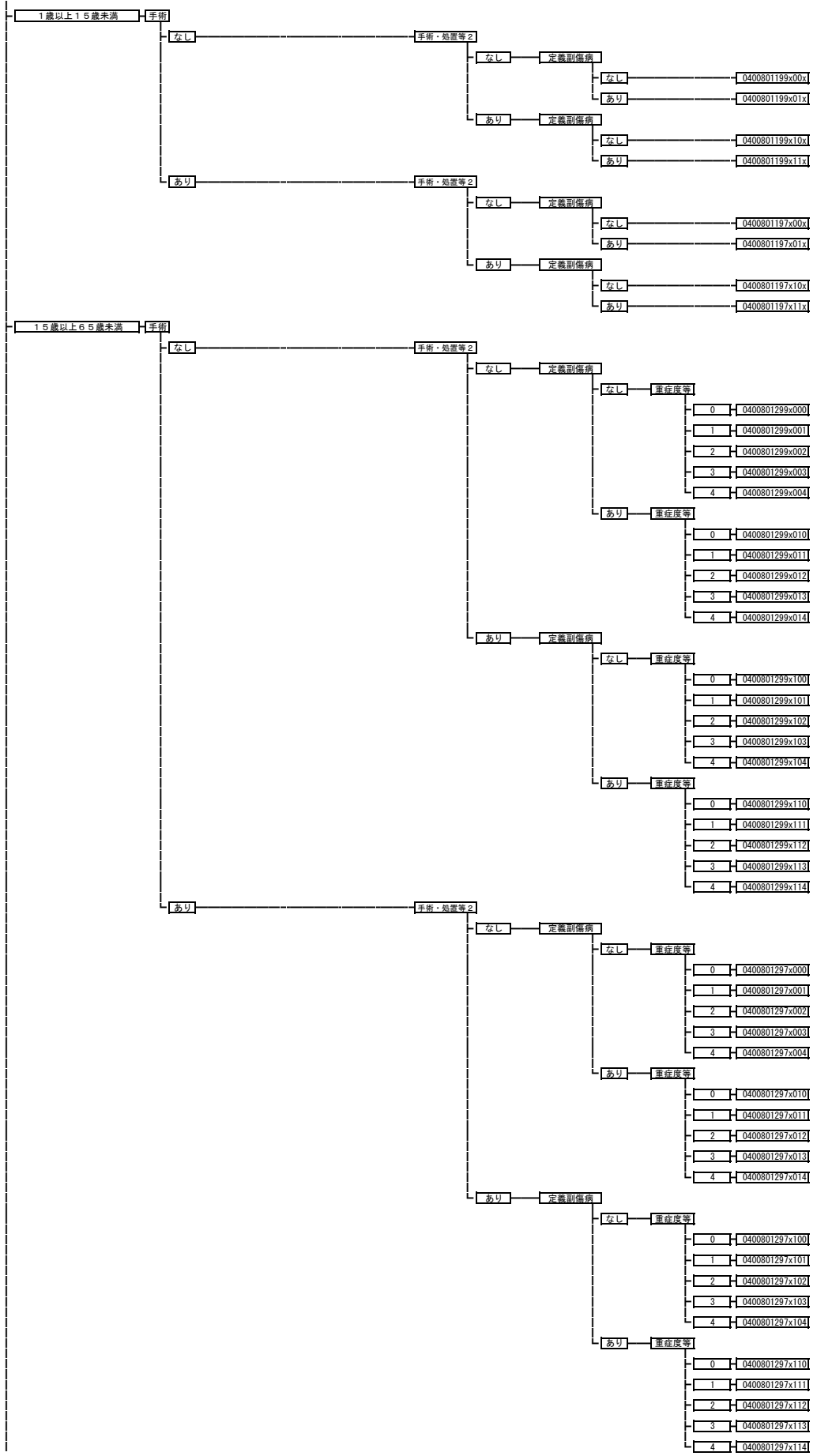


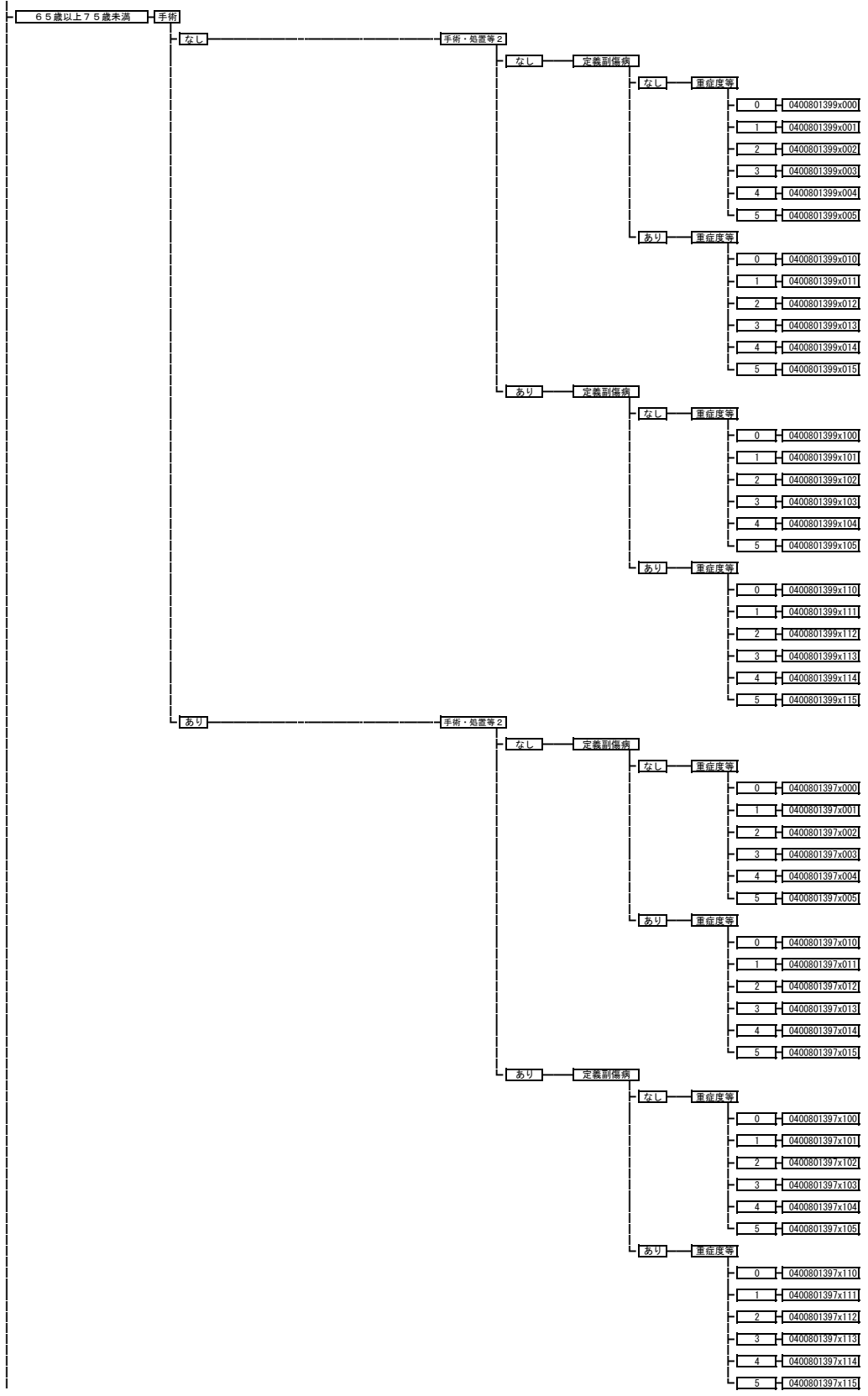
040080 肺炎等

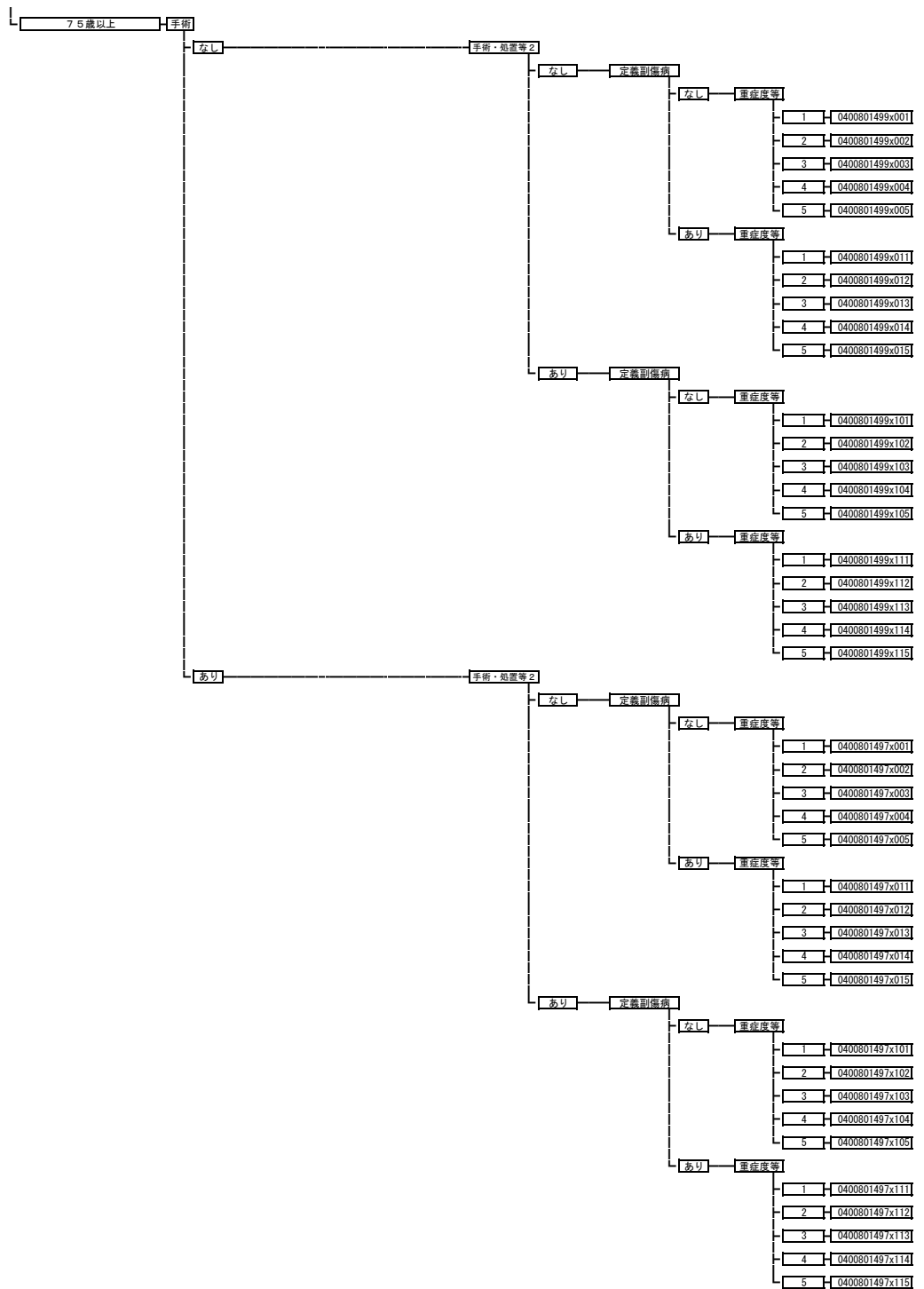
病態等分類

- 重症度等
 0: A-DROP スコア0
 1: A-DROP スコア1
 2: A-DROP スコア2
 3: A-DROP スコア3
 4: A-DROP スコア4
 5: A-DROP スコア5

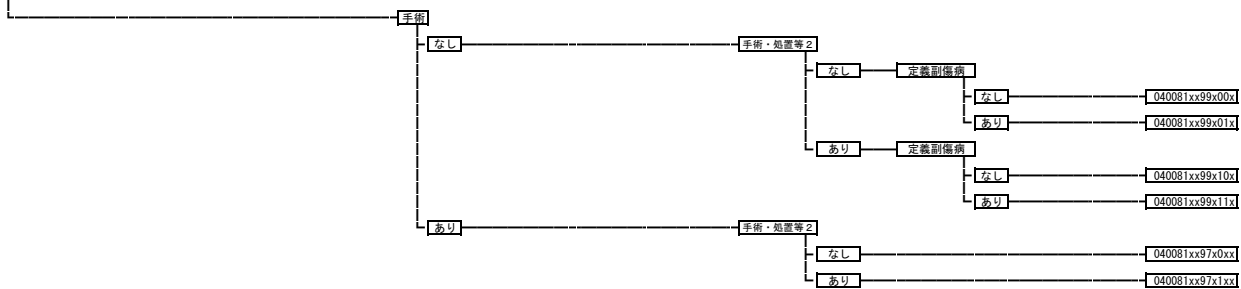






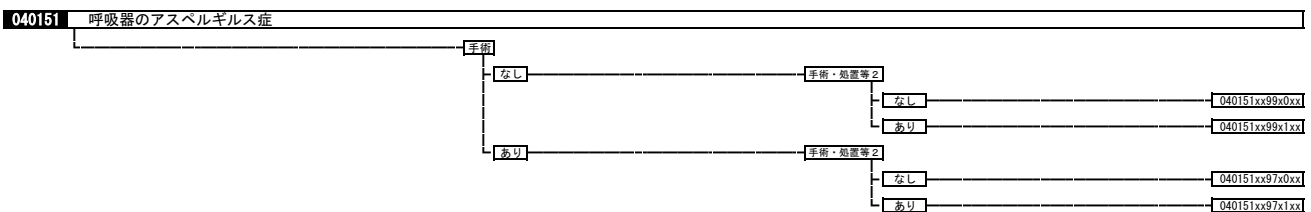
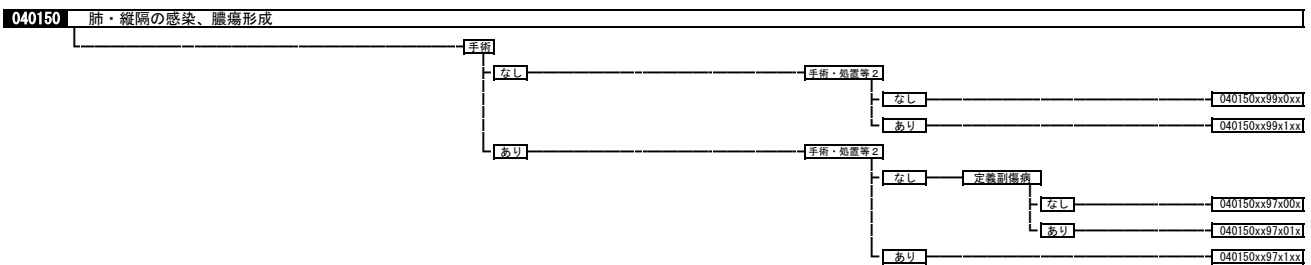
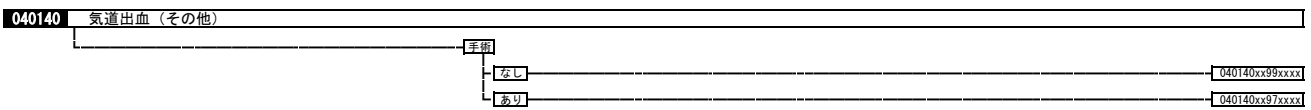
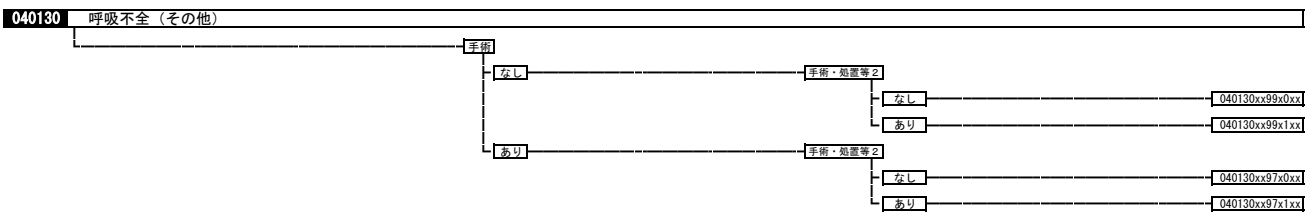
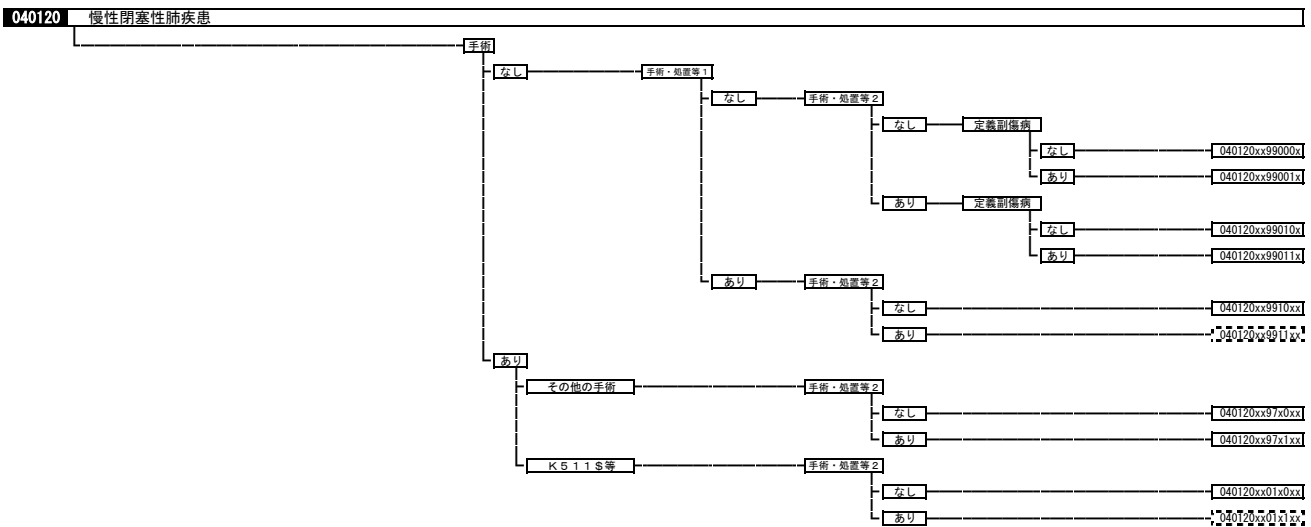
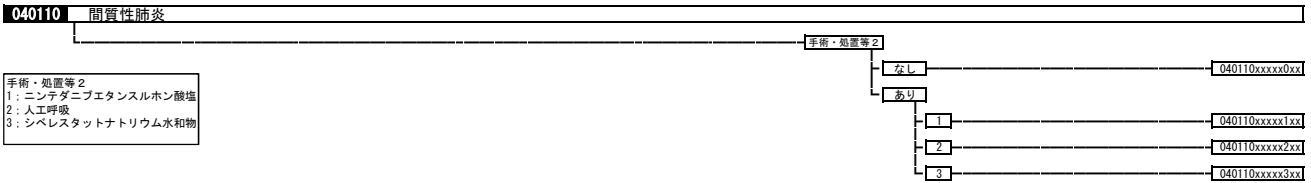
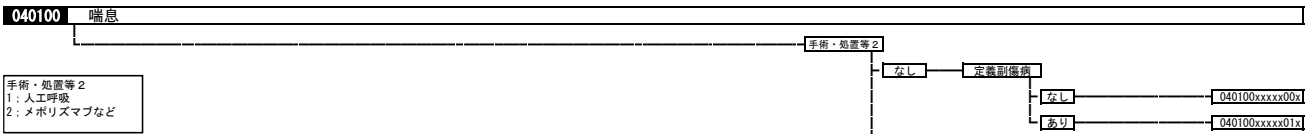


040081 誤嚥性肺炎



040090 急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）





040160 呼吸器の結核
040160xxxxxx

040170 抗酸菌関連疾患（肺結核以外）
定義副傷病
なし 040170xxxx0x
あり 040170xxxx1x

040180 気管支狭窄など気管通過障害
手術
なし 040180xx99xxxx
あり 040180xx97xxxx

040190 胸水、胸膜の疾患（その他）
手術
なし 040190xx99xxxx
あり 040190xx97xxxx

040200 気胸
手術
なし
手術・処置等2
なし 定義副傷病
なし 040200xx99x00x
あり 040200xx99x01x
あり 定義副傷病
なし 040200xx99x10x
あり 040200xx99x11x
あり
他の手術
手術・処置等2
なし 定義副傷病
なし 040200xx97x00x
あり 040200xx97x01x
あり 040200xx97x1xx
K511S等
手術・処置等2
なし 定義副傷病
なし 040200xx01x00x
あり 040200xx01x01x
あり 040200xx01x1xx

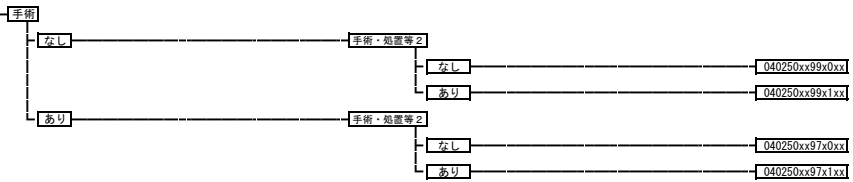
040210 気管支拡張症
手術
なし 040210xx99xxxx
あり 040210xx97xxxx

040220 横隔膜腫瘍・横隔膜疾患（新生児を含む。）
手術
なし
手術・処置等2
なし 040220xx99x0xx
あり 040220xx99x1xx
あり
手術・処置等2
なし 040220xx97x0xx
あり 040220xx97x1xx

040230 血胸、血気胸、乳び胸
手術
なし 040230xx99xxxx
あり 040230xx97xxxx

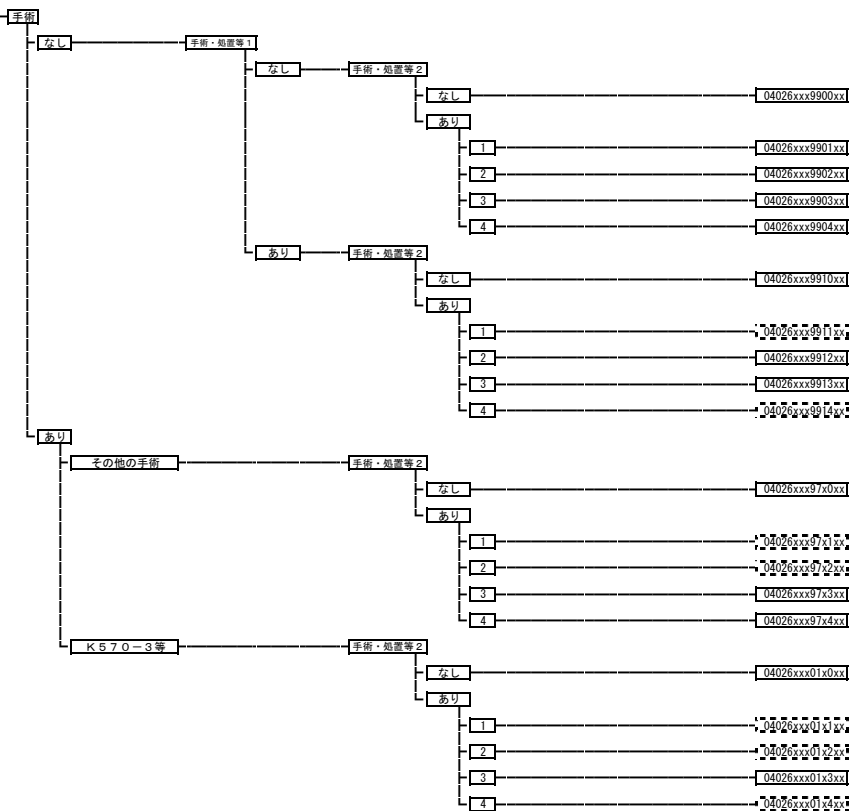
040240 肺循環疾患
手術
なし
手術・処置等2
なし 040240xx99x0xx
あり 040240xx99x1xx
あり
手術・処置等2
なし 040240xx97x0xx
あり 040240xx97x1xx

040250 急性呼吸窮乏症候群



04026x 肺高血圧性疾患
040261 肺動脈性肺高血圧症
040262 その他の二次性肺高血圧症

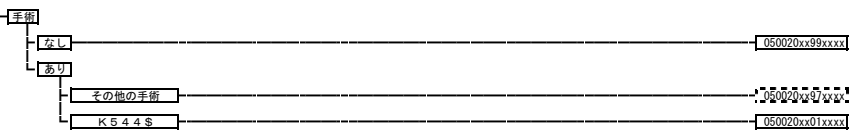
手術・処置等2
1: 人工呼吸
2: タダラフィル、シルデナフィルクエン酸塩
3: セレキシバグなど
4: イロprostなど



040310 その他の呼吸器の障害
040310xxxxxxxx

050010 心臓の悪性腫瘍
050010xxxxxxxx

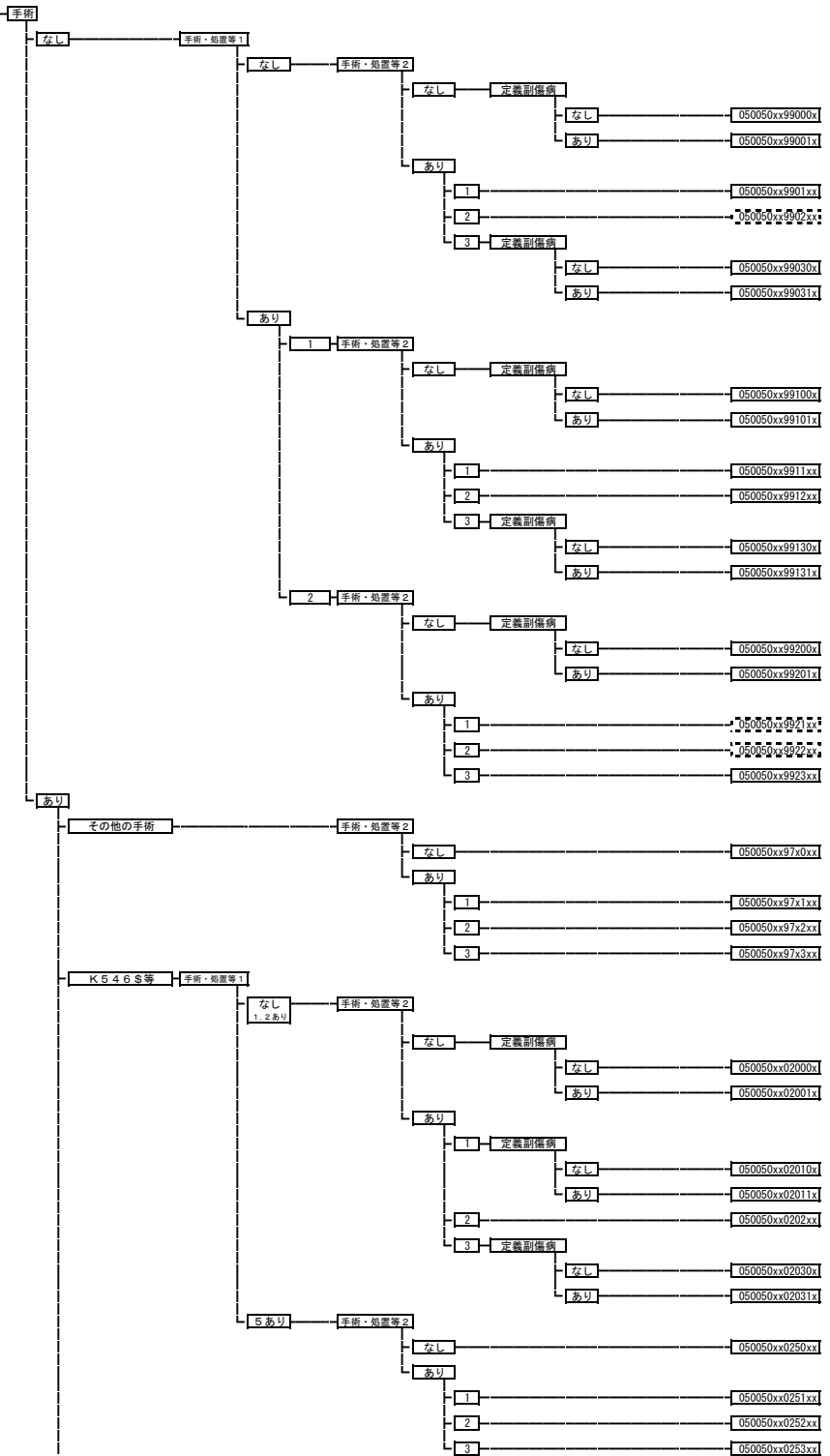
050020 心臓の良性腫瘍

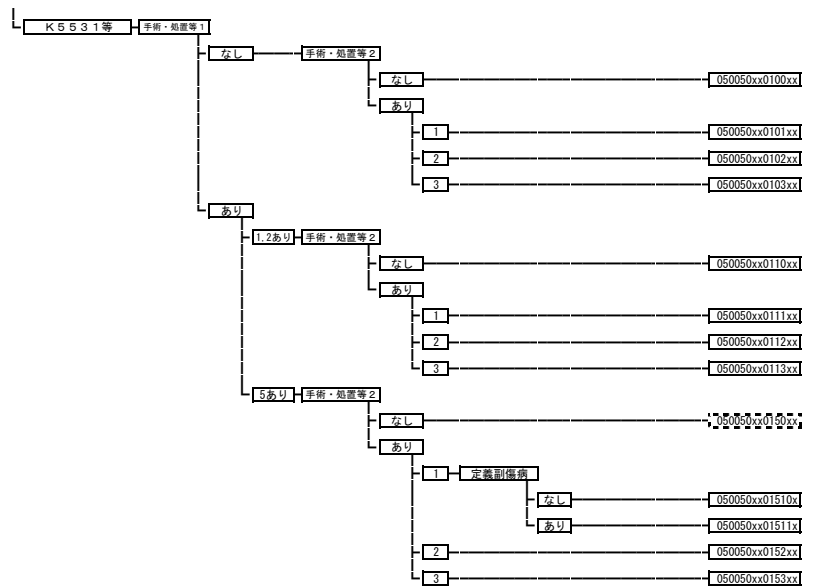


050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

手術・処置等1
 1: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
 2: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
 +血管内超音波検査等 (加算有り)
 5: 補助人工心臓 (1日につき) など

手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 人工腎臓 その他の場合、持続経徐式血液濾過
 3: SPECTなど

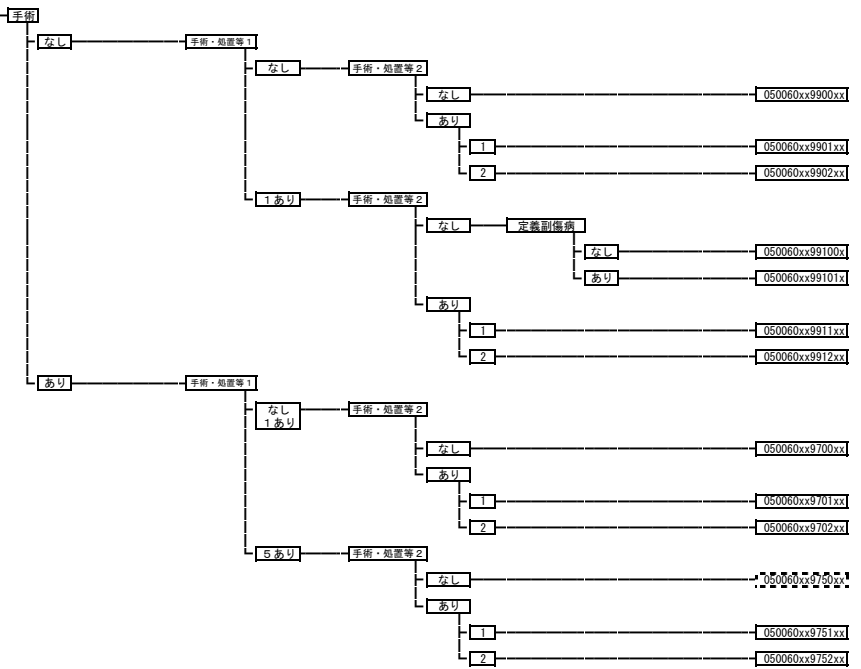




050060 心筋症（拡張型心筋症を含む。）

手術・処置等1
 1：心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
 5：補助人工心臓（1日につき）など

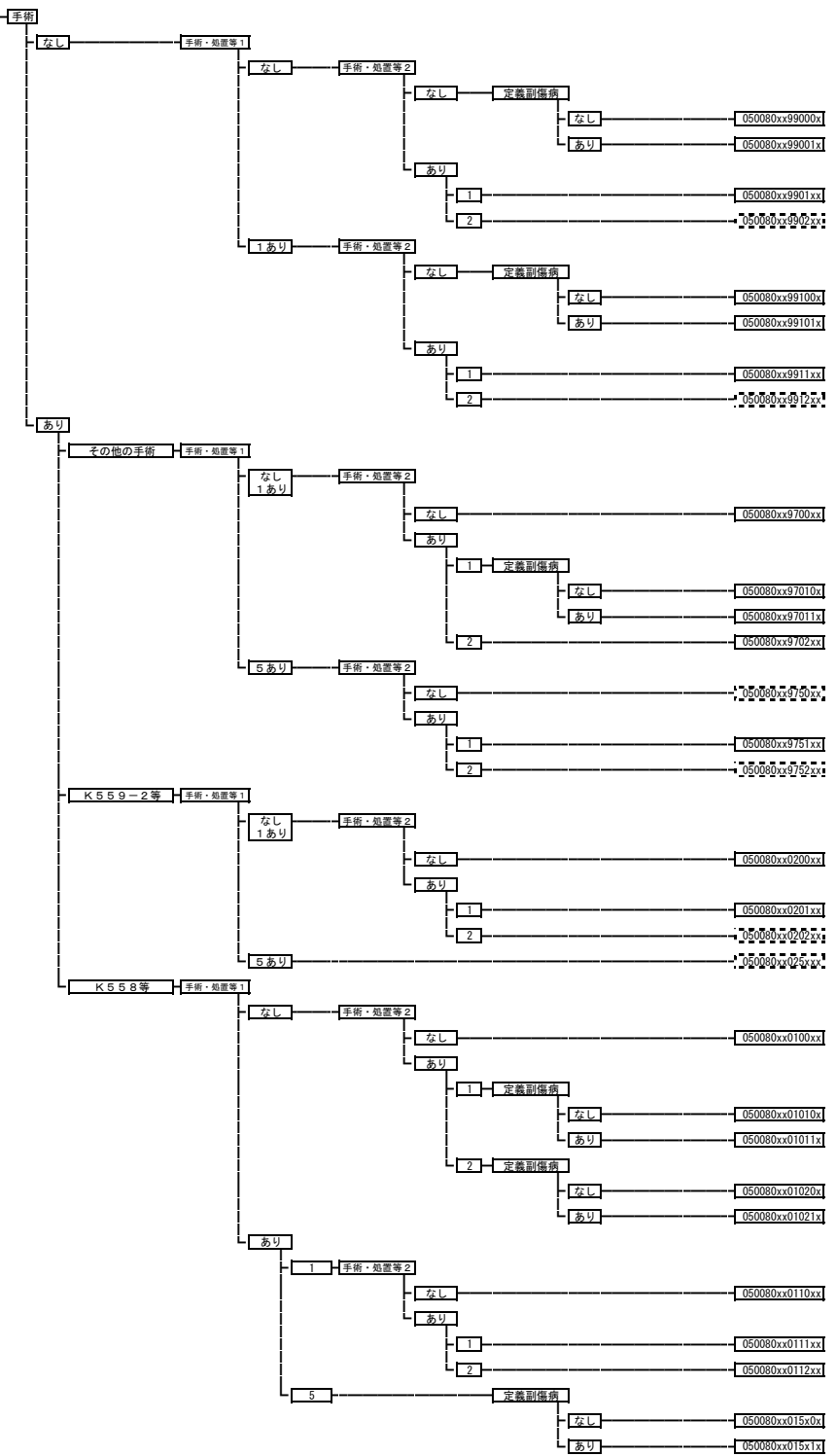
手術・処置等2
 1：人工呼吸、中心静脈注射
 2：人工腎臓 その他の場合など



050080 弁膜症（連合弁膜症を含む。）

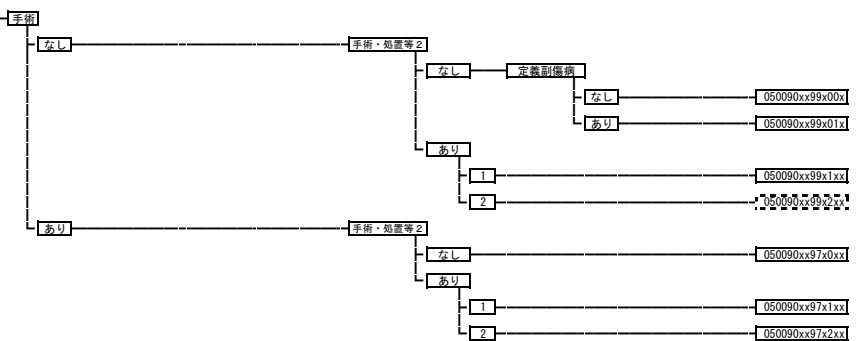
手術・処置等 1
1：心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
5：補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
1：人工呼吸、中心静脈注射
2：人工腎臓 その他の場合、持続緩徐式血液濾過

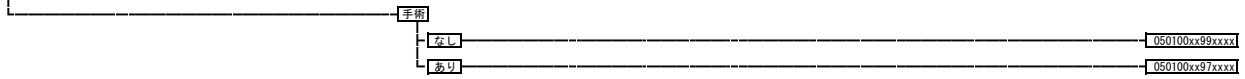


050090 心内膜炎

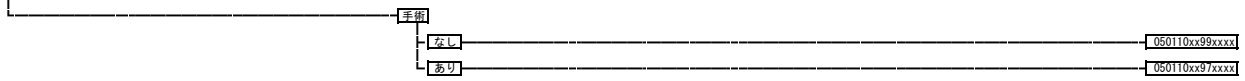
手術・処置等 2
1：人工呼吸、中心静脈注射
2：人工腎臓 その他の場合、持続緩徐式血液濾過



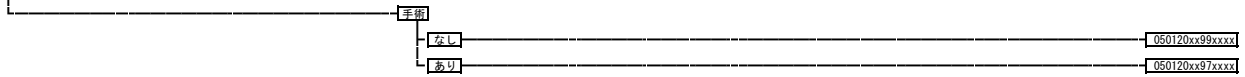
050100 心筋炎



050110 急性心膜炎



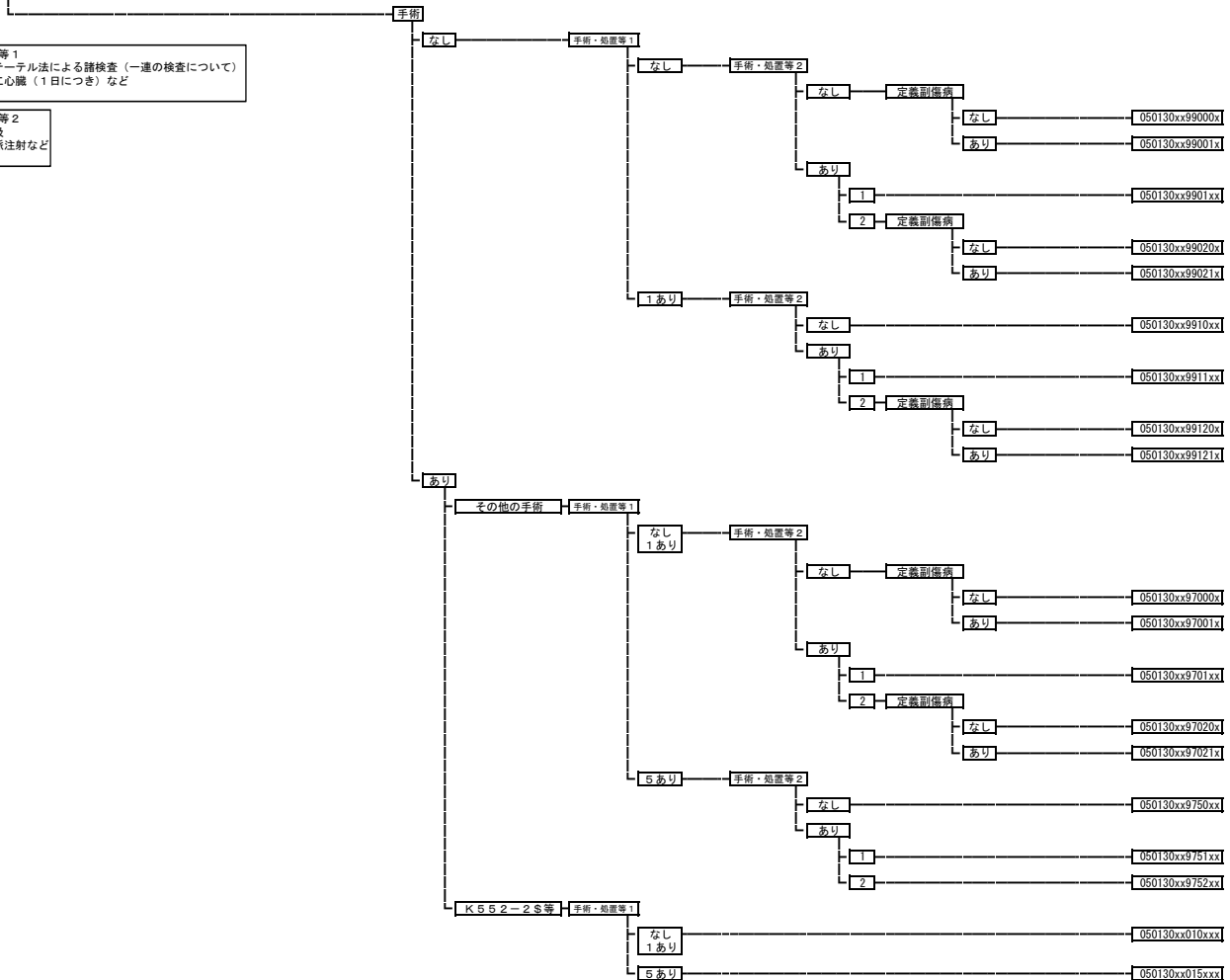
050120 収縮性心膜炎



050130 心不全

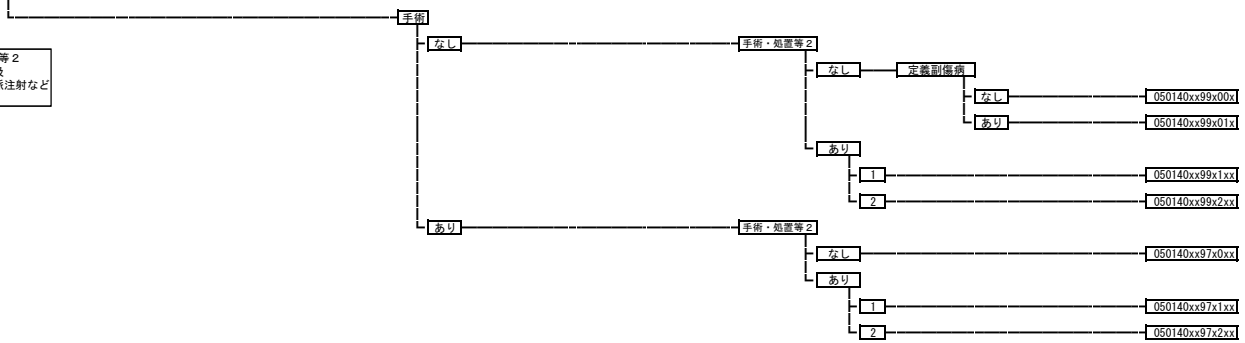
手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査（一連の検査について）
5: 補助人工心臓（1日につき）など

手術・処置等 2
1: 人工呼吸
2: 中心静脈注射など



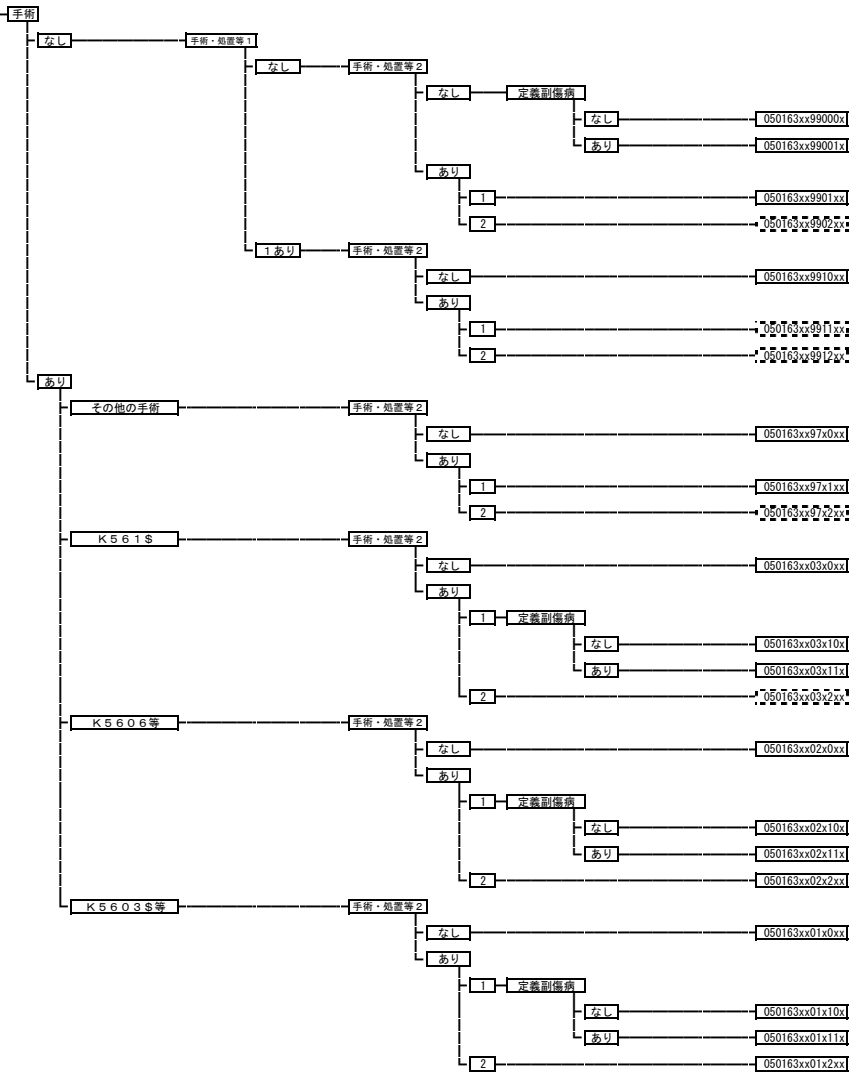
050140 高血圧性疾患

手術・処置等 2
1: 人工呼吸
2: 中心静脈注射など



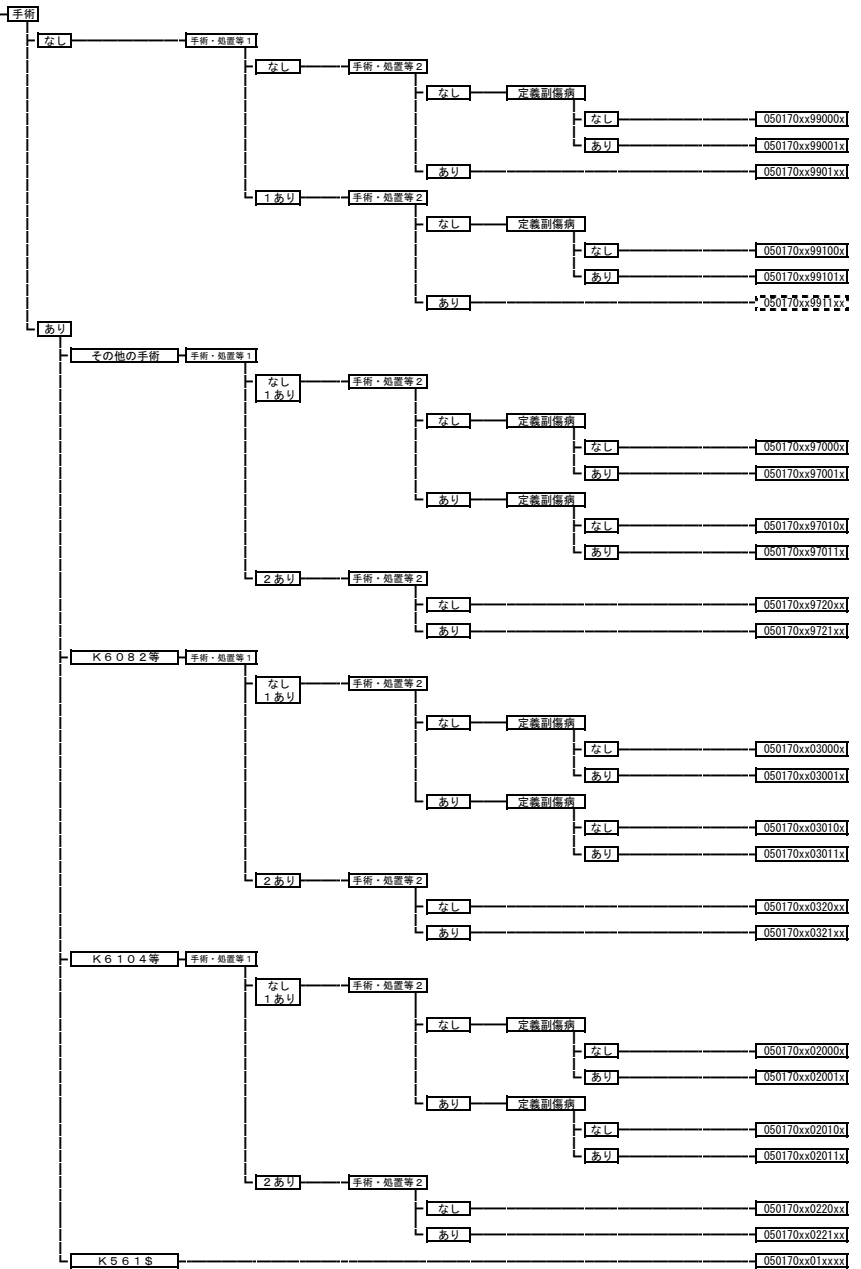
050163 非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 人工腎臓 その他の場合、持続経絡式血液濾過

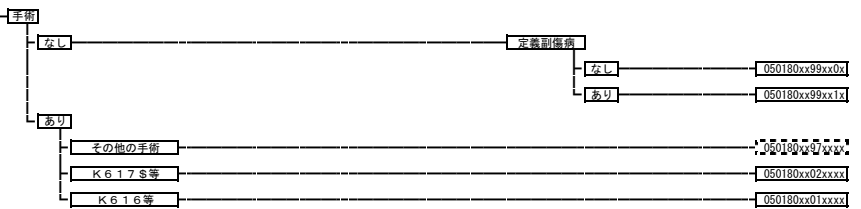


050170 閉塞性動脈疾患

手術・処置等1
1: 心臓カテーテル法による腫検査 (一連の検査について)
2: 断端形成術 (骨形成を要するもの) など



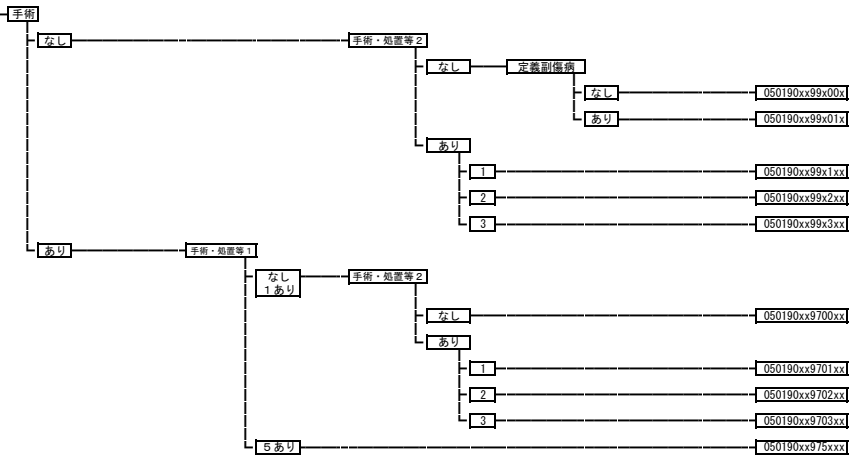
050180 静脈・リンパ管疾患



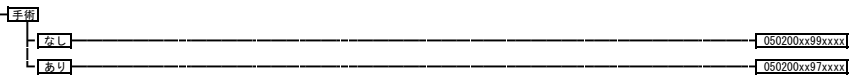
050190 肺塞栓症

手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
5: 補助人工心臓 (1日につき) など

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: SPECT、シンテグラム
3: tPA



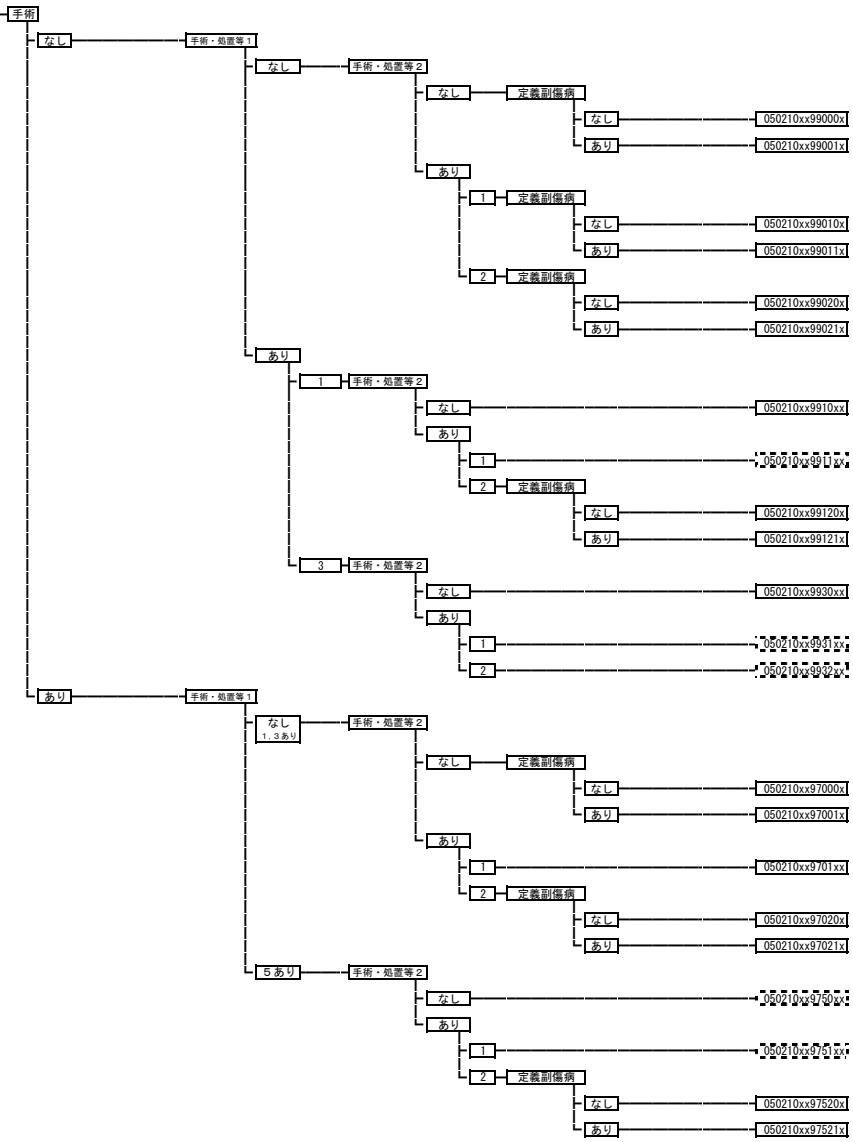
050200 循環器疾患 (その他)



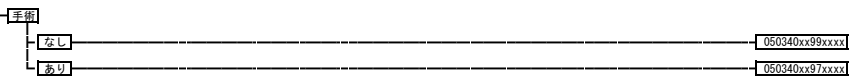
050210 徐脈性不整脈

手術・処置等 1
1: 心臓カテーテル法による諸検査 (一連の検査について)
3: 心臓電気生理学的検査
5: 補助人工心臓 (1日につき) など

手術・処置等 2
1: 人工呼吸
2: 中心静脈注射など

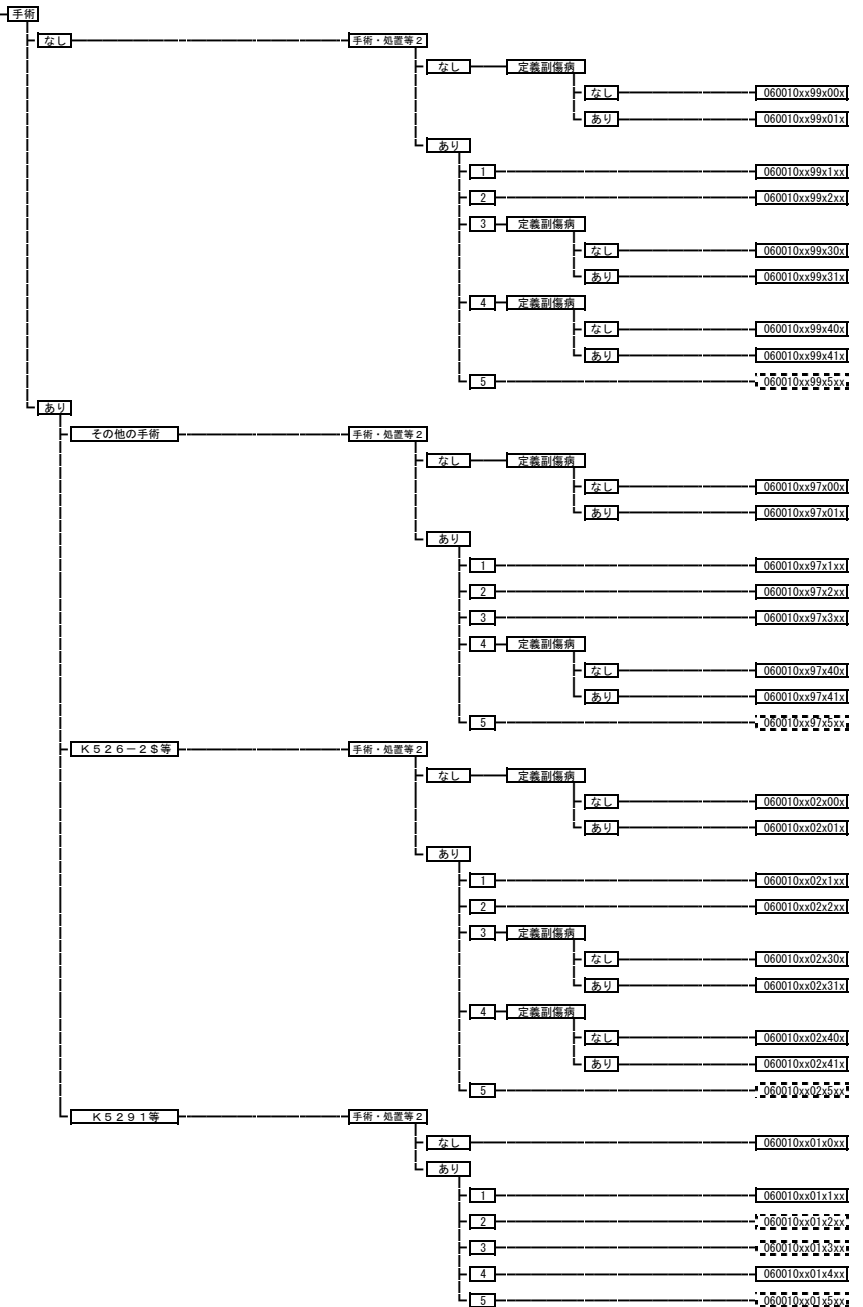


050340 その他の循環器の障害



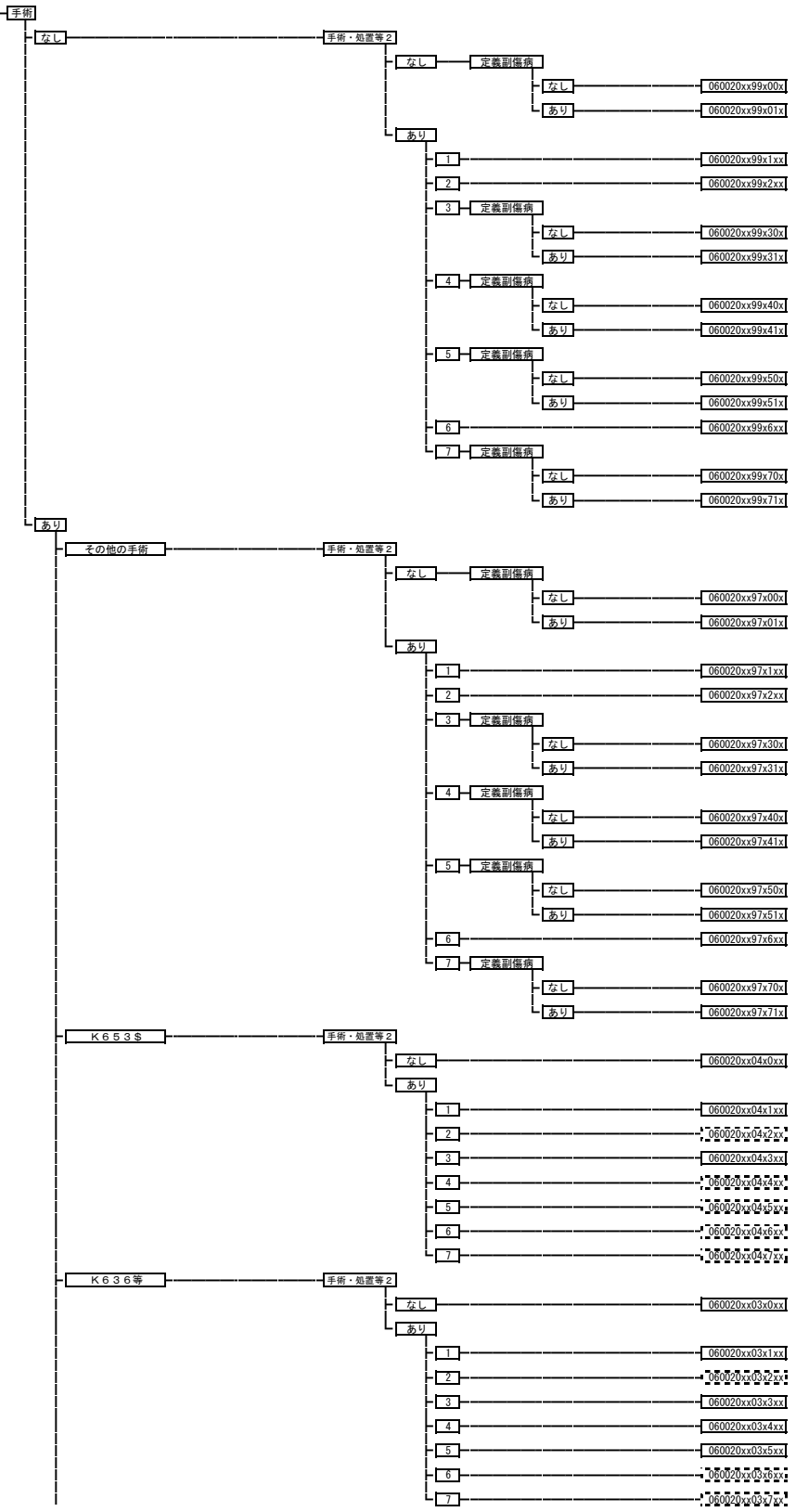
060010 食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: アベルマブなど



060020 胃の悪性腫瘍

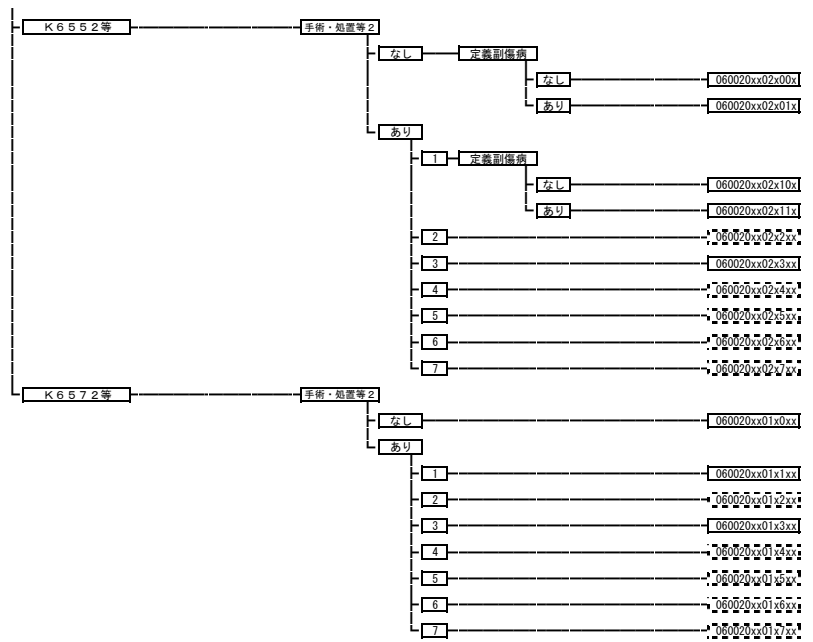
- 手術・処置等 2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:放射線療法
 3:化学療法ありかつ放射線療法なし
 4:ドセタキセル水和物、パクリタキセル
 5:オキサリプラチン
 6:トラスツズマブ
 7:ラムシムマブ



その他の手術

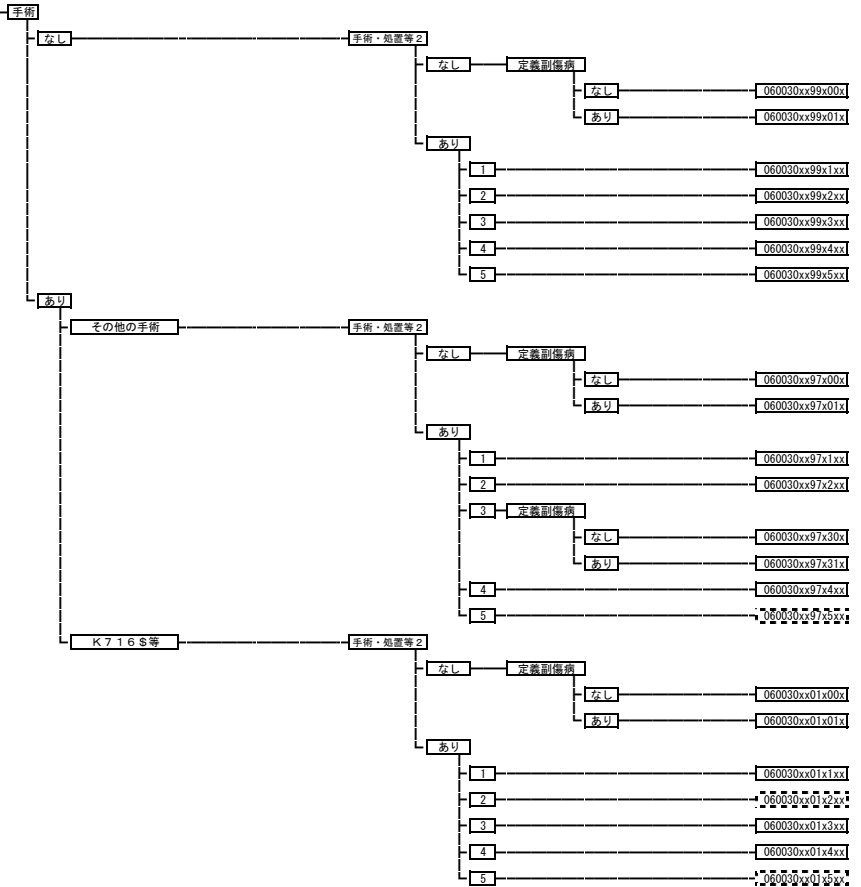
K653S

K636等



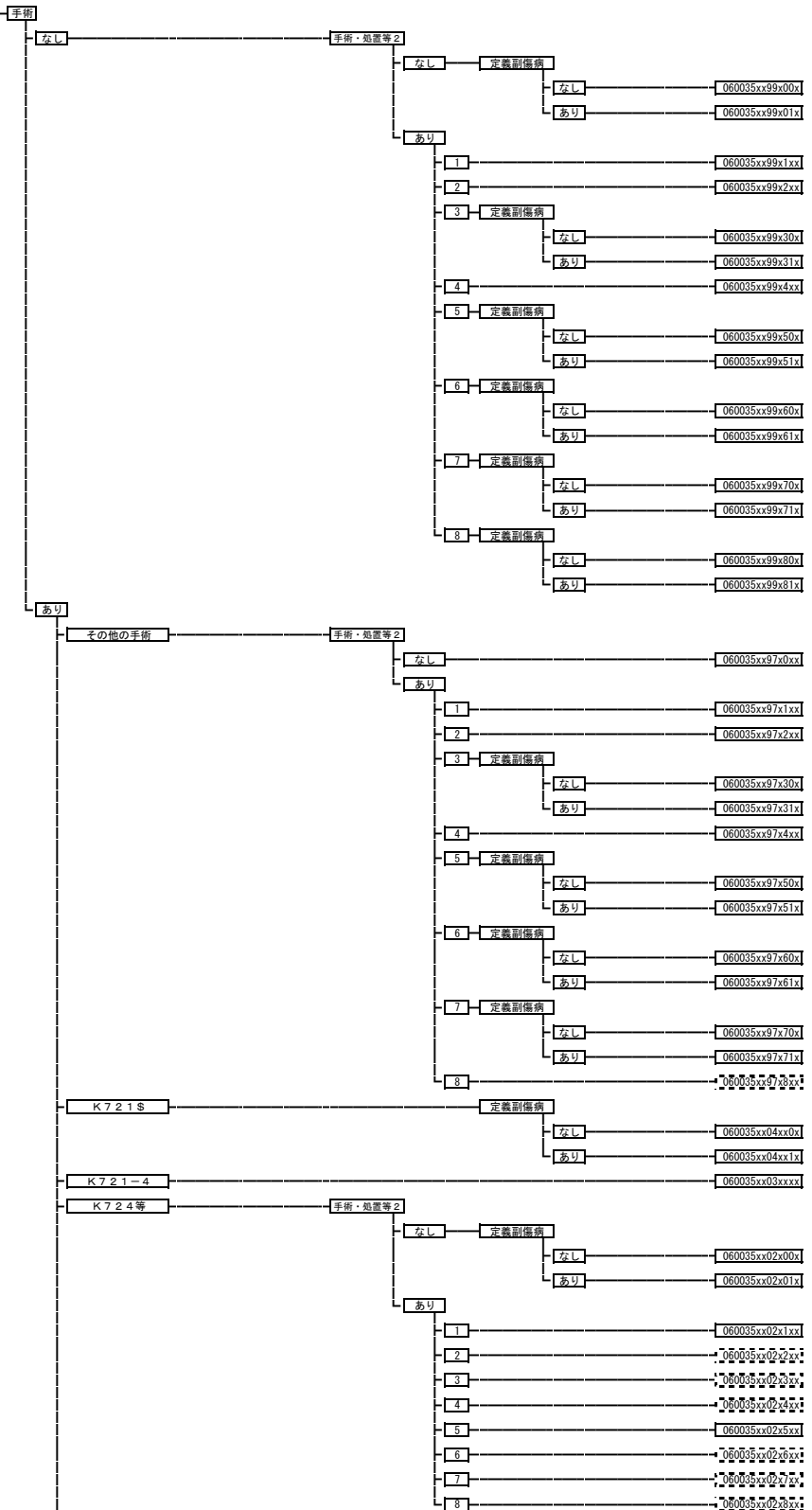
060030 小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍

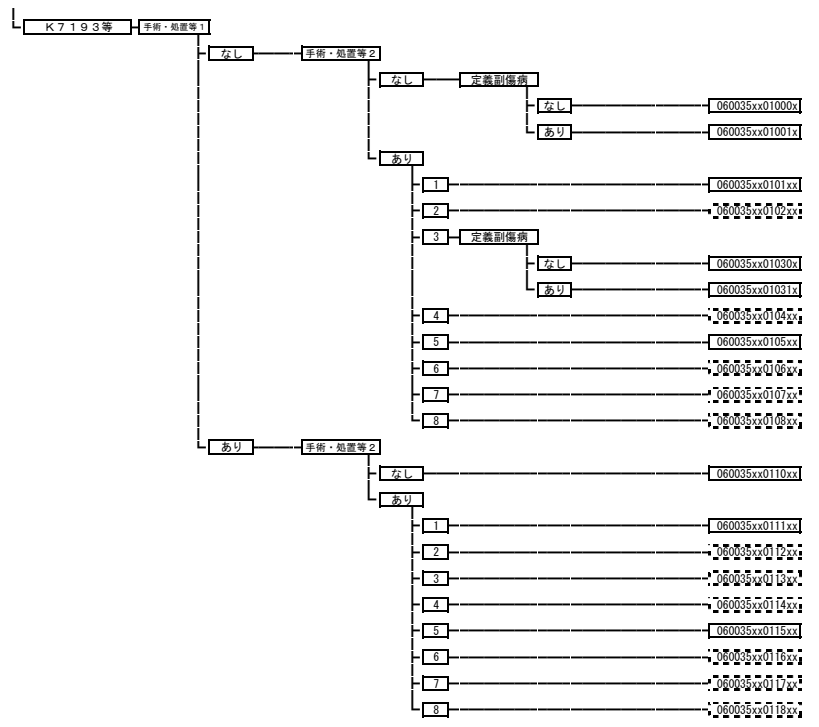
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: カルボプラチン/パクリタキセルあり、カルボプラチン/ドセタキセル水和物あり
 5: トラベクテジン



060035 結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍

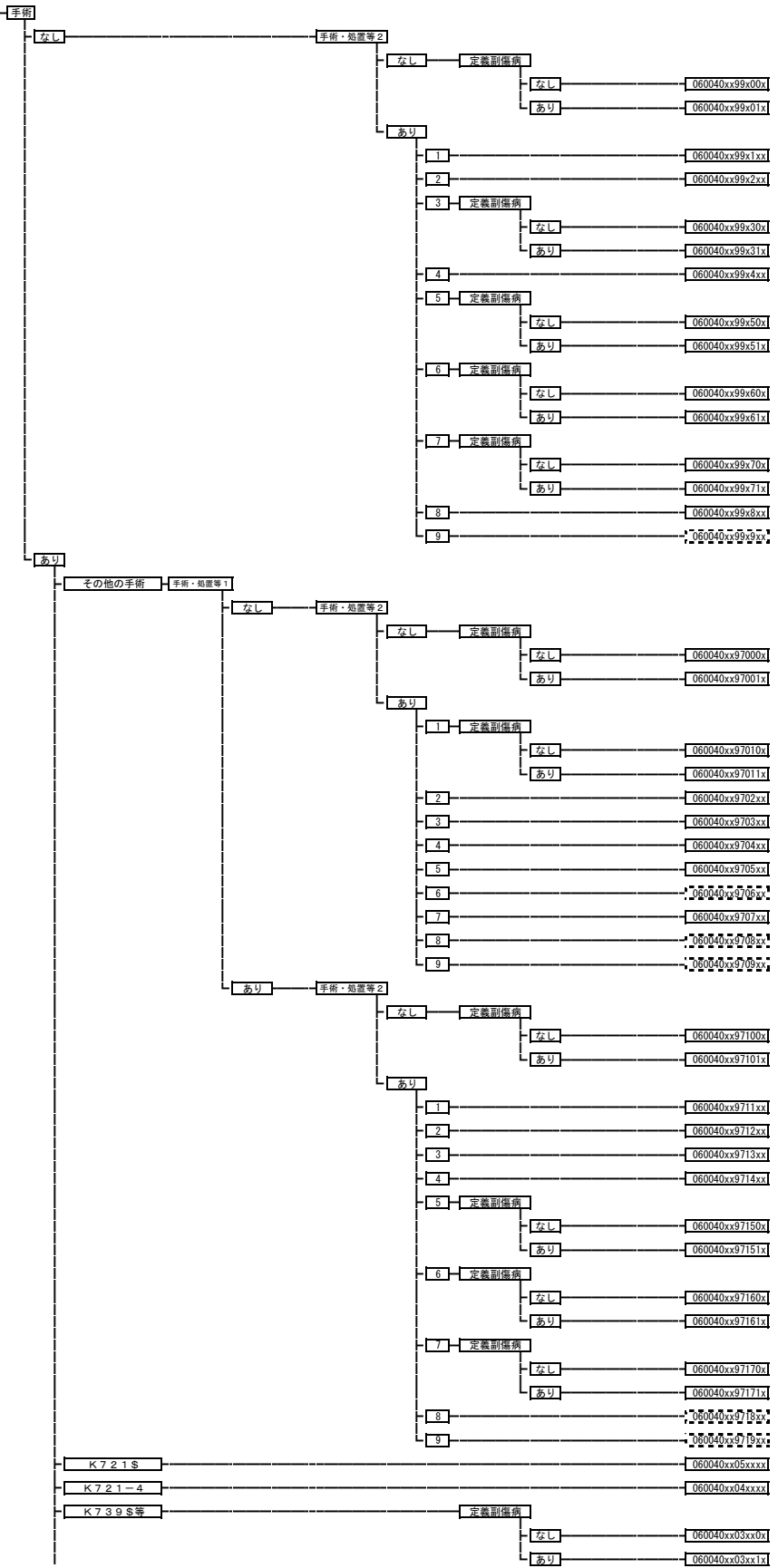
- 手術・処置等 2
- 1: 人工呼吸など
 - 2: 放射線療法
 - 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし、トリフルリジン/チピラシル塩酸塩
 - 4: フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+イリノテカン塩酸塩水和物あり
 - 5: オキサリプラチン
 - 6: アフリヘルセプト ベータ、ベバシズマブ
 - 7: レゴラフェニブ水和物など
 - 8: ラムシルマブ

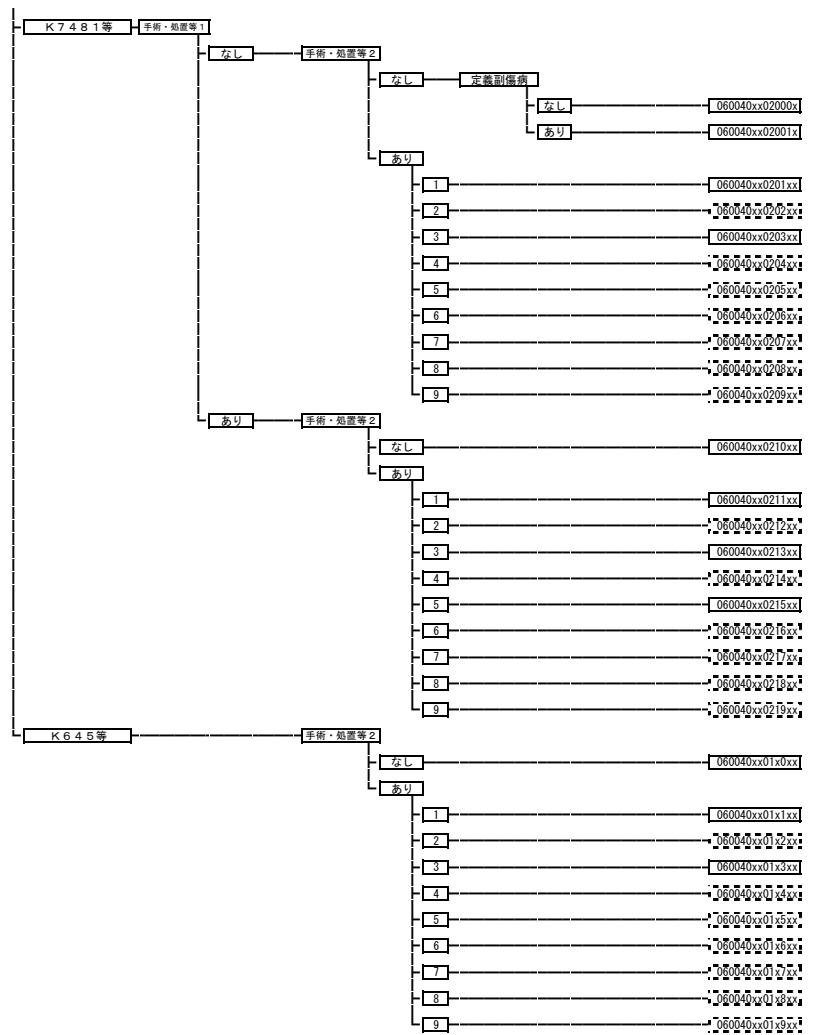




060040 直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍

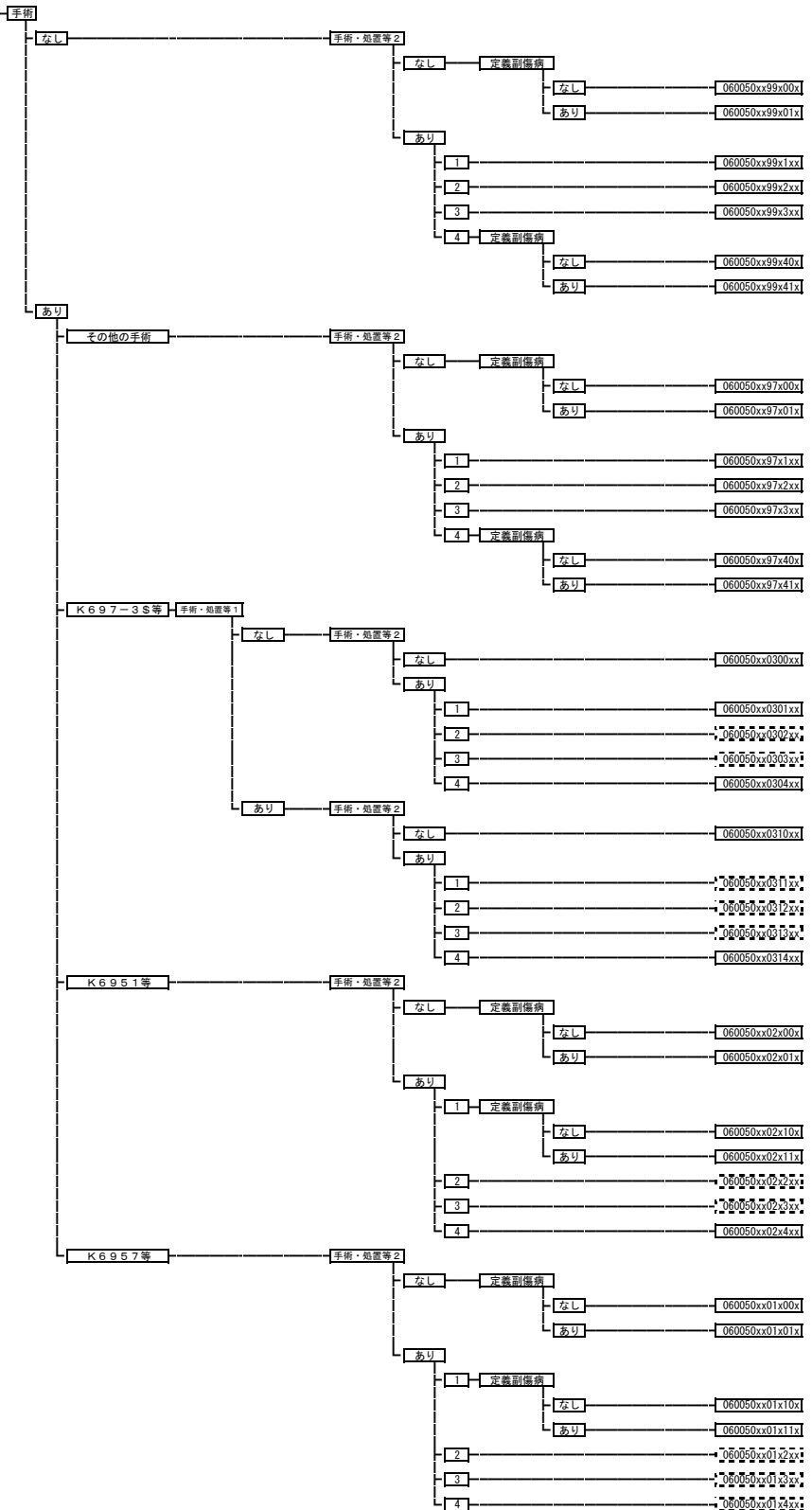
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり、
 化学療法ありかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし、
 トリフルリンジシテヒラシル塩酸塩
 4: フルボロウラルシレポホリナートカルシウム+イリノテカン塩酸塩水和物あり
 5: オキサリプラチン
 6: アフリベルセプト ベータ、ペバシズマブ
 7: レゴラフェニブ水和物など
 8: ラムシルマブ
 9: アベルマブなど





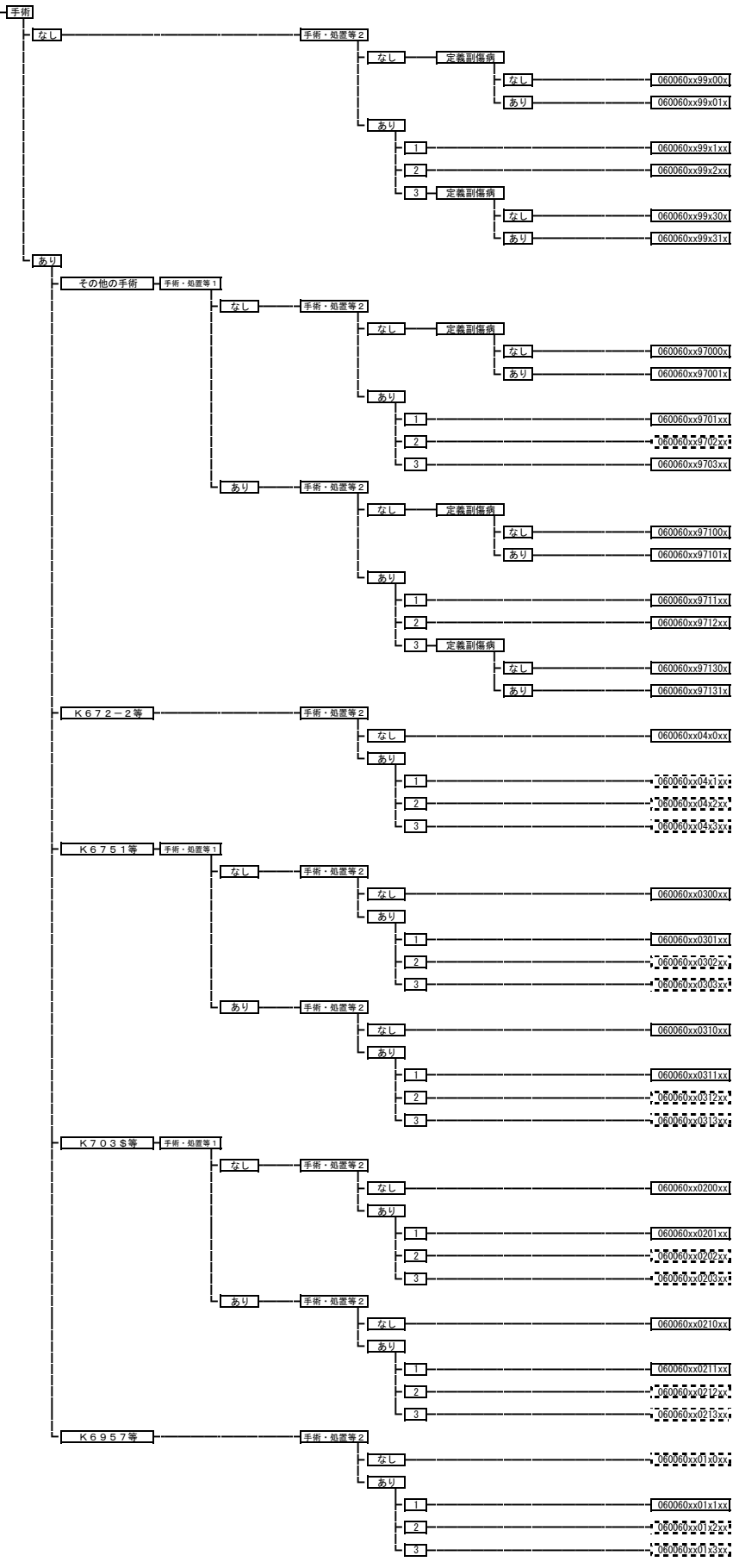
060050 肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし



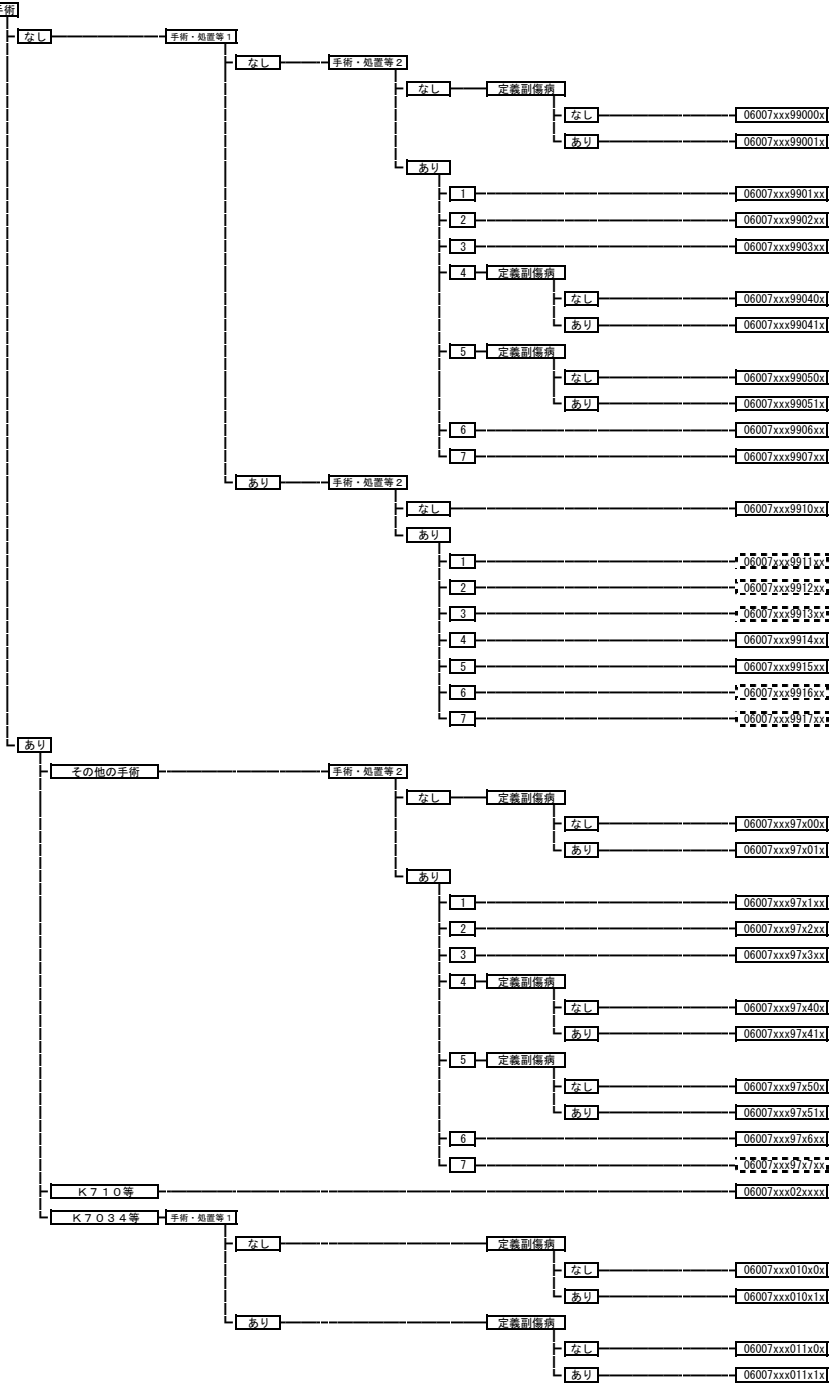
060060 胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍

手術・処置等2
 1:人工呼吸など
 2:放射線療法
 3:化学療法

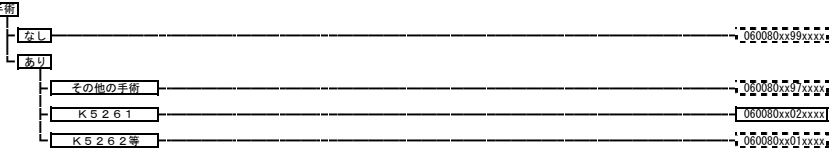


06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	
	060071	膵臓の腫瘍
	060072	脾臓の腫瘍

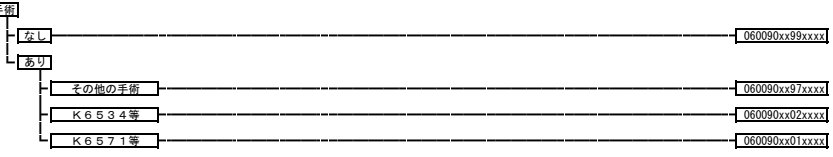
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: パクリタキセル(アルブミン懸濁型)
 6: フルボロウラシル+レボホリナド+カルシウム
 +イリノチカン塩酸塩水和物+オキサリプラチンあり
 7: ストレプトゾシン



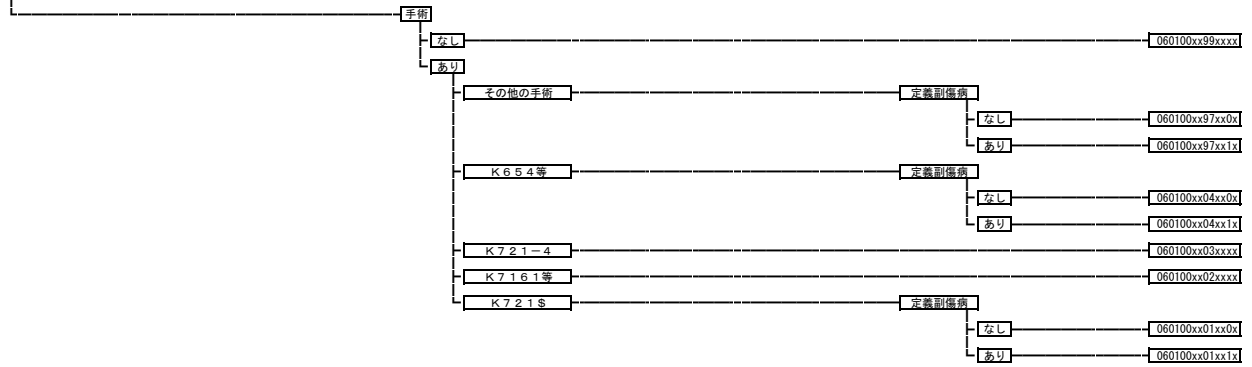
060080	食道の良性腫瘍
--------	---------



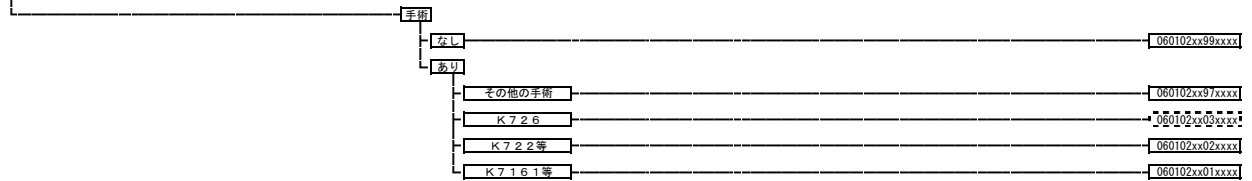
060090	胃の良性腫瘍
--------	--------



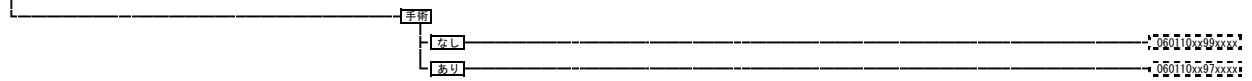
060100 小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）



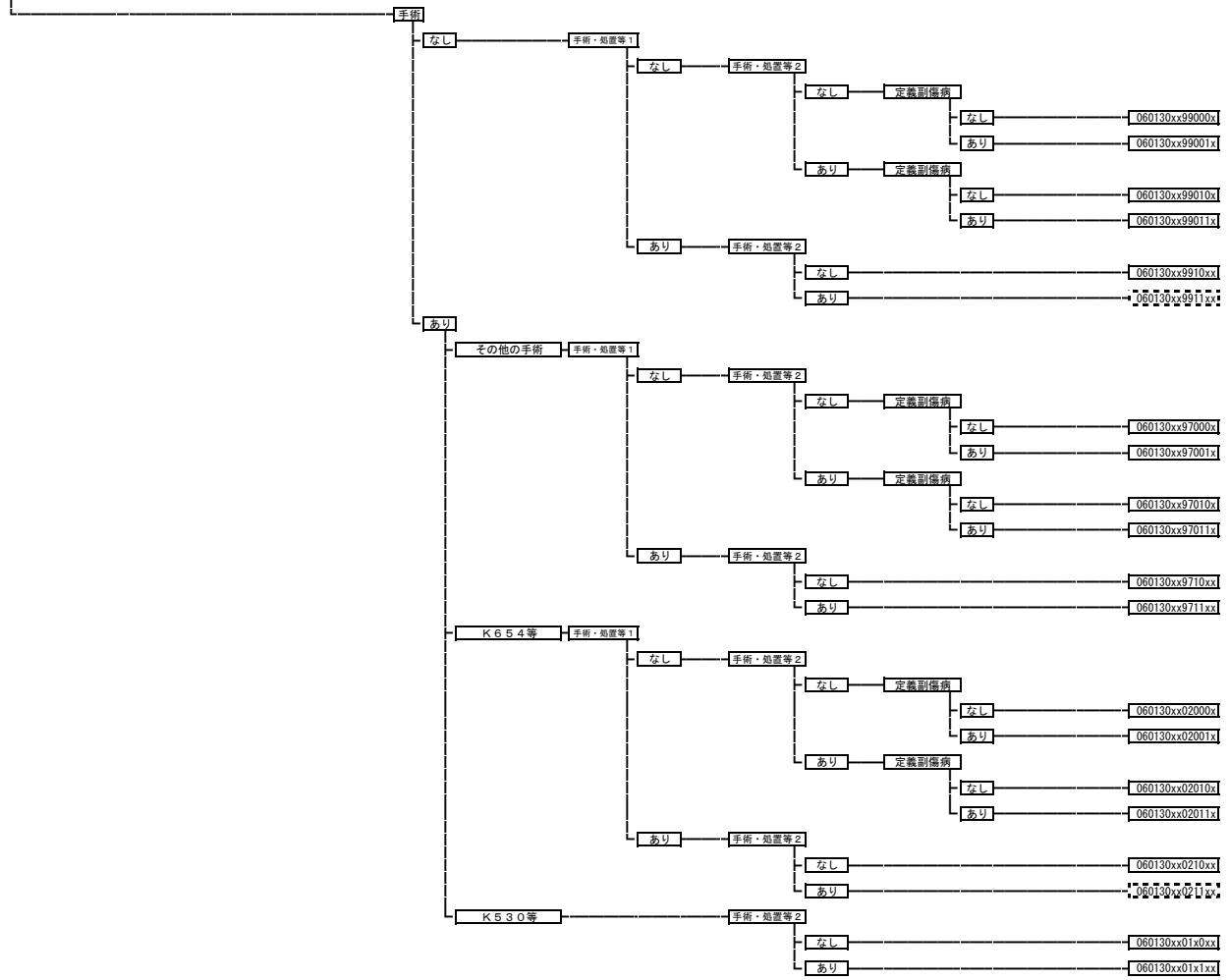
060102 穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患



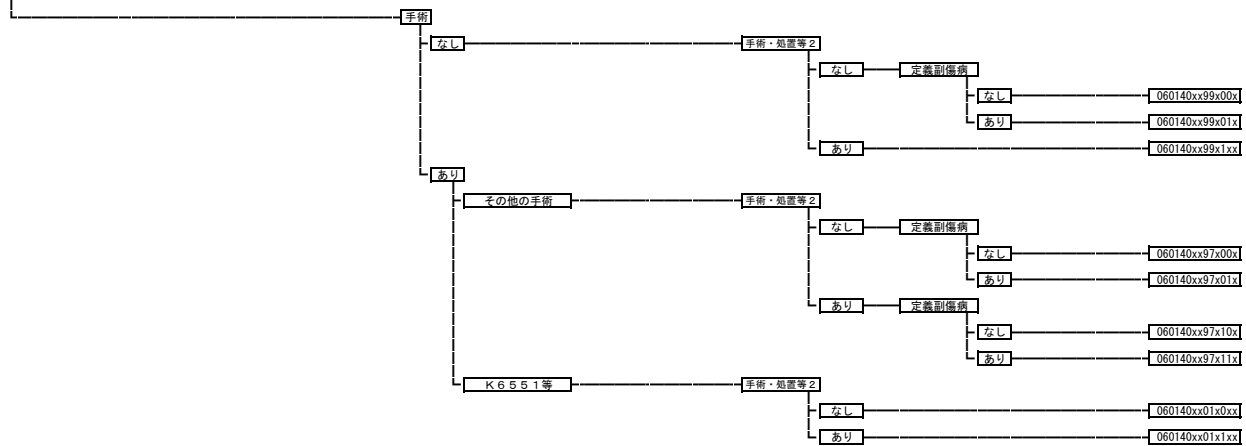
060110 肝の良性腫瘍



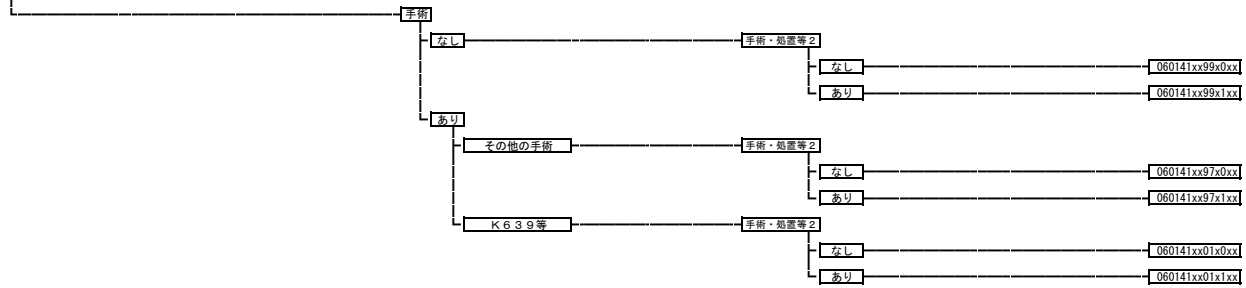
060130 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）



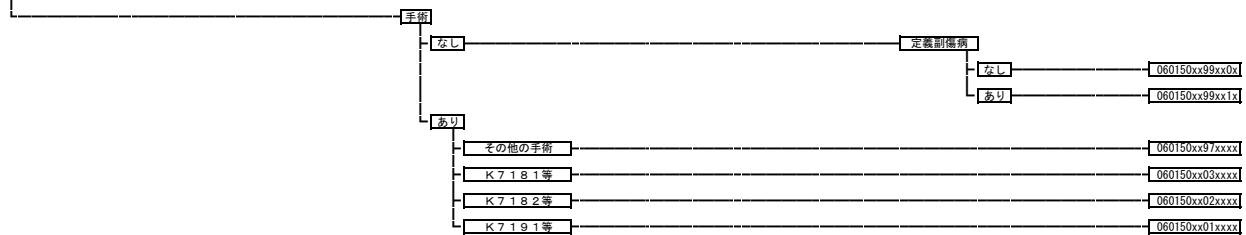
060140 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）



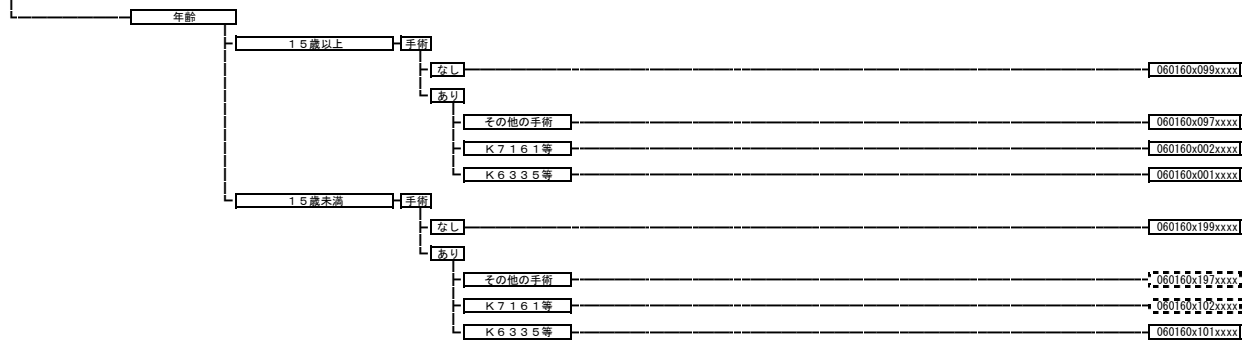
060141 胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴うもの）



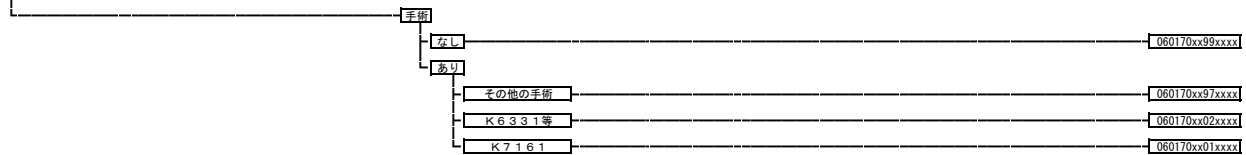
060150 虫垂炎



060160 鼠径ヘルニア

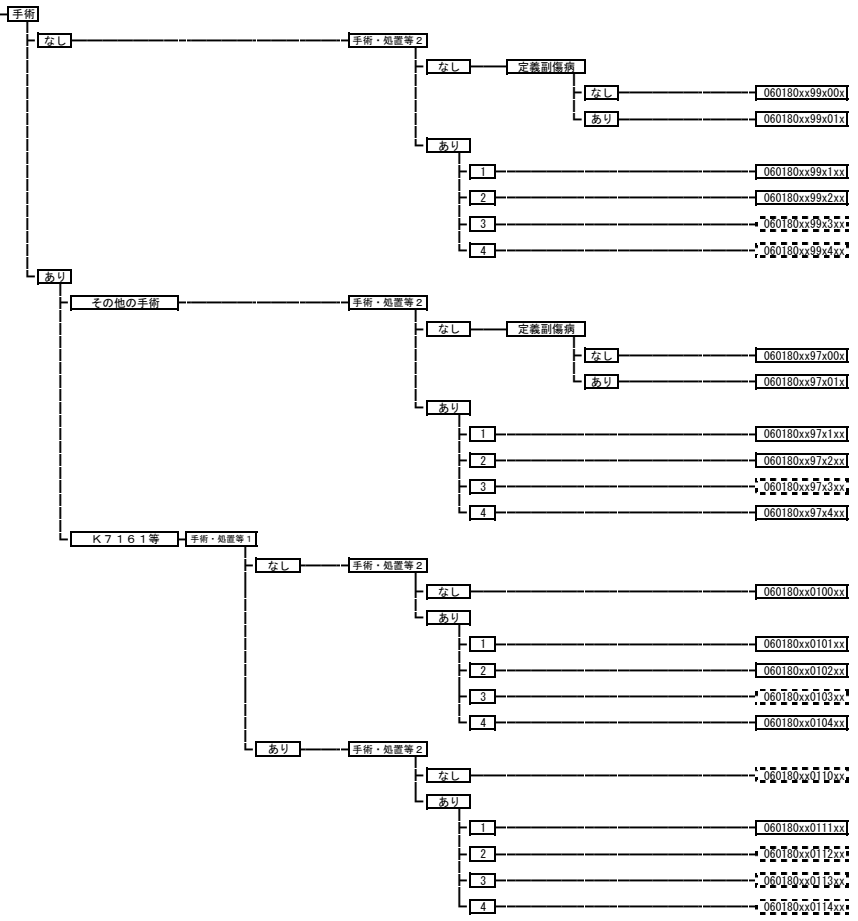


060170 閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア



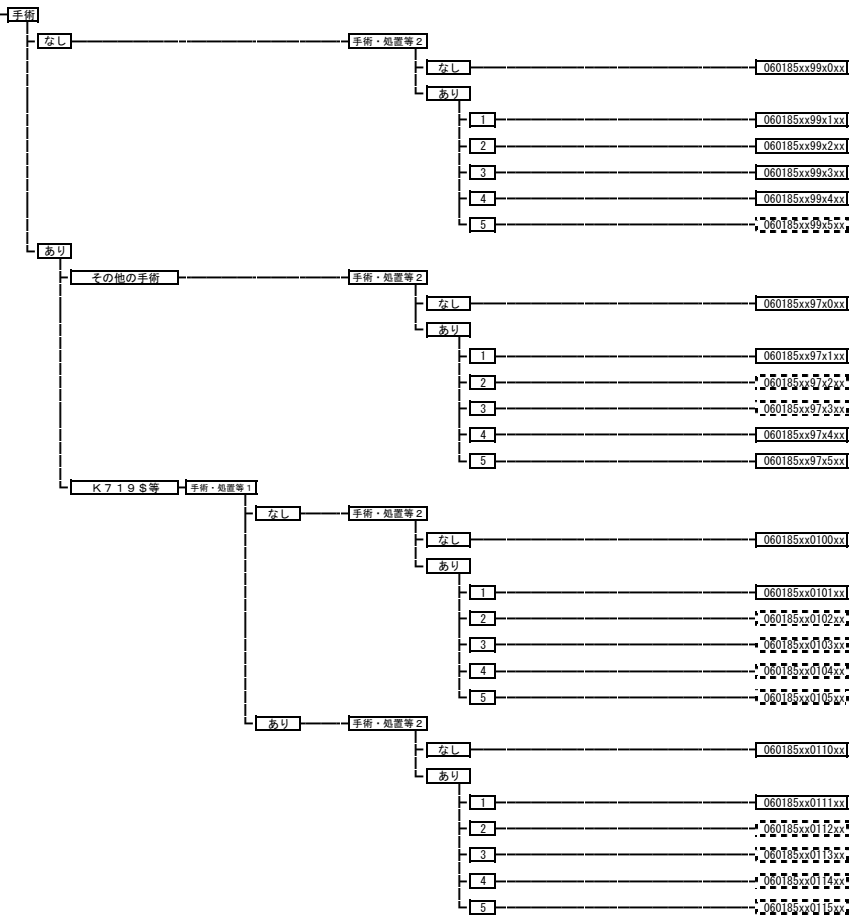
060180 クロウン病等

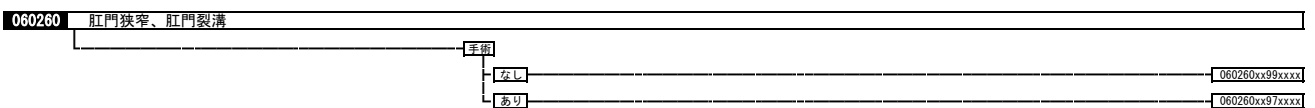
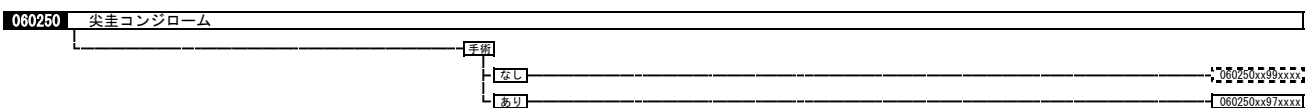
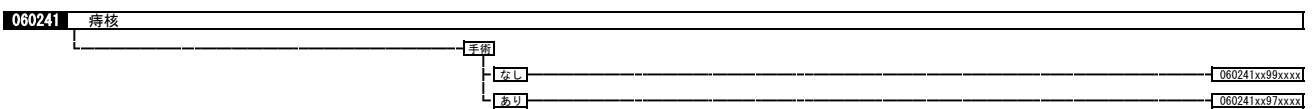
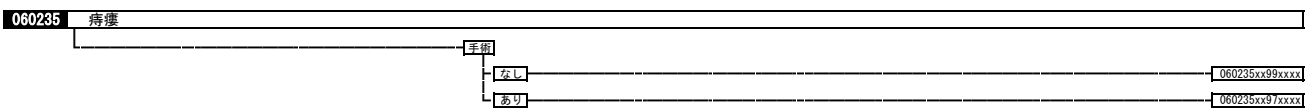
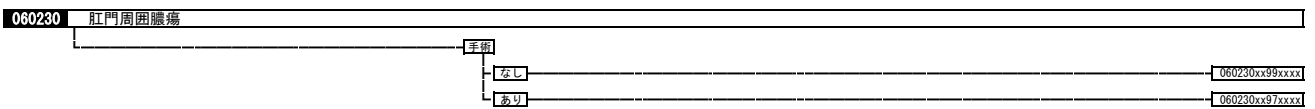
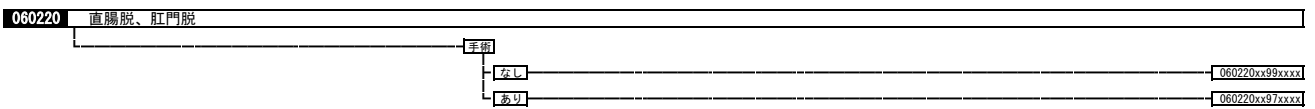
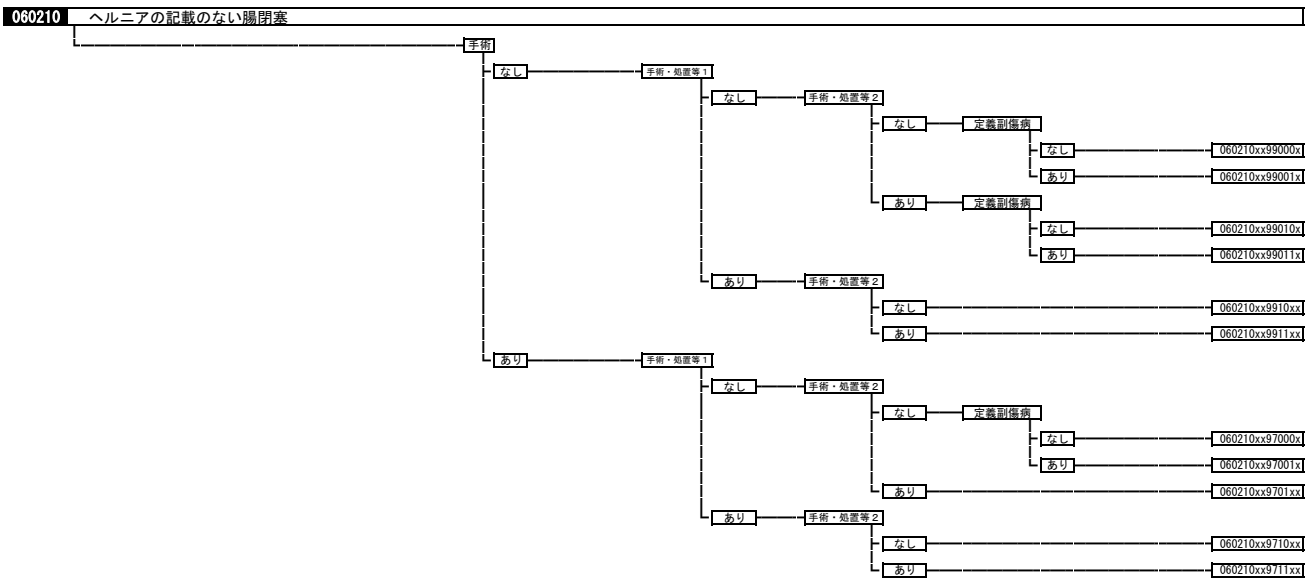
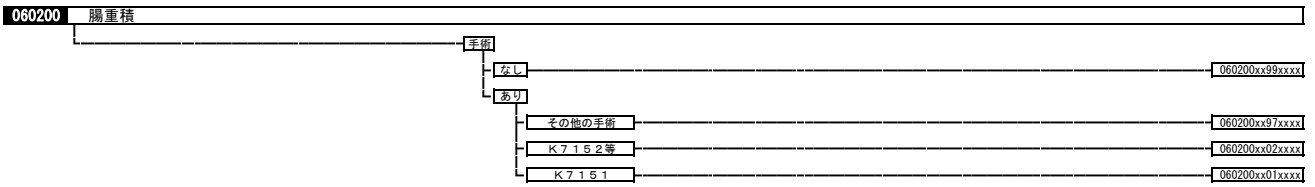
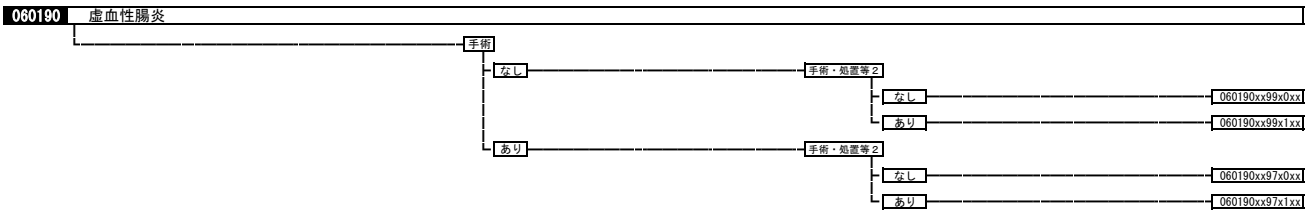
手術・処置等2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:アダルムマブ、ベドリスマブ
 3:血球成分除去療法
 4:ウスチキスマブ、インフリキシマブ



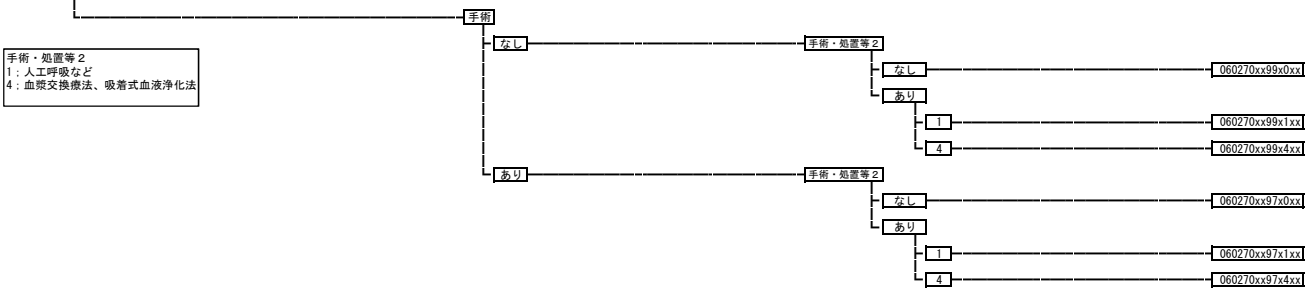
060185 潰瘍性大腸炎

手術・処置等2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:タクロリムス(外用薬を除く。)
 3:アダルムマブ、ベドリスマブ
 4:血球成分除去療法
 5:ゴリムマブ、インフリキシマブ





060270 劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎

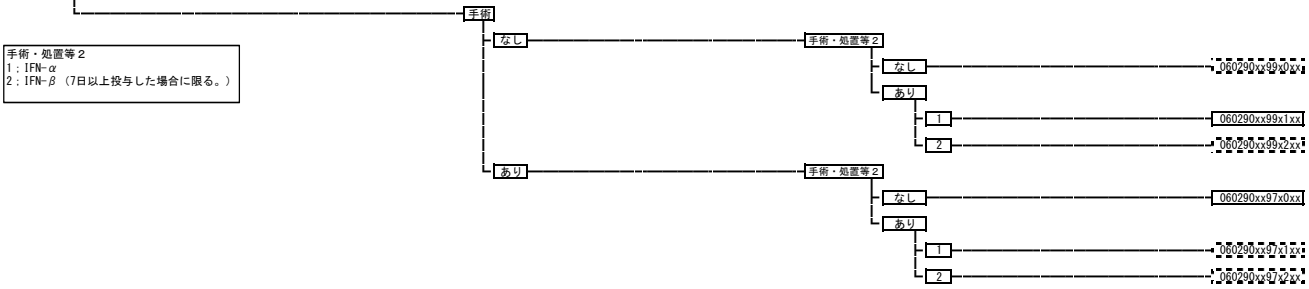


手術・処置等2
1: 人工呼吸など
4: 血漿交換療法、吸着式血液浄化法

060280 アルコール性肝障害

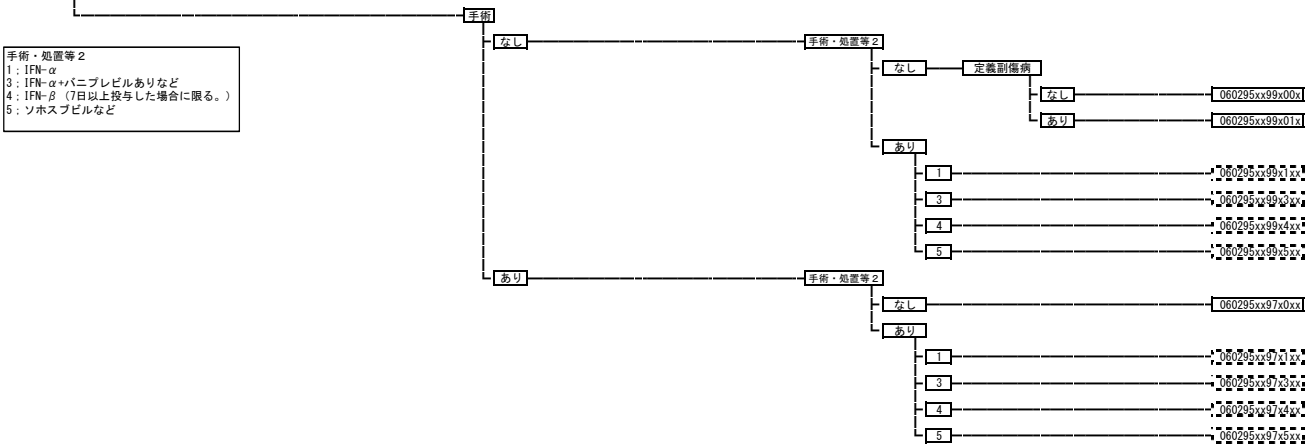


060290 慢性肝炎（慢性C型肝炎を除く。）



手術・処置等2
1: IFN-α
2: IFN-β（7日以上投与した場合に限る。）

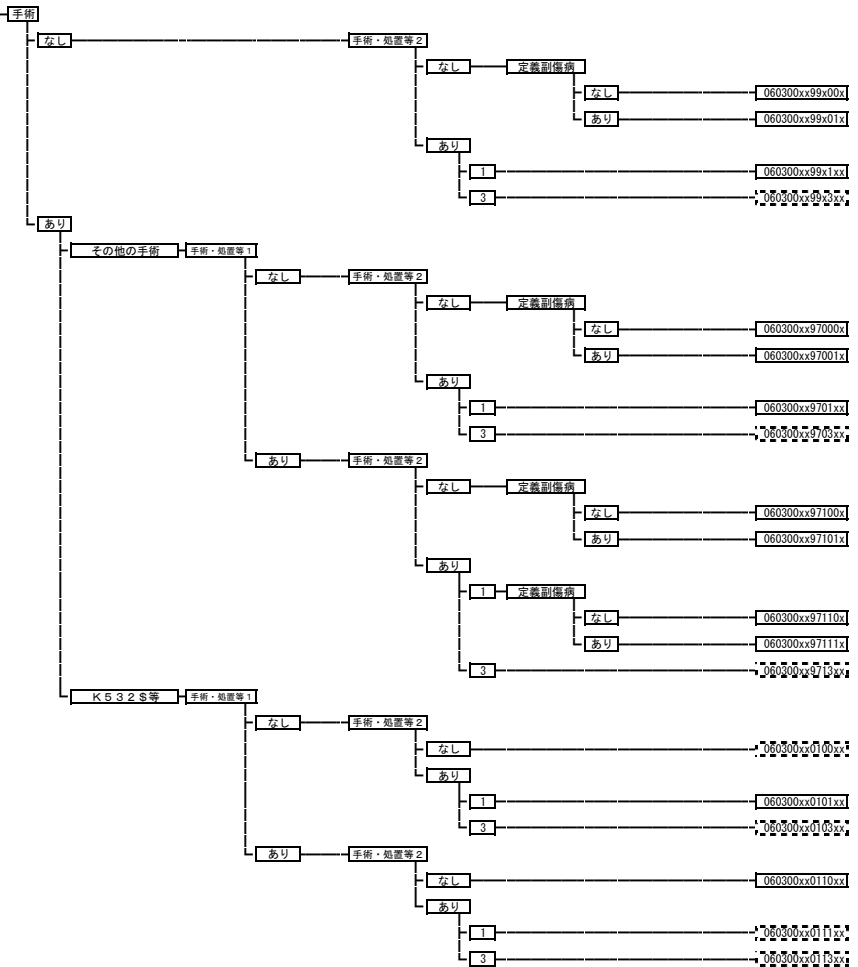
060295 慢性C型肝炎



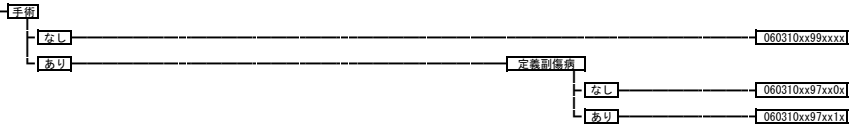
手術・処置等2
1: IFN-α
3: IFN-α+パニプレビルありなど
4: IFN-β（7日以上投与した場合に限る。）
5: ソホスブビルなど

060300 肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）

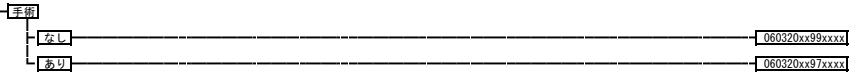
手術・処置等 2
1：人工呼吸など
3：血漿交換療法、吸着式血液浄化法



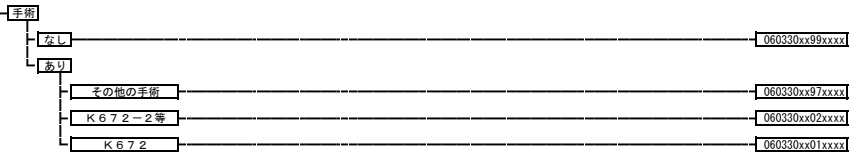
060310 肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む。）



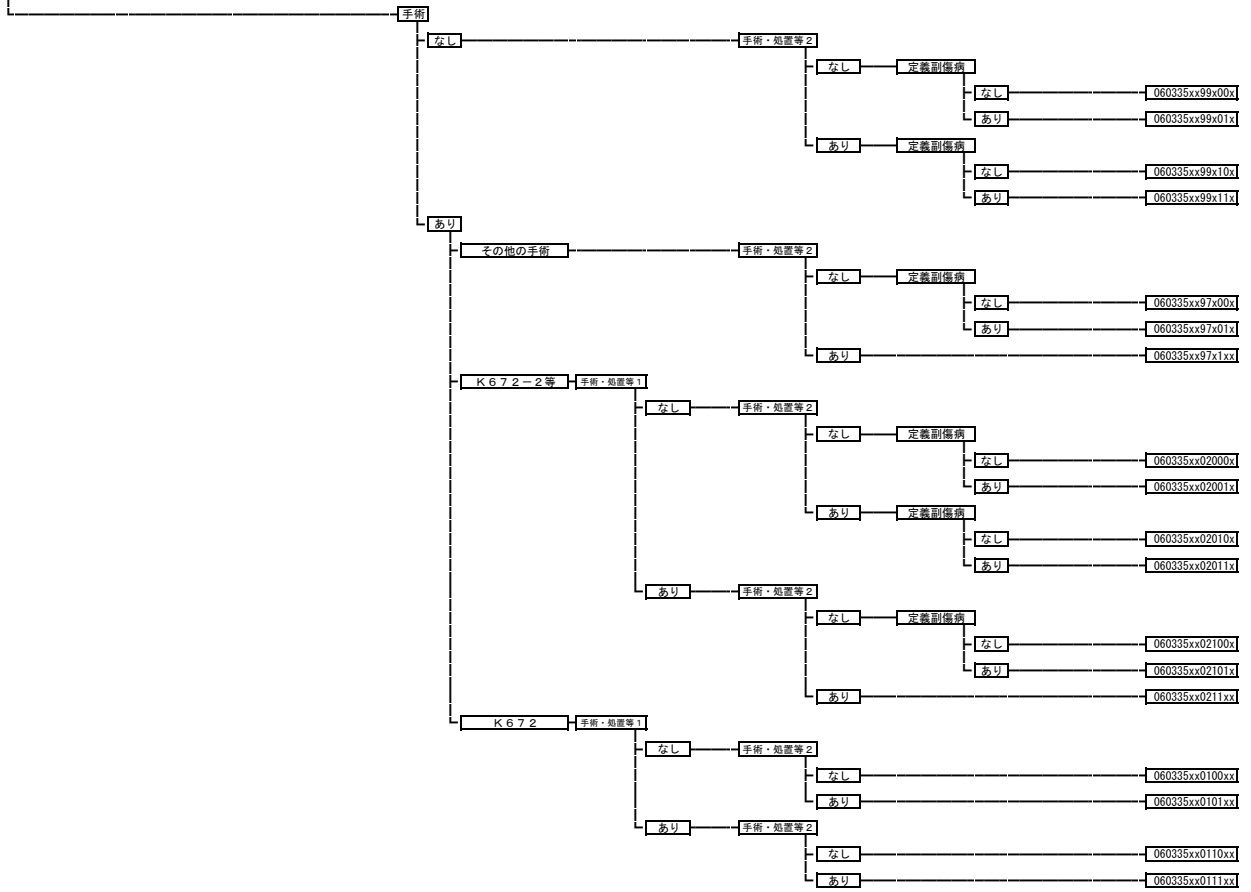
060320 肝嚢胞



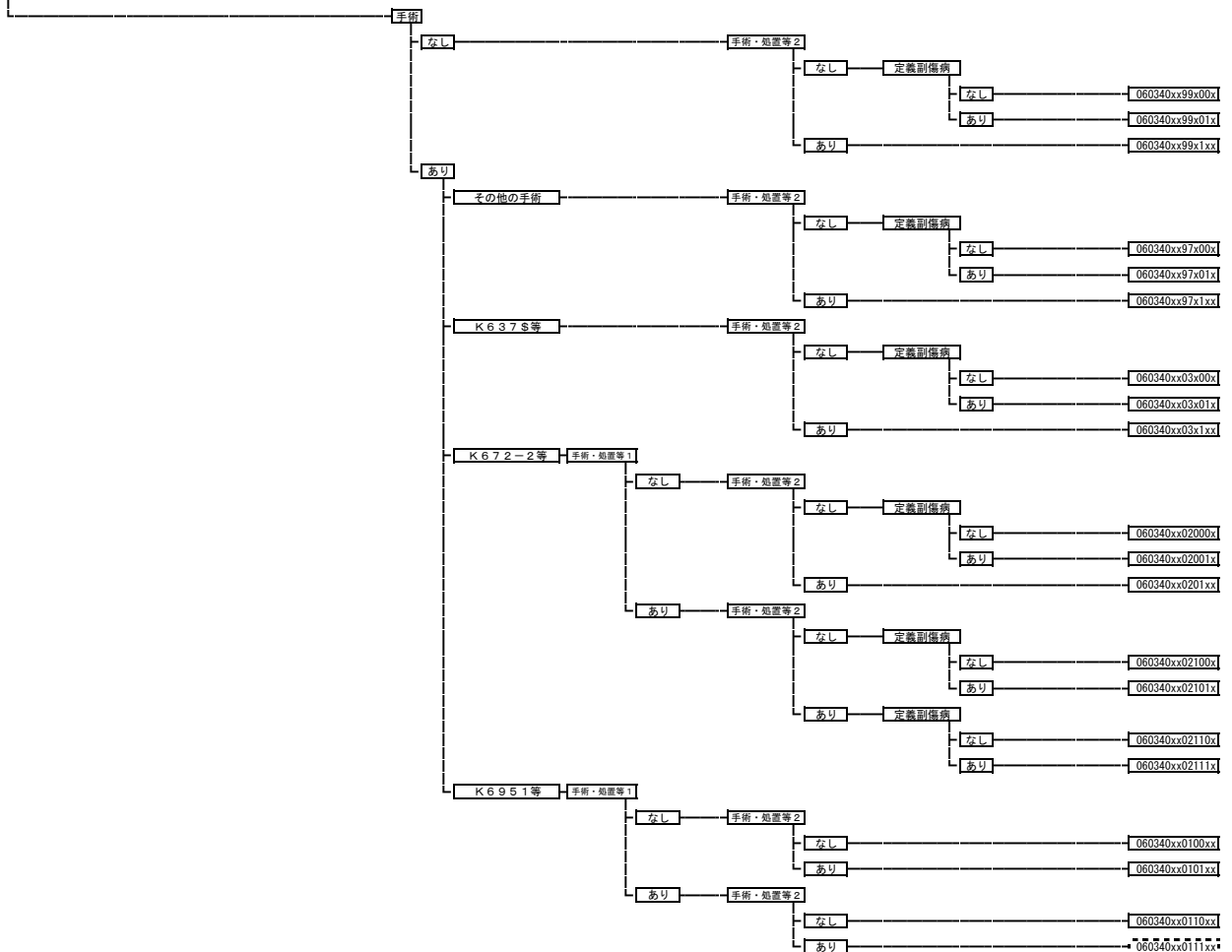
060330 胆嚢疾患（胆嚢結石など）



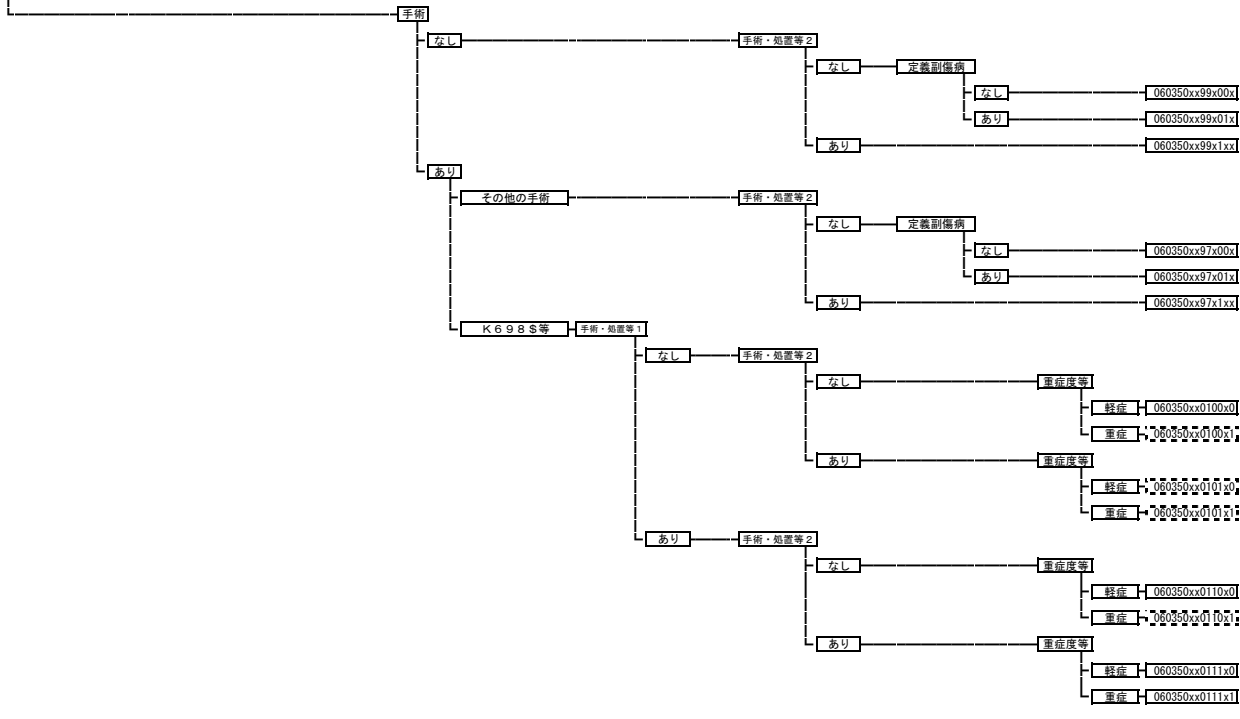
060335 胆嚢水腫、胆嚢炎等



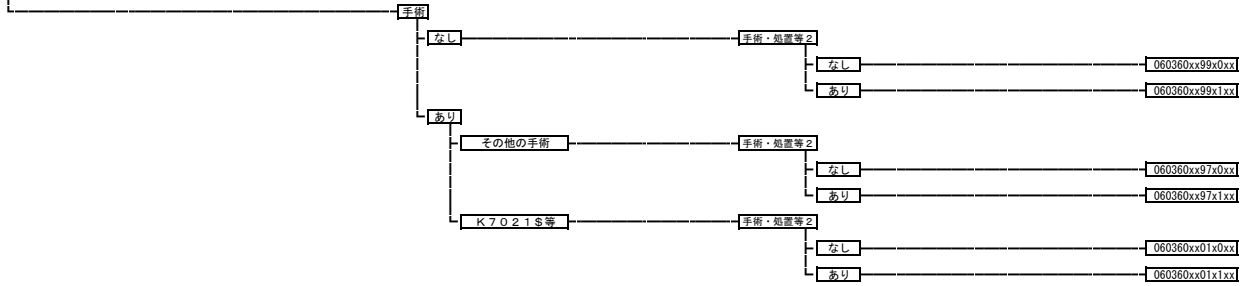
060340 胆管（肝内外）結石、胆管炎



060350 急性腸炎

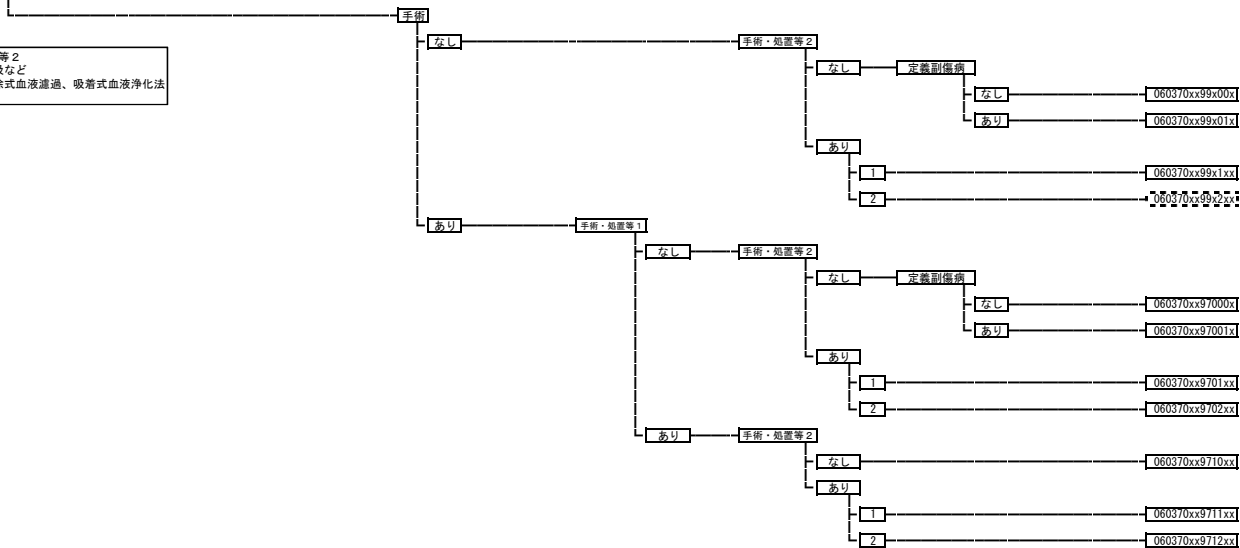


060360 慢性腸炎（腔囊胞を含む。）



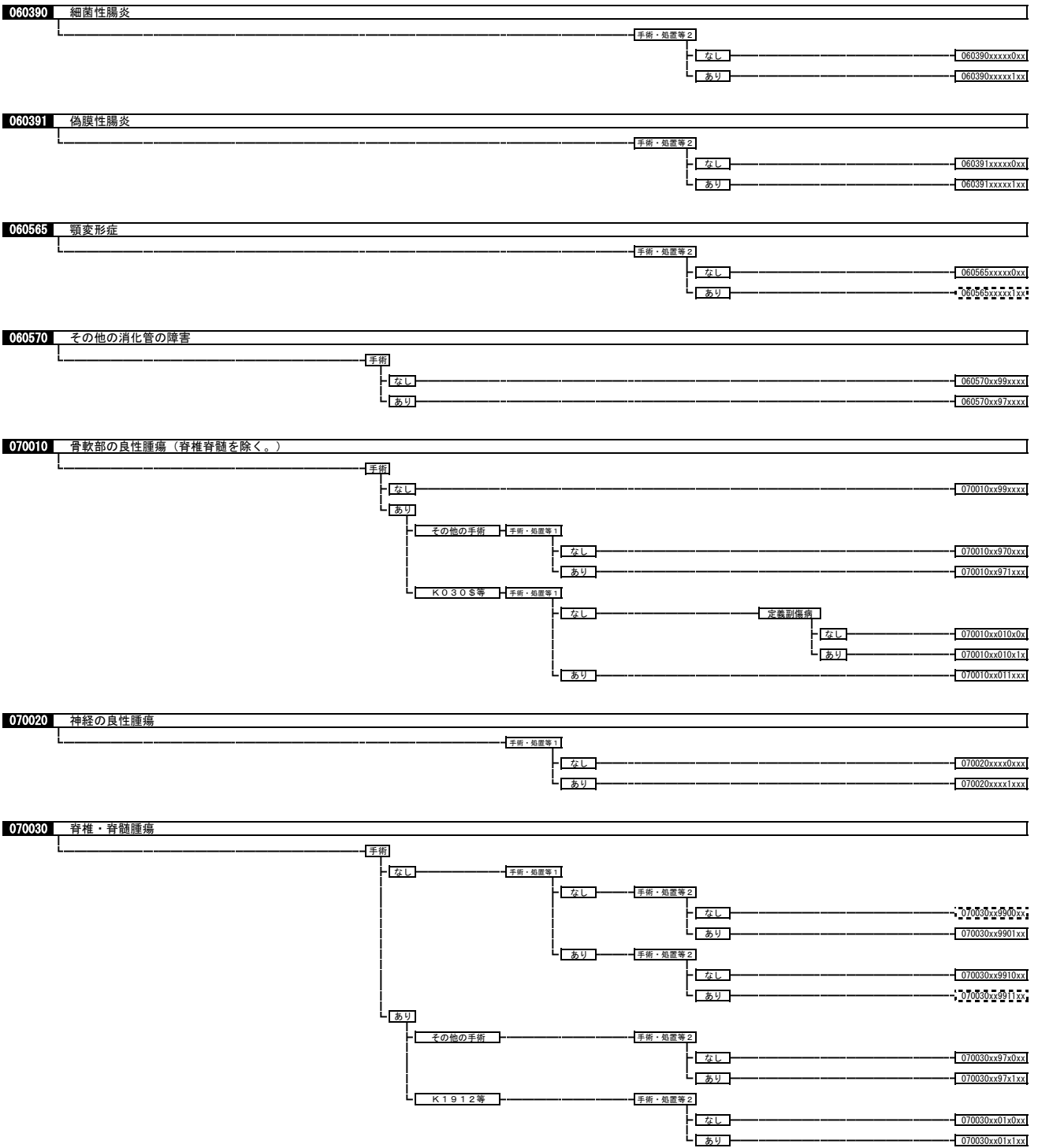
060370 腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性生殖器を除く。）

手術・処置等2
1: 人工呼吸など
2: 持続線維鏡式血液濾過、吸着式血液浄化法



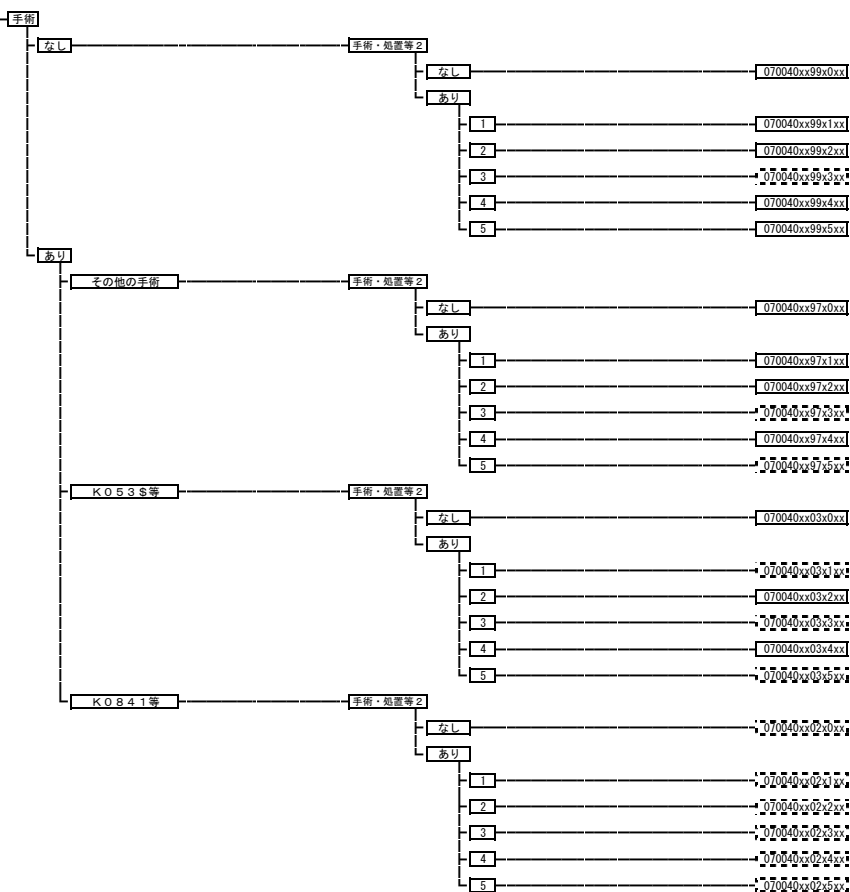
060380 ウイルス性腸炎





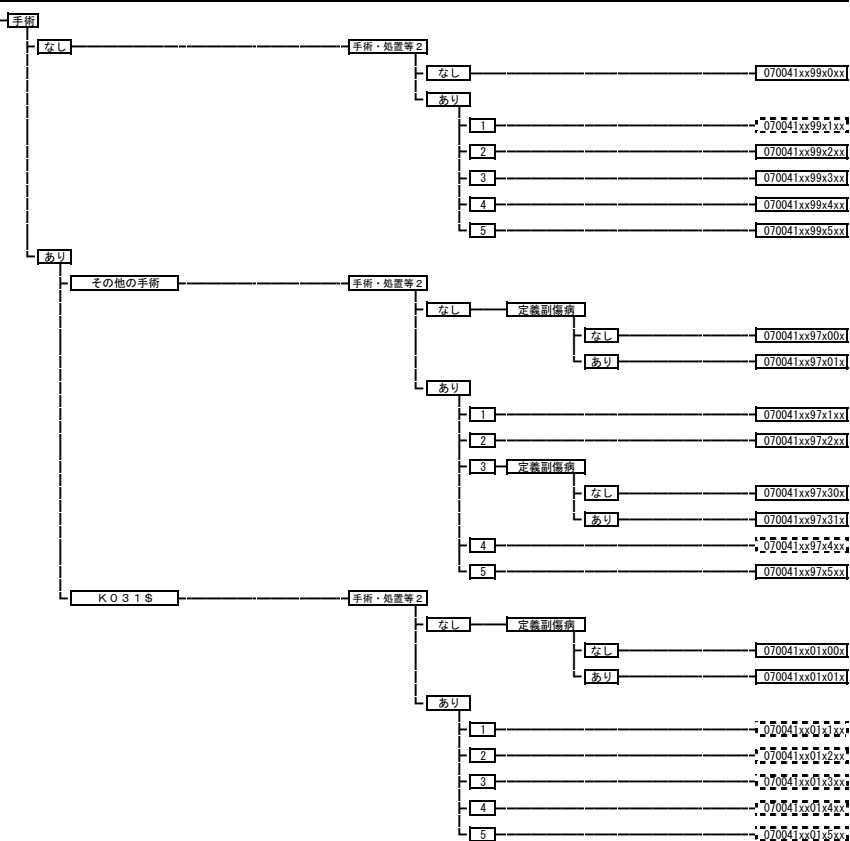
070040 骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）

手術・処置等2
 1：人工呼吸、中心静脈注射
 2：放射線療法
 3：塩化ストロンチウム
 4：化学療法ありかつ放射線療法なし
 5：メトトレキサート大量療法

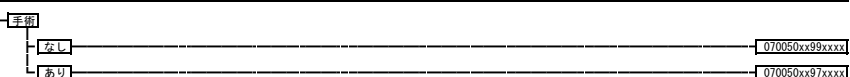


070041 軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）

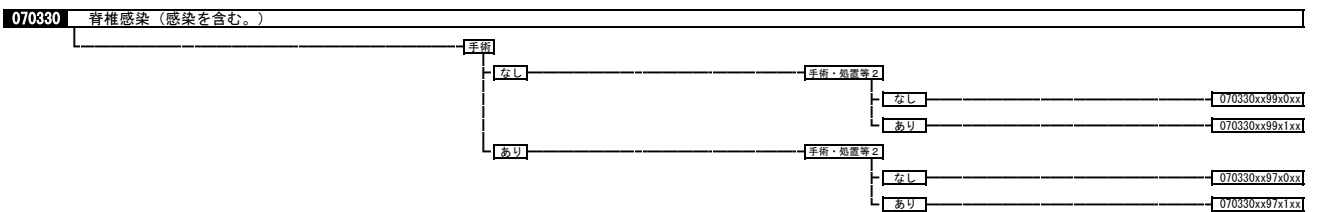
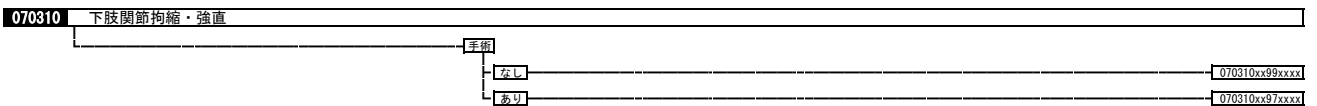
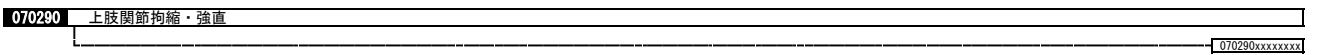
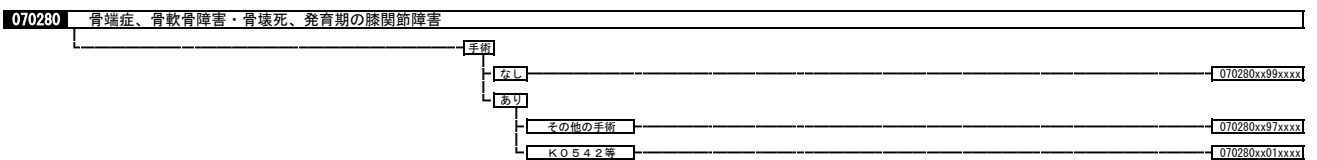
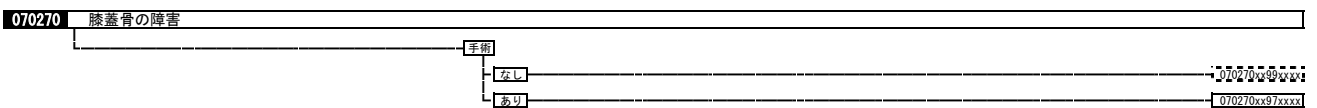
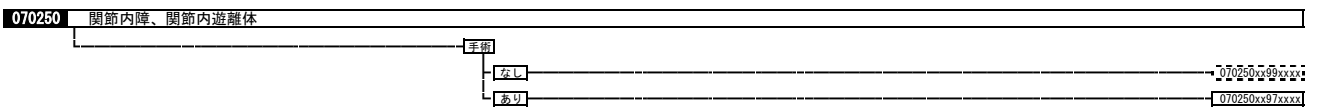
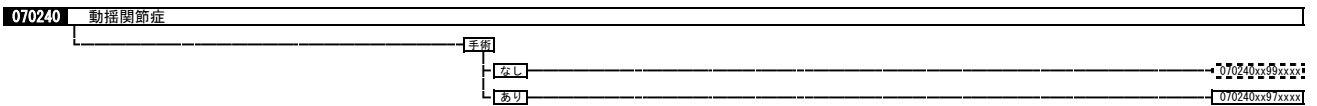
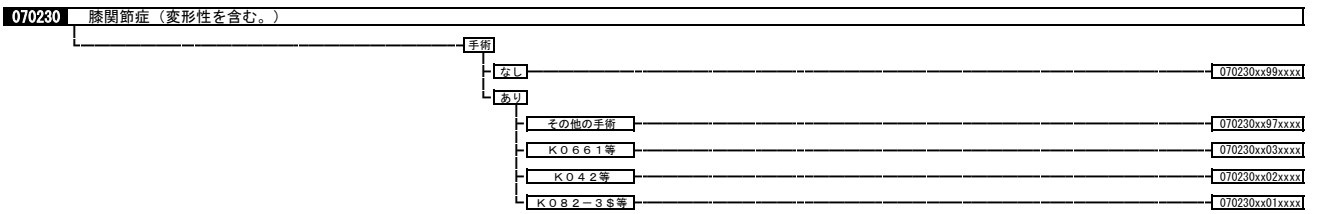
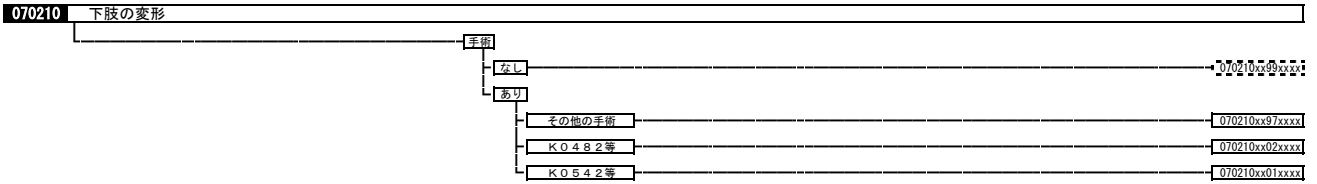
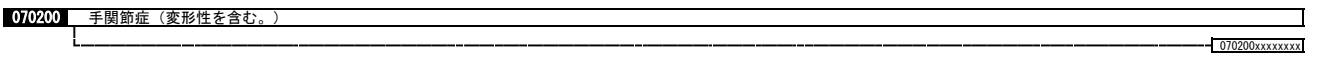
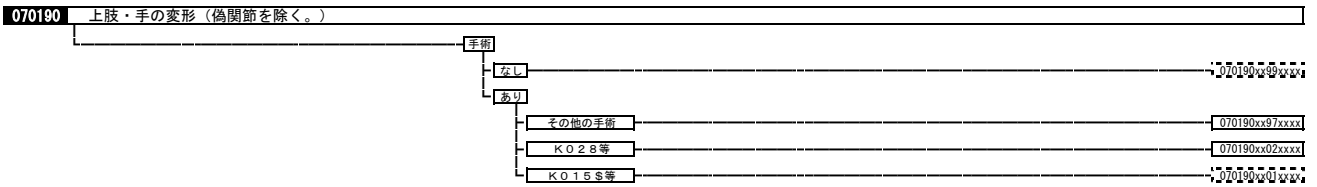
手術・処置等2
 1：人工呼吸、中心静脈注射
 2：放射線療法
 3：化学療法ありかつ放射線療法なし
 4：エリブリンメシル酸塩
 5：トラベクテジン

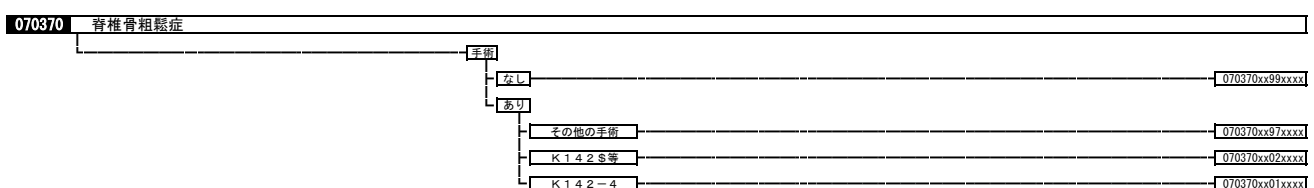
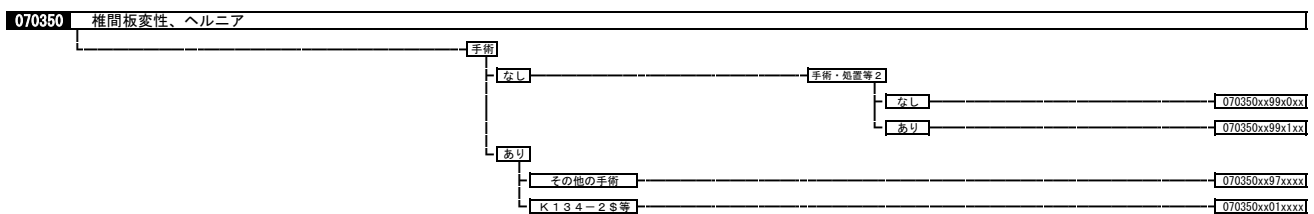
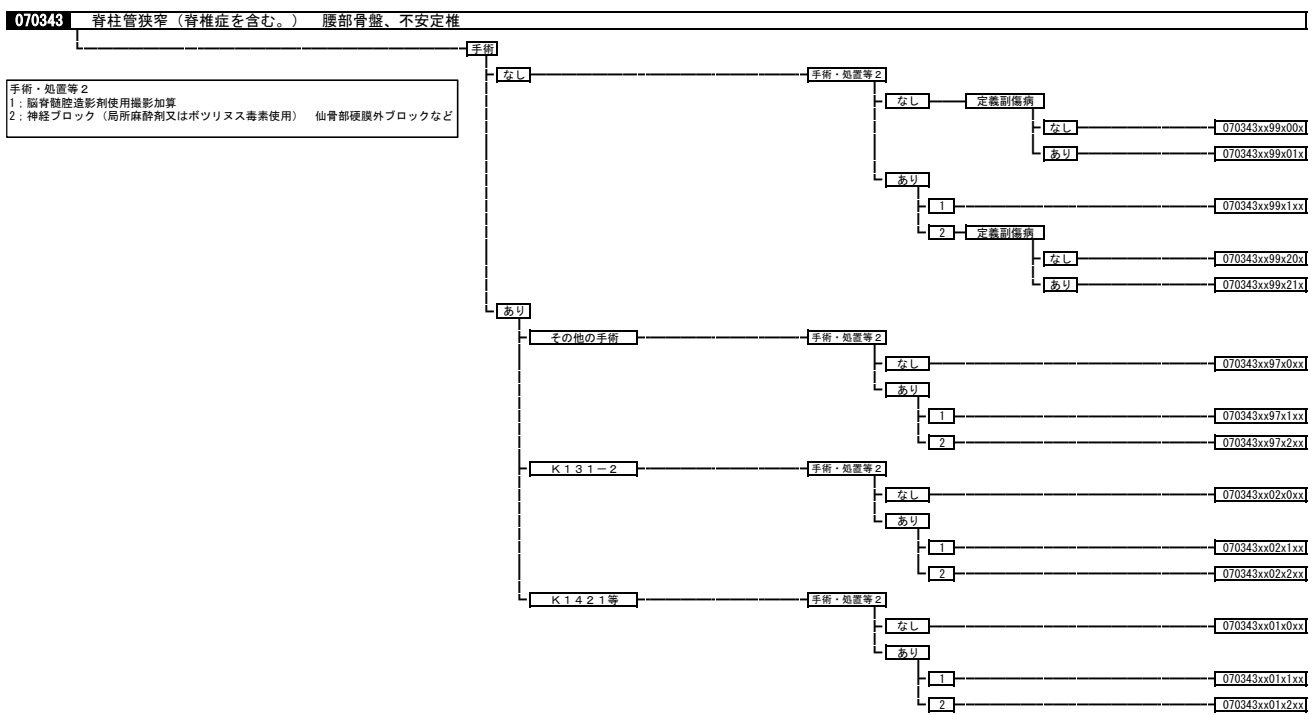
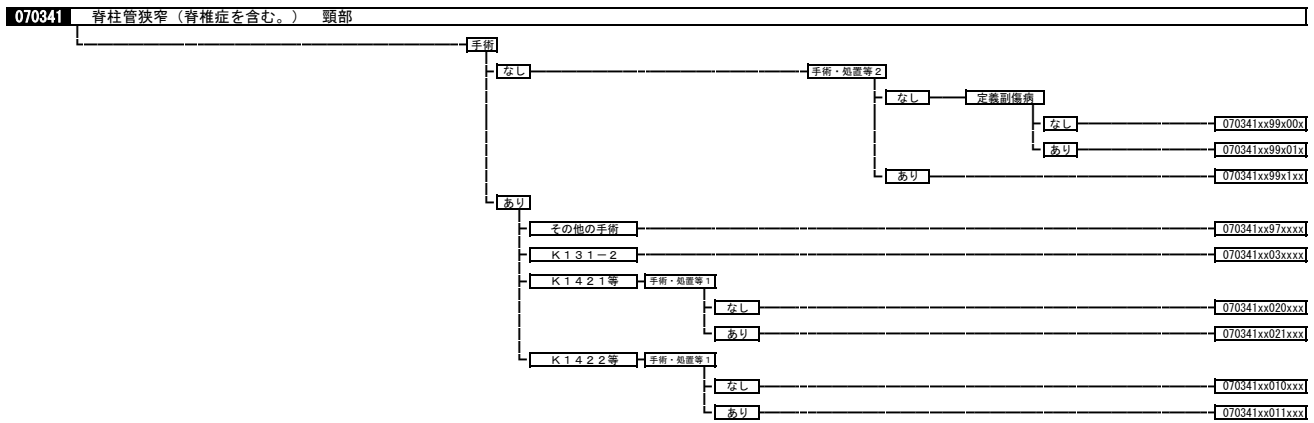
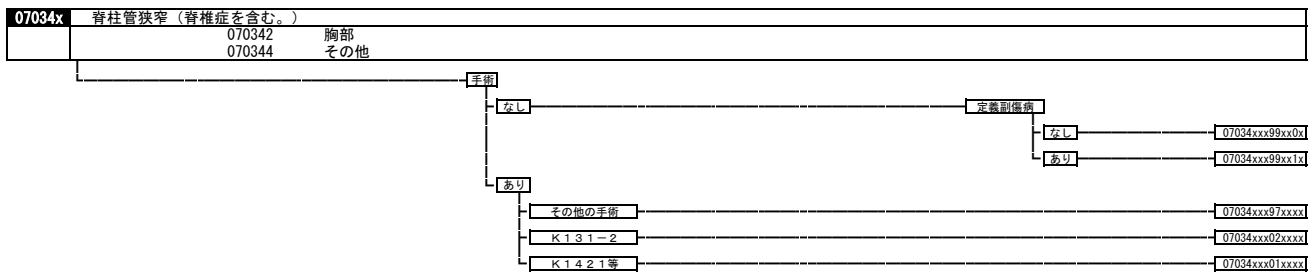


070050 肩関節炎、肩の障害（その他）



070060	手肘の関節炎				070060xxxxxxx
070070	骨髄炎（上肢）		手術		
			なし		070070xx99xxxx
			あり		070070xx97xxxx
070071	骨髄炎（上肢以外）		手術		
			なし		070071xx99xxxx
			あり	定義副傷病	
				なし	070071xx97xx0x
				あり	070071xx97xx1x
070080	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢）		手術		
			なし		070080xx99xxxx
			あり	定義副傷病	
				なし	070080xx97xx0x
				あり	070080xx97xx1x
070085	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症（上肢以外）		手術		
			なし		070085xx99xxxx
			あり		070085xx97xxxx
070090	筋炎（感染性を含む。）		手術		
			なし		070090xx99xxxx
			あり		070090xx97xxxx
07010x	化膿性関節炎（下肢）				
	070101	化膿性・結核性股関節炎			
	070102	化膿性膝関節炎			
	070103	下肢（股関節以外）関節炎			
			手術		
			なし		07010xxx99xxxx
			あり		
				その他の手術	07010xxx97xxxx
				K066-21等	07010xxx01xxxx
070150	上肢神経障害（胸郭出口症候群を含む。）		手術		
			なし		070150xx99xxxx
			あり		070150xx97xxxx
070160	上肢末梢神経麻痺		手術		
			なし		070160xx99xxxx
			あり		
				その他の手術	070160xx97xxxx
				K093等	070160xx01xxxx
070170	下肢神経疾患		手術		
			なし		070170xx99xxxx
			あり		070170xx97xxxx
070180	脊椎変形		手術		
			なし	定義副傷病	
				なし	070180xx99xx0x
				あり	070180xx99xx1x
			あり		070180xx97xxxx

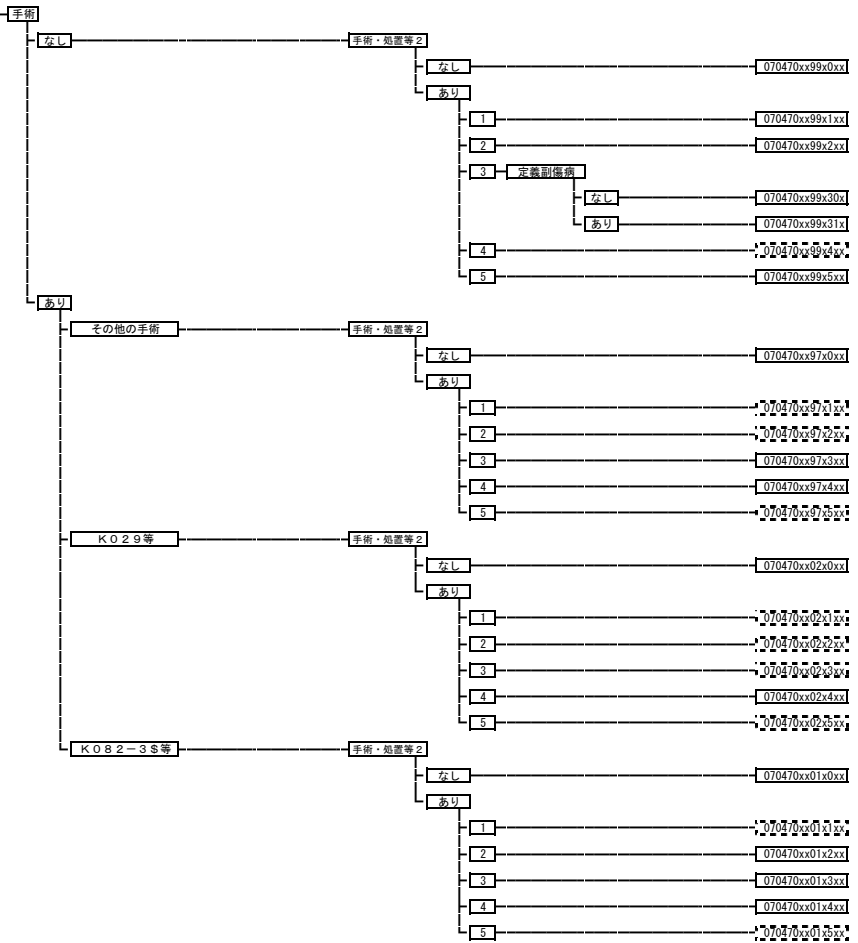




070380	ガングリオン	手術	なし	070380xx99xxxx
			あり	070380xx97xxxx
			その他の手術	070380xx01xxxx
			KO66S等	070380xx01xxxx
070390	線維芽細胞性腫瘍	手術	なし	070390xx99xxxx
			あり	070390xx97xxxx
			手術・処置等2	070390xx99xxxx
			なし	070390xx99xxxx
			あり	070390xx99xxxx
			手術・処置等2	070390xx97xxxx
			なし	070390xx97xxxx
			あり	070390xx97xxxx
070395	壊死性筋膜炎	手術	なし	070395xx99xxxx
			あり	070395xx97xxxx
			手術・処置等1	070395xx97xxxx
			なし	070395xx97xxxx
			あり	070395xx97xxxx
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	手術	なし	07040xxx99xxxx
	070401 股関節骨頭壊死		あり	07040xxx97xxxx
	070402 股関節症（変形性を含む。）		その他の手術	07040xxx03xxxx
			KO661等	07040xxx03xxxx
			KO55-2等	07040xxx02xxxx
			KO82-3S等	07040xxx01xxxx
070420	大腿骨頭ずべり症	手術	なし	070420xx99xxxx
			あり	070420xx97xxxx
070430	神経栄養養症、骨成長障害、骨障害（その他）	手術	なし	070430xx99xxxx
			あり	070430xx97xxxx
			その他の手術	070430xx01xxxx
			KO49S等	070430xx01xxxx
070440	色素性絨毛結節性滑膜炎	手術	なし	070440xx99xxxx
			あり	070440xx97xxxx
070460	股関節ヘルテス病	手術	なし	070460xx99xxxx
			あり	070460xx97xxxx

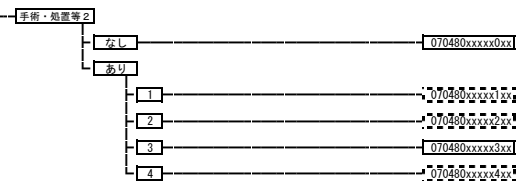
070470 関節リウマチ

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: エタネルセプト
 3: デノスマブなど
 4: サリルマブなど
 5: インフリキシマブ



070480 脊椎関節炎

手術・処置等2
 1: アダリムマブ、ベドリズマブ
 2: トシリズマブ
 3: インフリキシマブ
 4: インフリキシマブ (強直性脊椎炎の場合)



070510 痛風、関節の障害 (その他)

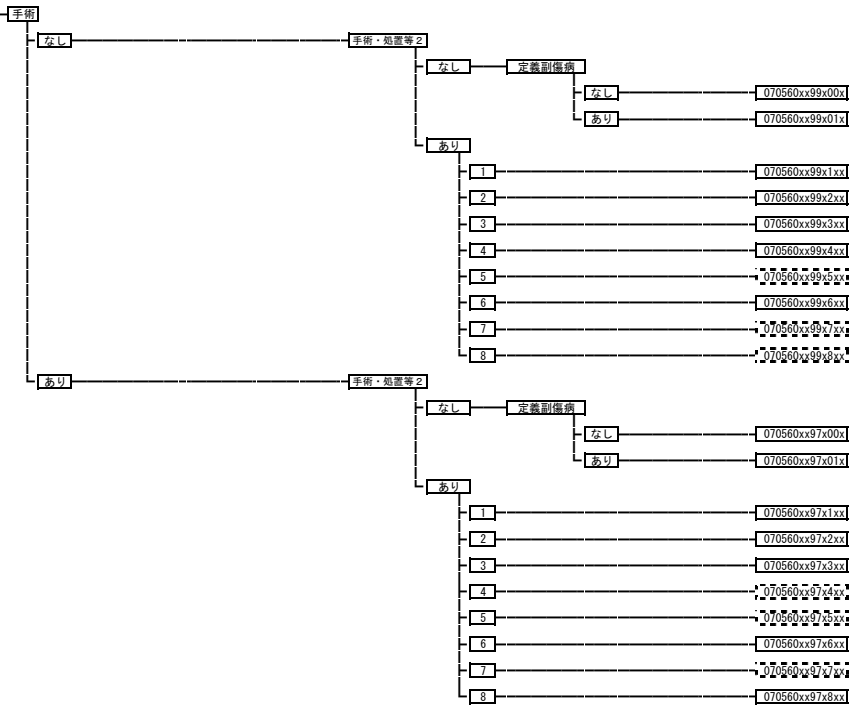


070520 リンパ節、リンパ管の疾患



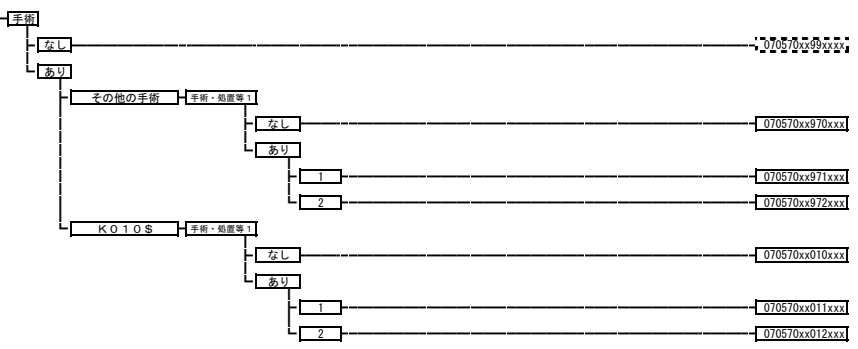
070560 重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患

- 手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: ポセタン水和物（錠剤に限る。）
 3: 血漿交換療法
 4: アタリムマブ
 5: トシリズマブ
 6: ガンマグロブリン
 7: インフリキシマブ
 8: リツキシマブ

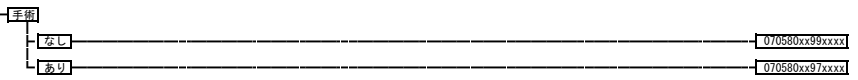


070570 瘻痕拘縮

- 手術・処置等1
 1: 全層植皮術、分層植皮術
 2: 組織拡張器による再建手術（一連につき） その他の場合など

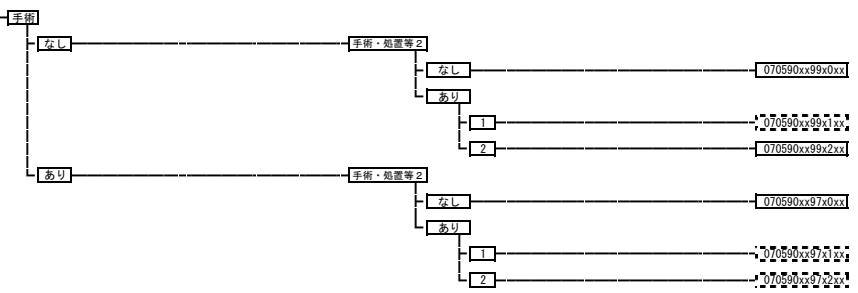


070580 斜頸

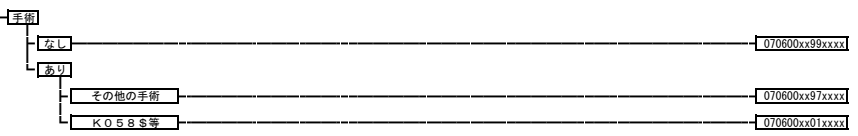


070590 血管腫、リンパ管腫

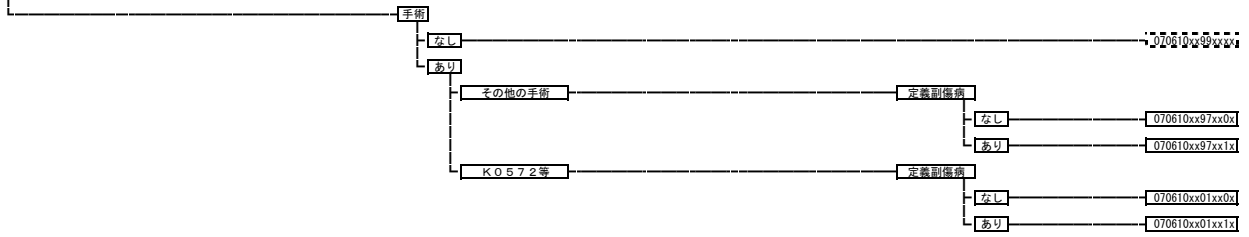
- 手術・処置等2
 1: 人工呼吸
 2: 皮膚レーザー照射療法



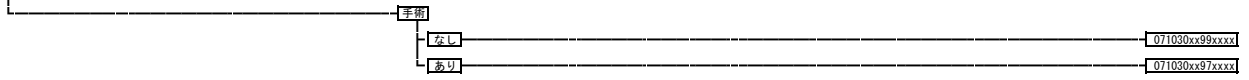
070600 骨折変形癒合、癒合不全などによる変形（上肢以外）



070610 骨折変形癒合、癒合不全などによる変形（上肢）

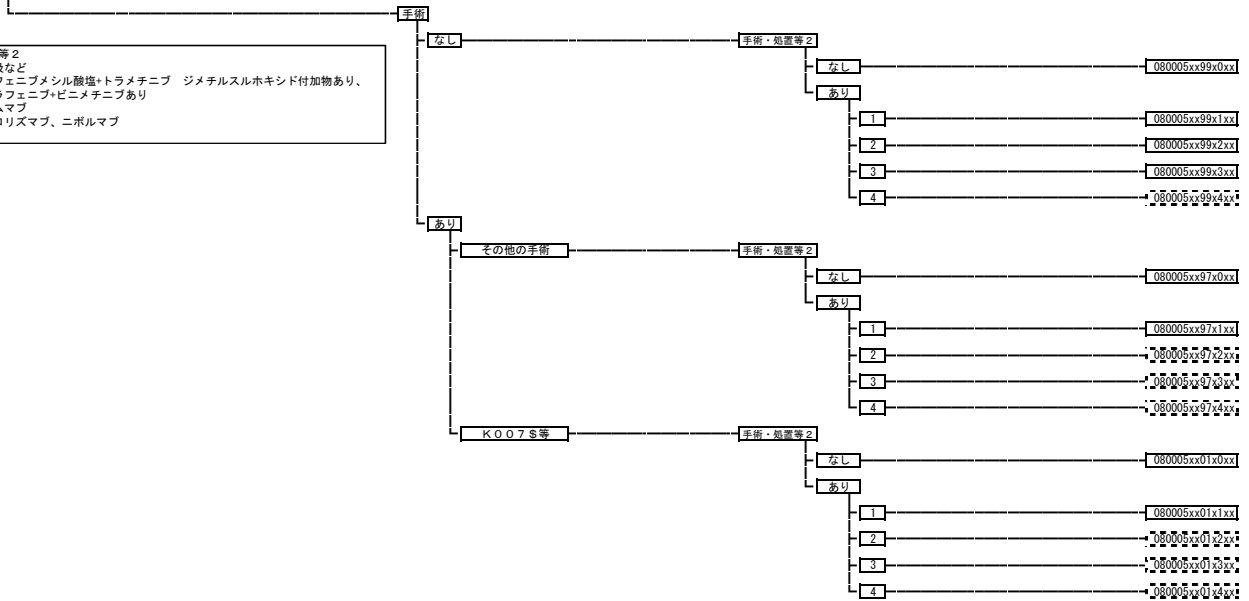


071030 その他の筋骨格系・結合組織の疾患



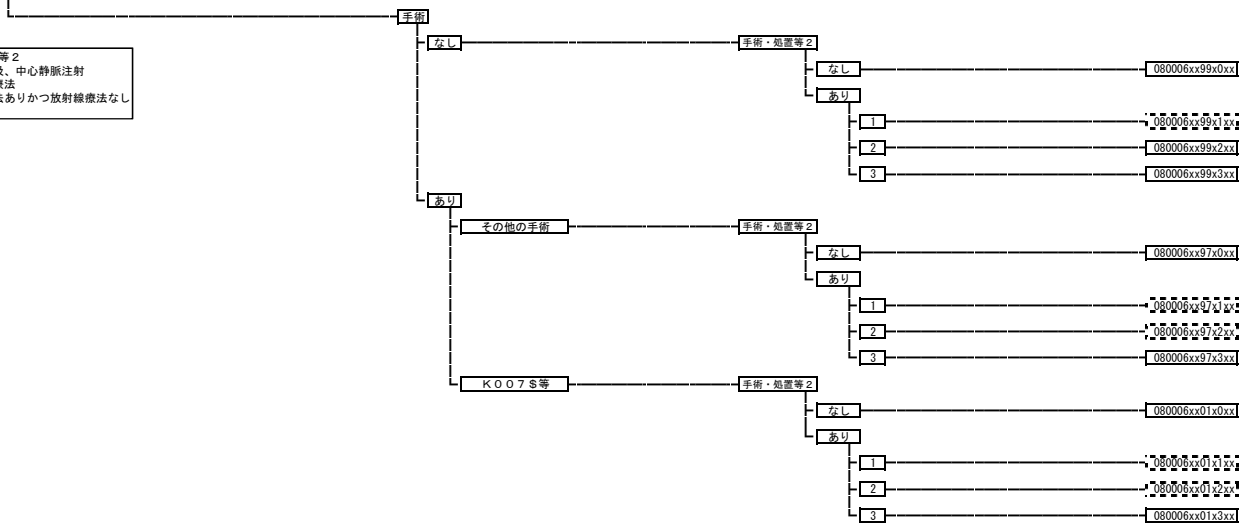
080005 黒色腫

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸など
 2: ダブラフェニブシル硫酸+トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物あり、エンコラフェニブ+ピメチニブあり
 3: イピリムマブ
 4: ベムプロリスマブ、ニボルマブ

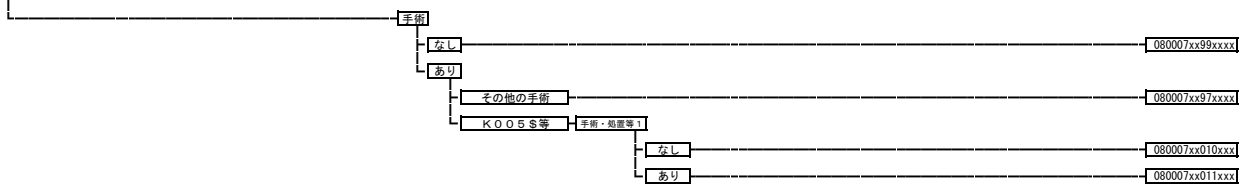


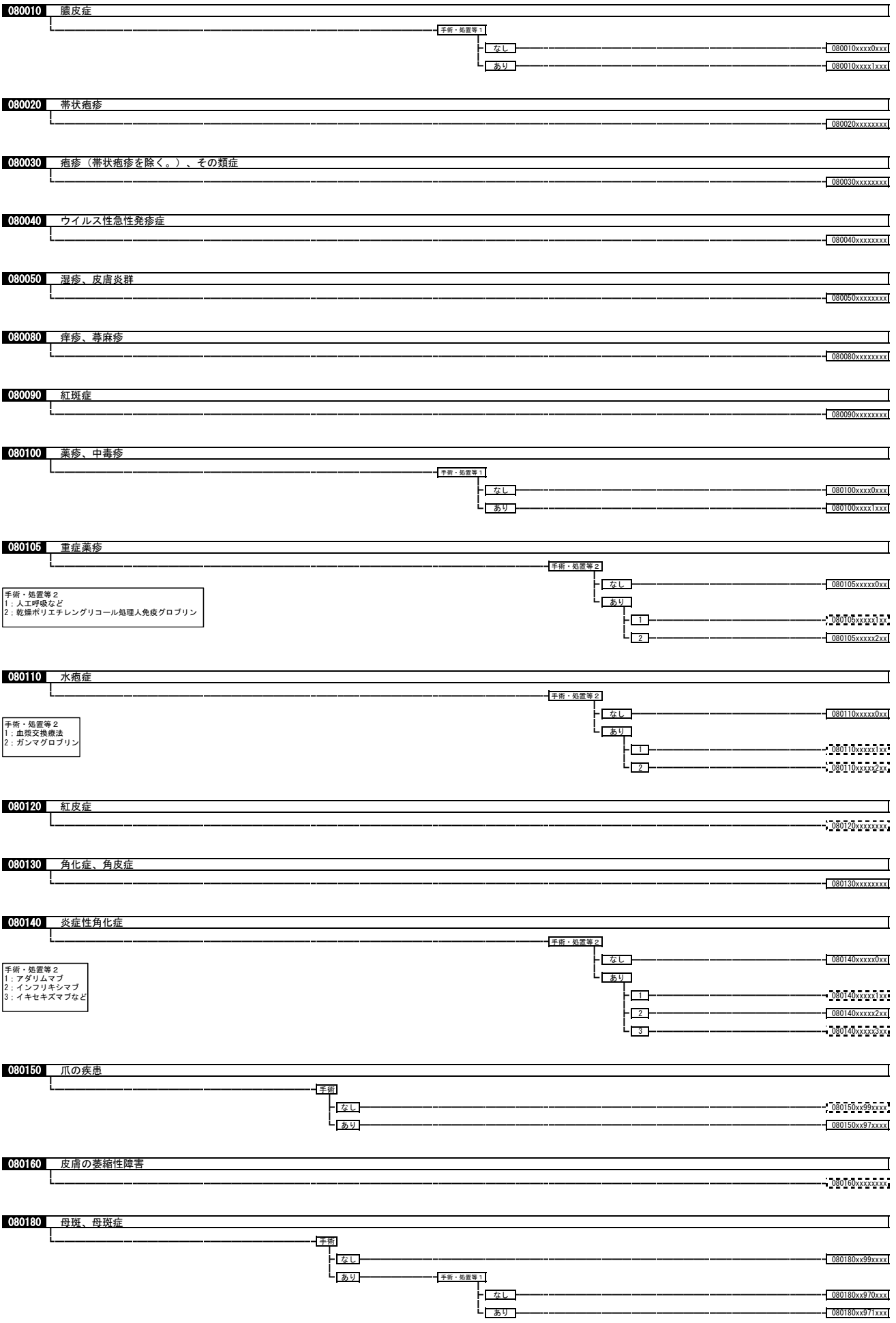
080006 皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）

手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし



080007 皮膚の良性新生物





080190 脱毛症
080190xxxxxxx

080210 ざ瘡、皮膚の障害（その他）
080210xxxxxxx

080220 エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害
手術
なし 080220xx99xxxx
あり 080220xx97xxxx

080230 皮膚色素異常症
手術
なし 080230xx99xxxx
あり 080230xx97xxxx

080240 多汗症
手術
なし 080240xx99xxxx
あり 080240xx97xxxx

080245 放射線皮膚障害
手術
なし 080245xx99xxxx
あり 080245xx97xxxx

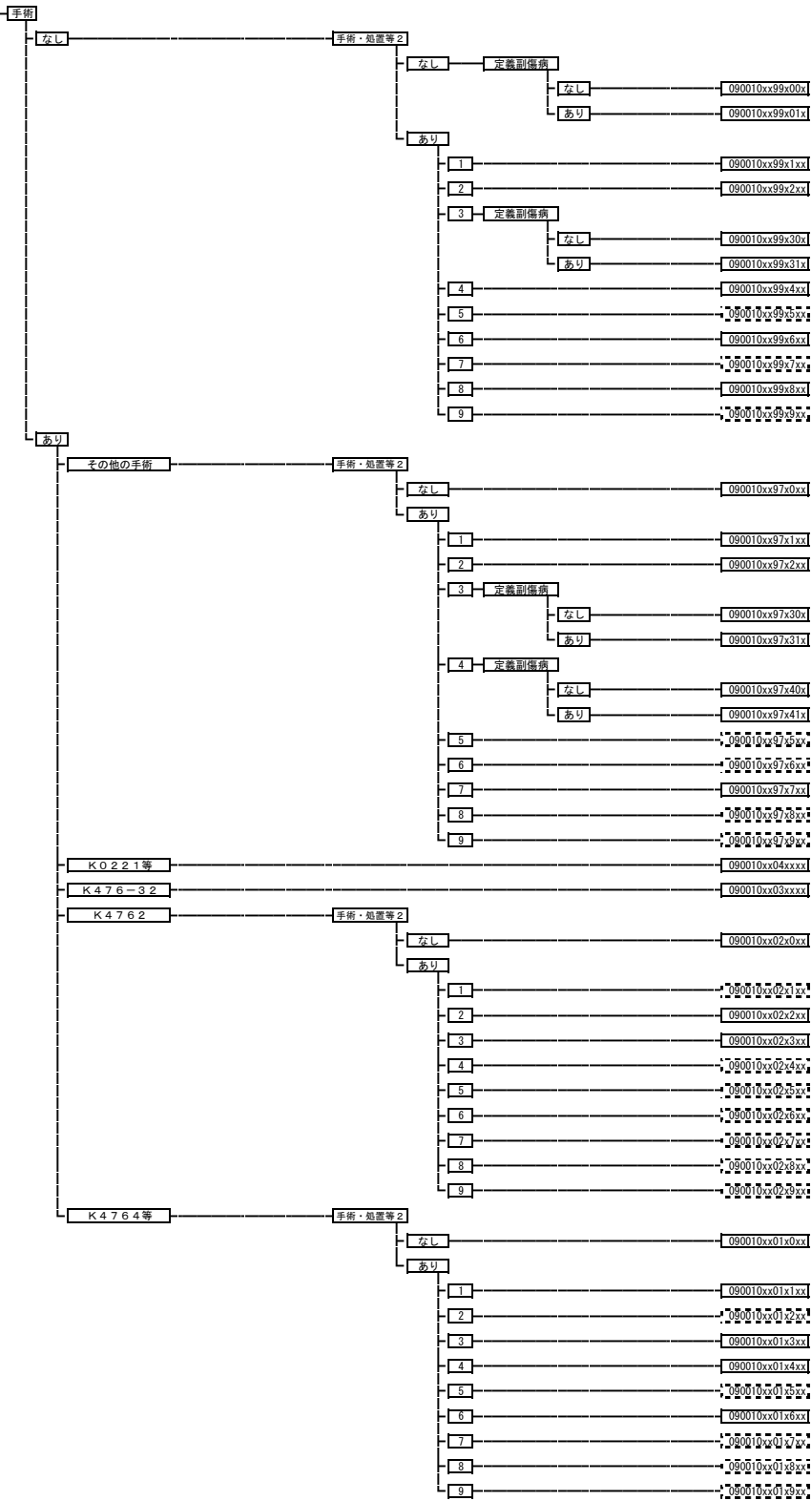
080250 褥瘡潰瘍
手術
なし
手術・処置等2
なし 080250xx99x0xx
あり 080250xx99x1xx
あり
手術・処置等1
なし
手術・処置等2
なし 080250xx9700xx
あり 080250xx9701xx
あり 080250xx971xxx

080260 その他の皮膚の疾患
080260xxxxxxx

080270 食物アレルギー
手術・処置等1
なし 080270xxxx0xxx
あり 080270xxxx1xxx

090010 乳房の悪性腫瘍

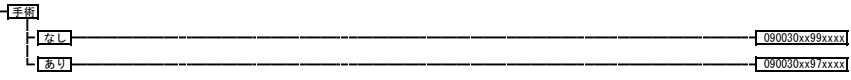
手術・処置等2
 1:人工呼吸など
 2:放射線療法
 3:化学療法ありかつ放射線療法なし
 4:ドセタキセル水和物など
 5:エリブリンメシル酸塩
 6:トラスツズマブ、
 パクリタキセル（アルブミン懸濁型）
 7:ペルツズマブ
 8:ペルツズマブ
 9:トラスツズマブ エムタンシン



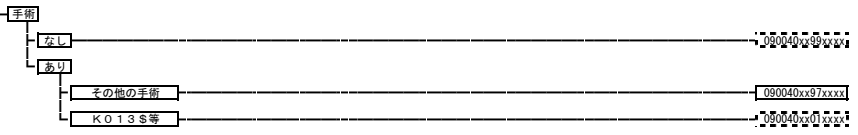
090020 乳房の良性腫瘍



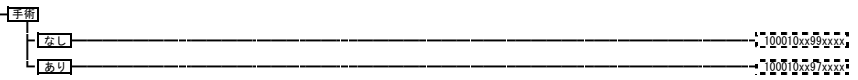
090030 乳房の炎症性障害



090040 乳房の形態異常、女性化乳房、乳腺症など

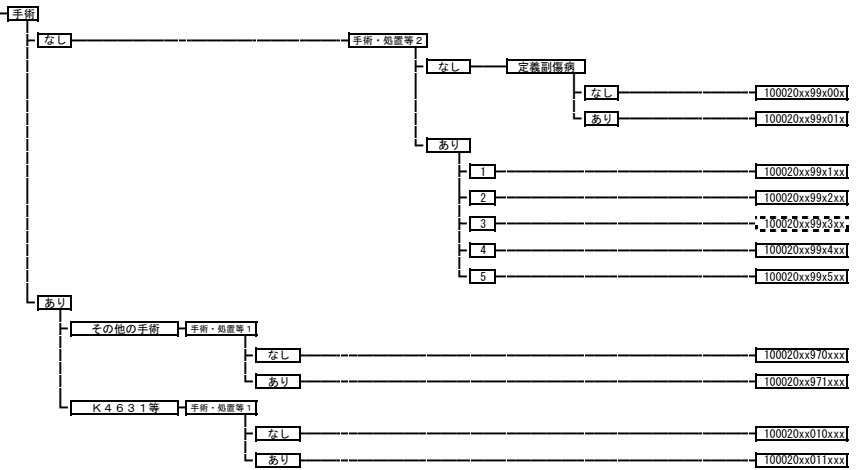


100010 多発性内分泌腺腫症

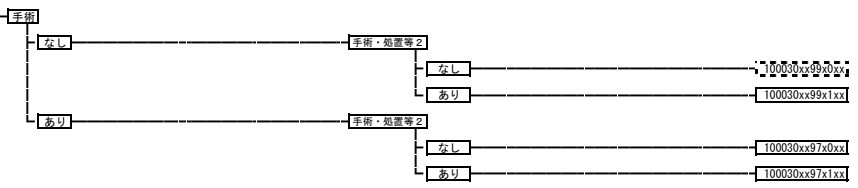


100020 甲状腺の悪性腫瘍

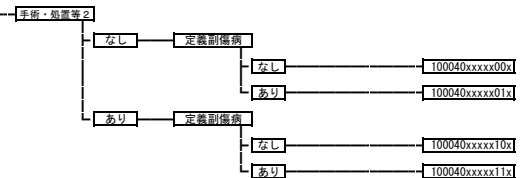
手術・処置等 2
 1: 放射線療法、化学療法
 2: 113I 内用療法
 3: ソラフェニブメシル酸塩
 4: レンバチニブメシル酸塩
 5: ヒトチロトロピンアルファ



100030 内分泌腺および関連組織の腫瘍



100040 糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡

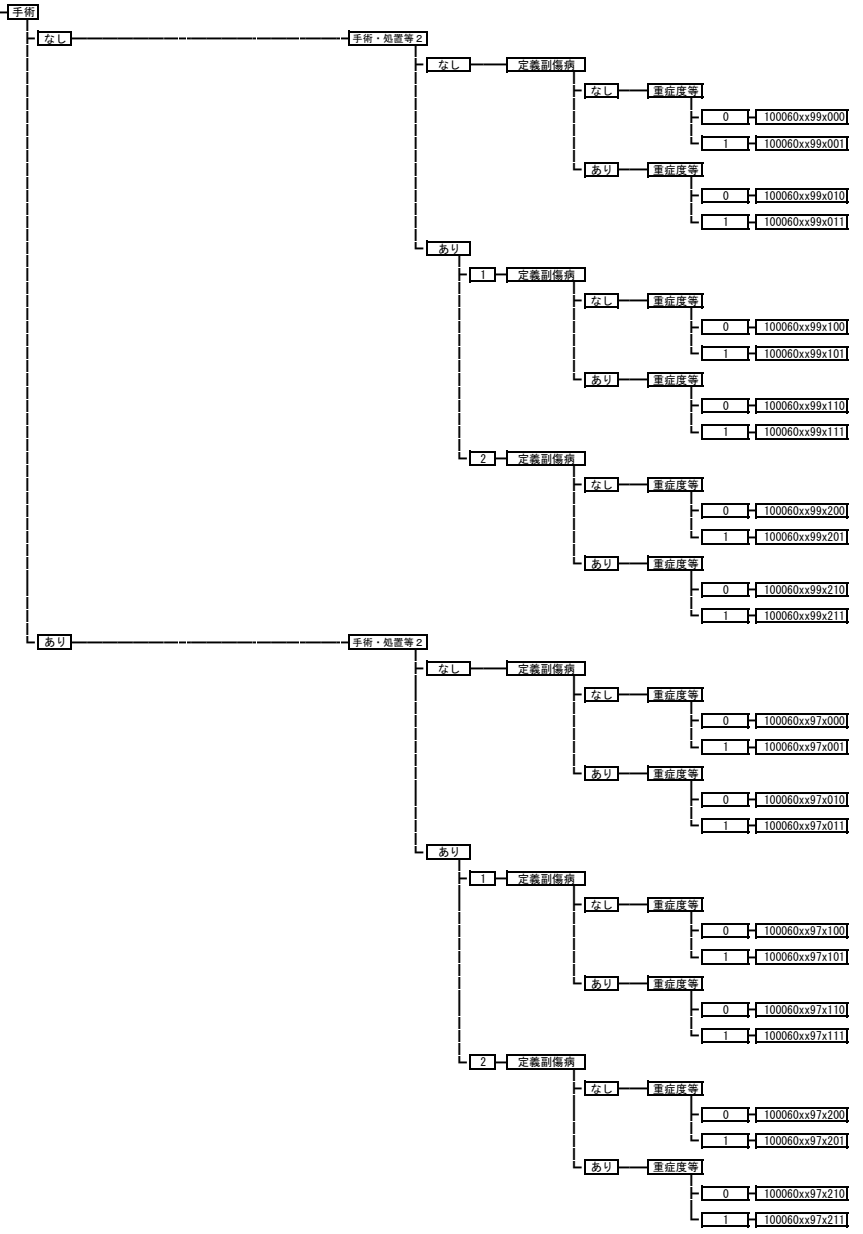


100050 低血糖症（糖尿病治療に伴う場合）

100050xxxxxxxx

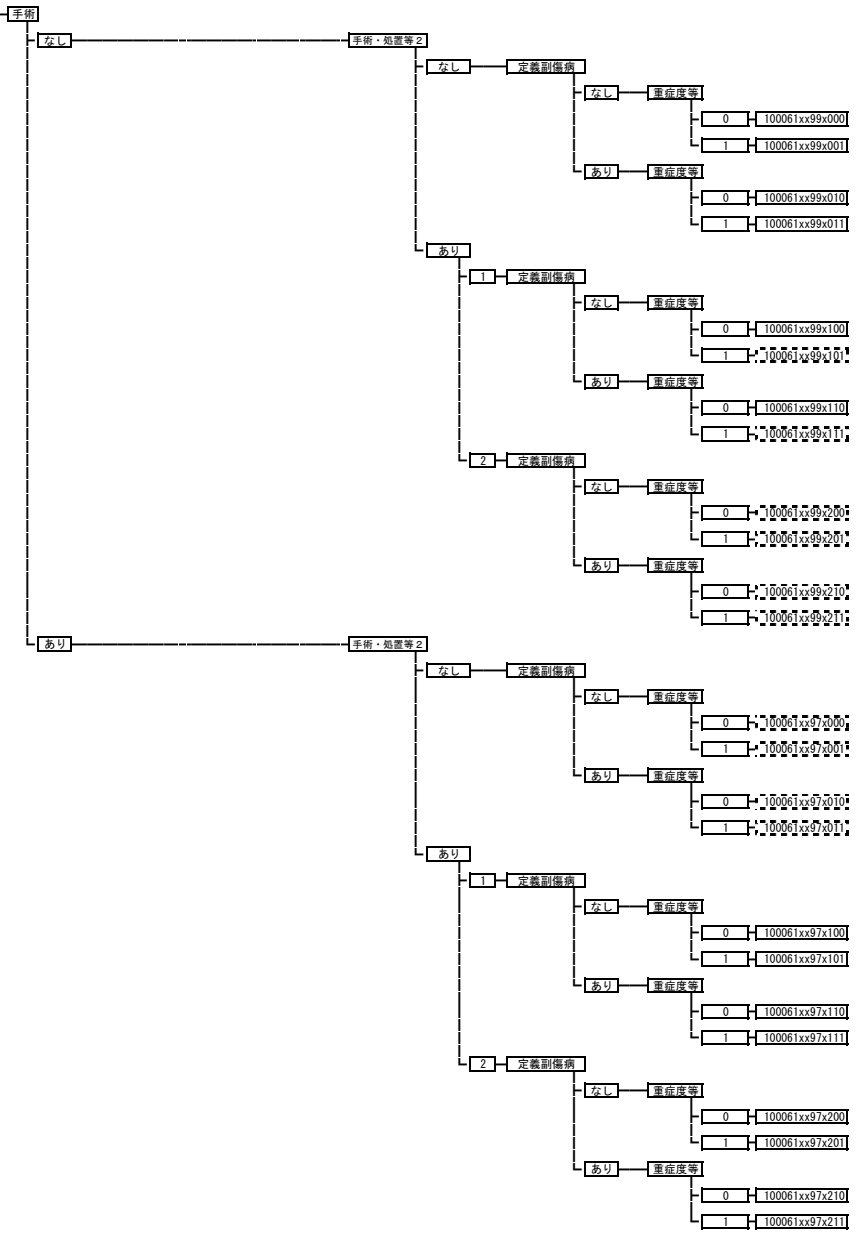
100060 1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等2
1：インスリン製剤（注射薬に限る。）
2：人工腎臓 その他の場合



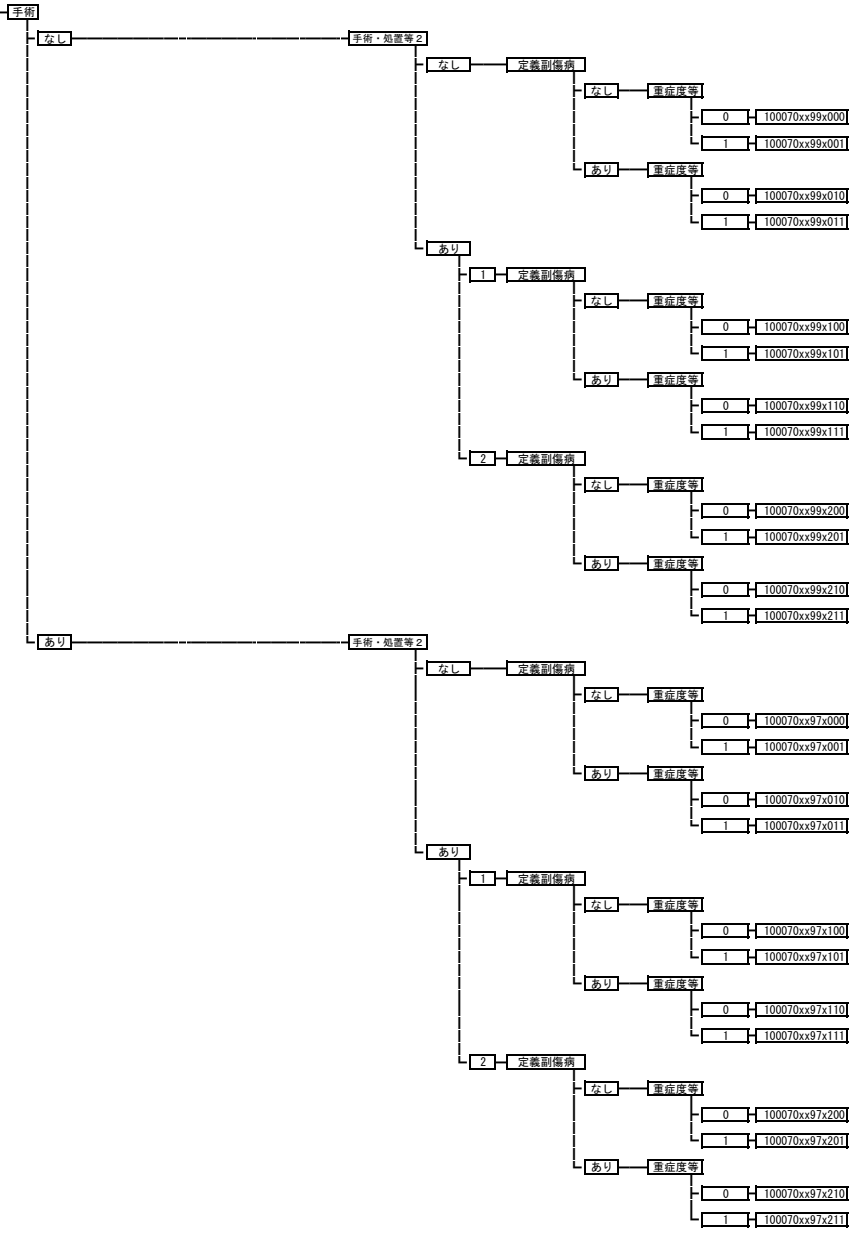
100061 1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

手術・処置等2
1: インスリン製剤（注射薬に限る。）
2: 人工腎臓 その他の場合



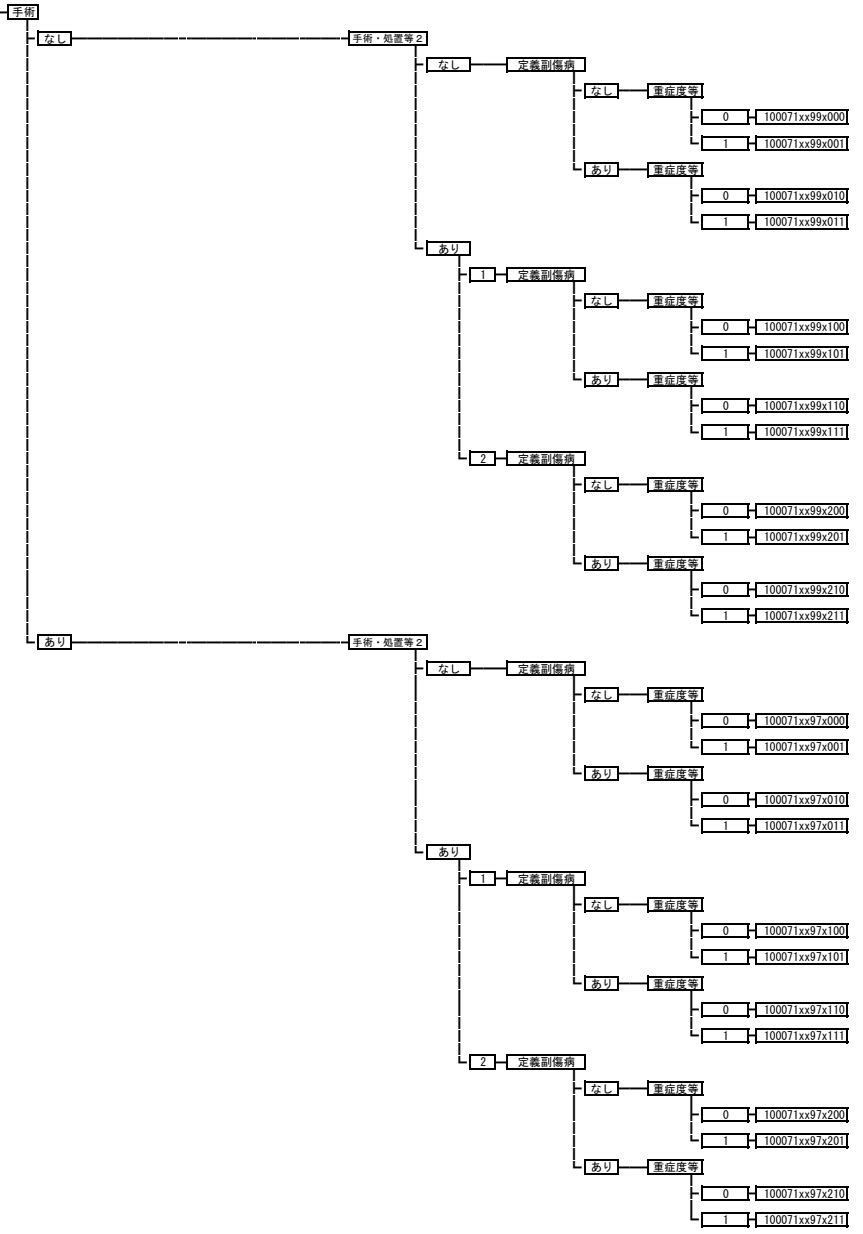
100070 2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等2
1: インスリン製剤（注射薬に限る。）
2: 人工腎臓 その他の場合



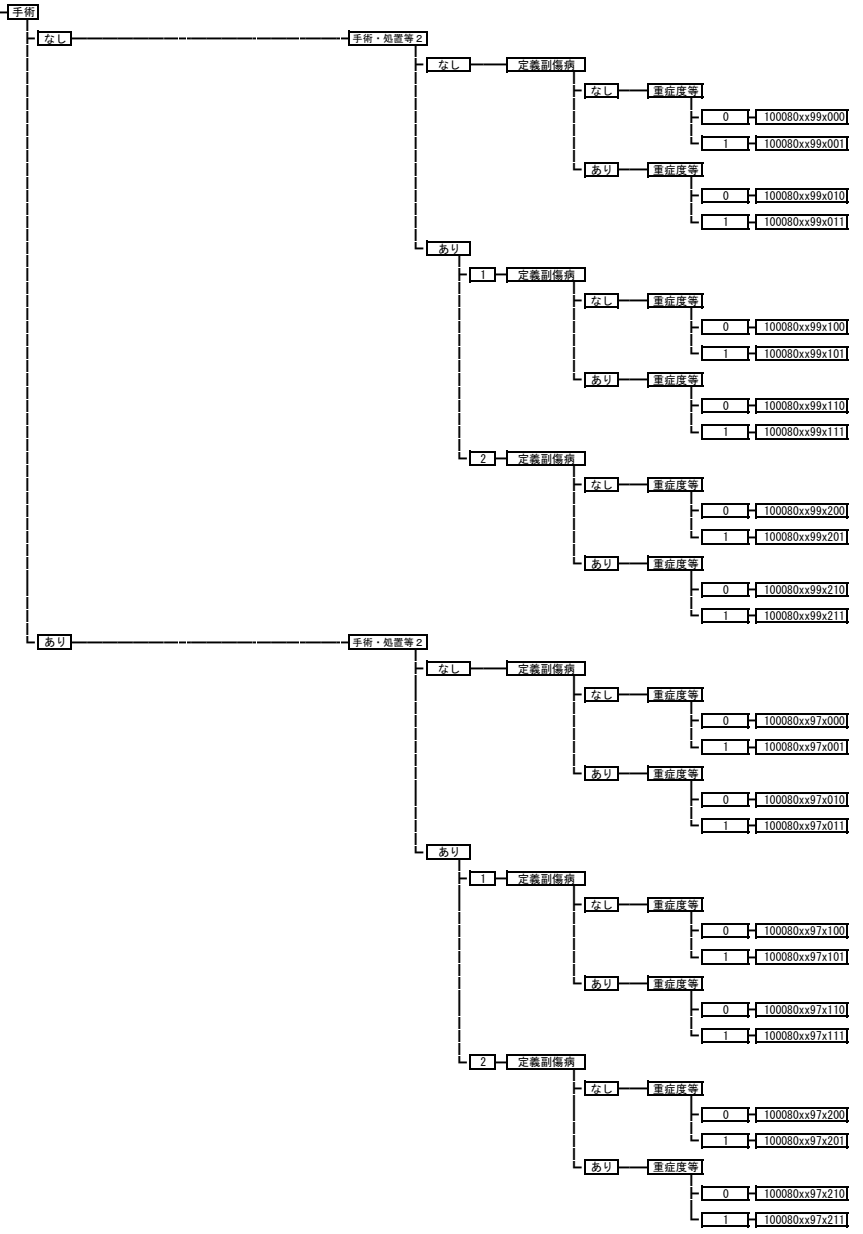
100071 2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

手術・処置等2
1: インスリン製剤（注射薬に限る。）
2: 人工腎臓 その他の場合



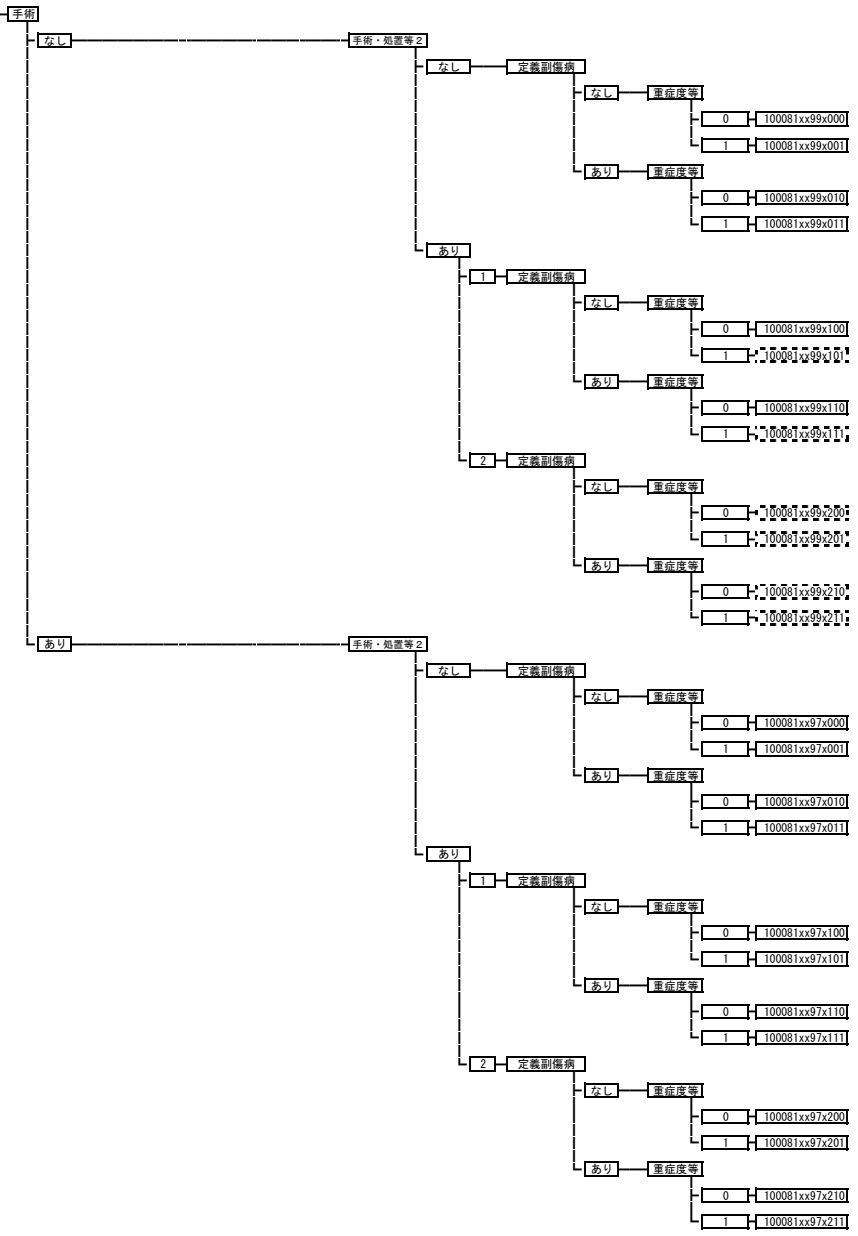
100080 その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全なし。）

手術・処置等 2
 1: インスリン製剤（注射薬に限る。）
 2: 人工腎臓 その他の場合

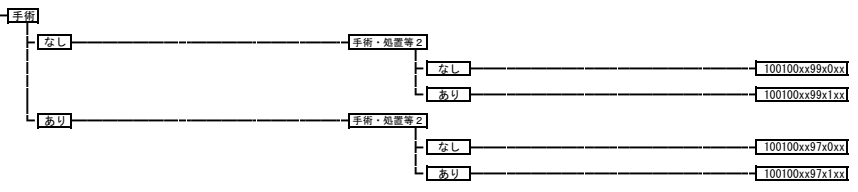


100081 その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）（末梢循環不全あり。）

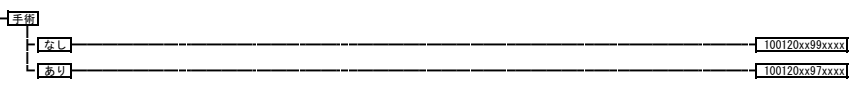
手術・処置等2
1: インスリン製剤（注射薬に限る。）
2: 人工腎臓 その他の場合



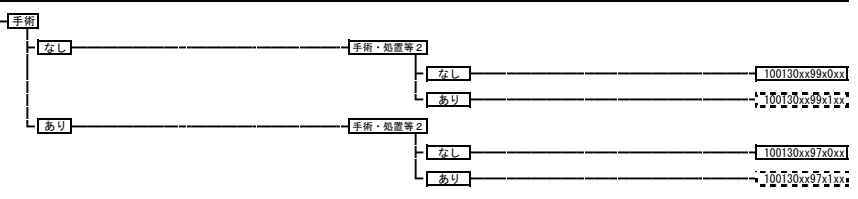
100100 糖尿病足病変

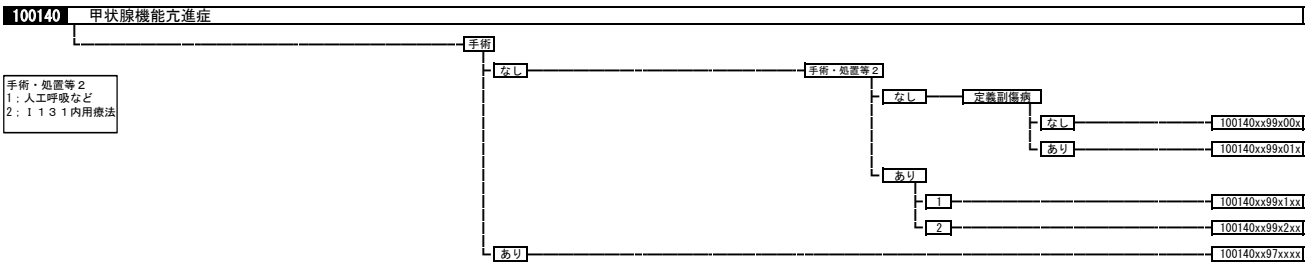


100120 肥満症



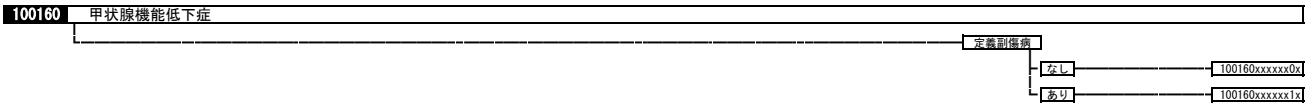
100130 甲状腺の良性結節





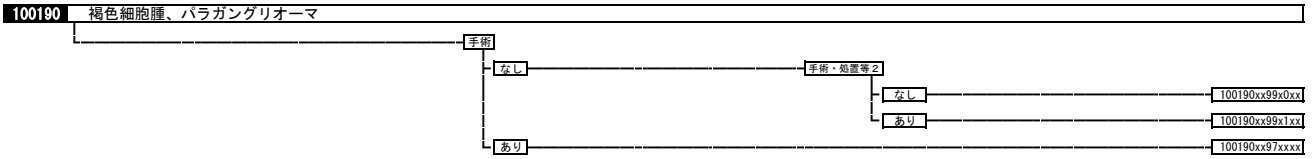
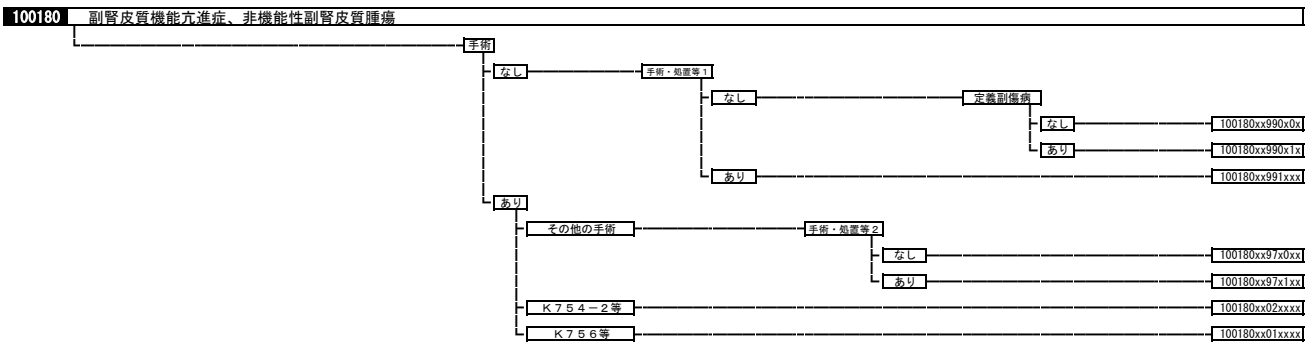
100150 慢性甲状腺炎

100150xxxxxxxx



100170 急性甲状腺炎

100170xxxxxxxx

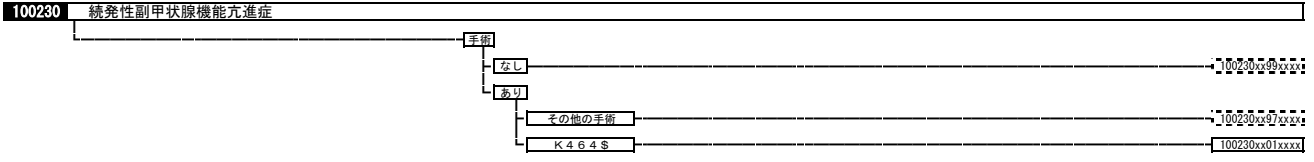
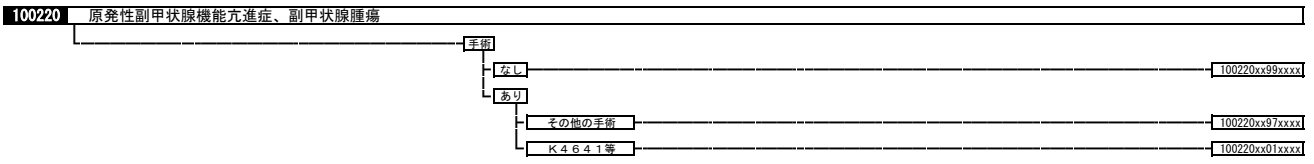


100202 その他の副腎皮質機能低下症

100202xxxxxxxx

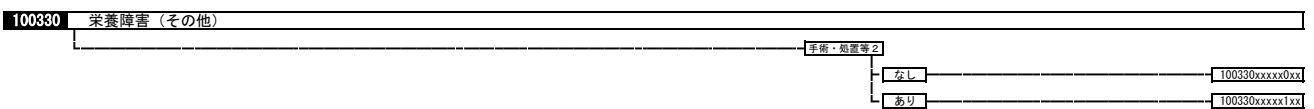
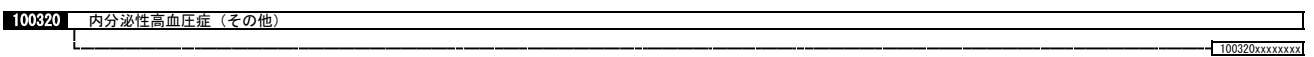
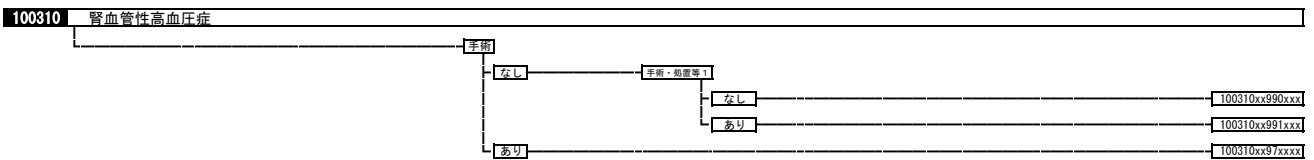
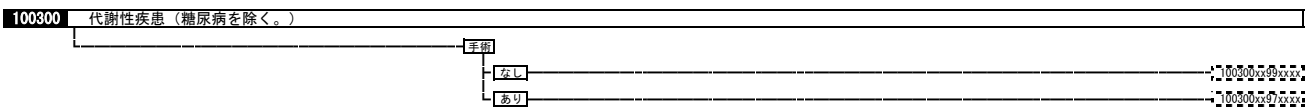
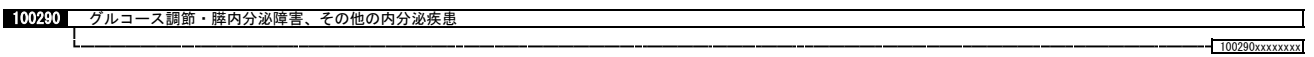
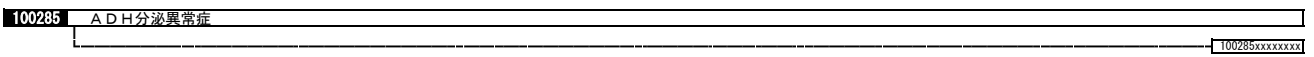
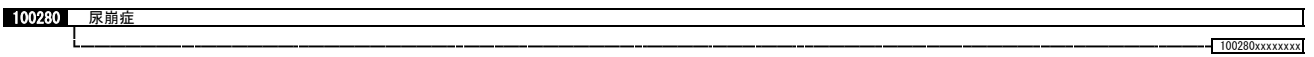
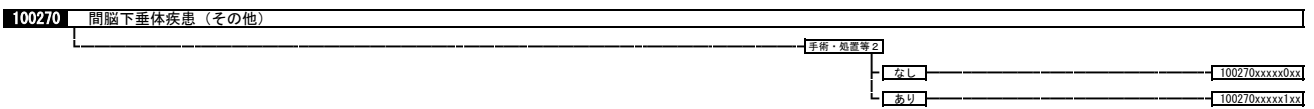
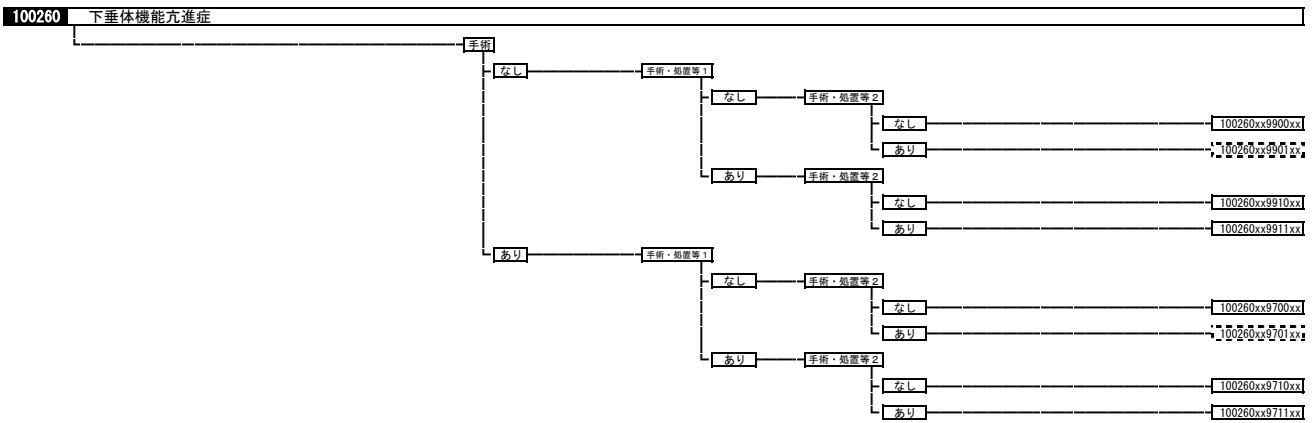
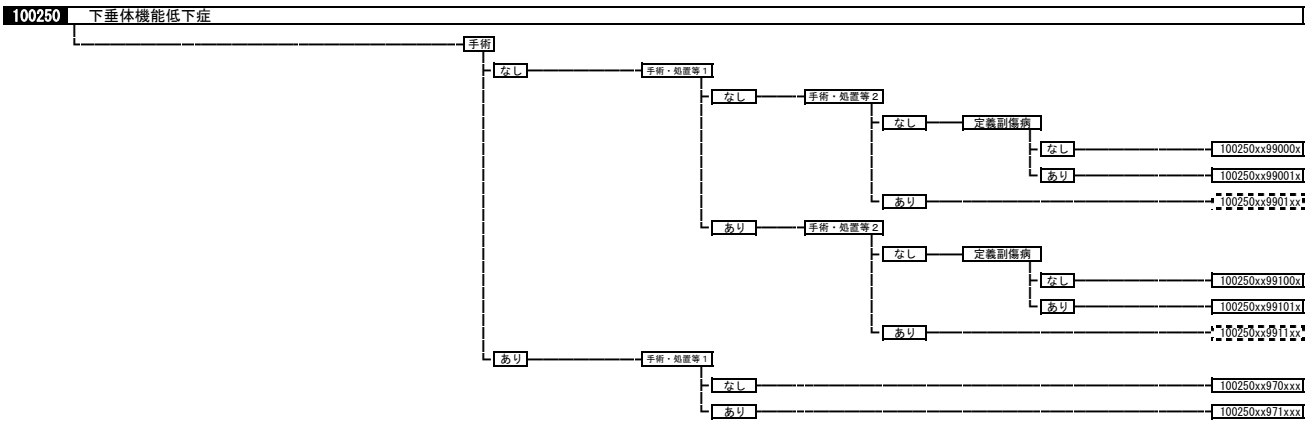
100210 低血糖症

100210xxxxxxxx



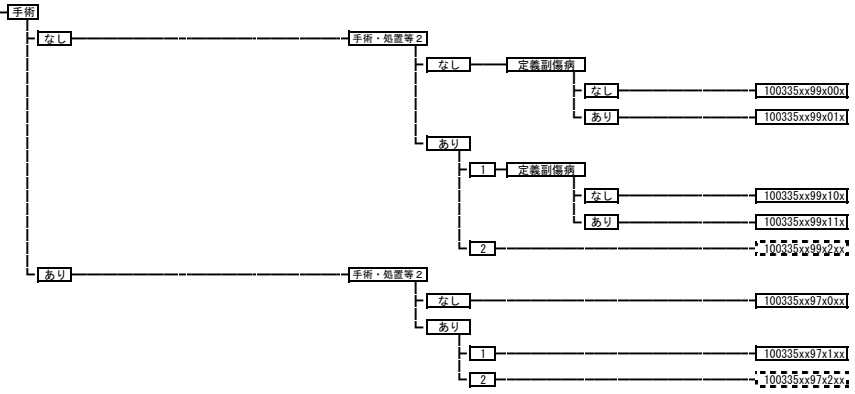
100240 副甲状腺機能低下症

100240xxxxxxxx



100335 代謝障害（その他）

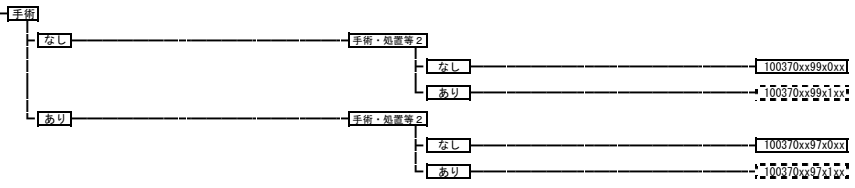
手術・処置等2
1：人工呼吸など
2：酵素補充療法



100360 小人症

100360xxxxxxxx

100370 アミロイドーシス



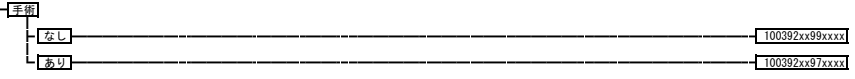
100380 体液量減少症

100380xxxxxxxx

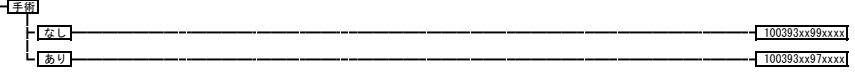
100391 低カリウム血症

100391xxxxxxxx

100392 カルシウム代謝障害

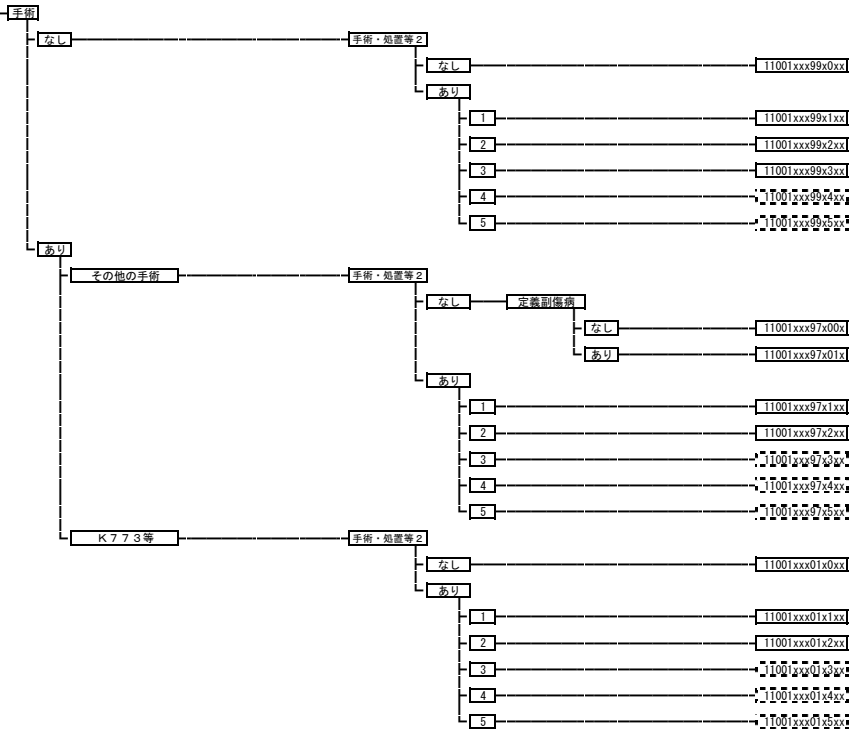


100393 その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害



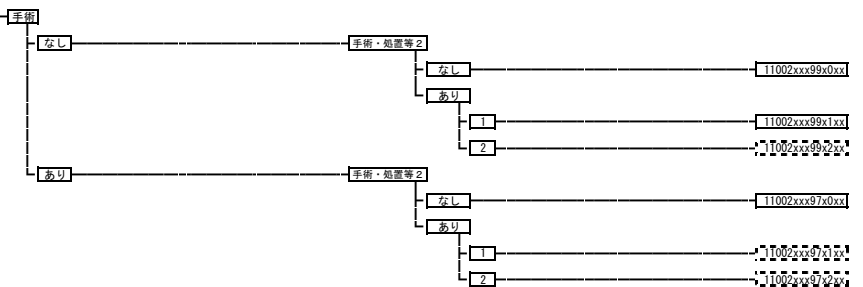
11001x	腎腫瘍
	110011 腎の悪性腫瘍
	110012 腎の良性腫瘍

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: ソラフェニブトシル酸塩など
 3: テムシロリムス
 4: IL-2
 5: ニボルマブ

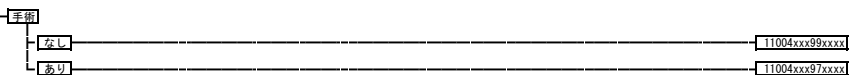


11002x	性器の悪性腫瘍
	110021 陰茎の悪性腫瘍
	110022 性器の悪性腫瘍

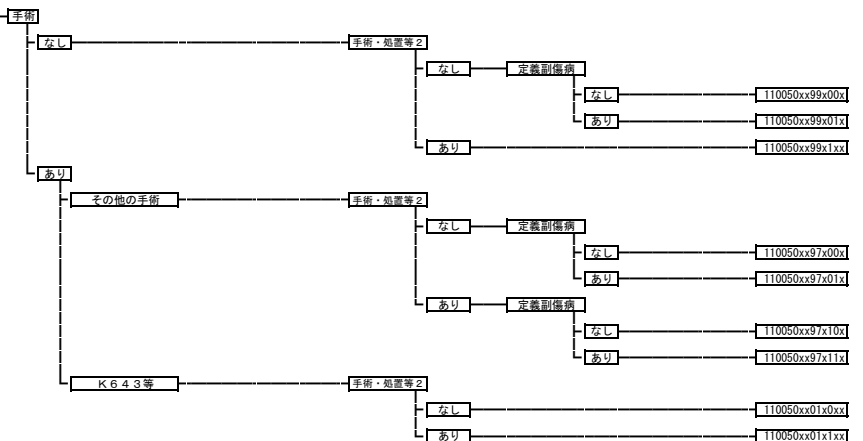
手術・処置等2
 1: 放射線療法、化学療法
 2: アベルマブなど



11004x	尿道・性器の良性腫瘍
	110041 尿道腫瘍
	110042 性器の良性腫瘍（その他）

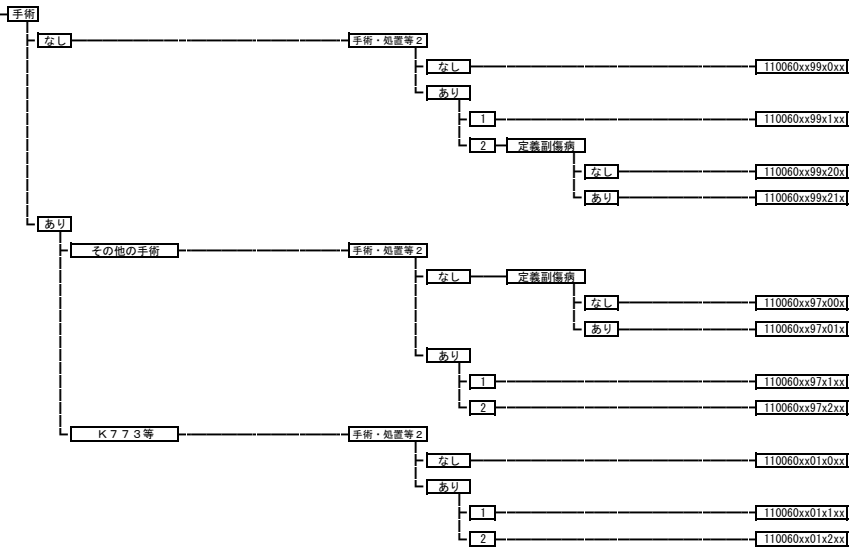


110050	後腹膜疾患
---------------	-------



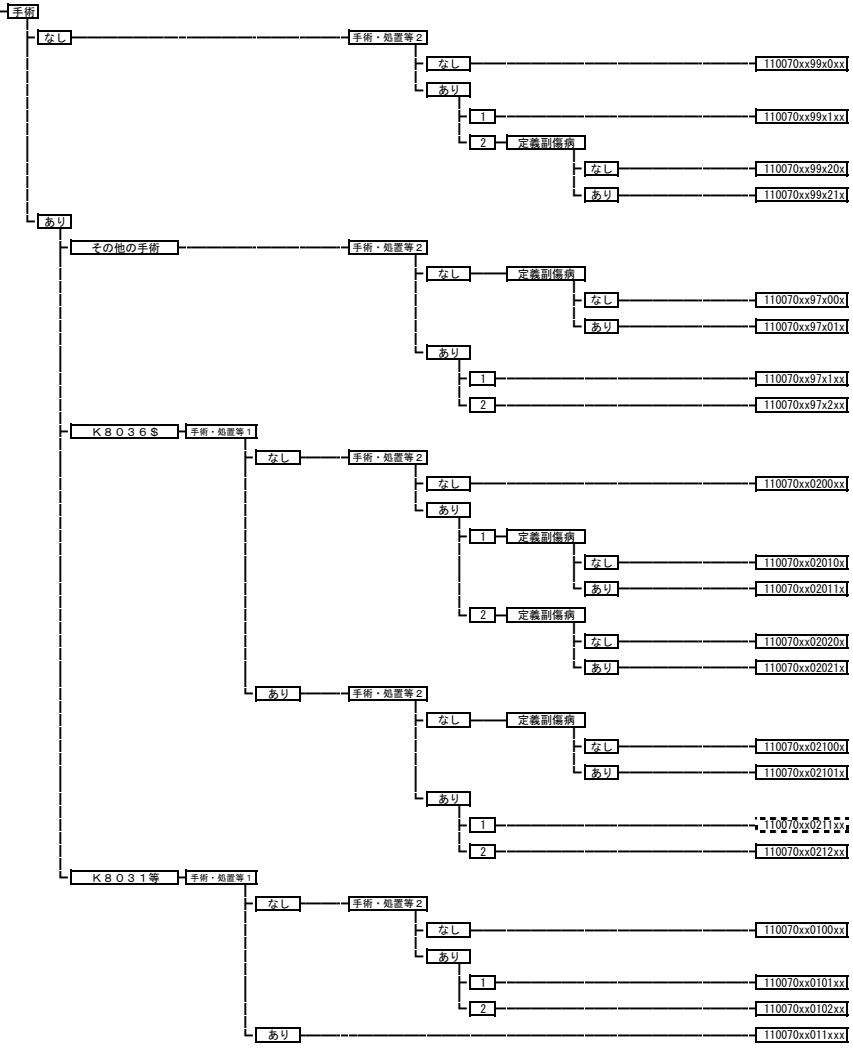
110060 腎盂・尿管の悪性腫瘍

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: 化学療法



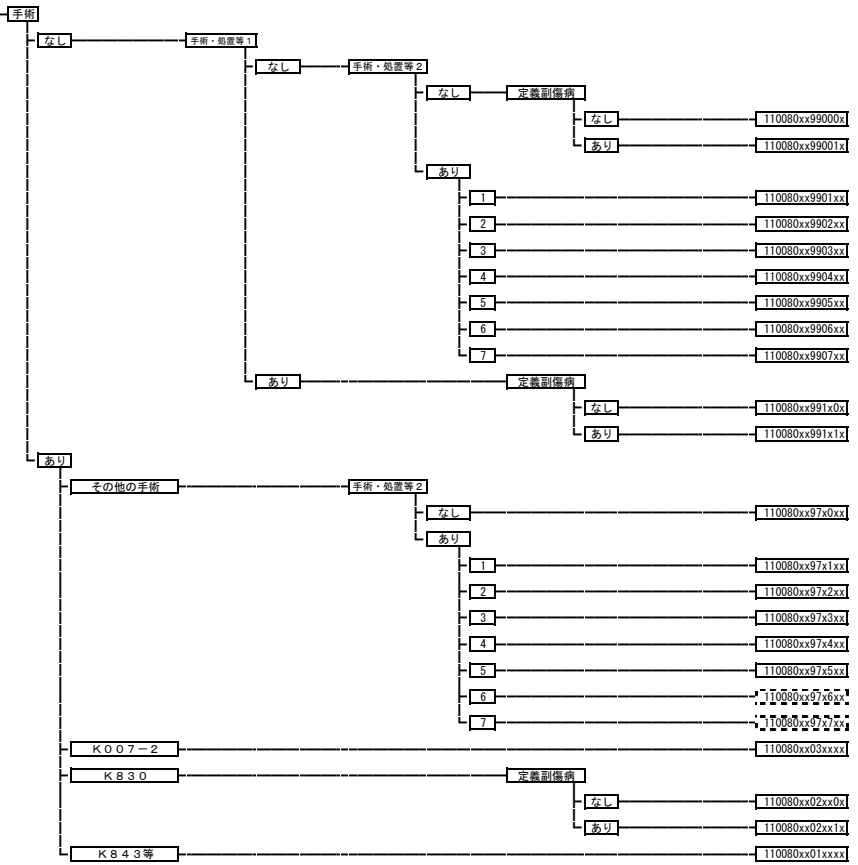
110070 膀胱腫瘍

手術・処置等 2
1: 人工呼吸など
2: 化学療法

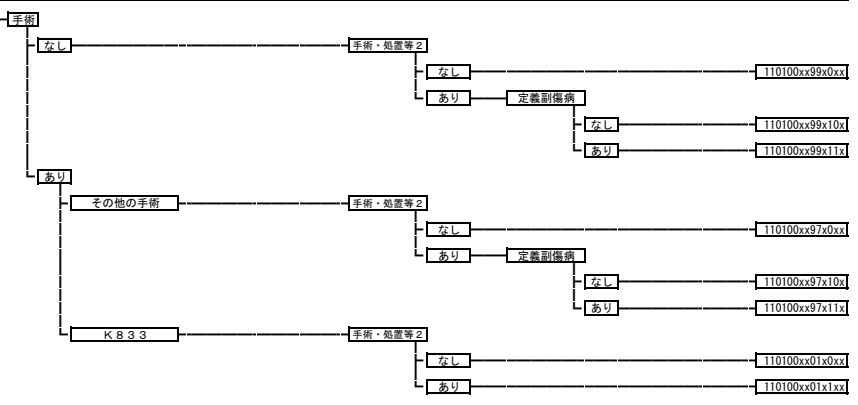


110080 前立腺の悪性腫瘍

- 手術・処置等2
 1:人工呼吸、中心静脈注射
 2:放射線療法
 3:化学療法、ドセタキセル水和物
 4:エンザルタミドなど
 5:カバジタキセル アセトン付加物
 6:塩化タゾラム (2.23Ra)
 7:密封小線源治療 (一連につき) 組織内照射 前立腺癌に対する永久挿入療法

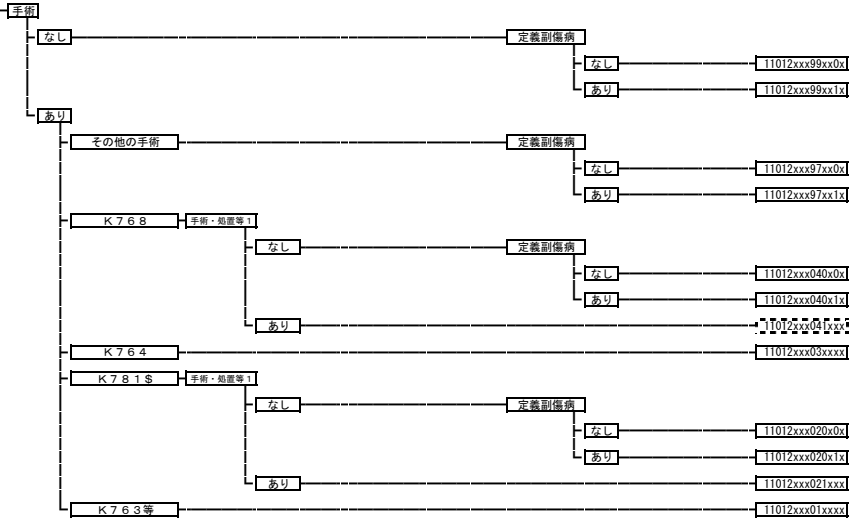


110100 精巣腫瘍

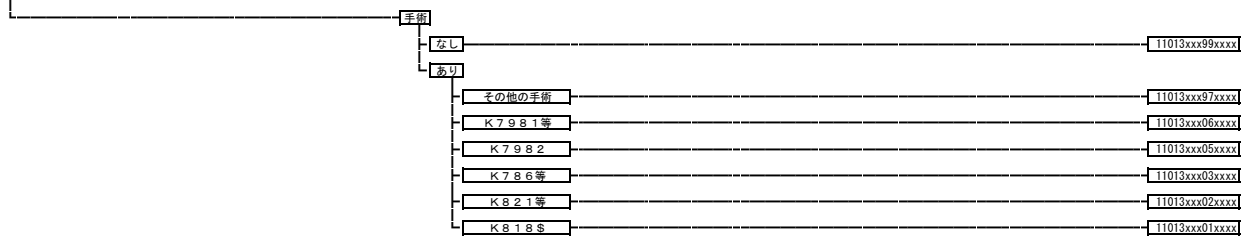


11012x 上部尿路疾患

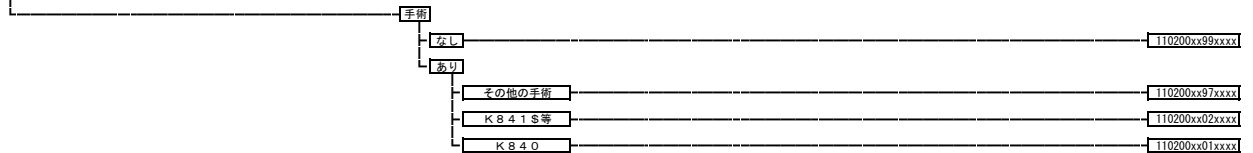
- 110121 上部尿路結石
 110122 上部尿路疾患 (その他)



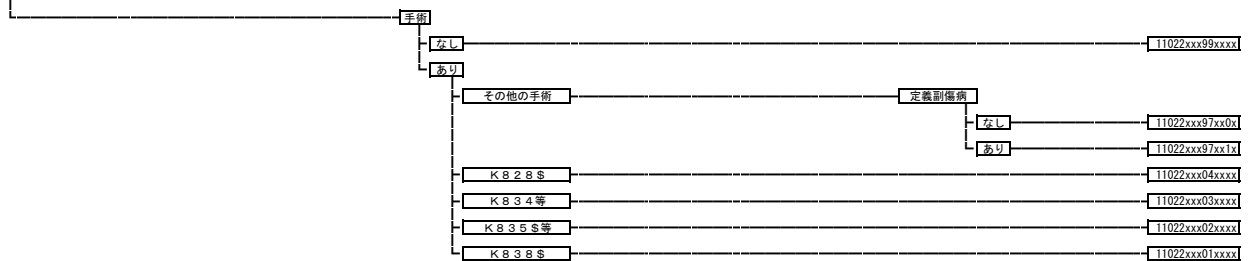
11013x	下部尿路疾患	110131	下部尿路結石症
		110132	膀胱尿管逆流症
		110133	神経因性膀胱
		110134	下部尿路の炎症
		110135	尿道狭窄
		110136	尿失禁



110200	前立腺肥大症等
---------------	---------

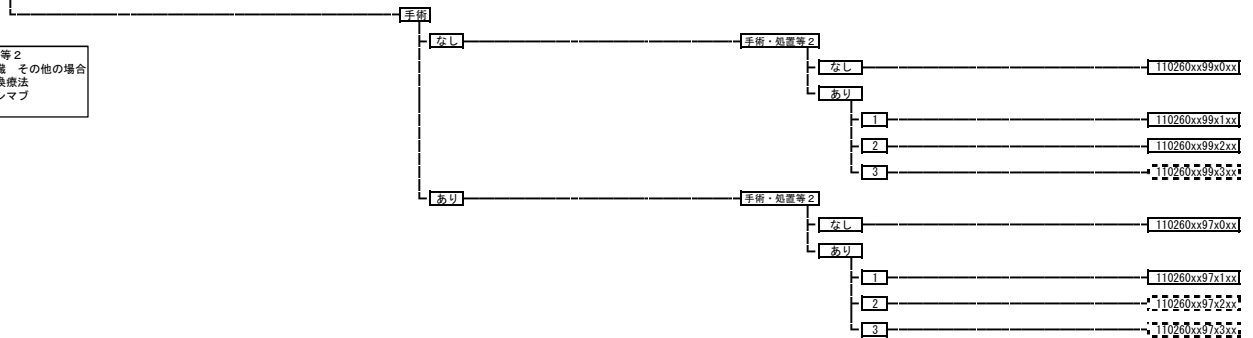


11022x	男性生殖器疾患	110221	男性生殖器炎症性疾患
		110222	陰茎・包皮の疾患
		110223	陰嚢内疾患（悪性、炎症性疾患を除く。）
		110224	男性生殖器の障害



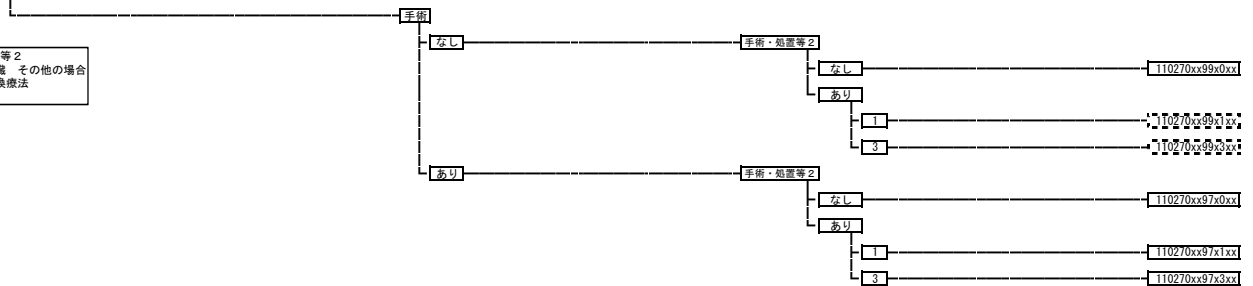
110260	ネフローゼ症候群
---------------	----------

手術・処置等2
1:人工腎臓 その他の場合
2:血漿交換療法
3:リツキンマブ

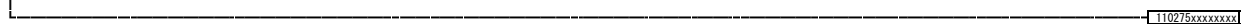


110270	急速進行性腎炎症候群
---------------	------------

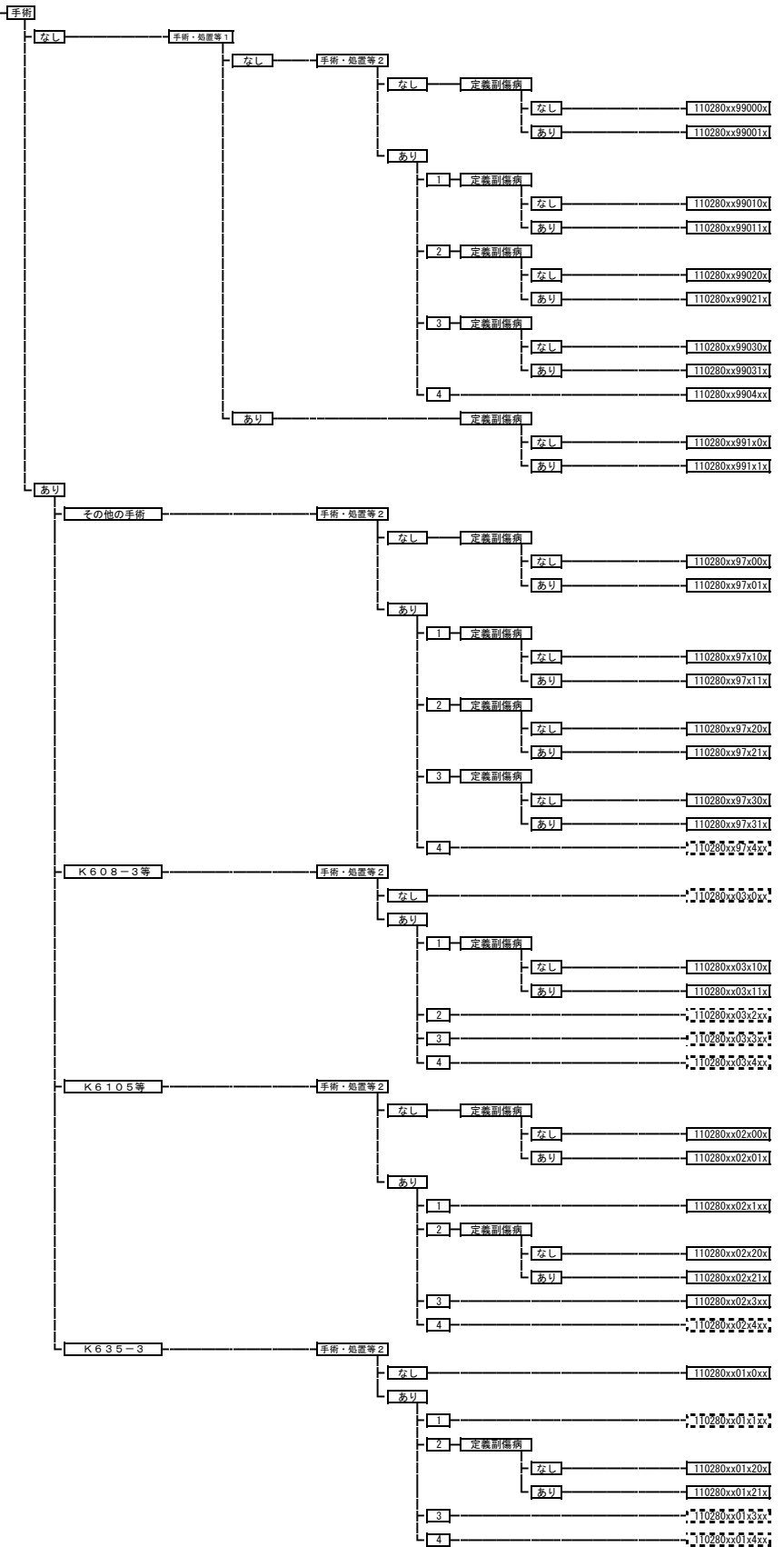
手術・処置等2
1:人工腎臓 その他の場合
3:血漿交換療法



110275	急性腎炎症候群
---------------	---------

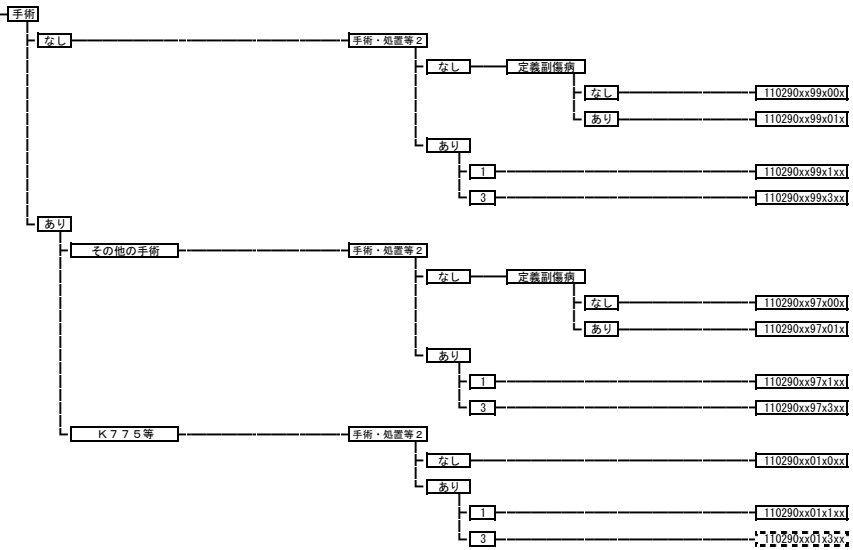


手術・処置等 2
 1: 人工腎臓 その他の場合
 2: 腹膜灌流 連続換行式腹膜灌流
 3: 持続緩徐式血液濾過
 4: 血漿交換療法

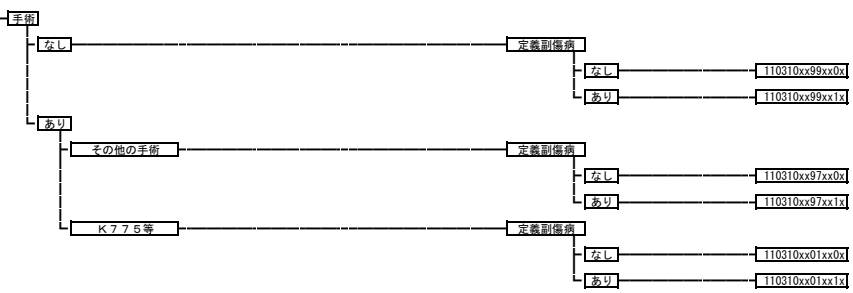


110290 急性腎不全

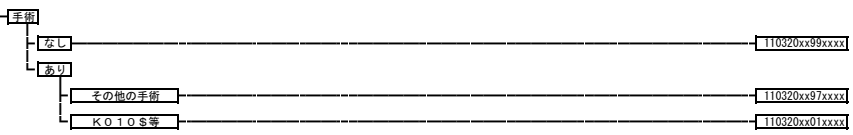
手術・処置等2
1:人工腎臓 その他の場合
3:持続緩徐式血液濾過



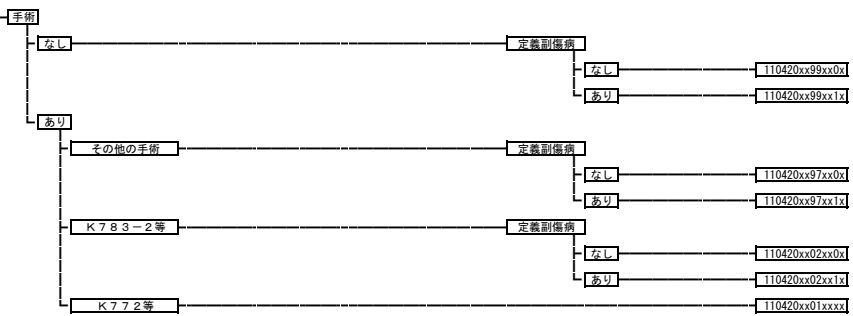
110310 腎臓または尿路の感染症



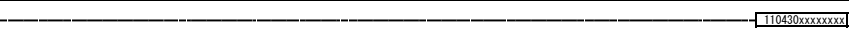
110320 腎、泌尿器の疾患（その他）



110420 水腎症等

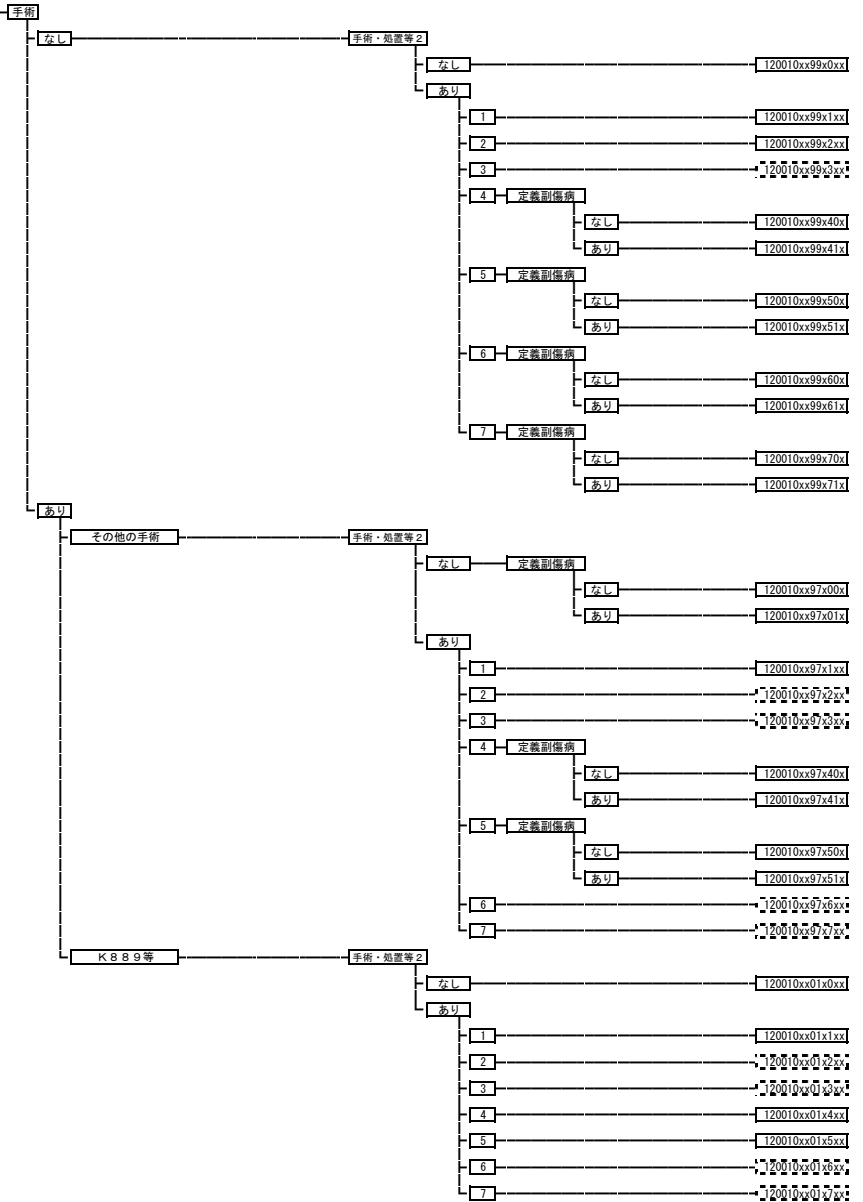


110430 腎動脈塞栓症



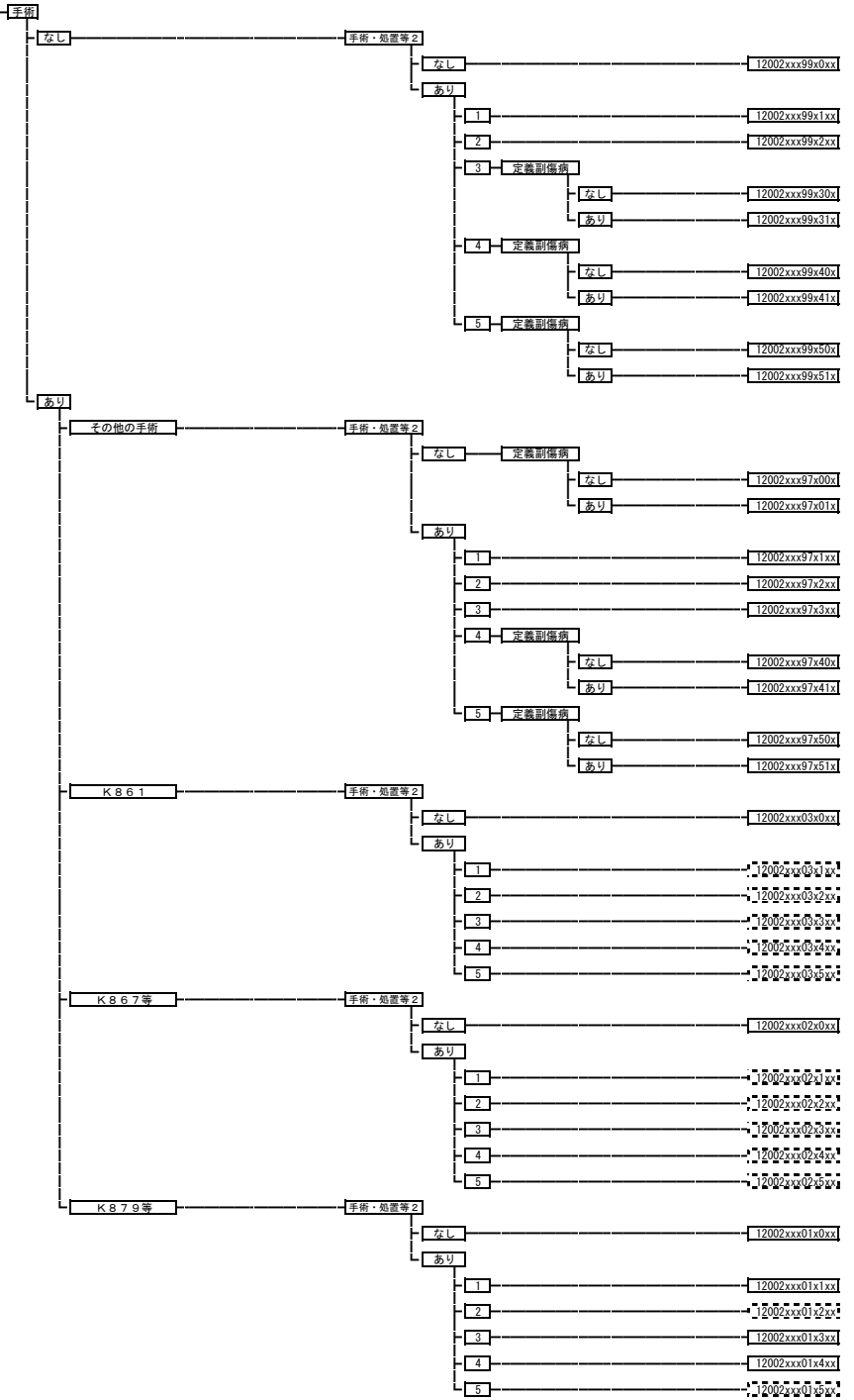
120010 卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍

- 手術・処置等 2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
 3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
 4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 5: カルボプラチン/パクリタキセルあり、カルボプラチン/ドセタキセル水和物あり
 6: ドキソリビン/塩酸塩リボソーム製剤
 7: ベバシマブ



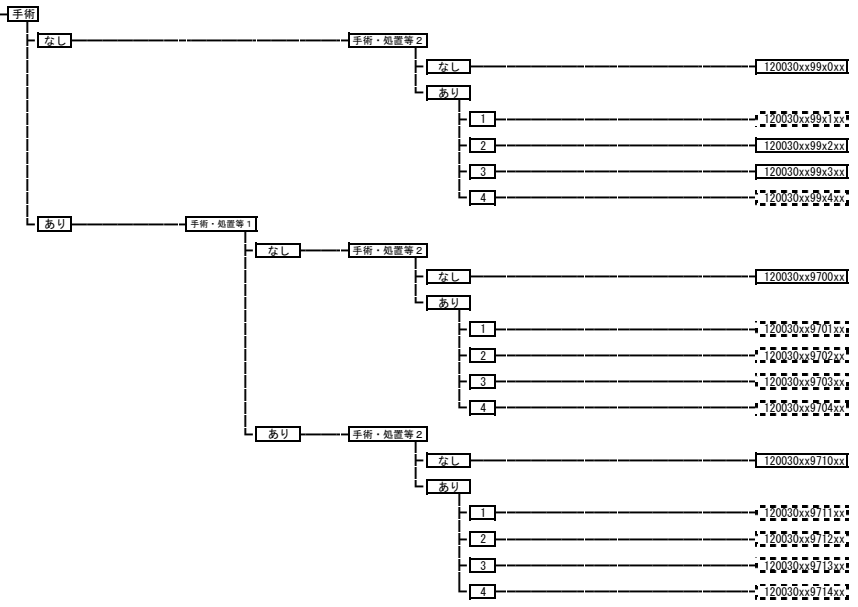
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	
	120021	子宮頸部の悪性腫瘍
	120022	子宮体部の悪性腫瘍
	120023	子宮の悪性腫瘍（その他）

手術・処置等 2
1: 人工呼吸、中心静脈注射
2: 化学療法なしかつ放射線療法あり
3: 化学療法ありかつ放射線療法あり
4: 化学療法ありかつ放射線療法なし
5: トラベクテジン、ペバシマブ



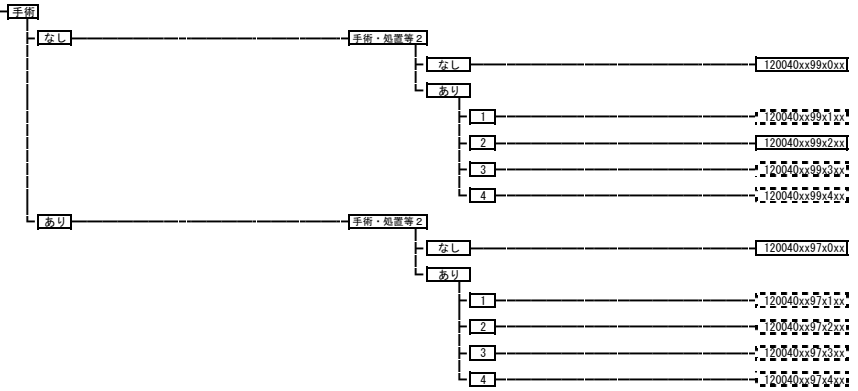
120030 外陰の悪性腫瘍

手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: アベルマブなど

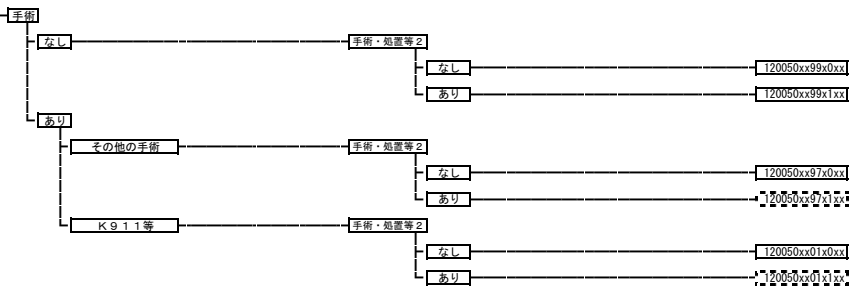


120040 陰の悪性腫瘍

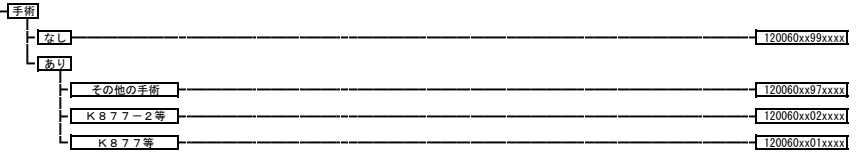
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、中心静脈注射
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: アベルマブなど



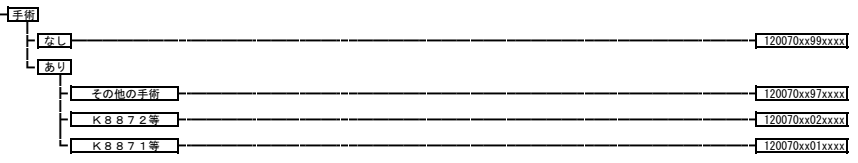
120050 絨毛性疾患

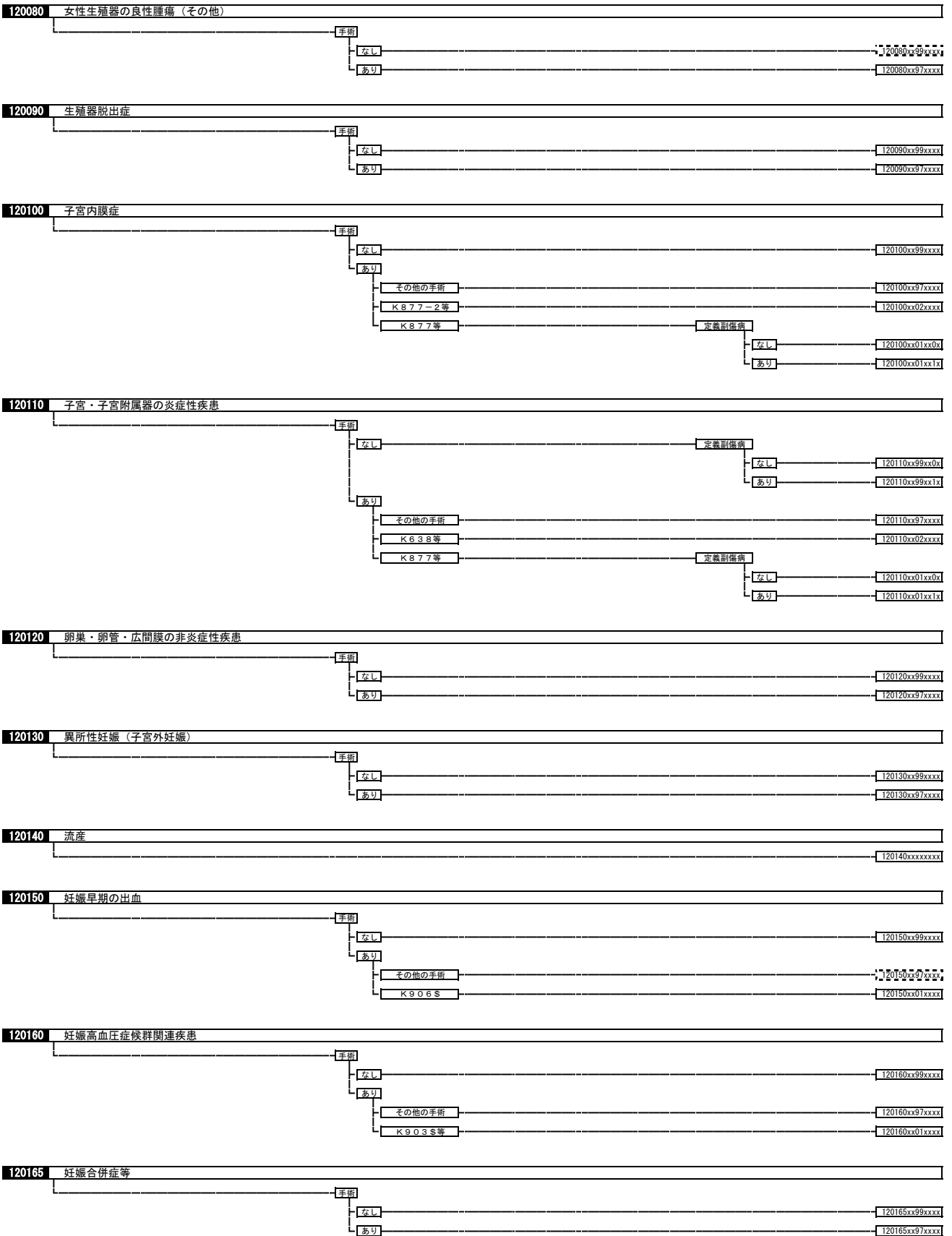


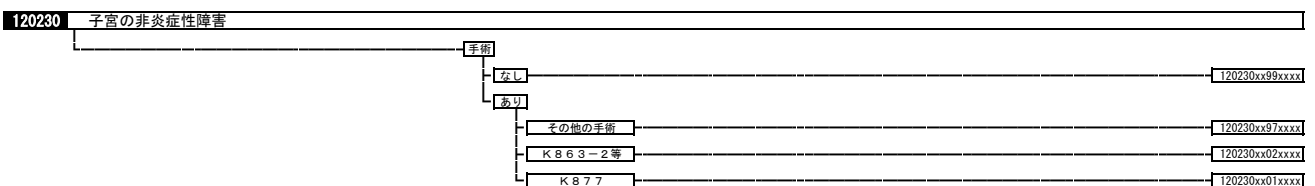
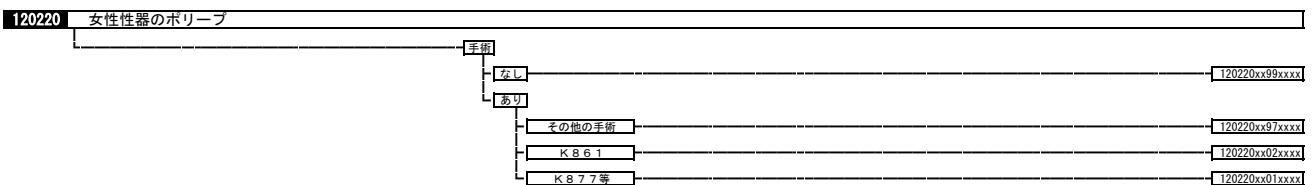
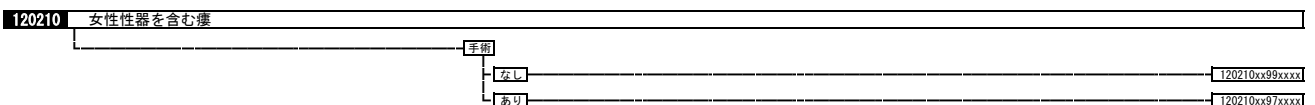
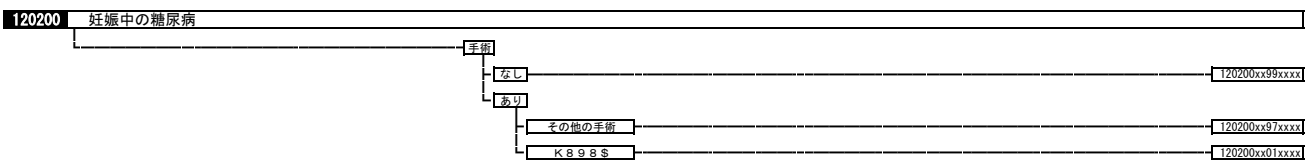
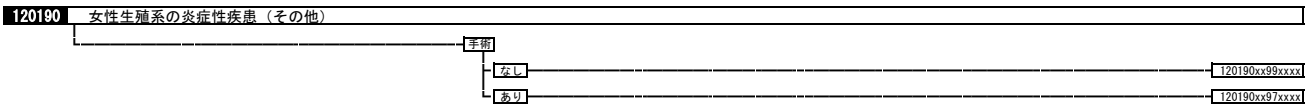
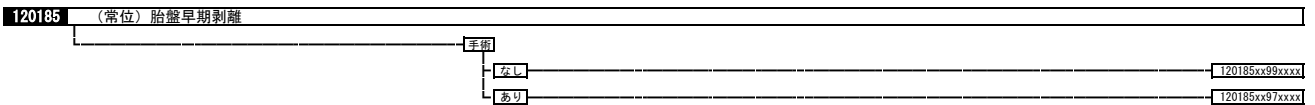
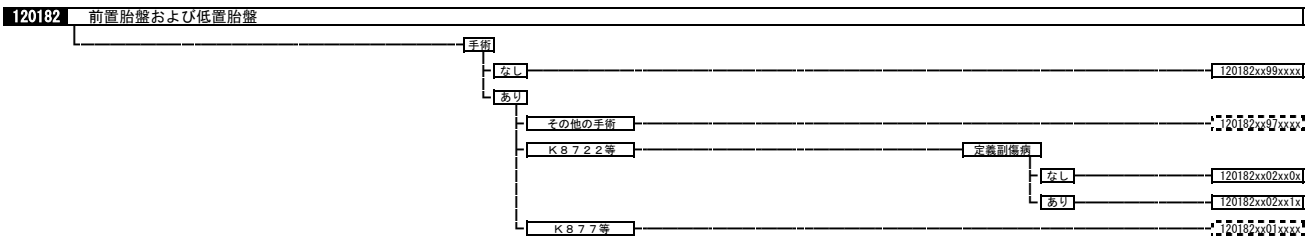
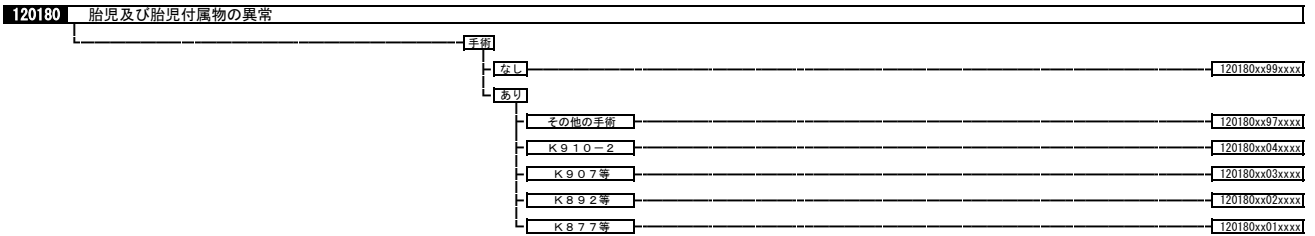
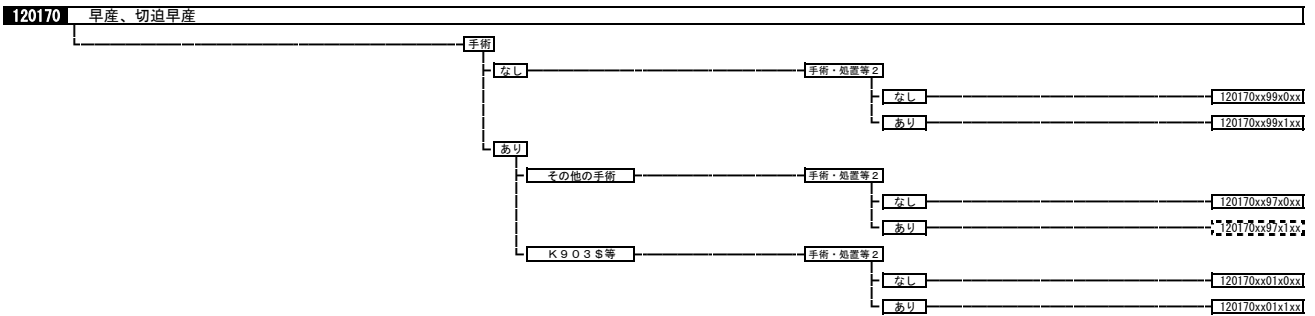
120060 子宮の良性腫瘍



120070 卵巣の良性腫瘍



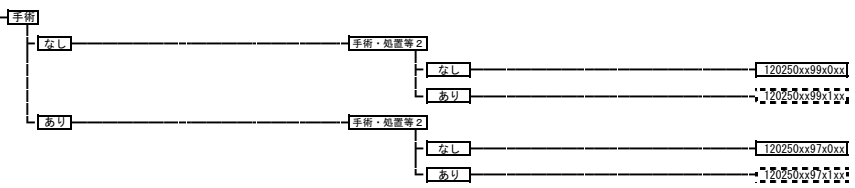




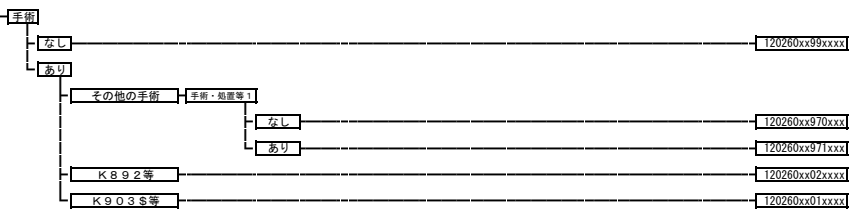
120240 腫及び外陰の非炎症性障害

120240xxxxxxx

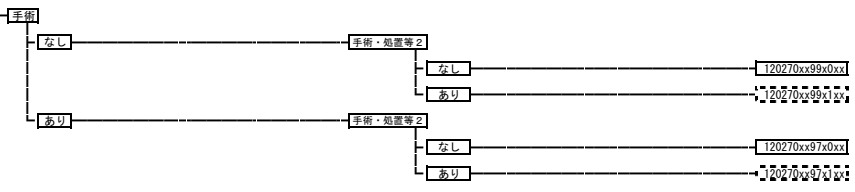
120250 生殖・月経周期に関連する病態



120260 分娩の異常



120270 産褥期を中心とするその他の疾患



120271 産褥期の乳房障害

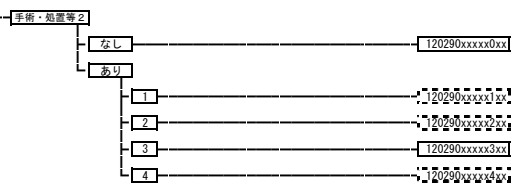
120271xxxxxxx

120280 骨盤静脈瘤、外陰静脈瘤

120280xxxxxxx

120290 産科播種性血管内凝固症

手術・処置等2
 1: 中心静脈注射
 2: 人工呼吸、血漿交換療法
 3: アンチトロンビンIII製剤
 4: トロンボモデュリンアルファ

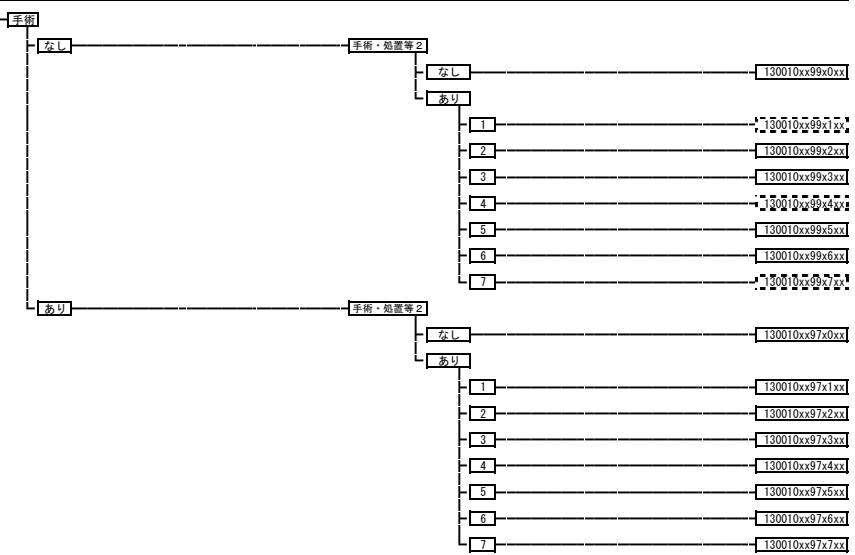


120300 人工授精に関する合併症

120300xxxxxxx

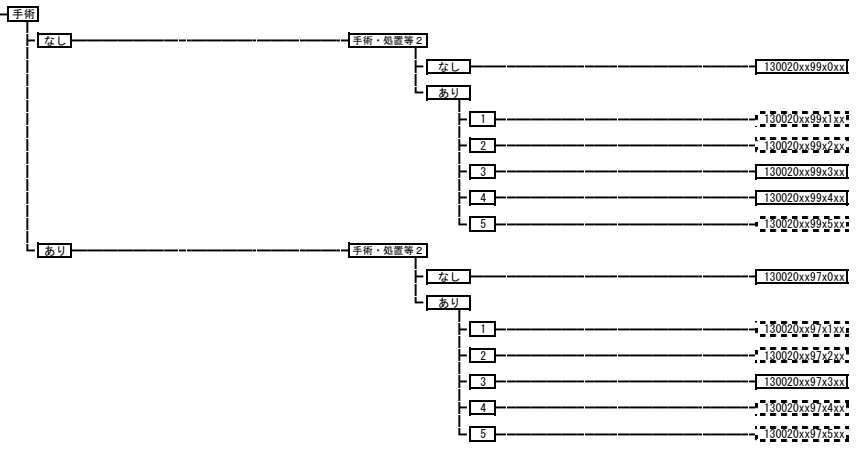
130010 急性白血病

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法
 3: イマチニブメシル酸塩
 4: ゲムツスマブオゾガマイシン
 5: 三酸化ヒ素製剤
 6: ポスチニブ水和物、ダサチニブ水和物
 7: ネララビンなど



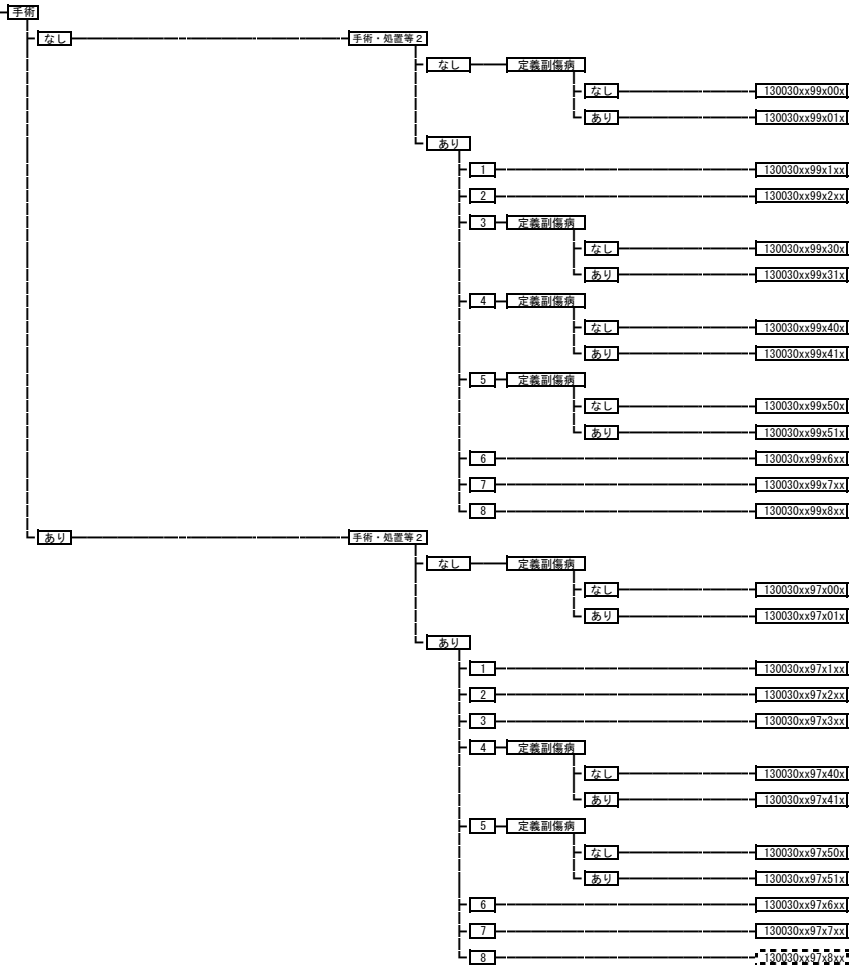
130020 ホジキン病

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: プレンツキシマブ ベドチン
 5: ニボルマブ



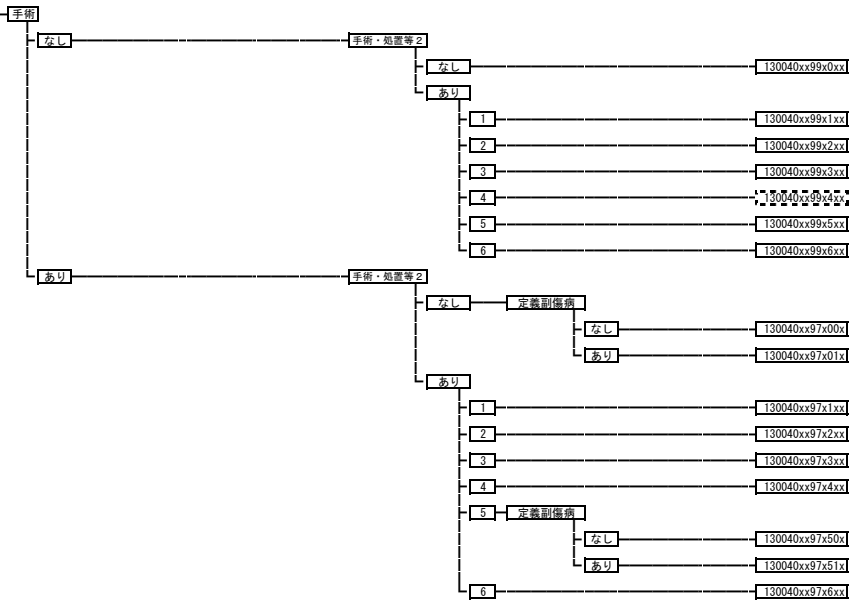
130030 非ホジキンリンパ腫

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: リツキシマブ
 5: ホルテゾミブ、ベンダムスチン塩酸塩
 6: プラトレキサールなど
 7: プレンツキシマブ ベドチン
 8: イブリツモマブチウキセタン塩化インジウム、
 イブリツモマブチウキセタン塩化イットリウム



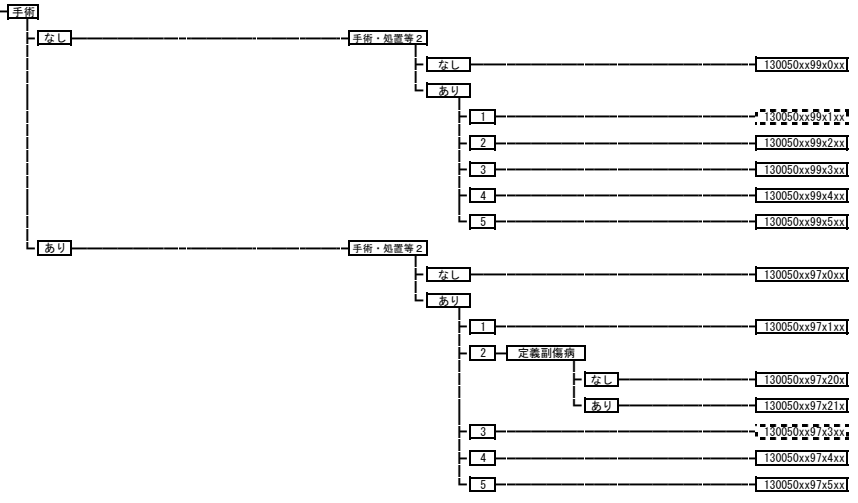
130040 多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 放射線療法
 3: 化学療法ありかつ放射線療法なし
 4: サリドマイド
 5: ダラムマブなど
 6: エロツスマブ



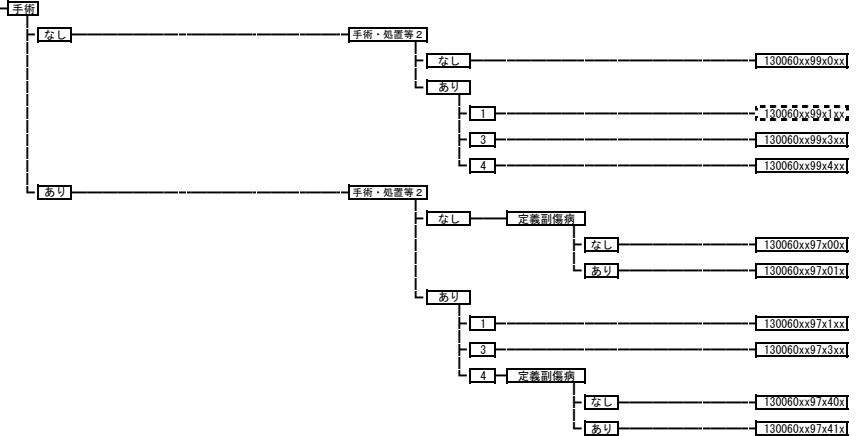
130050 慢性白血病、骨髄増殖性疾患

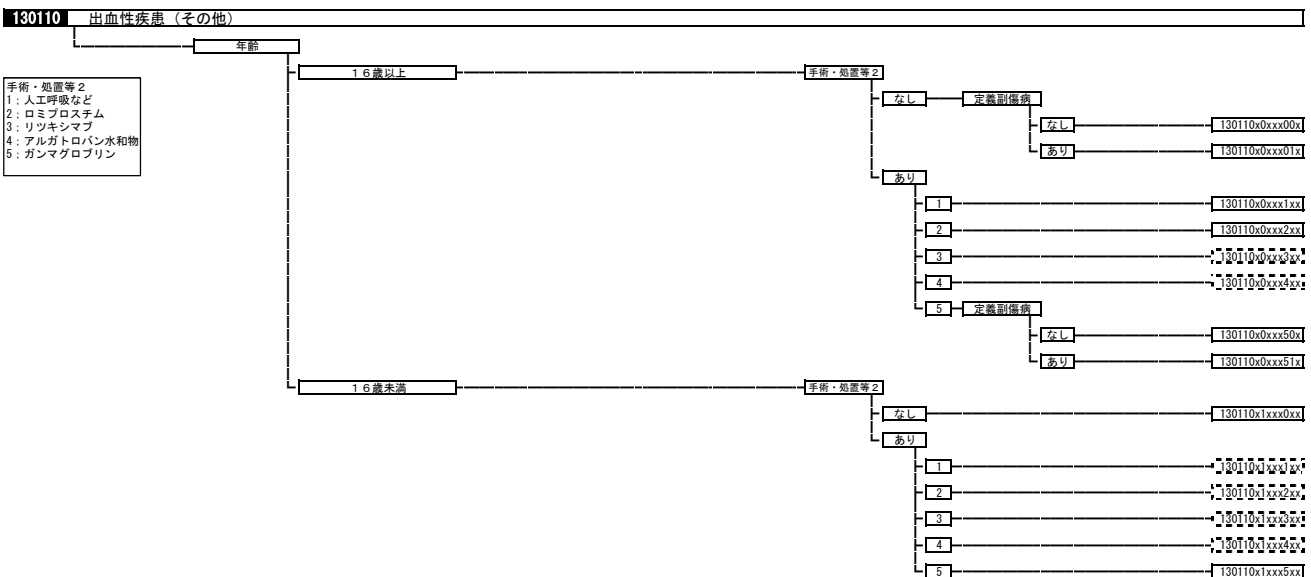
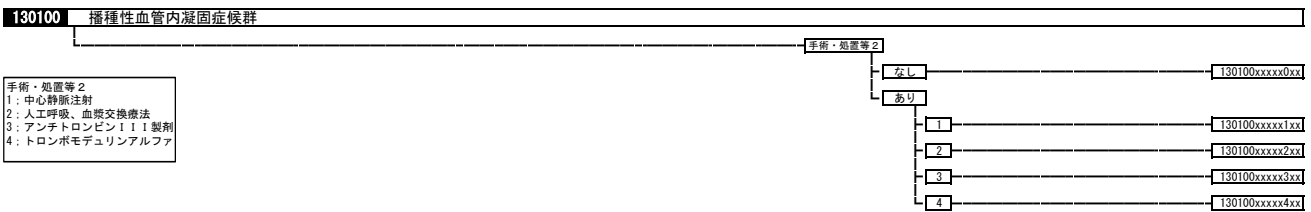
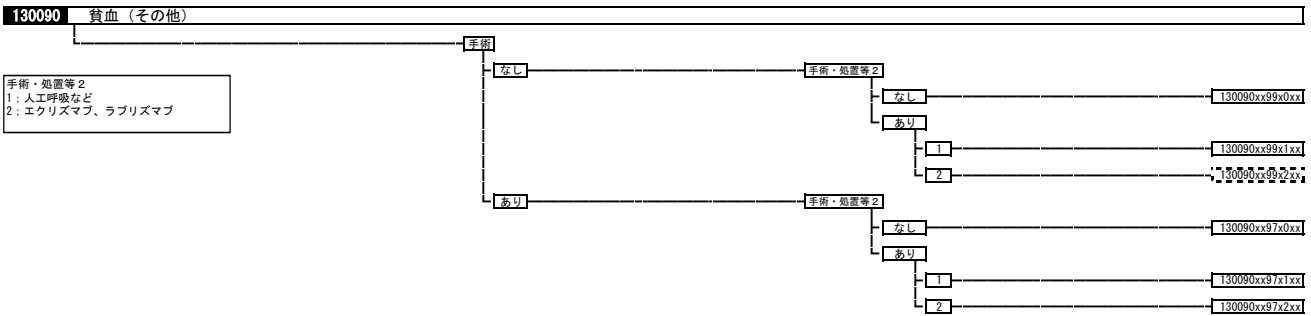
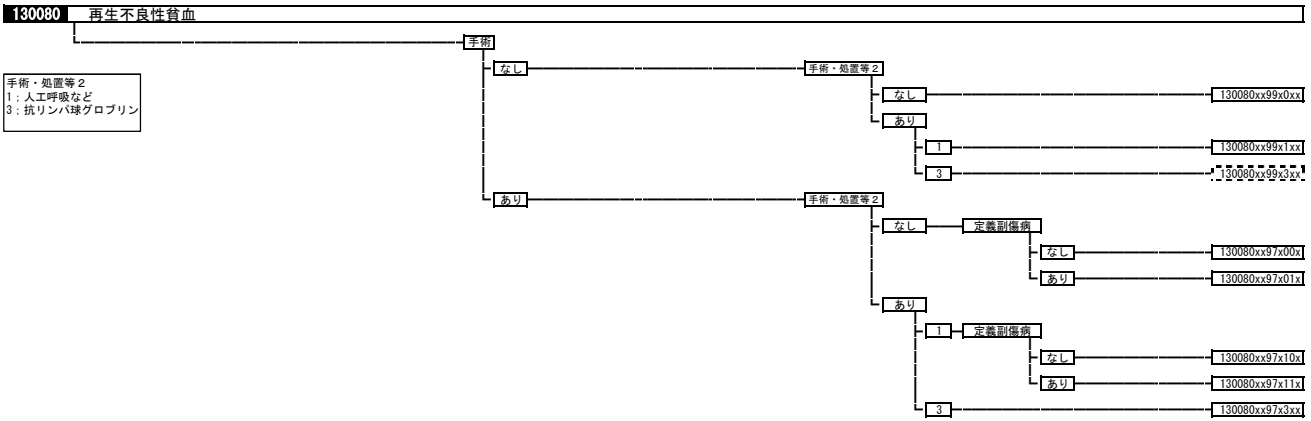
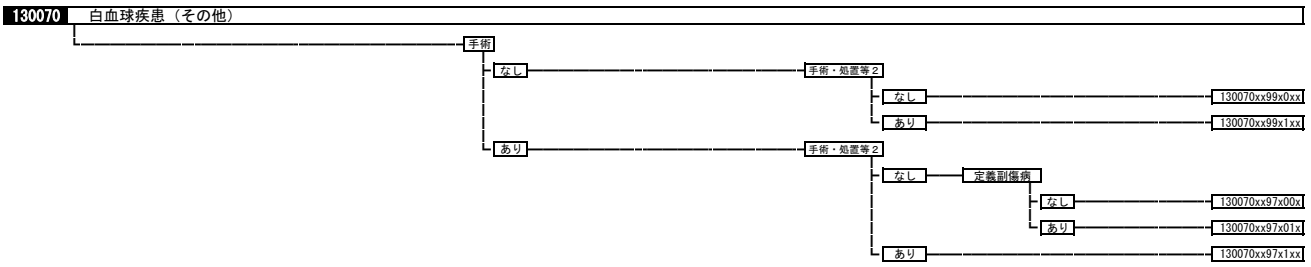
手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法
 3: イマチニブメシル酸塩
 4: ニロチニブ塩酸塩水和物など
 5: オファツムマブなど



130060 骨髄異形成症候群

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 3: 化学療法
 4: アザシチジン



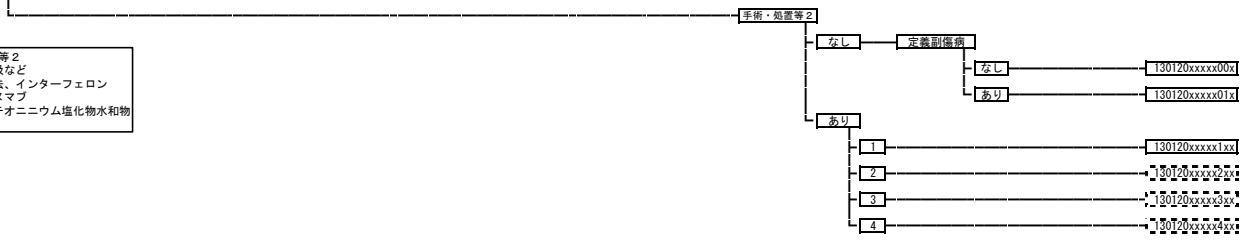


130111 アレルギー性紫斑病



130120 血液疾患（その他）

手術・処置等2
 1: 人工呼吸など
 2: 化学療法、インターフェロン
 3: カナキスマブ
 4: メチルチオニウム塩化物水和物



130130 凝固異常（その他）

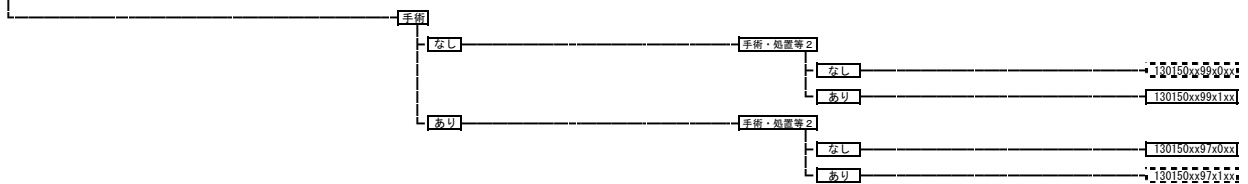
手術・処置等2
 1: 人工呼吸、リハビリテーション
 2: アンチトロンビンIII製剤
 3: 活性型プロテインC



130140 造血器疾患（その他）



130150 原発性免疫不全症候群

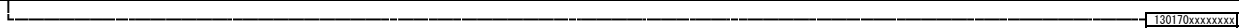


130160 後天性免疫不全症候群

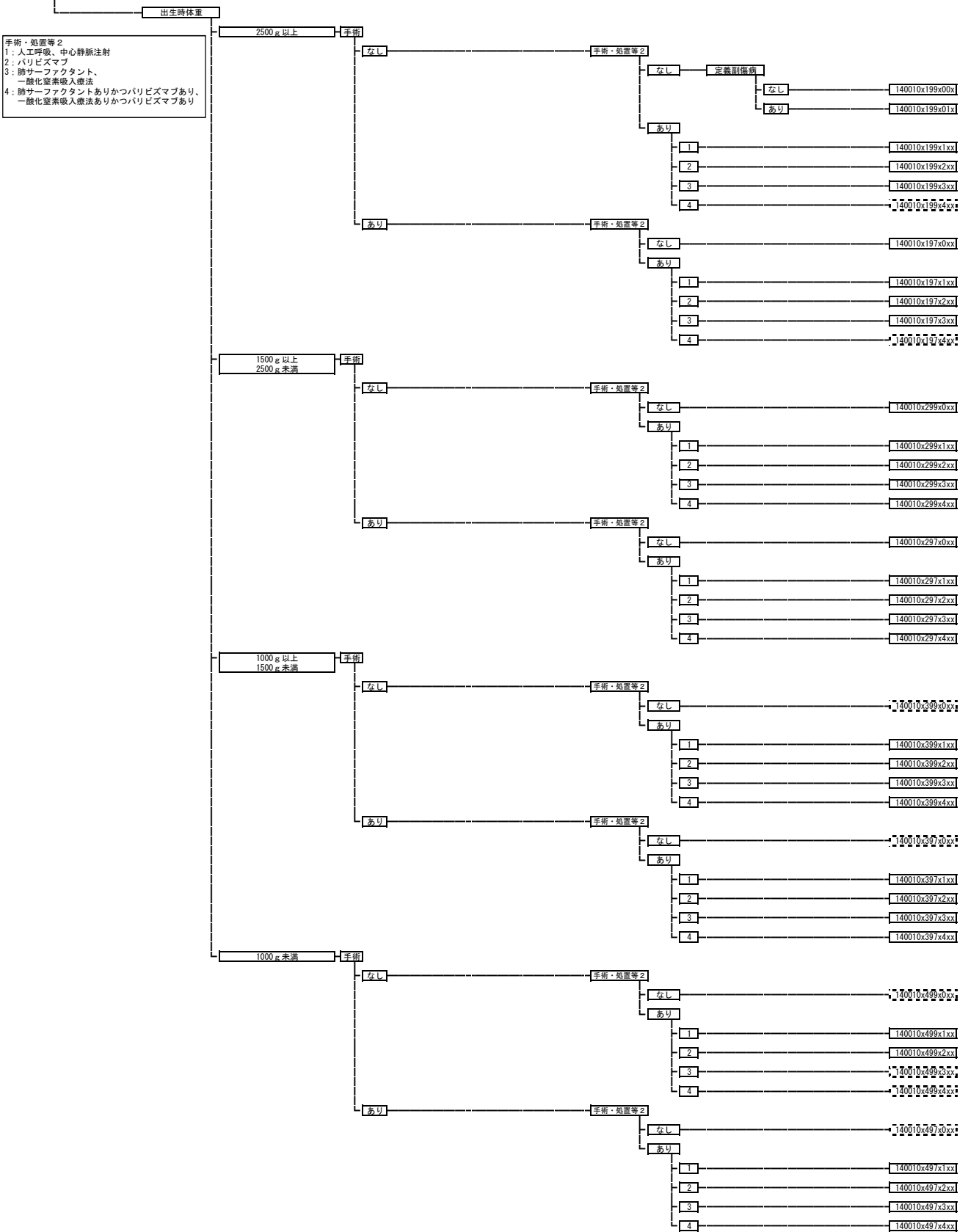
手術・処置等2
 1: 中心静脈注射
 2: 化学療法



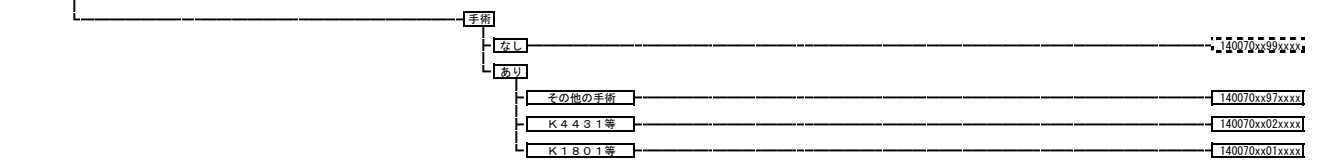
130170 血友病

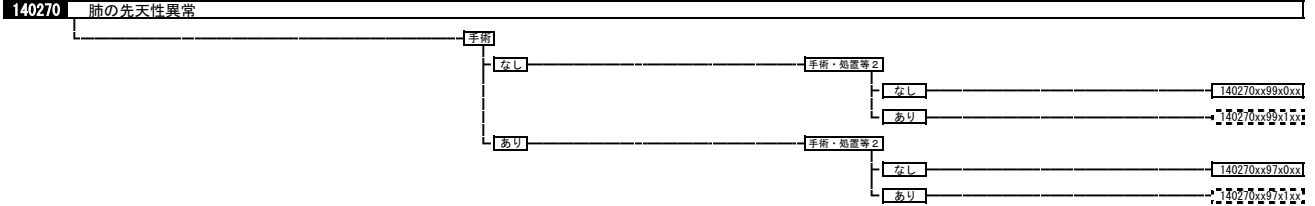
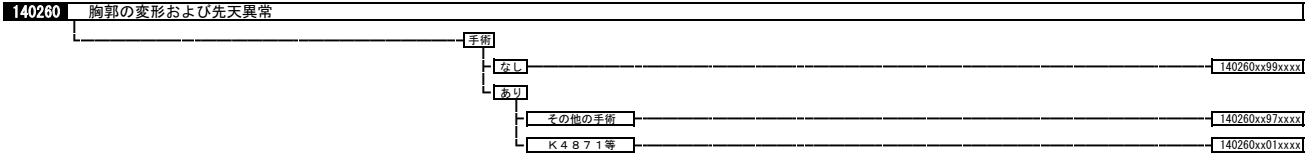
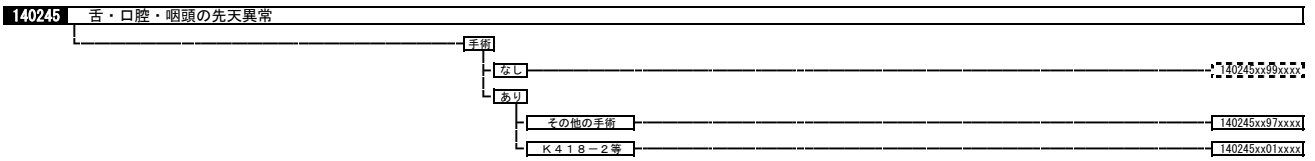
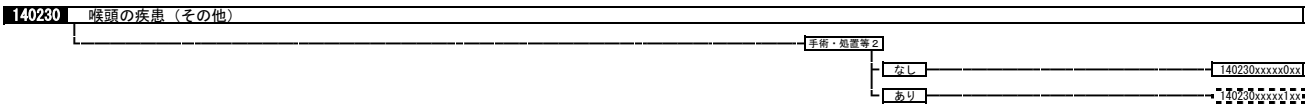
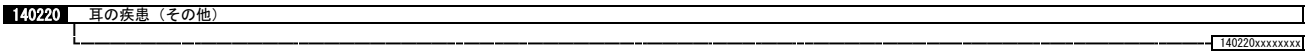
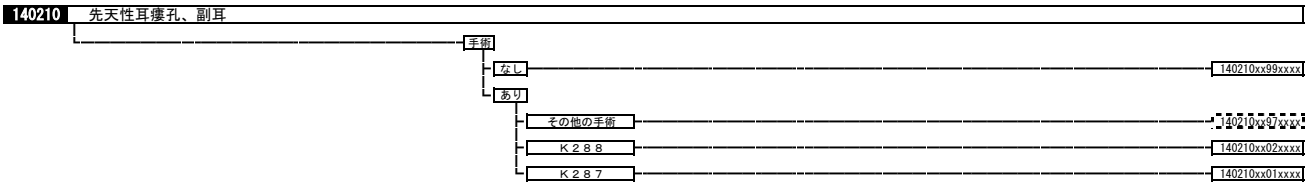
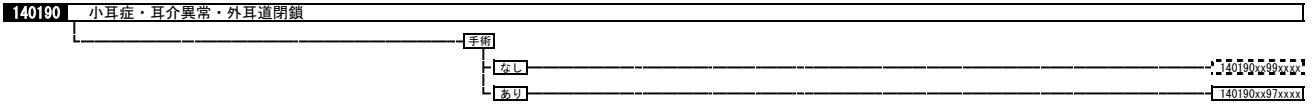
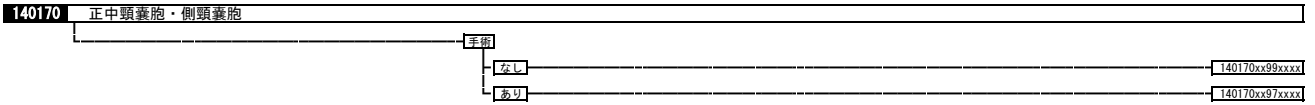
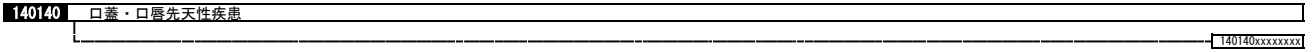
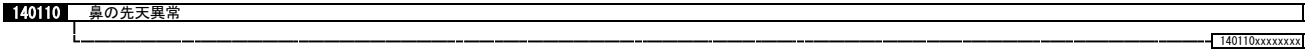
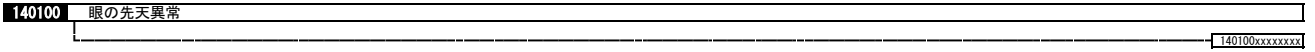
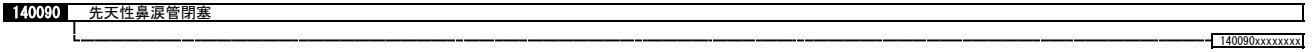
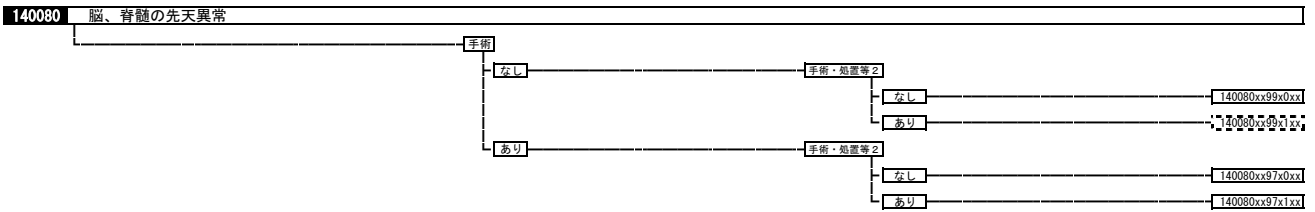


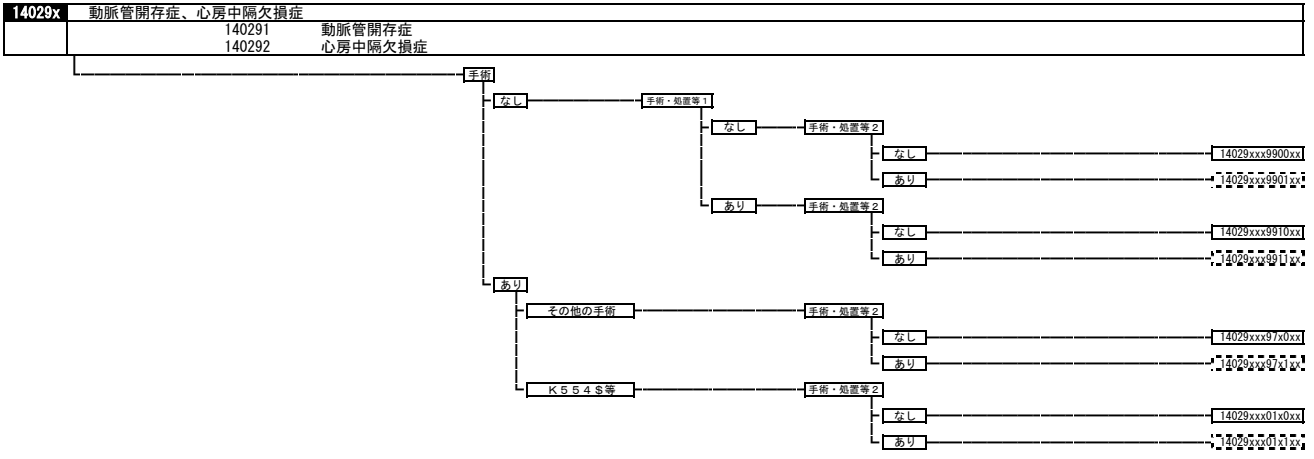
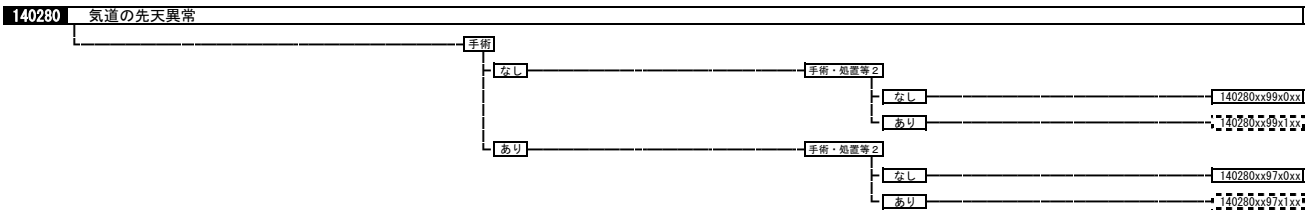
140010 妊娠期間短縮、低出生体重に関連する障害



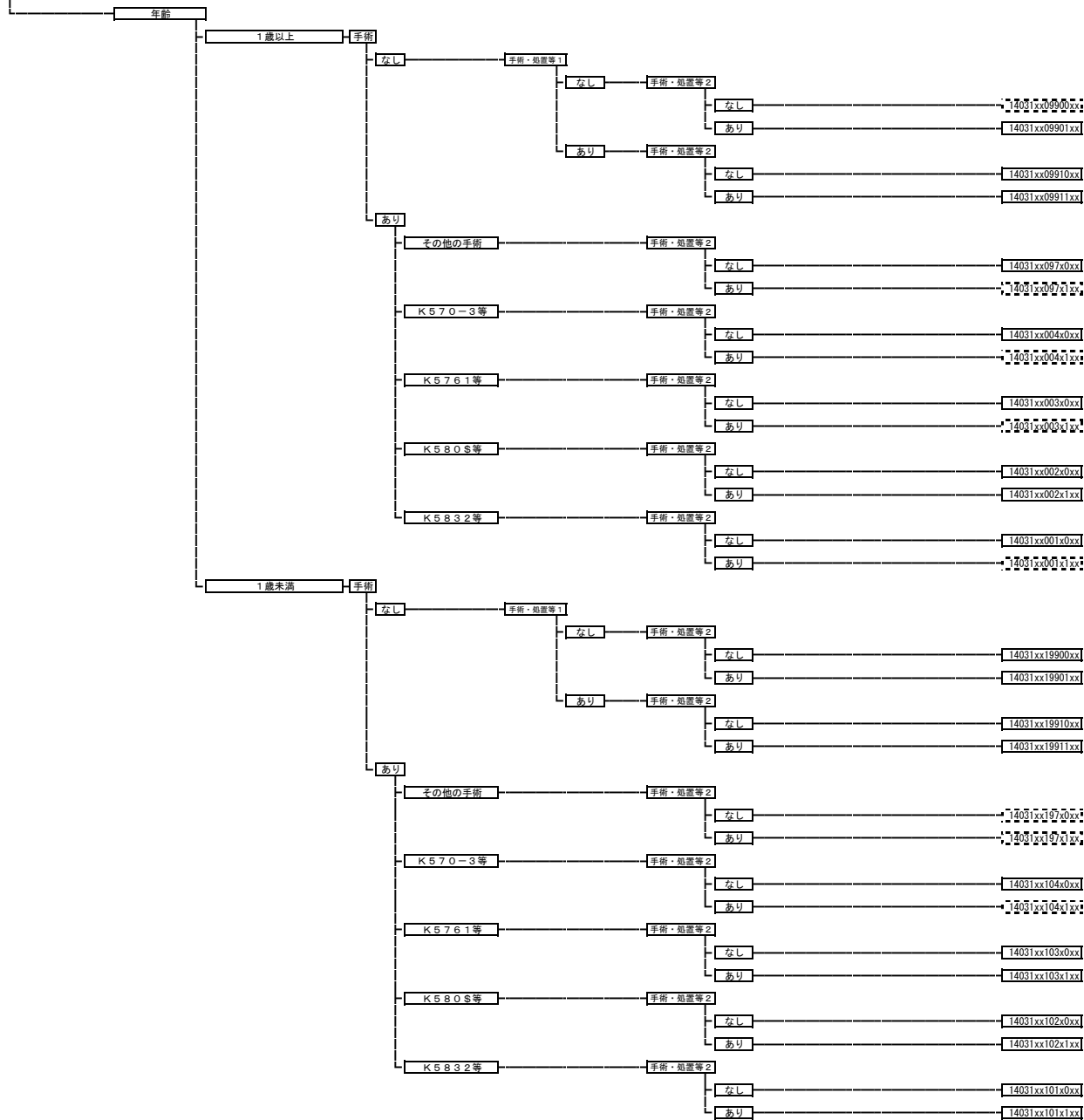
140070 頭蓋、顔面骨の先天異常



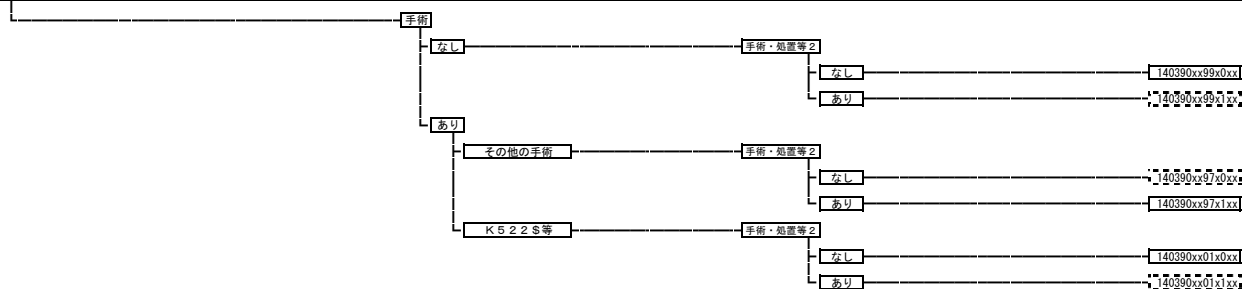




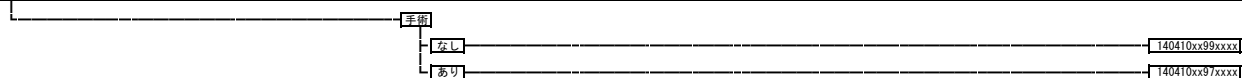
14031x	先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。）
	140311 心室中隔欠損症
	140312 房室中隔欠損症
	140313 その他の左右短絡性心奇形
	140314 非短絡性心奇形
	140315 ファロー四徴症
	140316 新生児乳児の先天性心奇形
	140317 その他の複雑心奇形
	140318 その他の循環器系の先天性奇形

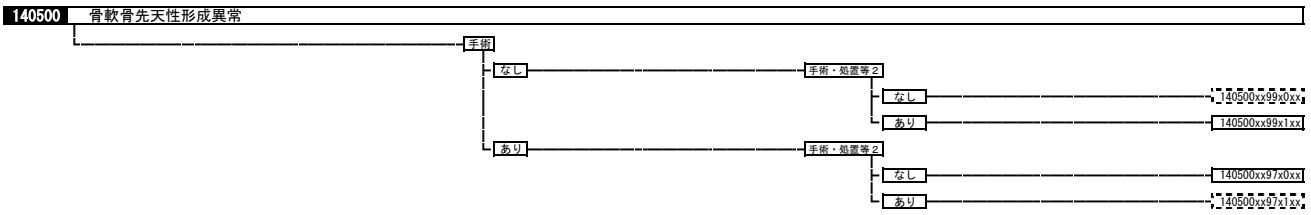
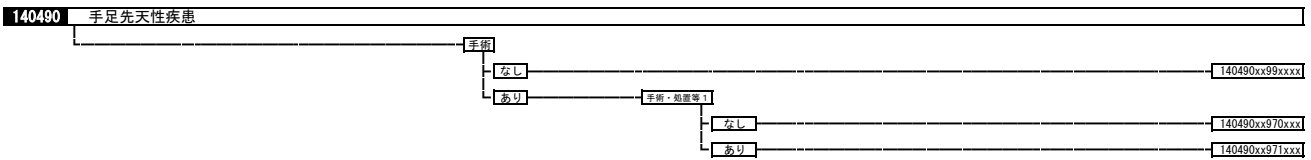
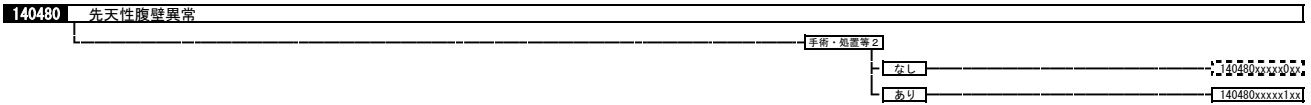
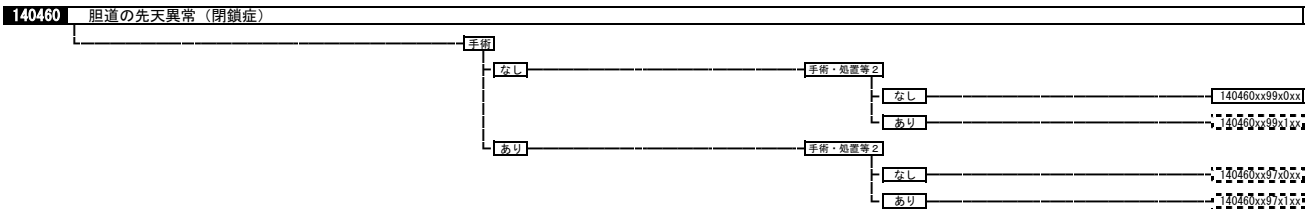
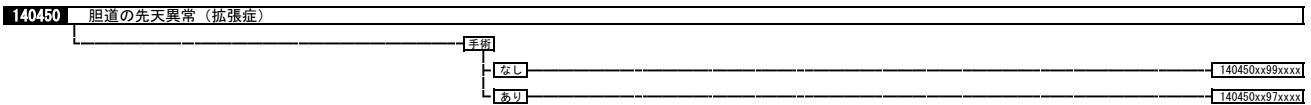
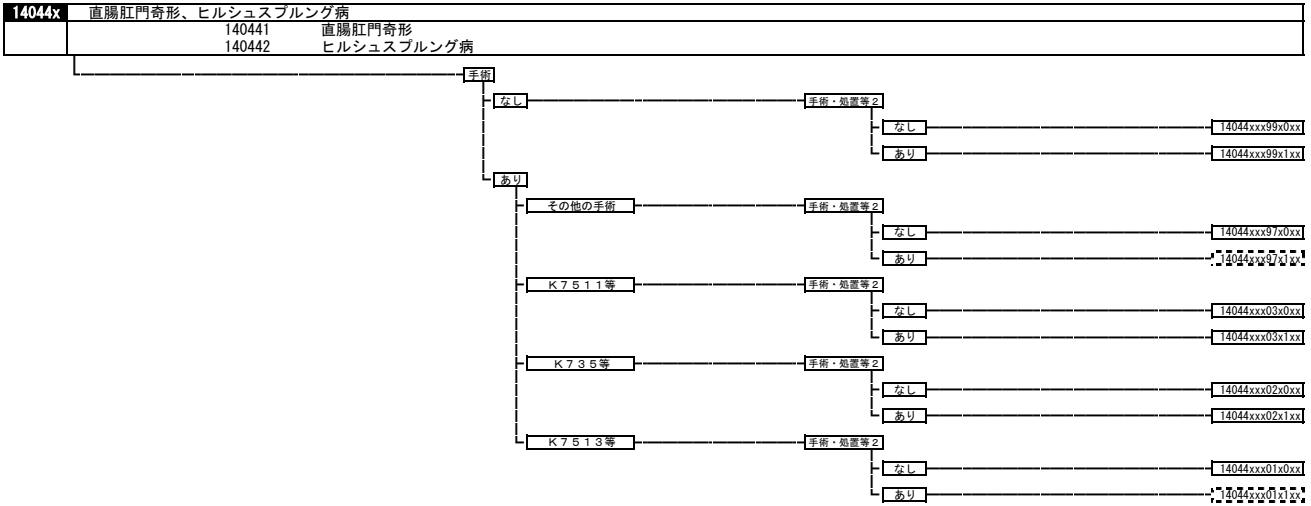
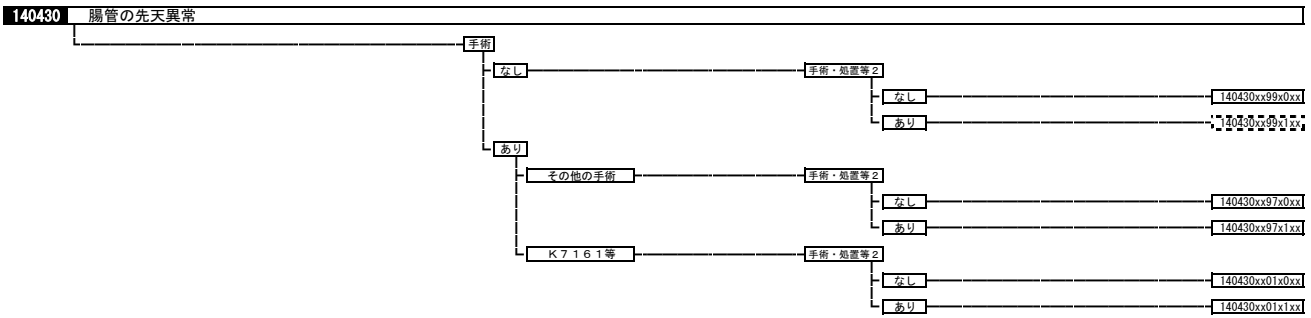


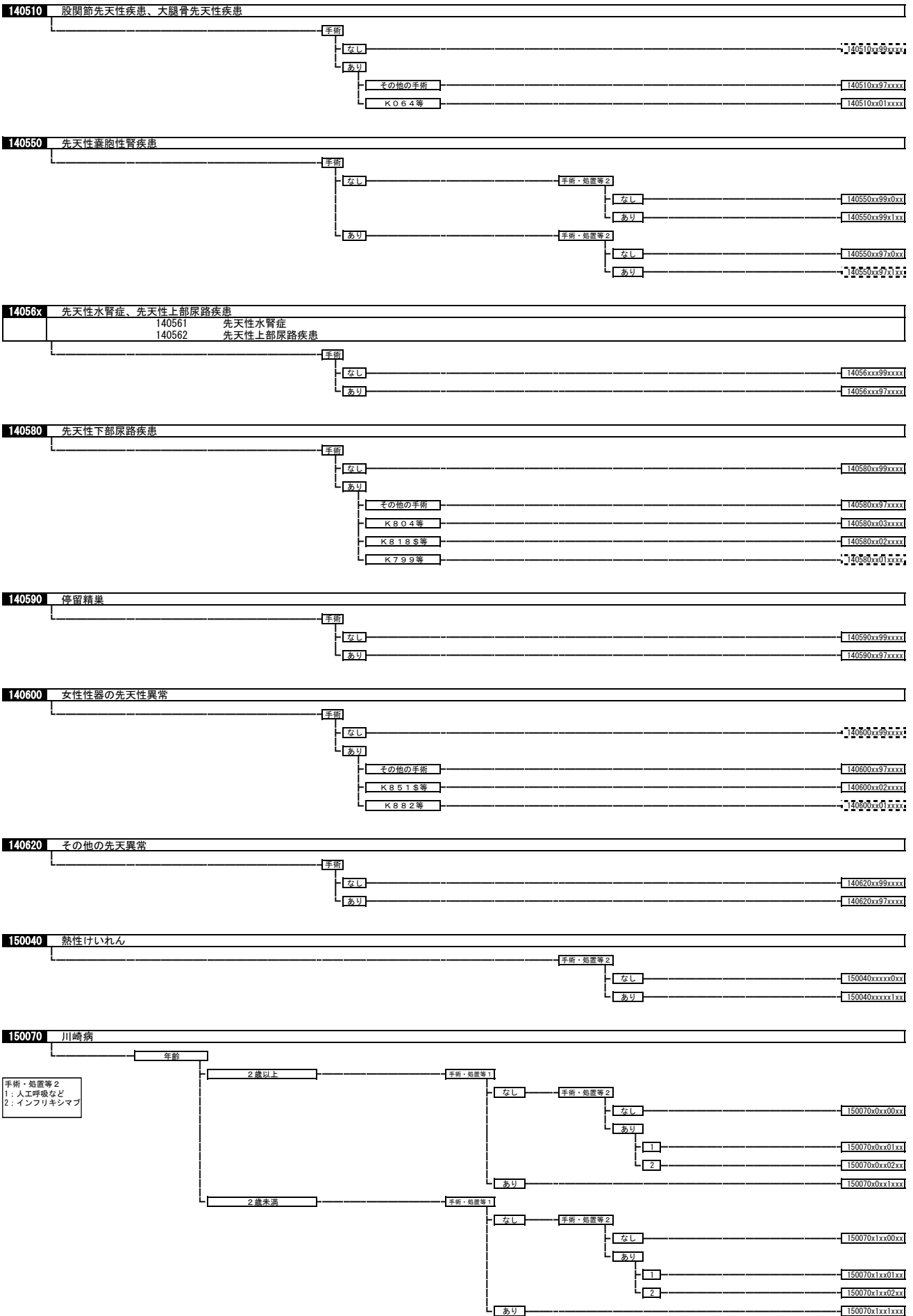
140390 食道の先天異常



140410 先天性肥厚性幽門狭窄症





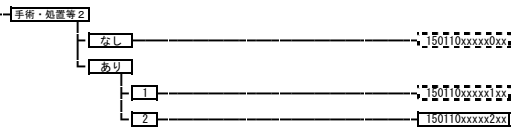


150100 虐待症候群

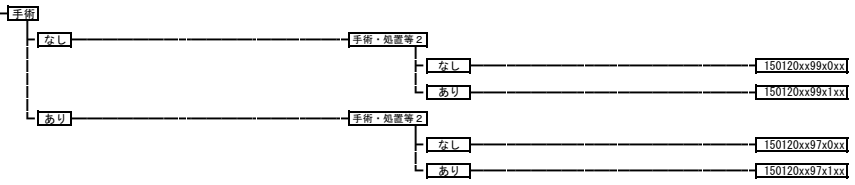
T50100xxxxxxx

150110 染色体異常（ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く。）

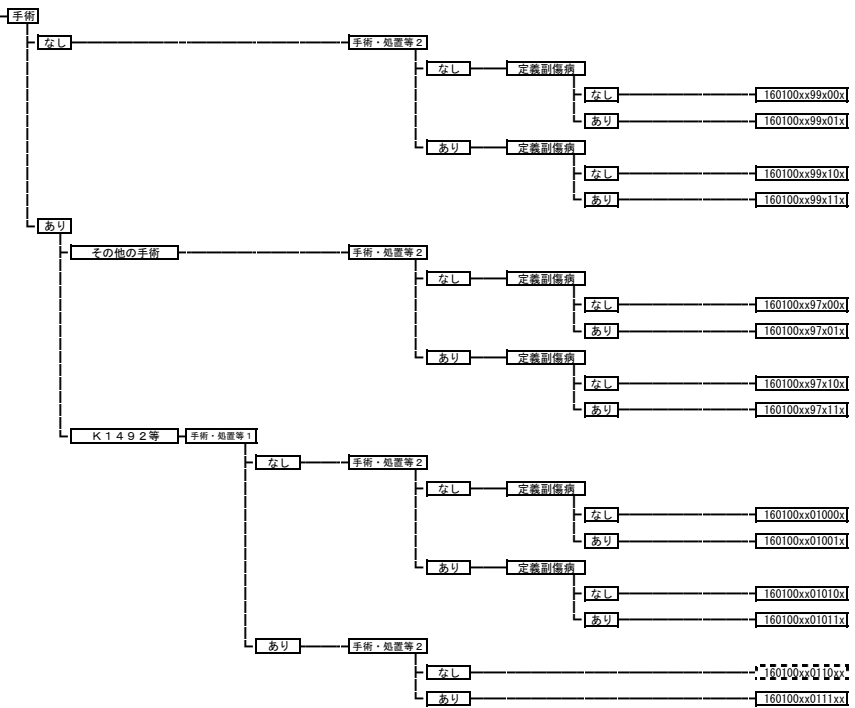
手術・処置等2
1:人工呼吸、中心静脈注射
2:バリビスマブ



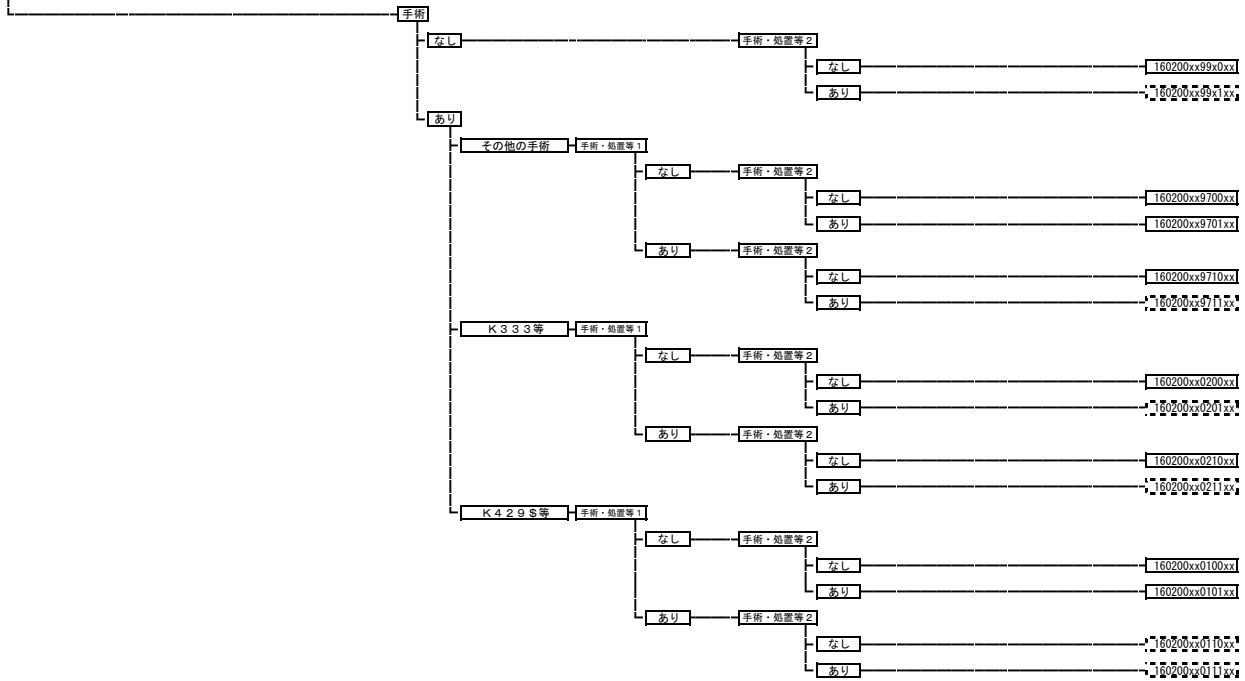
150120 脳性麻痺



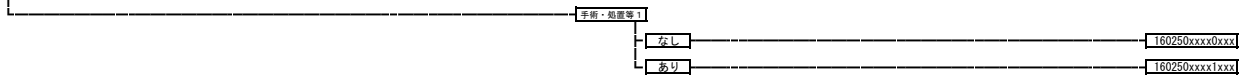
160100 頭蓋・頭蓋内損傷



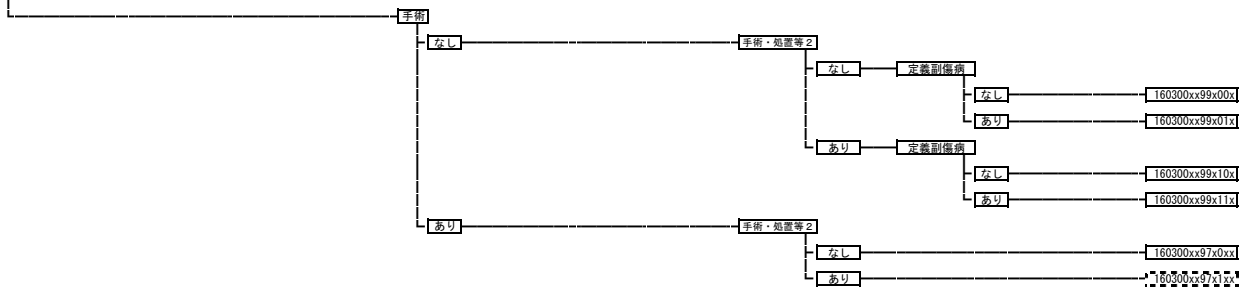
160200 顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む。）



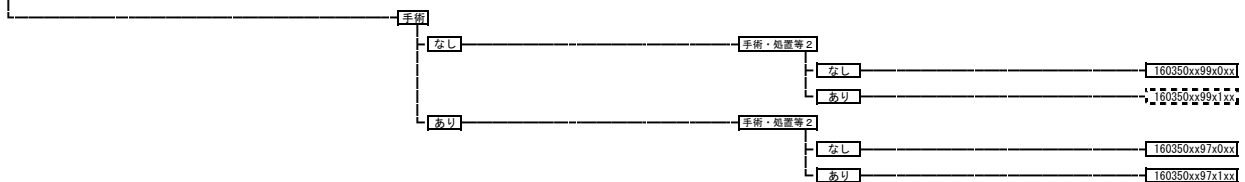
160250 眼損傷



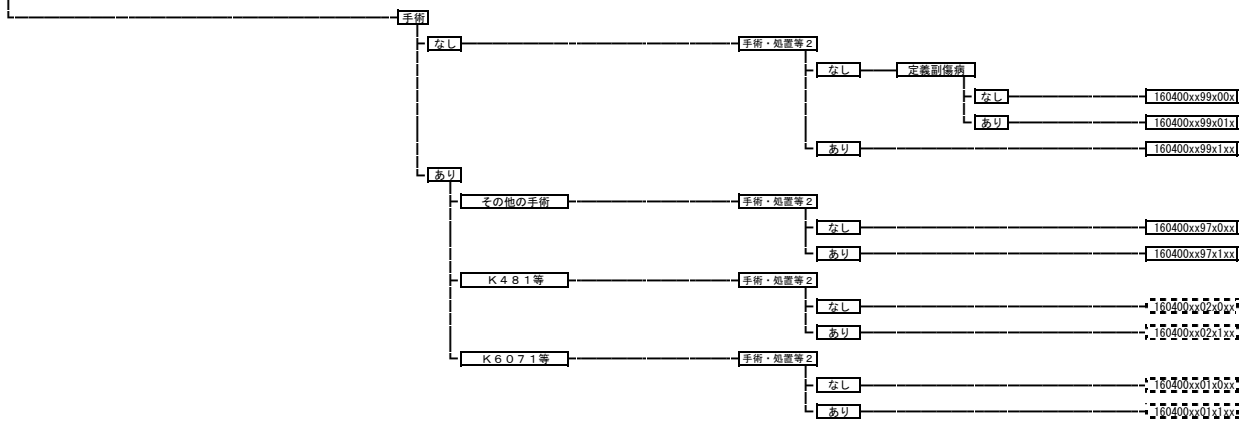
160300 喉頭・頸部気管損傷



160350 頭部損傷（喉頭・頸部気管損傷、頸椎頭髓損傷を除く。）



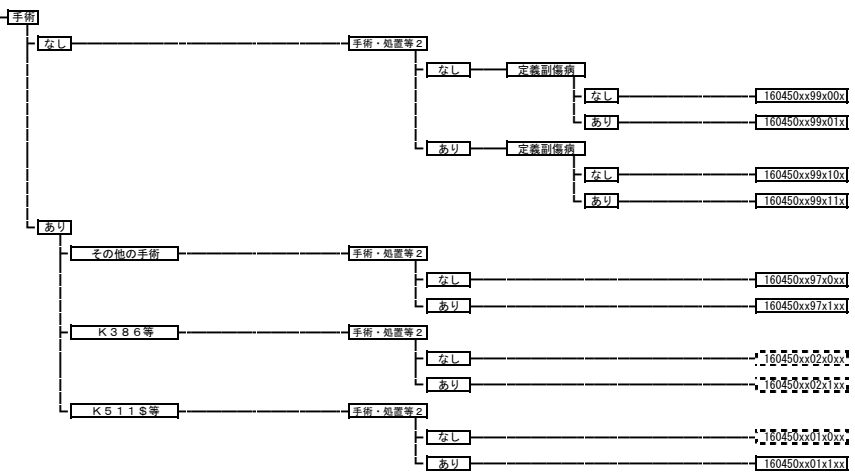
160400 胸郭・横隔膜損傷



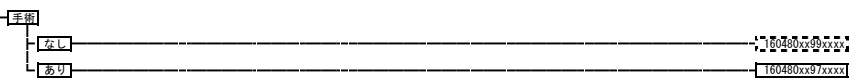
160440 外耳・中耳損傷（異物を含む。）

160440xxxxxx

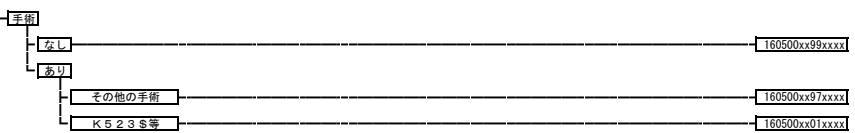
160450 肺・胸部気管・気管支損傷



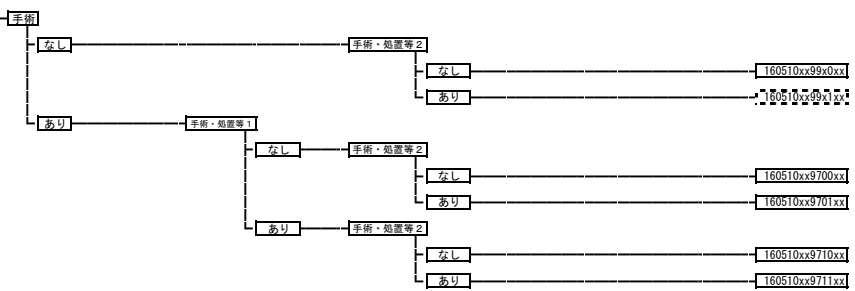
160480 心・大血管損傷



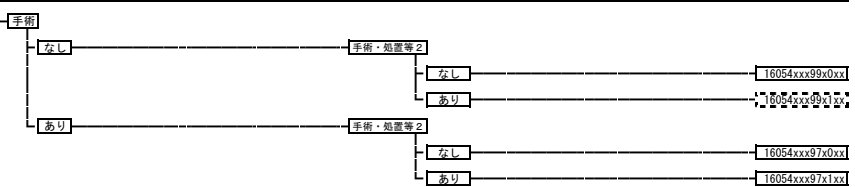
160500 食道・胃損傷



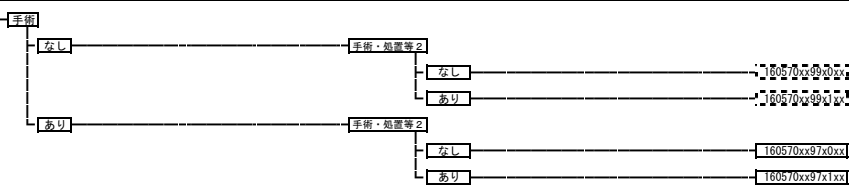
160510 肝・胆道・膵・脾損傷

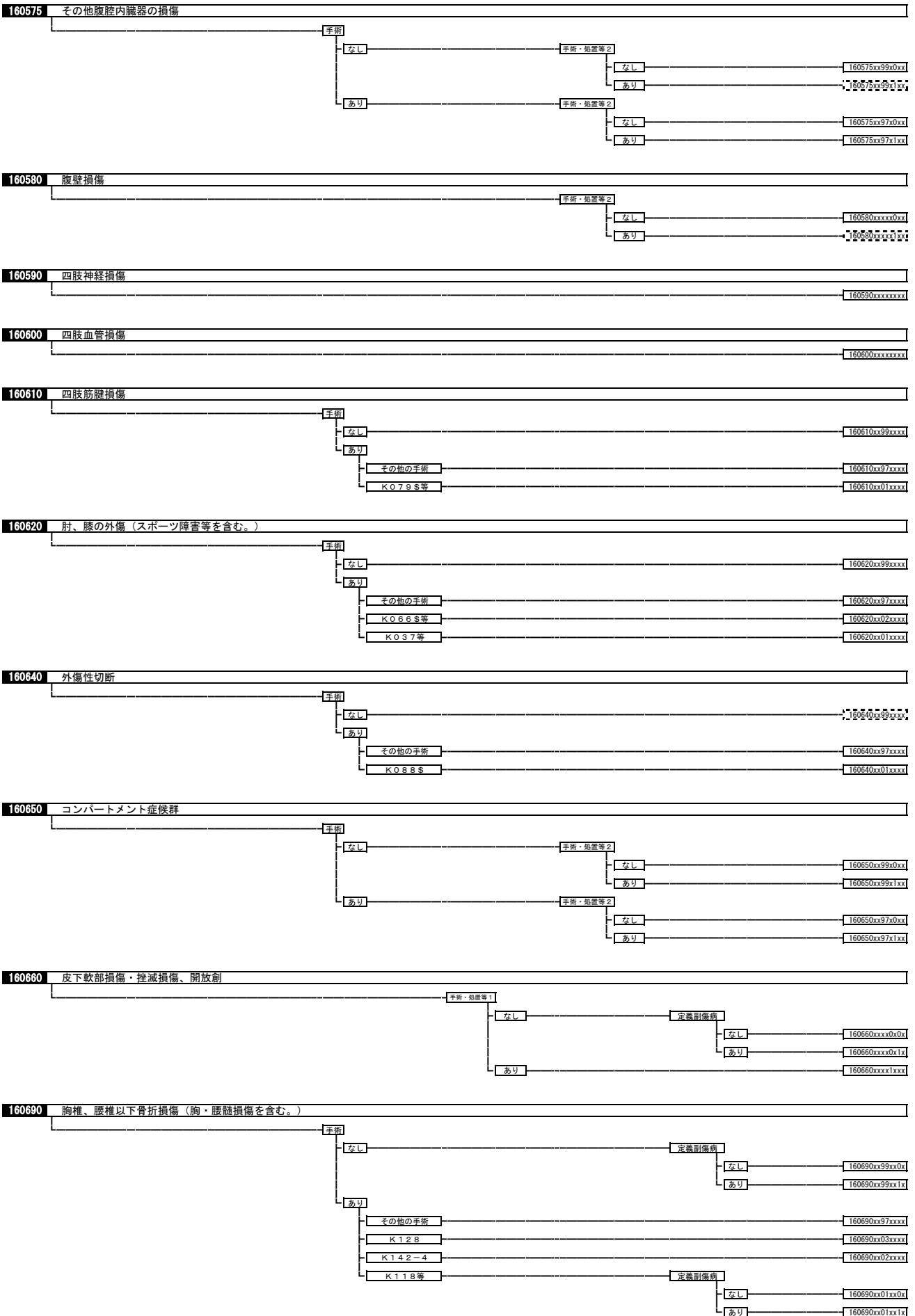


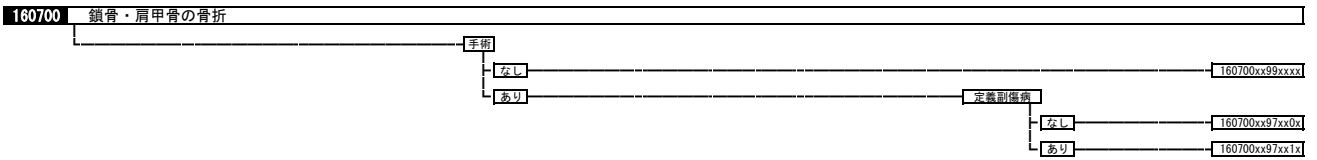
16054x 腸管損傷（胃以外）
160541 小腸・小腸腸間膜損傷
160542 結腸・直腸腸間膜損傷
160543 直腸・肛門損傷



160570 腹部血管損傷

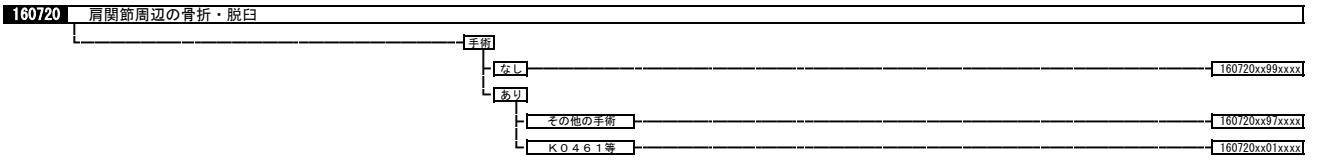






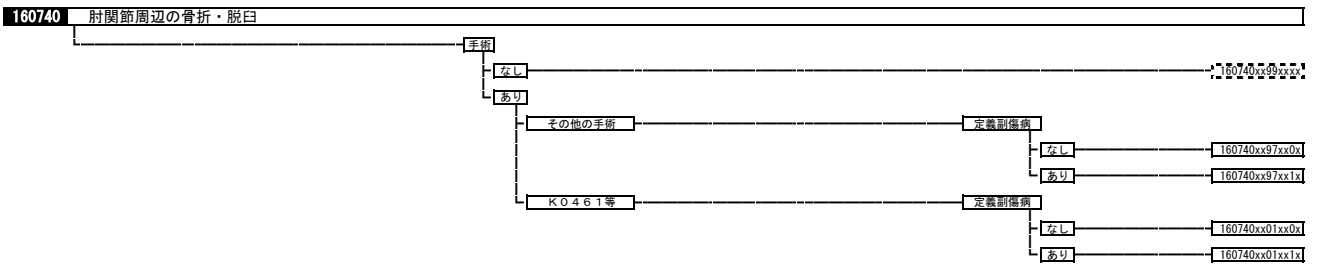
160710 鎖骨・肩甲骨の開放骨折

160710xxxxxxxx



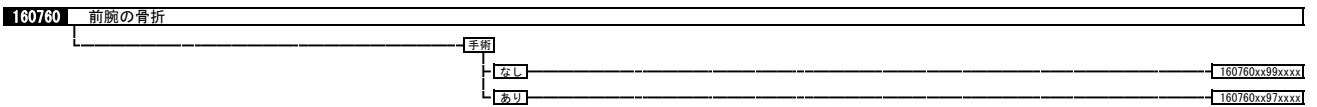
160730 肩関節周辺の開放骨折

160730xxxxxxxx



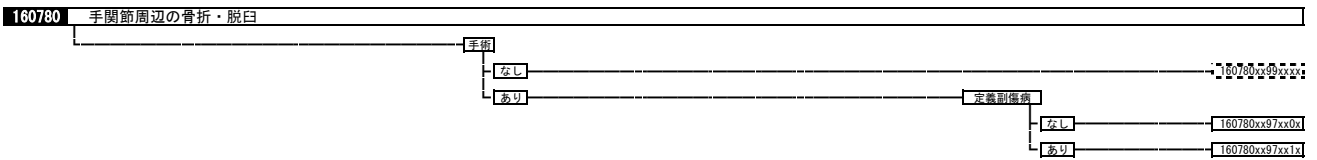
160750 肘関節周辺の開放骨折

160750xxxxxxxx



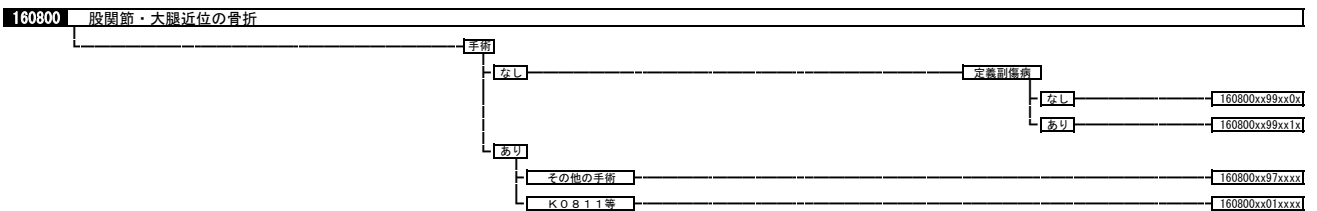
160770 前腕の開放骨折

160770xxxxxxxx



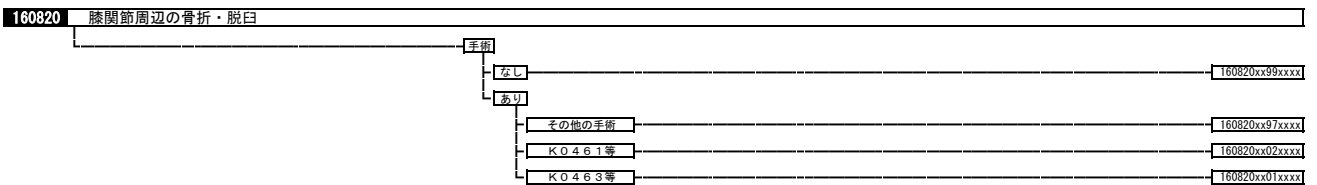
160790 手関節周辺の開放骨折

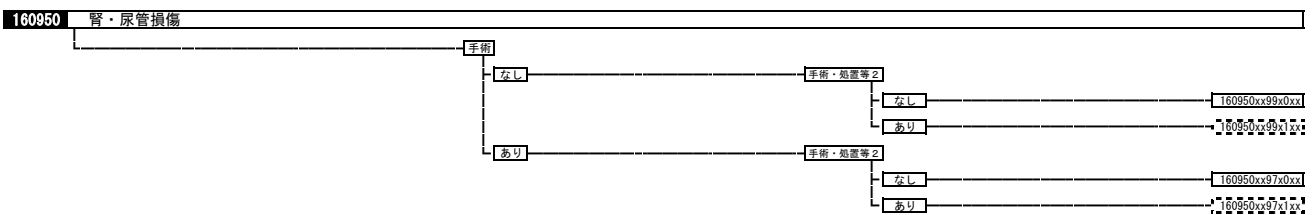
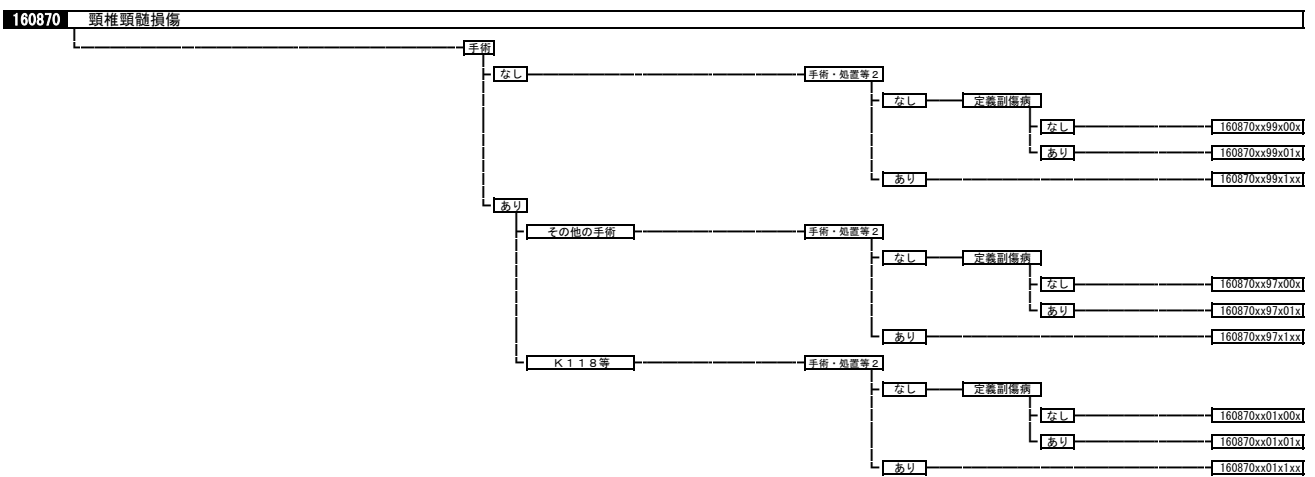
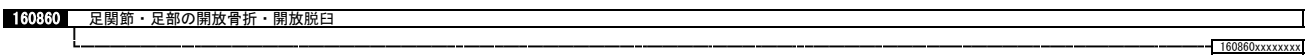
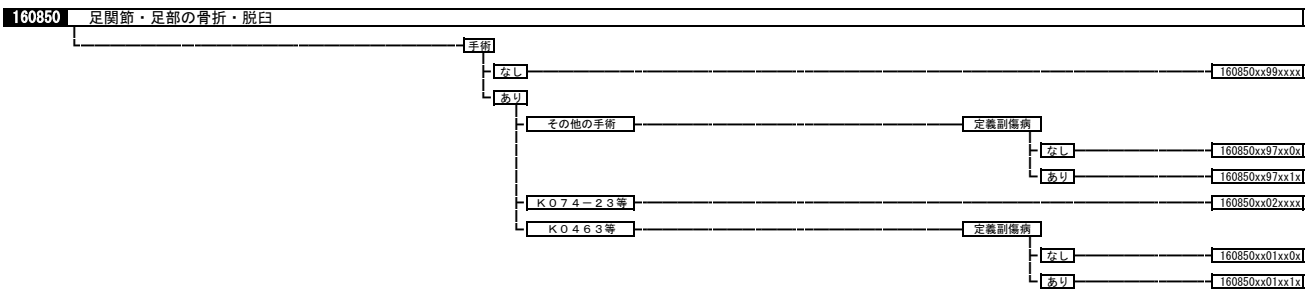
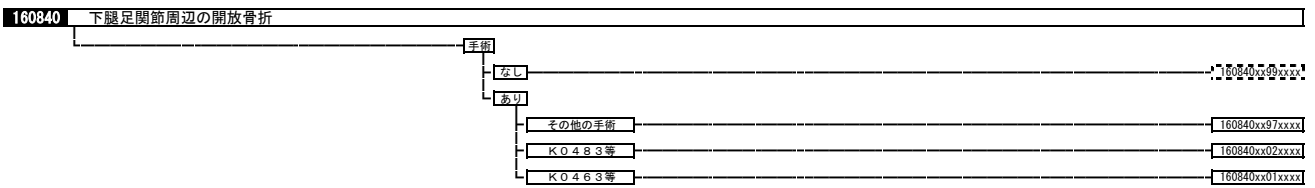
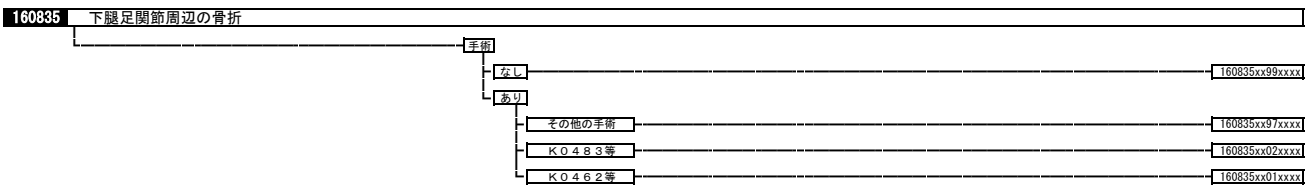
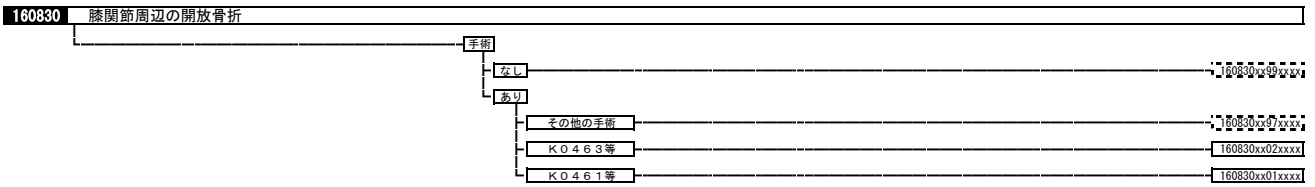
160790xxxxxxxx

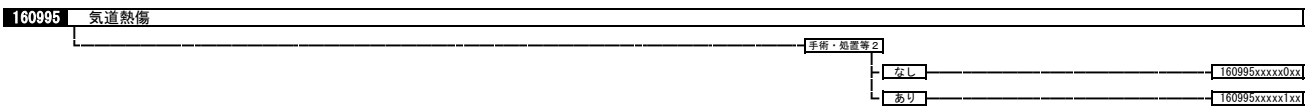
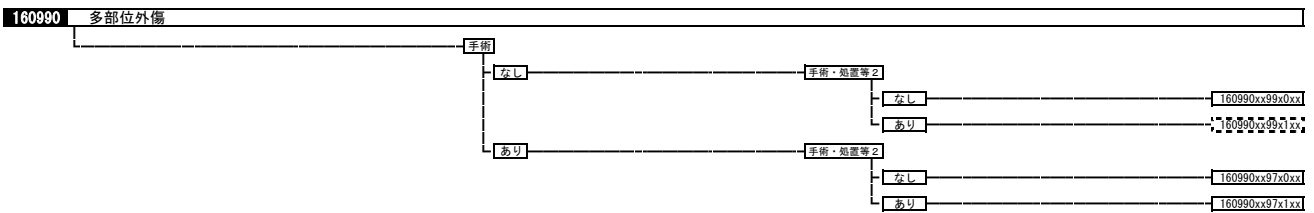
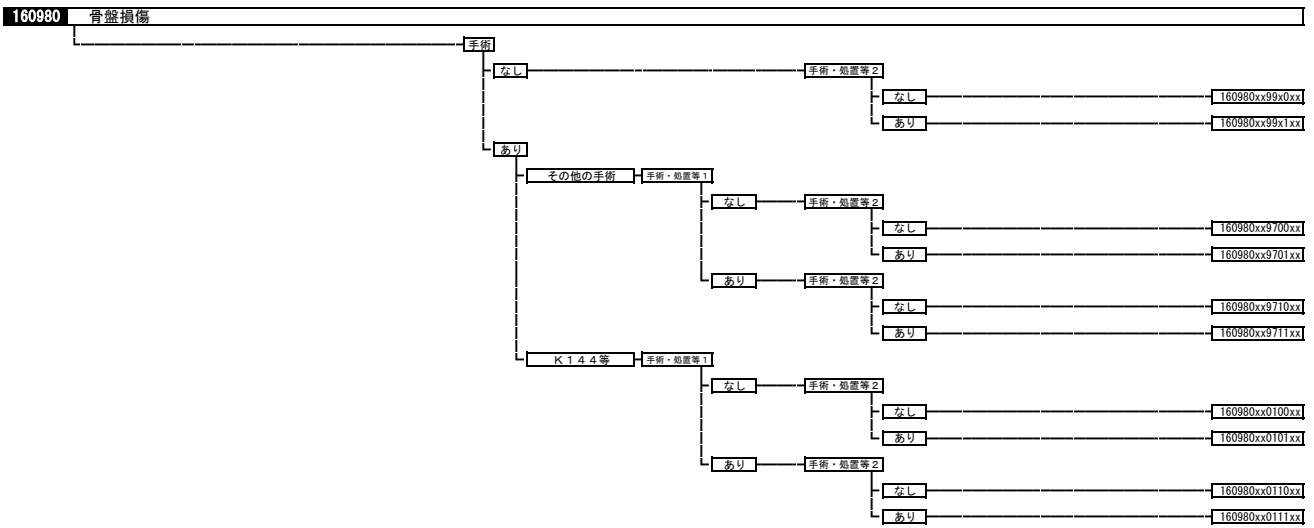
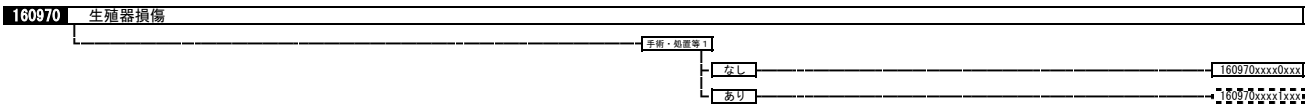
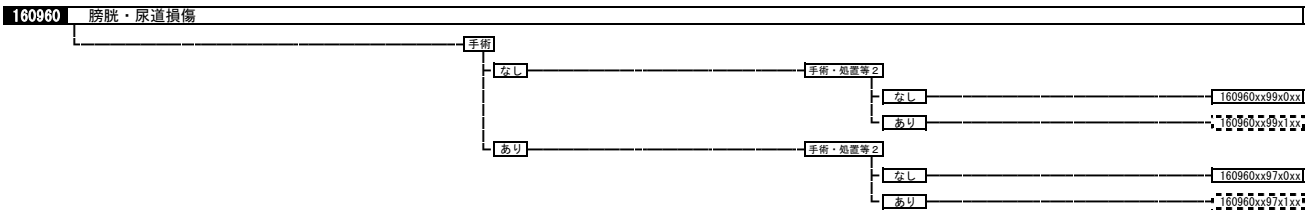


160810 股関節・大腿近位の開放骨折

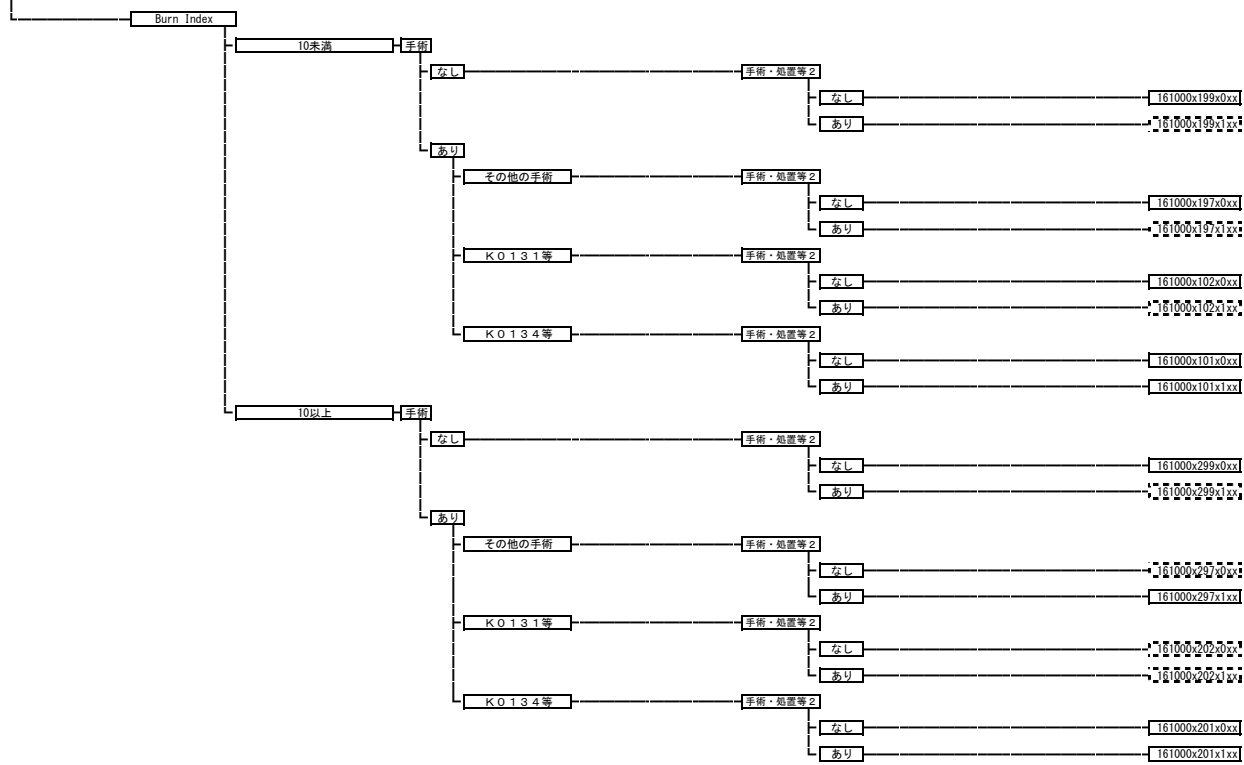
160810xxxxxxxx



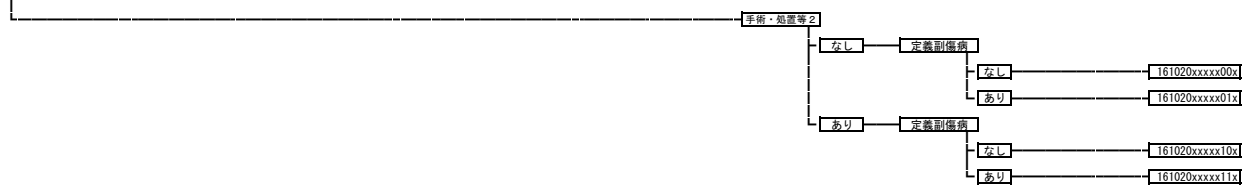




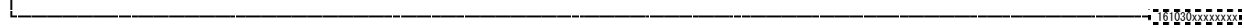
161000 熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷



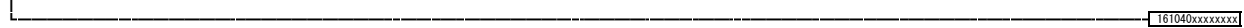
161020 体温異常



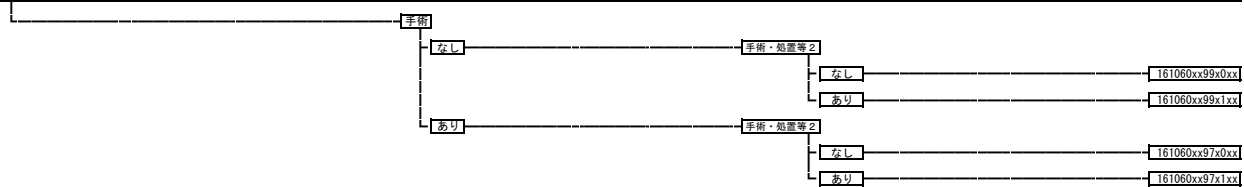
161030 気圧による損傷



161040 損傷の続発性、後遺症

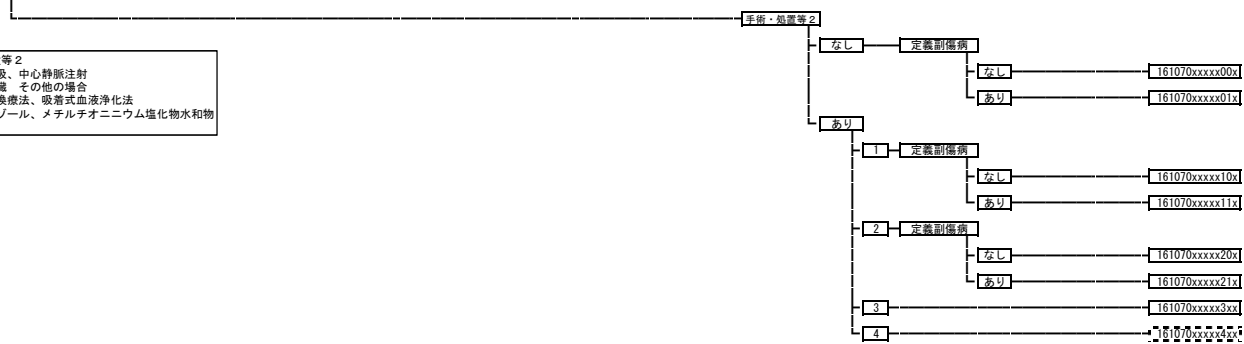


161060 詳細不明の損傷等

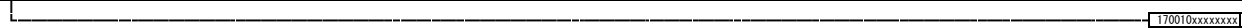


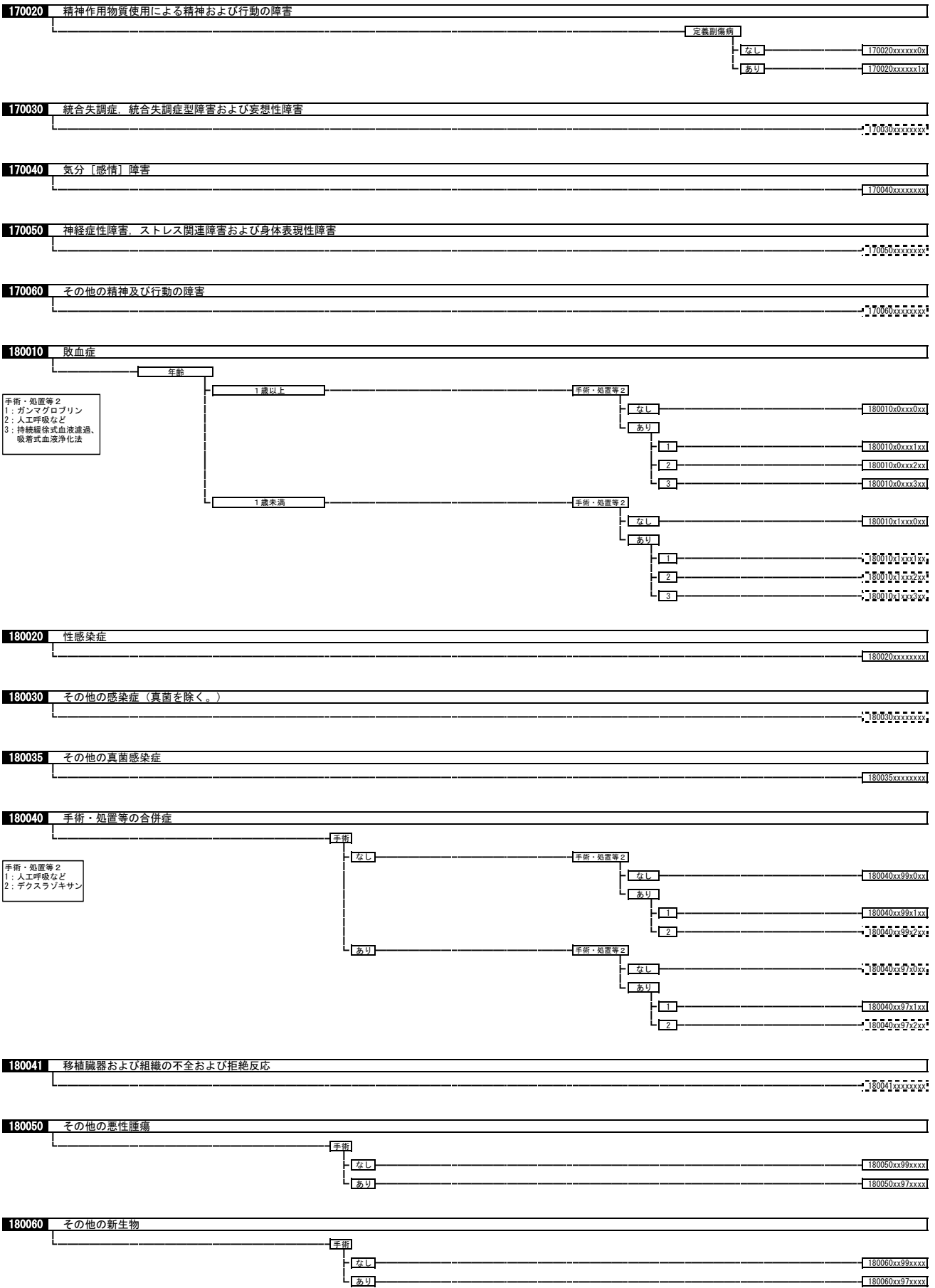
161070 薬物中毒（その他の中毒）

手術・処置等2
 1：人工呼吸、中心静脈注射
 2：人工腎臓 その他の場合
 3：血漿交換療法、吸着式血液浄化法
 4：ホメビゾール、メチルチオニウム塩化物水和物



170010 アルコール依存症候群





診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等																	
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等							
											脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの)等 01 02 脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) K176\$ 01 02 脳動脈瘤被包術 K175\$ 01 02 脳動脈瘤頸部クリッピング K177\$ 01 03 減圧開頭術 その他の場合 K1492 01 03 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの K1643 01 03 定位的脳内血腫除去術 K164-4 01 03 内視鏡下脳内血腫除去術 K164-5 01 04 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの K1642																										
01	0030	未破裂脳動脈瘤	脳動脈壁の解離、非く未>破裂性 脳動脈瘤、非く未>破裂性 その他の脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎脊動脈を含む)の動脈瘤及び解離 椎脊動脈の動脈瘤及び解離	1670 1671 1725 1726							手術なし その他の手術あり 脳血管内手術 脳動脈瘤頸部クリッピング等 脳動脈瘤被包術 脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの) 脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭して行うもの)+動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈	99 99 97 97 03 01 01 02 01 02 01 02						1 2 1 1	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 主要血管の分枝血管を選択的に造影撮影した場合 人工呼吸	E0033 J045\$		1 2 1 3	中心静脈注射 水頭症	G005 J045\$	1 3 1 3	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外) 肺炎等 誤嚥性肺炎	010040 010200 040081	0 0 1 1 1 3				リハビリなし リハビリあり					
01	0040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	脳内出血 頭蓋内出血(非外傷性)、詳細不明 脳アミロイド血管症 脳実質外血管の動脈瘤奇形 脳実質外血管のその他の奇形 脳血管の動脈瘤奇形 脳血管のその他の奇形	161\$ 1629 1680 Q280 Q281 Q282 Q283							手術なし その他の手術あり 穿頭脳室ドレナージ術等 水頭症手術 シヤント手術 脳血管内手術+脳動脈静脈奇形摘出術等 脳動脈静脈奇形摘出術 動脈形成術、吻合術 頭蓋内動脈 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの 定位的脳内血腫除去術 内視鏡下脳内血腫除去術 機能的定位置手術 減圧開頭術 その他の場合	99 99 97 97 02 05 02 08 01 01 01 01 01 02 01 03 01 03 01 03 01 04 01 07						1 6 1 3 1 2 1 1	ガンマナイフによる定位放射線治療 直線加速器による放射線治療 定位放射線治療の場合 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	M001-2 J0384 G005 J045\$		1 2 1 2 1 2	肺炎等 腎臓または尿路の感染症	040080 110310	0 0 1 1 1 2				リハビリなし リハビリあり								
01	0050	非外傷性硬膜下血腫	硬膜下出血(急性)(非外傷性) 非外傷性硬膜外出血	1620 1621							手術なし その他の手術あり 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等 穿頭術(トラパナチオン) 穿頭脳室ドレナージ術 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 硬膜下のもの	99 99 97 97 02 02 02 04 01 01					1 3 1 2 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 胃瘻閉鎖術 胃瘻除去術	K664 K665\$ K665-2		1 3 1 2 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 3 1 3 1 3	肺炎等 誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症	040080 040081 110310	0 0 1 1 1 3				リハビリなし リハビリあり						
01	0060	脳梗塞	脳梗塞	163\$							手術なし その他の手術あり 経皮的脳血管形成術等 脳血管内手術 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術 経皮的脳血栓回収術 経皮的脳血管ステント留置術 経皮的頭動脈ステント留置術	99 99 97 97 02 01 02 01 02 01 02 01 02 01 02 01						2 5 1 4 1 1 1 1 3 7 2 6 2 6 1 3	造影剤注入手技 動脈造影カテーテル法 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 胃瘻閉鎖術 胃瘻除去術 非放射性キセノン脳血流動態検査 脳血管疾患等リハビリテーション科 廃用症候群リハビリテーション科 人工腎臓 その他の場合	E0033 K664 K665\$ K665-2		5 9 4 8 3 7 3 7 3 7 2 6 2 6 1 3	tPA エダラボン SPECT PET 脳血流動態検査 脳血管疾患等リハビリテーション科 水頭症 人工腎臓 その他の場合	J0384 G005 E101 E101-2\$ E201 H001\$ H001-2\$ J0384	2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1	肺炎等 誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症 敗血症 その他の真菌感染症 呼吸器のアスペルギルス症 水頭症	040080 040081 110310 180010 180035 040151 010200	0 1 0 2 0 3 1 4 1 5 1 6 0			発症前Rankin Scale 5 発症前Rankin Scale 4 発症前Rankin Scale 3 発症前Rankin Scale 2 発症前Rankin Scale 1 発症前Rankin Scale 0						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等											
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
			帯状疱疹(性)髄膜炎 麻疹、脳炎を合併するもの 麻疹、髄膜炎を合併するもの 麻疹、神経合併症を伴うもの ムンプス髄膜炎 ムンプス脳炎 カンジダ性髄膜炎 コクシジオイデス性髄膜炎 フェオニコス性脳腫瘍 トキノプラズマ髄膜炎 細菌性髄膜炎、他に分類されないもの 他に分類されるその他の感染症及び寄生虫における髄膜炎 その他及び詳細不明の原因による髄膜炎 熱帯性けいこ瘧疾 細菌性髄膜炎及び髄膜脊髄炎、他に分類されないもの その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎 脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明 他に分類される疾患における脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎 頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫 他に分類される疾患における頭蓋内及び脊椎管内の膿瘍及び肉芽腫 頭蓋内及び脊椎管内の静脈炎及び血栓(性)静脈炎 中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症 脳症<エンセファロパチ<シ>ー>、詳細不明 その他の明示された脊髄疾患	B021 B050 B051 B060 B261 B262 B375 B384 B431 B582 G00\$ G02\$ G03\$ G041 G042 G048 G049 G05\$ G06\$ G07 G08 G09 G934 G95\$																											
01	0083	結核性髄膜炎、髄膜脳炎	神経系結核 他に分類される細菌性疾患における髄膜炎	A17\$ G01								99 99	手術なし	99 99	手術あり	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 9		ガンマグロブリン				0 0	リハビリなし				
01	0086	プリオン病	クロイツフェルト-ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病 進行性多量性白質脳症 中枢神経系その他の非定型ウイルス感染症 中枢神経系の非定型ウイルス感染症、詳細不明	A810 A812 A818 A819								99 99	手術なし	97 97	手術あり	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 3		人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0 0	リハビリなし				
01	0089	亜急性硬化性全脳炎	亜急性硬化性全脳炎<SSPE>	A811								99 99	手術なし	97 97	手術あり	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 3		人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0 0	リハビリなし				
01	0090	多発性硬化症	多発性硬化症 視神経脊髄炎[デビック<Devic>病]	G35 G360				0 0	JCS10未満			99 99	手術なし	97 97	手術あり	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4 9		ナタリズマブ グラチラマー酢酸塩 インターフェロン 血漿交換療法 中心静脈注射 人工呼吸	J039 G005 J045\$	1 1	1 1	脳脊髄の感染を伴う炎症 腎臓または尿路110310の感染症	010080	0 0	リハビリなし		
01	0100	脱髄性疾患(その他)	急性播種性脳炎 急性及び亜急性出血性白質脳炎[ハースト<Hurst>] その他の明示された急性播種性脱髄疾患 急性播種性脱髄疾患、詳細不明 中枢神経系その他の脱髄疾患	G040 G361 G368 G369 G37\$				0 0	JCS10未満			99 99	手術なし	97 97	手術あり	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	1 2		中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$	1 1	1 1	脳脊髄の感染を伴う炎症	010080	0 0	リハビリなし		
01	0110	免疫介在性炎症性ニューロパチー	炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー>	G61\$				00 0	6歳以上			99 99	手術なし	97 01 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 97	脱移行術 肋骨筋腱腱鞘形成術 手根管開放手術 関節鏡下手根管開放手術 神経縫合術 神経剥離術 神経移行術 神経移植術	K040\$ K040-3 K093 K093-2 K182\$ K168\$ K197 K198 その他のKコード	1 1		胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	K664	4 9		ガンマグロブリン 血漿交換療法 中心静脈注射 人工呼吸	J039 G005 J045\$	1 1 1 1 1 1	1 1	脳脊髄の感染を伴う炎症 肺炎等 誤嚥性肺炎	010080 040080 040081	0 0	1 1	リハビリなし

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等															
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等									
01	0111	遺伝性ニューロパチー	新生物<腫瘍>関連ニューロミオパチ<シ>ー及びニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における脳神経障害 他の単ニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における単ニューロパチ<シ>ー 遺伝性及び特異性ニューロパチ<シ>ー その他の多発(性)ニューロパチ<シ>ー 他に分類される疾患における多発(性)ニューロパチ<シ>ー 末梢神経系その他の障害	G130 G53\$ G58\$ G59\$ G60\$ G62\$ G63\$ G64			00 0 6歳以上 06 1 6歳未満				99 99 手術なし 97 01 腰移行術 97 01 腓骨筋腱鞘形成術 97 02 手根管開放手術 97 02 関節鏡下手根管開放手術 97 03 神経縫合術 97 04 神経剥離術 97 05 神経移行術 97 06 神経移植術 97 97			99 99 手術なし 97 01 腰移行術 97 01 腓骨筋腱鞘形成術 97 02 手根管開放手術 97 02 関節鏡下手根管開放手術 97 03 神経縫合術 97 04 神経剥離術 97 05 神経移行術 97 06 神経移植術 97 97	K040\$ K040-3 K093 K093-2 K182\$ K188\$ K197 K198 その他のKコード		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$															0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり		
01	0120	特異性(単)ニューロパチー	三叉神経障害 その他の脳神経障害	G50\$ G52\$							手術なし その他の手術あり 三叉神経節後線維切断術等 01 01 顔面神経減圧手術(乳様突起経由) 01 01 顔面神経管開放術 01 02 脳神経手術(開頭して行うもの) 01 02 頭蓋内微小血管減圧術 01 03 喉頭切開・截開術 01 04 筋膜移植術 01 05 喉頭粘膜下異物挿入術 01 06 減圧開頭術 その他の場合			99 99 手術なし 97 97		99 99 手術なし 97 97		99 99 手術なし 97 97	K0157 K159 K159-2 K160 K160-2 K383 K033\$ K388 K1492		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 1 胃瘻閉鎖術 1 1 胃瘻除去術	K664 K665\$ K665-2	1 3 人工腎臓 その他の場合 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	J0384 G005 J045\$								0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり			
01	0130	重症筋無力症	重症筋無力症 ランバート-イートン<Lambert-Eaton>症候群	G700 G731							手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 01 縦隔腫瘍、胸腺摘出術 97 01 拡大胸腺摘出術 97 01 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 97 02 縦隔悪性腫瘍手術 97 02 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 97 03 肺悪性腫瘍手術 97 04 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 97 05 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 97 97		99 99 手術なし 97 01 縦隔腫瘍、胸腺摘出術 97 01 拡大胸腺摘出術 97 01 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 97 02 縦隔悪性腫瘍手術 97 02 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 97 03 肺悪性腫瘍手術 97 04 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 97 05 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 97 97	K502 K502-4 K502-5 K504\$ K504-2 K514\$ K514-2\$ K513-2 その他のKコード		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 3 5 血漿交換療法 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 J039 G005 J045\$															0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり
01	0140	筋疾患(その他)	中毒性神経筋障害 先天性及び発育途上の筋無力症 その他の明示された神経筋障害 神経筋障害、詳細不明 原発性筋障害 その他のミオパチ<シ>ー 内分泌疾患における筋無力(症)症候群 新生物<腫瘍>性疾患におけるその他の筋無力(症)症候群 他に分類されるその他の疾患における筋無力(症)症候群 他に分類される感染症及び寄生虫症におけるミオパチ<シ>ー 内分泌疾患におけるミオパチ<シ>ー 代謝疾患におけるミオパチ<シ>ー 他に分類されるその他の疾患におけるミオパチ<シ>ー	G701 G702 G708 G709 G71\$ G72\$ G730 G732 G733 G734 G735 G736 G737			00 0 15歳以上 15 1 15歳未満					99 99 手術なし 97 04 創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル以上5センチメートル未満) 97 97			99 99 手術なし 97 04 創傷処理 筋肉、臓器に達するもの(長径5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル未満) 97 04 小児創傷処理(6歳未満) 筋肉、臓器に達するもの(長径2.5センチメートル以上5センチメートル未満) 97 97	K0001 K000-21 K000-22 その他のKコード		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 G005 J045\$											0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり					
01	0155	運動ニューロン疾患等	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12\$							手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 97		99 99 手術なし 97 97		99 99 手術なし 97 97	K664 G005 J045\$		1 1 肺炎等 1 1 誤嚥性肺炎	040080 040081	0 0 1 1			0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり									
01	0160	パーキンソン病	パーキンソン<Parkinson>病 特異性パーキンソン<Parkinson>症候群 他に分類される疾患におけるパーキンソン<Parkinson>症候群	G20 G21\$ G22							手術なし 手術あり			99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術 97 01 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 97 02 脳刺激装置交換術		99 99 手術なし 97 01 機能的定位脳手術 97 01 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 97 02 脳刺激装置交換術	K154\$ K181\$ K181-2		1 1 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 1 薬剤投与用胃瘻造設術 1 2 中心静脈注射 1 1 人工呼吸	K664 K664-3 G005 J045\$	1 4 SPECT 1 2 中心静脈注射 1 3 肺炎等	E101 G005 040081	1 1 1 2 1 3	1 1 1 1 1 1	誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症 肺炎等	040081 110310 040080	0 0 1 1 1 1		0 0 リハビリなし 1 1 リハビリあり 1 1 リハビリあり						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
														97 03 脳血管内手術 97 97	K178\$ その他のKコード												
01	0170	基底核等の変性疾患	ハンチントン<Huntington>病 基底核のその他の変性疾患 薬物誘発性舞蹈病 その他の舞蹈病 その他の明示された錐体外路障害及び異常運動 神経系の変性疾患、詳細不明多系統変性(症)	G10 G23\$ G254 G255 G258 G319 G903							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 97	手術なし 機能的定位脳手術 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 脳刺激装置交換術	K154\$ K181\$ K181-2 その他のKコード	1 1 1 2 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 中心静脈注射 人工呼吸	K664 G005 J045\$	1 2 1 2 1 1	SPECT 中心静脈注射 人工呼吸	E101 G005 J045\$	1 2 1 2	誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症	040081 110310	0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり		
01	0180	不随意運動	けいこ>性斜頸 眼瞼けいれん<痙攣> 本態性振戦 薬物誘発性振戦 その他の明示された型の振戦 ミオクローヌス 薬物誘発性チック及びその他の器質的原因によるチック 他に分類される疾患における錐体外路障害及び異常運動	G243 G245 G250 G251 G252 G253 G256 G26							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 97	手術なし 機能的定位脳手術 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 脳刺激装置交換術	K154\$ K181\$ K181-2 その他のKコード	1 9	A型ボツリヌス毒素									0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり	
01	0190	遺伝性運動失調症	遺伝性運動失調(症)	G11\$							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり			1 1 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 人工呼吸	K664 J045\$	1 2 1 1	中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$			0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり		
01	0200	水頭症	水頭症 その他の手術あり 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの)等 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの) 水頭症手術 シヤント手術 穿頭脳室ドレナージ術	G91\$							手術なし 手術あり その他の手術あり	99 99 97 97 97 97 01 01 01 02 01 03	手術なし 機能的定位脳手術 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 水頭症手術 脳室穿破術(神経内視鏡手術によるもの) 水頭症手術 シヤント手術 穿頭脳室ドレナージ術	K1741 K1742 K145 その他のKコード	1 1 1 1 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 人工呼吸 胃瘻閉鎖術 胃瘻除去術	K664 J045\$ K665\$ K665-2	1 2 1 2 1 1 1 3	中心静脈注射 人工呼吸 人工呼吸 肺炎等	G005 J045\$ J045\$	1 2 1 2 1 3	てんかん 脳脊髄の感染を伴う炎症 誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症	010230 010080 040080	0 0 1 1 1 3	リハビリなし リハビリあり リハビリあり		
01	021x	認知症	010210 アルツハイマー型認知症 アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症 010211 血管性認知症 血管性認知症 010212 その他の認知症 他に分類されるその他の疾患の認知症 詳細不明の認知症 010218 アルツハイマー病 アルツハイマー<Alzheimer>病	F00\$ F01\$ F02\$ F03 G30\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 機能的定位脳手術	K154\$ その他のKコード	1 1	SPECT	E101	1 5 1 5 1 3 1 2 1 1	リハビリテーション 精神科専門療法 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$			0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			
01	0220	その他の変性疾患	他に分類されるその他の疾患における主に中枢神経系を障害する系統萎縮症 限局性脳萎縮(症) 老人性脳変性、他に分類されないもの 神経系のその他の明示された変性疾患 他に分類される疾患における脊髄の亜急性連合変性症 進行性血管性白質脳症 薬圧性脳症	G138 G310 G311 G318 G320 I673 I674							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 機能的定位脳手術	K154\$ その他のKコード	1 1 1 3 1 2 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	K664 J0384 G005 J045\$	1 4 1 3 1 2 1 1	SPECT 人工腎臓 中心静脈注射 人工呼吸	E101 J0384 G005 J045\$			0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり			
01	0230	てんかん	てんかん てんかん重積(状態)	G40\$ G41\$				00 0 1歳以上 01 1 1歳未満			手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 02 97 97	手術なし 機能的定位脳手術 顕微鏡使用によるてんかん手術(焦点切除術、側頭葉切除術、脳梁離断術) 脳切除術(開頭して行うもの) 脳切除術 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 迷走神経刺激装置植込術 迷走神経刺激装置交換術	K154\$ K154-2 K155 K168 K181\$ K181-4 K181-5 その他のKコード	1 1 2 4 2 4 1 2 1 1	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) PET PET-CT 中心静脈注射 人工呼吸	K664 E101-2\$ E101-3\$ G005 J045\$	2 4 2 4 2 4 1 2 1 1	SPECT PET PET-CT 中心静脈注射 人工呼吸	E101 E101-2\$ E101-3\$ G005 J045\$	1 1 1 1 1 1	肺炎等 誤嚥性肺炎 腎臓または尿路の感染症	040080 040081 110310	0 0 1 1 1 1	リハビリなし リハビリあり リハビリあり		
01	0240	片頭痛、頭痛症候群(その他)	片頭痛 その他の頭痛症候群	G43\$ G44\$							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり													0 0 1 1	リハビリなし リハビリあり

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
											97 97			その他のKコード															
02	001x	角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍	020011 眼瞼・結膜の悪性腫瘍 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>、眼瞼の皮膚、眼角を含む 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、結膜 ----- 020012 眼窩の悪性腫瘍 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、眼窩 ----- 020013 ぶどう膜の悪性黒色腫 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、脈絡膜 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、毛様体 ----- 020014 虹の悪性腫瘍(その他) 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、角膜 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、眼及び付属器の境界部病巣 眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、眼、部位不明 その他及び部位不明の上皮内癌、眼	C441 C690 C696 C693 C694 C691 C698 C699 D092							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 02 97 02 97 02 97 03 97 03 97 03 97 04 97 04 97 04 97 06 97 97														0 0 1 1	片眼 両眼		
02	0040	網膜芽細胞腫	眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、網膜	C692							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 06 97 97															0 0 1 1	片眼 両眼	
02	006x	眼の良性腫瘍	020061 眼瞼の良性腫瘍 眼瞼の上皮内黒色腫、眼角を含む ----- 眼瞼のメラニン細胞性母斑、眼角を含む 皮膚のその他の良性新生物<腫瘍>、眼瞼の皮膚、眼角を含む ----- 020062 結膜・角膜腫瘍 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、結膜 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、角膜 ----- 020063 虹彩・毛様体・脈絡膜・網膜腫瘍 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、網膜 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、脈絡膜 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、毛様体 ----- 020064 虹の良性腫瘍(その他) 眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、眼、部位不明	D031 D221 D231 D310 D311 D312 D313 D314 D319								手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 03 97 03 97 04 97 04 97 05 97 97															0 0 1 1	片眼 両眼
02	0080	眼窩腫瘍	眼及び付属器の良性新生物<腫瘍>、眼窩、部位不明	D316							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 05 97 97															0 0 1 1	片眼 両眼	
02	0100	涙腺腫瘍	眼及び付属器の悪性新生物<腫瘍>、涙腺及び涙管	C695							手術なし	99 99															0 0	初回	

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等																
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等						
														97 03 硝子体茎頭鏡下離断術 その他のもの 97 04 増殖性硝子体網膜症手術 97 05 網膜光凝固術 97 97 その他のKコード	K2802 K281 K276\$ その他のKコード																					
02	0210	網膜血管閉塞症	網膜血管閉塞症 単純性網膜症及び網膜血管変化 その他の増殖網膜症	H34\$ H350 H352							手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 02 97 03 97 04 97 05 97 07 97 97	手術なし 硝子体茎頭鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内視鏡を用いるもの) 硝子体茎頭鏡下離断術 その他のもの 網膜光凝固術 その他特殊なもの(一連につき) 硝子体切除術 網膜冷凍凝固術 増殖性硝子体網膜症手術	K2801 K280-2 K2802 K2762 K279 K277 その他のKコード K281	1 2 1 1	線内障手術 水晶体再建術	K268\$ K282\$	1 1 1 1	アフリベルセプト ラニビズマブ																0 0 1 1	片眼 両眼
02	0220	緑内障	緑内障の疑い 原発開放隅角緑内障 原発閉塞隅角緑内障 眼の外傷に続発する緑内障 眼の炎症に続発する緑内障 その他の眼疾患に続発する緑内障 薬物による続発緑内障 その他の緑内障 緑内障、詳細不明 内分泌、栄養及び代謝疾患における緑内障 他に分類されるその他の疾患における緑内障 眼球の変性病態 前眼部の先天奇形 先天(性)緑内障	H400 H401 H402 H403 H404 H405 H406 H408 H409 H420 H428 H445 Q13\$ Q150							手術なし 手術あり	99 99 97 04 97 05 97 06 97 07 97 07 97 07 97 07 97 07 97 08 97 09 97 12 97 13 97 14 97 15 97 97	手術なし 緑内障手術 虹彩切除術 虹彩光凝固術 毛様体光凝固術 緑内障手術 流出路再建術 緑内障手術 遠過手術 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのないもの) 緑内障手術 緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの) 緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術 毛様体冷凍凝固術 隅角光凝固術 虹彩登復・瞳孔形成術 眼球摘出術 眼球内容除去術 義眼台包埋術 その他のKコード	K282\$ K2681 K270 K271 K2682 K2683 K2684 K2685 K2686 K272 K273 K269 K241 K239 K243 その他のKコード	1 1 1 3	水晶体再建術 人工腎臓 その他の場合	K282\$ J0384																		0 0 1 1	片眼 両眼
02	0230	眼瞼下垂	眼瞼下垂 先天(性)眼瞼下垂	H024 Q100							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 97	手術なし 眼瞼下垂症手術 眼筋移動術 その他のKコード	K219\$ K244 その他のKコード	1 5	全身麻酔															0 0 1 1	片眼 両眼				
02	0240	硝子体疾患	硝子体の障害	H43\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 97	手術なし 増殖性硝子体網膜症手術 硝子体茎頭鏡下離断術 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内視鏡を用いるもの) 硝子体切除術 その他のKコード	K281 K280\$ K280-2 K279 その他のKコード	1 1	水晶体再建術	K282\$															0 0 1 1	片眼 両眼			
02	0250	結膜の障害	トラコーマ クラミジア結膜炎 アデノウイルスによる結膜炎 急性流行性出血性結膜炎(エンテロウイルス性) その他のウイルス(性)結膜炎 ウイルス(性)結膜炎、詳細不明 結膜炎 結膜のその他の障害 他に分類される疾患における結膜の障害	A71\$ A740 B301 B303 B308 B309 H10\$ H11\$ H13\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 03 97 04 97 05 97 97	手術なし 翼状片手術(弁の移植を要するもの) 結膜嚢形成手術 結膜結石除去術 結膜下異物除去術 結膜腫瘍冷凍凝固術 その他のKコード	K224 K223\$ K221\$ K222 K225 その他のKコード																	0 0 1 1	片眼 両眼				
02	0270	強膜の障害	強膜の障害	H15\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 97	手術なし 強膜移植術 その他のKコード	K260 その他のKコード															0 0 1 1	片眼 両眼						
02	0280	角膜の障害	アデノウイルスによる角結膜炎 角膜炎 角膜癒瘍及び混濁 角膜のその他の障害 他に分類される疾患における強膜及び角膜の障害	B300 H16\$ H17\$ H18\$ H19\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 02 97 03 97 04 97 06 97 07	手術なし 角膜移植術 角膜新生血管手術(冷凍凝固術を含む。) 顕微鏡下角膜移植術 角膜潰瘍掻爬術、角膜潰瘍焼灼術 角膜切開術 角膜潰瘍結膜被覆術 角膜表層除去併用結膜被覆術	K259 K248 K248-2 K249 K250 K256 K257																	0 0 1 1	片眼 両眼				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等											
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
														97 08 治療的角膜切除術 K254\$ 97 09 強角膜瘻孔閉鎖術 K255 97 10 角膜形成手術 K261 97 11 眼縁縫合術(磁板縫合術を含む。) 97 97 その他のKコード																	
02	0290	涙器の疾患	涙道の急性及び詳細不明の炎症 H043 涙道の慢性炎症 H044 涙道の狭窄及び不全 H045 涙道におけるその他の変化 H046								手術なし 手術あり			99 99 手術なし K204 97 01 涙囊鼻腔吻合術 K209 97 02 涙点、涙小管形成術 K199 97 03 涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術 K200-2 97 04 涙管チューブ挿入術 K202\$ 97 05 涙囊切開術 K200 97 06 先天性鼻涙管閉塞開放術 K201 97 07 涙囊摘出術 K203 97 08 涙小管形成手術 K206 97 97 その他のKコード																0 0 初回 0 0 片眼 1 1 再手術 1 1 両眼	
02	0320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	麦粒腫及びびらん<霰>粒腫 H008 眼瞼のその他の炎症 H018 眼瞼内反(症)及び(眼瞼)睫毛乱生(症) H020 眼瞼外反(症) H021 片眼 H022 眼瞼皮膚し<地>癢症 H023 眼瞼機能のその他の障害 H025 眼瞼偏平黄色腫<黄色板症> H026 眼瞼及び眼周囲のその他の変性障害 H027 眼瞼のその他の明示された障害 H028 眼瞼の障害、詳細不明 H029 他に分類される疾患における眼瞼の障害 H038 涙腺炎 H040 涙腺のその他の障害 H041 涙涙 H042 涙器のその他の障害 H049 涙器の障害、詳細不明 H049 眼窩の急性炎症 H050 眼窩の慢性炎症性障害 H051 眼球突出 H052 眼窩の変形 H053 眼球陥入<陥凹> H054 眼窩のその他の障害 H058 眼窩の障害、詳細不明 H059 他に分類される疾患における涙器の障害 H060 他に分類される疾患における眼窩の寄生虫症 H061 他に分類される疾患における眼窩のその他の障害 H063								手術なし 手術あり			99 99 手術なし K214 97 07 瞼板切除術(巨大霰粒腫摘出) K215 97 08 眼瞼外反症手術 K218 97 09 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) K005\$ 97 10 瘻痕拘縮形成手術 顔面 K0101 97 11 兎眼矯正術 K212 97 12 分層植皮術 K013\$ 97 12 全層植皮術 K013-2\$ 97 13 眼瞼下垂症手術 K219\$ 97 14 眼窩縁形成手術(骨移植によるもの) K237 97 97 その他のKコード			1 5 全身麻酔														0 0 片眼 1 1 両眼
02	0325	甲状腺機能異常性眼球突出(症)	甲状腺機能異常性眼球突出(症) H062											99 99 手術なし														0 0 片眼 1 1 両眼			
02	0340	虹彩毛様体炎、虹彩・毛様体の障害	慢性虹彩毛様体炎 H201 水晶体原性虹彩毛様体炎 H202 その他の虹彩毛様体炎 H208 虹彩及び毛様体のその他の障害 H21\$ 他に分類される疾患における虹彩及び毛様体の障害 H22\$								手術なし 手術あり			99 99 手術なし K282\$ 97 97 手術あり 97 02 線内障手術 K268\$ 97 03 硝子体切除術 K279 97 04 硝子体置換術 K284 97 97 その他のKコード			1 1 水晶体再建術 K282\$												0 0 片眼 1 1 両眼		
02	0350	脈絡膜の疾患	脈絡膜のその他の障害 H31\$ 他に分類される疾患における網脈絡膜の障害 H32\$ 網膜分離症及び網膜のう<蓋>陥 H331 周辺網膜変性 H354 遠伝性網膜ジストロフィ H355 網膜出血 H356 網膜層の分離 H357 その他の明示された網膜障害 H358 他に分類される疾患におけるその他の網膜障害 H368								手術なし 手術あり			99 99 手術なし K276\$ 97 01 網膜光凝固術 K275 97 02 網膜復位術 K275 97 02 硝子体茎頭微鏡下離断術 K280\$ 97 02 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの) K280-2 97 02 増殖性硝子体網膜症手術 K281 97 97 その他のKコード			1 1 アフリベルセプト 1 1 ラニズマブ														0 0 片眼 1 1 両眼
02	0360	眼球の障害	化膿性眼内炎 H440 その他の眼内炎 H441								手術なし 手術あり			99 99 手術なし K279 97 01 硝子体切除術													0 0 片眼 1 1 両眼				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢・出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分類	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等				
04	0170	抗酸菌関連疾患(肺結核以外)	肺非結核性抗酸菌感染症	A310				00	0	6歳以上	手術なし	99	99	手術なし			1	1	人工呼吸	J045\$	1	1	呼吸不全(その他)	040130						
04	0180	気管支狭窄など気管通過障害	非結核性抗酸菌感染症、詳細不明 喉頭、気管及び気管支の結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの 上気道のその他の明示された疾患 気管支の疾患、他に分類されないもの 肺虚脱	A319 A164 J39\$ J980 J981				06	1	6歳未満	手術なし 手術あり	99 97	99 01	手術なし 気管形成手術(管状気管、気管移植等) 気管支狭窄拡張術(気管支鏡によるもの)			1	1	人工呼吸	J045\$										
04	0190	胸水、胸膜の疾患(その他)	胸水、他に分類されないもの 他に分類される病態における胸水 胸膜斑<フラク> 線維胸 その他の明示された胸膜病態 胸膜病態、詳細不明	J90 J91 J92\$ J941 J948 J949							手術なし 手術あり	99 97	99 01	手術なし 腫瘍胸膜、胸膜肺切除術 胸膜外肺剥皮術			1	1	人工呼吸	J045\$										
04	0200	気胸	気胸	J93\$				00	0	15歳以上 15 1 15歳未満	手術なし その他の手術あり 肺切除術等	99 97 01	99 04 01	手術なし 気管支覆孔閉鎖術 肺切除術 肺縫縮術 胸腔鏡下肺切除術	K509-4 その他のKコード K511\$ K517 K513\$		1	1	人工呼吸	J045\$	1	1	肺炎等 間質性肺炎	040080 040110	0	0	片側 両側			
04	0210	気管支拡張症	気管支拡張症	J47							手術なし 手術あり	99 97	99 01 02 97	手術なし 肺切除術 肺葉切除 肺切除術 区域切除(1肺葉に満たないもの)	K5113 K5112 その他のKコード	1	1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$	1	1	人工呼吸	J045\$			0	0	片側 1 1 両側		
04	0220	横隔膜腫瘍・横隔膜疾患(新生児を含む。)	横隔膜障害 横隔膜ヘルニア 出生損傷による横隔膜神経麻痺 先天性食道裂孔ヘルニア 先天性横隔膜ヘルニア 横隔膜のその他の先天奇形	J986 K44\$ P142 Q401 Q790 Q791				00	0	15歳以上 15 1 15歳未満	手術なし 手術あり	99 97	99 01 02 03 03 97	手術なし 胸腔裂孔ヘルニア手術 後胸骨ヘルニア手術 食道裂孔ヘルニア手術 横隔膜縫合術 胸腔鏡下(腹腔鏡下を含む。)横隔膜縫合術 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	K602\$ K535\$ K536 K537\$ K534\$ K534-3 K537-2 その他のKコード	1	1	経皮的心肺補助法(1日につき)	K602\$	1	1	人工呼吸	J045\$							
04	0230	血胸、血気胸、乳び胸	乳び<炭>(胸膜)滲出 血胸 外傷性続発性出血及び再発性出血	J940 J942 T792				00	0	15歳以上 15 1 15歳未満	手術なし 手術あり	99 97	99 01 01 02 97	手術なし 乳癌胸手術 胸腔鏡下胸管縫合術(乳癌胸手術) 胸腔内(胸膜内)血腫除去術	K501 K501-3 K494 その他のKコード		1	2	中心静脈注射	G005	1	1	人工呼吸	J045\$						
04	0240	肺循環疾患	(脊柱)後弯側弯性心疾患 その他の明示された肺性心疾患 その他の肺血管の疾患 肺水腫	I271 I278 I28\$ J81				00	0	15歳以上 15 1 15歳未満	手術なし 手術あり	99 97	99 97	手術なし 手術あり			1	9	プロスタグランジン2 製剤(注射薬に限る。)	J045\$	1	1	人工呼吸	J045\$						
04	0250	急性呼吸器<促> 追症候群	成人呼吸器<促>追症候群<ARDS J80>	J80				00	0	15歳以上 15 1 15歳未満	手術なし 手術あり	99 97	99 97	手術なし 手術あり			1	9	プロスタグランジン2 製剤(注射薬に限る。)	J045\$	1	1	人工呼吸	J045\$						
04	026x	肺高血圧性疾患	040261 肺動脈性肺高血圧症 原発性肺高血圧(症) 040262 その他の二次性肺高血圧症 その他の二次性<続発性>肺高血圧(症) 肺性心疾患、詳細不明	I270 I279				15	1	15歳未満	手術なし その他の手術あり 経皮的肺動脈形成術等 経皮的肺動脈弁拡張術	99 97 01 01	99 97 01 01	手術なし その他の手術あり 経皮的肺動脈形成術 経皮的肺動脈弁拡張術	K570-3 K570-2	1	1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検 査について)	D206\$	4	9	プロスタグランジン2 製剤(注射薬に限る。)	J045\$	4	9	トレプロステニル イロprost マシテンタン アンプリセント リオシグアト ボセタン水合物 セレキシバグ シルデナフィルクエン 酸塩 タダラフィル 人工呼吸	J045\$			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等										
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
04	0310	その他の呼吸器の障害	処置後呼吸器障害、他に分類されないもの 間質性気腫 代償性肺気腫 肺のその他の障害 その他の明示された呼吸器障害 呼吸器障害、詳細不明 他に分類されるその他の疾患における呼吸器障害	J9J5 J9J2 J9J3 J9J4 J9J8 J9J9 J9J9							99 99 手術なし 97 01 気管・気管支ステント留置術 97 97			K508-2\$ その他のKコード				1 1 人工呼吸	J045\$												
05	0010	心臓の悪性腫瘍	心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>、心臓	C380							99 99 手術なし 97 01 心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術 97 97			K544\$ その他のKコード				1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 1 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	D206\$ J038-2 J0384 G005 J045\$												
05	0020	心臓の良性腫瘍	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物<腫瘍>、心臓	D151							手術なし その他の手術あり 心腫瘍摘出術、心腔内粘液腫摘出術	99 99 手術なし 97 97 01 01		その他のKコード K544\$				1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 1 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	D206\$ J038-2 J0384 G005 J045\$												
05	0030	急性心筋梗塞(続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞	急性心筋梗塞 再発性心筋梗塞 急性心筋梗塞の続発合併症 その他の急性虚血性心疾患 心(臓)中隔欠損(症)、後天性	I21\$ I22\$ I23\$ I24\$ I510							手術なし その他の手術あり 冠動脈、大動脈バイパス移植術等 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。)、単独のもの等 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。)、冠動脈血行再建術(1吻合)を伴うもの 左室形成術、心室中隔穿孔閉鎖術、左室自由壁破裂修復術 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。)、冠動脈血行再建術(2吻合以上)を伴うもの 弁形成術 胸腔鏡下弁形成術 弁置換術 胸腔鏡下弁置換術	99 99 手術なし 97 04 経皮的冠動脈粥腫切除術 97 04 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの 97 04 経皮的冠動脈ステント留置術 97 04 経皮的冠動脈形成術(血栓内膜摘除) 97 05 経皮的冠動脈形成術 97 05 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) エキシマレーザ血管形成用カテーテルによるもの 97 05 冠動脈内血栓溶解療法 97 97 02 02 02 03 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01		K547 K5481 K549\$ K551\$ K546\$ K5482 K550 その他のKコード K552\$ K5531 K5532 K553-2\$ K5533 K554\$ K554-2\$ K555\$ K555-3\$		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ベースメーキング術 0 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 3 9 tPA 3 6 シンチグラム 3 6 SPECT 2 4 持続線徐式血液濾過 2 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸 0 1 心大血管リハビリテーション料	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ K603\$ D206\$ K596 H000\$	3 9 3 6 3 6 2 4 2 4 1 3 1 2 9 6 6 4 4 3 2 0	tPA シンチグラム SPECT 持続線徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	1 1 1 1 1 3 1 1 2 4 1 3 1 2 1 1	肺炎等 脳膿性肺炎 敗血症	040080 040081 180010	0 0 1 1 1 3	0 0 1 1 1 1	初回 再手術						
05	0050	狭心症、慢性虚血性心疾患	狭心症 慢性虚血性心疾患	I20\$ I25\$							手術なし その他の手術あり 経皮的冠動脈形成術等 経皮的冠動脈粥腫切除術 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの 経皮的冠動脈ステント留置術 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) エキシマレーザ血管形成用カテーテルによるもの 心室瘤切除術(梗塞切除を含む。)、単独のもの等	99 99 手術なし 97 97 02 05 02 05 02 05 02 05 02 06 01 01		その他のKコード K546\$ K547 K5481 K549\$ K5482 K5531		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 2 2 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について)+血管内超音波検査等(加算有り) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ベースメーキング術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ D206\$ K596	3 9 3 6 3 6 2 4 2 4 1 3 1 2	tPA シンチグラム SPECT 持続線徐式血液濾過 人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	1 1 1 1 1 2 2 4 1 3 1 2	肺炎等 腎臓または尿路の感染症 呼吸不全(その他)	040080 110310 040130	0 0 1 1 1 2	0 0 1 1 1 1	初回 再手術						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢・出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
05	0090	心内膜炎	急性及び亜急性心内膜炎 心内膜炎、弁膜不詳	133\$ 138							手術なし 手術あり	01 04 弁置換術 01 04 胸腔鏡下弁置換術 99 99 手術なし 97 01 弁置換術 1弁のもの 97 01 胸腔鏡下弁置換術 1弁のもの 97 02 弁置換術 2弁のもの 97 02 胸腔鏡下弁置換術 2弁のもの 97 03 弁置換術 3弁のもの 97 04 弁形成術 1弁のもの 97 04 胸腔鏡下弁形成術 1弁のもの 97 05 弁形成術 2弁のもの 97 05 弁形成術 3弁のもの 97 05 胸腔鏡下弁形成術 2弁のもの 97 06 ロス手術(自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術) 97 07 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 大動脈弁置換術又は形成術を伴うもの 97 07 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 人工弁置換術を伴う大動脈基部置換術 97 07 大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む。)上行大動脈 自己弁温存型大動脈基部置換術 97 08 ベースメーカー移植術 97 08 ベースメーカー交換術 97 08 植込型除細動器移植術 97 08 植込型除細動器交換術 97 97 その他のKコード	K555-\$ K555-3\$ K5551 K555-31 K5552 K555-32 K5553 K5541 K554-21 K5542 K5543 K554-22 K558 K5601イ K5601ロ K5601ハ K597\$ K597-2 K599\$ K599-2 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ペースメーカー置換術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ K596	2 4 持続経徐式血液濾過 2 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J038-2 J0384 G005 J045\$	1 2 脊椎感染症(感染を伴う。)	070330	0 0 初回 1 1 再手術									
05	0100	心筋炎	急性心筋炎 他に分類される疾患における心筋炎 心筋炎、詳細不明	140\$ 141\$ 1514							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 ベースメーカー移植術 97 01 ベースメーカー交換術 97 01 植込型除細動器移植術 97 01 植込型除細動器交換術 97 97 その他のKコード	K597\$ K597-2 K599\$ K599-2 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ペースメーカー置換術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ K596	1 4 持続経徐式血液濾過 1 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J038-2 J0384 G005 J045\$												
05	0110	急性心膜炎	急性リウマチ性心膜炎 その他の急性リウマチ性心疾患 急性心膜炎 心膜炎の他の明示された疾患 他に分類される疾患における心膜炎	1010 1018 130\$ 1318 132\$				00 0 6歳以上 06 1 6歳未満			手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 心膜切開術 97 01 胸腔鏡下心膜切開術 97 02 ベースメーカー移植術 97 02 ベースメーカー交換術 97 02 植込型除細動器移植術 97 02 植込型除細動器交換術 97 97 その他のKコード	K539 K539-3 K597\$ K597-2 K599\$ K599-2 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ペースメーカー置換術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ K596	1 4 持続経徐式血液濾過 1 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J038-2 J0384 G005 J045\$												
05	0120	収縮性心膜炎	慢性癒着性心膜炎 慢性収縮性心膜炎	1310 1311							手術なし 手術あり	99 99 手術なし 97 01 収縮性心膜炎手術 97 02 ベースメーカー移植術 97 02 ベースメーカー交換術 97 02 植込型除細動器移植術 97 02 植込型除細動器交換術 97 97 その他のKコード	K540 K597\$ K597-2 K599\$ K599-2 その他のKコード		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ペースメーカー置換術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ K596	1 4 持続経徐式血液濾過 1 4 人工腎臓 その他の場合 1 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸	J038-2 J0384 G005 J045\$												
05	0130	心不全	心不全	150\$							手術なし その他の手術あり	99 99 手術なし 97 03 経皮的冠動脈形成術 97 03 経皮的冠動脈粥硬症切除術 97 03 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高遠回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの 97 03 経皮的冠動脈ステント留置術 97 03 冠動脈内血栓溶解療法 97 03 経皮的カテーテル心筋焼灼術	K546\$ K547 K5481 K549\$ K550 K595\$		5 5 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)(1日につき) 5 5 経皮的肺補助法(1日につき) 5 5 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(1日につき) 5 5 補助人工心臓(1日につき) 1 1 心臓カテーテル法による諸検査(一連の検査について) 0 0 体外ペースメーカー置換術	K600\$ K602\$ K602-2\$ K603\$ D206\$ K596	2 6 シンチグラム 2 6 SPECT 2 4 持続経徐式血液濾過 2 4 人工腎臓 その他の場合 2 3 中心静脈注射 1 2 人工呼吸 0 1 間歇的陽圧吸入法	E100\$ E101 J038-2 J0384 G005 J045\$ J026	1 1 敗血症	180010										

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副病名		重症度等														
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等								
											02 07 直腸切除・切断術 低位前方切除術 K7402 02 08 直腸切除・切断術 切除術 K7401 02 09 腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術 K740-22 02 10 腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術 K740-21 02 11 結腸切除術 全切除、並全切除又は悪性腫瘍手術 K7193 02 12 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 K719-3 01 01 骨盤内臓全摘術 K645 01 02 肛門悪性腫瘍手術 直腸切断を伴うもの K7482 01 03 直腸切除・切断術 切断術 K7404 01 04 腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術 K740-23							1 1 腹腔鏡下人工肛門造設術 K726-2 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045\$																
06	0050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> C22\$ 肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍> C787 その他及び部位不明の消化器の上皮内癌、肝、胆のうく囊>及び胆管 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、肝、胆のうく囊>及び胆管 D376	C22\$ C787 D015 D376							手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 97 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として) 03 09 03 10 試験開腹術 03 10 腹腔鏡下試験開腹術 03 10 腹腔鏡下試験切除術 03 11 肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法(一連として) 肝切除術 部分切除等 02 06 02 06 腹腔鏡下肝切除術 部分切除 02 07 肝切除術 亜区域切除 02 07 肝切除術 外側区域切除 02 07 肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。) 02 07 腹腔鏡下肝切除術 外側区域切除 02 08 腹腔鏡下肝切除術 亜区域切除 02 08 腹腔鏡下肝切除術 1区域切除(外側区域切除を除く。) 肝切除術 2区域切除以上であって、血行再建を伴うもの等 01 01 01 01 肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建あり 01 03 肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし 01 03 肝切除術 3区域切除以上のもの 01 04 肝切除術 2区域切除 01 05 腹腔鏡下肝切除術 2区域切除 01 05 腹腔鏡下肝切除術 3区域切除以上のもの					1 4 食道・胃静脈硬化療法(内視鏡によるもの)(一連として) K533 1 4 内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術 K533-2 1 4 内視鏡的消化管止血術 K654 1 4 バルーン閉塞下行性経静脈的塞栓術 K668-2 1 3 限局性腹腔腫瘍手術 K637\$ 1 3 経皮的腹腔腫瘍ドレーナージ術 K637-2 1 3 急性汎発性腹膜炎手術 K639 1 3 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術 K639-3 1 3 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 3 胃瘻閉鎖術 K665\$ 1 3 胃瘻除去術 K665-2 1 3 膈瘻、虫垂瘻造設術 K725 1 3 腹腔鏡下膈瘻、虫垂瘻造設術 K725-2 1 3 人工肛門造設術 K726 1 2 抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用梯子型カテーテル設置 K611\$ 1 2 血管塞栓術(頭部、胸部、腹腔内血管等) K615\$ 1 1 動脈形成術、吻合術 その他の動脈 K6105 1 1 胆嚢摘出術 K672 1 1 腹腔鏡下胆嚢摘出術 K672-2 1 1 胆管形成手術(胆管切除術を含む。) 1 1 胆管外瘻造設術 開腹によるもの 1 1 胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの 1 1 経皮的胆管ドレーナージ術 K682-2 1 1 内視鏡的経鼻胆管ドレーナージ術(ENBD) K682-3 1 1 内視鏡的胆道ステント留置術 K688 1 1 経皮経肝胆管ステント挿入術 K689 1 1 経皮経肝バルーン拡張術 K689-2 1 1 肝内胆管外瘻造設術 開腹によるもの K6971 1 1 肝内胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの K6972	4 6 化学療法ありかつ放射線療法なし 3 5 化学療法ありかつ放射線療法あり 2 4 化学療法なしかつ放射線療法あり 1 3 人工腎臓 その他の場合 1 2 中心静脈注射 G005 1 3 胸水、胸膜の疾患(その他) 1 3 腹膜炎、腹腔内臓器(女性器臓器を除く。) 1 3 播種性血管内凝固症候群 040081 040190 180010 060210 060340 060370 130100																	
06	0060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	胆のうく囊>の悪性新生物<腫瘍> C23 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍> C24\$	C23 C24\$							手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 06 97 06 試験開腹術 97 06 腹腔鏡下試験開腹術 97 06 腹腔鏡下試験切除術 97 06 胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。) 97 06 腹腔鏡下胃腸吻合術 97 06 総胆管胃(腸)吻合術 97 06 肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術 97 97 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 04 05 腹腔鏡下胆嚢摘出術			99 99 手術なし 97 06 試験開腹術 97 06 腹腔鏡下試験開腹術 97 06 腹腔鏡下試験切除術 97 06 胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。) 97 06 腹腔鏡下胃腸吻合術 97 06 総胆管胃(腸)吻合術 97 06 肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術 97 97 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 04 05 腹腔鏡下胆嚢摘出術			1 3 限局性腹腔腫瘍手術 K637\$ 1 3 経皮的腹腔腫瘍ドレーナージ術 K637-2 1 3 急性汎発性腹膜炎手術 K639 1 3 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術 K639-3 1 3 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) 1 3 胃瘻閉鎖術 K665\$ 1 3 胃瘻除去術 K665-2 1 3 膈管空腸吻合術 K706 1 3 膈瘻、虫垂瘻造設術 K725 1 3 腹腔鏡下膈瘻、虫垂瘻造設術 K725-2	3 8 化学療法 2 6 放射線療法 1 3 人工腎臓 その他の場合 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045\$	1 1 敗血症 180010 1 2 肺炎等 040080 1 2 胸水、胸膜の疾患(その他) 040190 1 3 腹膜炎、腹腔内臓器(女性器臓器を除く。) 060370															

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等													
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	病態区分	コード	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フレンジ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フレンジ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フレンジ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フレンジ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フレンジ	重症度等					
06	0170	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	大腿く股ヘルニア 膈ヘルニア 腹壁ヘルニア その他の腹部ヘルニア 詳細不明の腹部ヘルニア	K41\$ K42\$ K43\$ K45\$ K46\$					手術なし その他の手術あり ヘルニア手術 腹壁瘻 痕ヘルニア等 小腸切除術 悪性腫瘍 手術以外の切除術	99 97 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 01	99 03 04 05 97 02 02 02 02 02 02 02 02 01	手術なし 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 筋膜移植術 その他のもの 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 ヘルニア手術 腹壁瘻ヘルニア ヘルニア手術 半月状線ヘルニア、白線ヘルニア、腹直筋離開 ヘルニア手術 膈ヘルニア ヘルニア手術 膈帯ヘルニア ヘルニア手術 大腿ヘルニア ヘルニア手術 腰ヘルニア ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア(閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、安陰ヘルニア) ヘルニア手術 内ヘルニア 腹腔鏡下ヘルニア手術 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K016 K0332 K015\$ その他のKコード K6331 K6332 K6333 K6334 K6336 K6337 K6338 K6339 K633-2\$ K7161																				
06	0180	クローン病等	クローン<Crohn>病[限局性腸炎] 肛門及び直腸の潰瘍	K50\$ K626			00 0 6歳以上 06 1 6歳未満	手術なし その他の手術あり 小腸切除術 悪性腫瘍 手術以外の切除術等	99 97 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01	99 97 03 03 03 04 04 06 07 08 08 09 10 10 10	手術なし その他の手術あり 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術 結腸切除術 腹腔鏡下小腸切除術 腹腔鏡下結腸切除術 小腸閉鎖術 結腸閉鎖術 人工肛門閉鎖術 小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの) 腸狭窄部切開縫合術 直腸切除・切断術 超低位前方切除術(経肛門的結腸直腸吻合によるもの) 腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術 腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	K746\$ K726 K7161 K719\$ K716-2\$ K719-2\$ K730\$ K731\$ K732\$ K735-2 K728 K7403 K740-21 K740-22	1 1 0	2 2 1	痔瘻根治手術 人工肛門造設術 カプセル型内視鏡	K746\$ K726 K726-2	4 4 3	9 9 5	インフリキシマブ ウステクスマブ 血球成分除去療法 アダリムマブ ベドリスマブ 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$ J041-2 G005 J045\$	1 1 1	3 3 3	腹膜炎、腹腔内膿瘍(女性生殖器を除く。) 腎臓または尿路110310の感染症 敗血症	060370 110310 180010									
06	0185	潰瘍性大腸炎	潰瘍性大腸炎 巨大結腸、他に分類されないもの	K51\$ K59\$			00 0 6歳以上 06 1 6歳未満	手術なし その他の手術あり 結腸切除術等	99 97 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01	99 97 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02 02	手術なし その他の手術あり 結腸切除術 全結腸・直腸切除術 腹腔鏡下結腸切除術 腸閉鎖症手術 腹腔鏡下腸閉鎖症手術 小腸閉鎖術 結腸閉鎖術 人工肛門閉鎖術 直腸切除・切断術 超低位前方切除術(経肛門的結腸直腸吻合によるもの) 腹腔鏡下直腸切除・切断術 切除術 腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	K719\$ K719-5 K719-2\$ K729\$ K729-3 K730\$ K731\$ K732\$ K7403 K740-21 K740-22	1 1 0	2 2 1	人工肛門造設術 腹腔鏡下人工肛門造設術 カプセル型内視鏡	K726 K726-2 K726-2	5 5 4	9 8 5	インフリキシマブ ゴリムマブ 血球成分除去療法 アダリムマブ ベドリスマブ タクロリムス(外用薬を除く。) 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$ J041-2 G005 J045\$	1 1 1	3 3 3	敗血症	180010									
06	0190	虚血性腸炎	腸の血行障害	K55\$				手術なし 手術あり	99 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97 97	99 01 01 01 01 02 02 03 03 04 05 06 07 08 09 09 97	手術なし 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術+人工肛門造設術 腹腔鏡下小腸切除術+人工肛門造設術 結腸切除術+人工肛門造設術 腹腔鏡下結腸切除術+人工肛門造設術 小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術 結腸切除術 腹腔鏡下小腸切除術 腹腔鏡下結腸切除術 人工肛門造設術 小腸閉鎖術 結腸閉鎖術 人工肛門閉鎖術 腸狭窄部切開縫合術 腸管癒着症手術	K7161+K726 K716-2\$+K726 K719\$+K726 K719-2\$+K726 K7161 K719\$ K716-2\$ K719-2\$ K726 K730\$ K731\$ K732\$ K728 K714 その他のKコード	1 1 1	3 2 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$	1 1 1	3 2 1	播種性血管内凝固症候群	130100													

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			髄膜炎菌感染後関節炎 骨盤部及び大腿	M0305								97	02	掌指関節滑膜切除術	K066-7												
			他に分類される疾患におけるその他の感染後関節障害 骨盤部及び大腿	M0325								97	02	半月板切除術	K068												
			他に分類されるその他の疾患における反応性関節障害 骨盤部及び大腿	M0365								97	02	関節切除術 肩、股、膝	K0721												
			関節の患(乳) 下腿	M2516								97	02	粗血的関節固定術 肩、股、膝	K0781												
			070102 化膿性関節炎									97	02	人工骨頭挿入術 肩、股	K0811												
			ブドウ球菌性(多発性)関節炎 下腿	M0006								97	02	人工関節置換術 肩、股、膝	K0821												
			肺炎球菌性(多発性)関節炎 下腿	M0016								97	02	人工関節除去術 肩、股、膝	K082-21												
			その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 下腿	M0026								97	02	人工関節再置換術 肩、股、膝	K082-31												
			その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 下腿	M0086								97	02	四肢関節離断術 肩、股、膝	K0851												
			化膿性関節炎、詳細不明 下腿	M0096								97	97		その他のKコード												
			髄膜炎菌性関節炎 下腿	M0106									01	01	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	K066-21											
			結核性関節炎 下腿	M0116									01	01	関節鏡下滑液膜摘出術 肩、股、膝	K066-41											
			ライム<Lyme>病における関節炎 下腿	M0126									01	01	関節鏡下膝蓋骨滑液囊切除術	K066-6											
			他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 下腿	M0136									01	01	関節鏡下手指関節滑膜切除術	K066-8											
			風疹性関節炎 下腿	M0146									01	01	関節鏡下半月板切除術	K068-2											
			他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 下腿	M0156																							
			真菌症における関節炎 下腿	M0166																							
			他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 下腿	M0186																							
			膈バイパスに続発する関節障害 下腿	M0206																							
			赤痢後関節障害 下腿	M0216																							
			予防接種後関節障害 下腿	M0226																							
			髄膜炎菌感染後関節炎 下腿	M0306																							
			梅毒における感染後関節障害 下腿	M0316																							
			他に分類されるその他の疾患における感染後関節障害 下腿	M0326																							
			他に分類されるその他の疾患における反応性関節障害 下腿	M0366																							
			多発性関節炎、詳細不明 下腿	M1306																							
			単(発性)関節炎、他に分類されないもの 下腿	M1316																							
			その他の明示された関節炎 下腿	M1386																							
			関節炎、詳細不明 下腿	M1396																							
			070108 下腿(股関節以外)関節炎																								
			ブドウ球菌性(多発性)関節炎 足関節部及び足	M0007																							
			肺炎球菌性(多発性)関節炎 足関節部及び足	M0017																							
			その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 足関節部及び足	M0027																							
			その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 足関節部及び足	M0087																							
			化膿性関節炎、詳細不明 足関節部及び足	M0097																							
			髄膜炎菌性関節炎 足関節部及び足	M0107																							
			結核性関節炎 足関節部及び足	M0117																							
			ライム<Lyme>病における関節炎 足関節部及び足	M0127																							
			他に分類されるその他の細菌性疾患における関節炎 足関節部及び足	M0137																							
			風疹性関節炎 足関節部及び足	M0147																							
			他に分類されるその他のウイルス性疾患における関節炎 足関節部及び足	M0157																							
			他に分類されるその他の感染症及び寄生虫症における関節炎 足関節部及び足	M0187																							
			髄膜炎菌感染後関節炎 足関節部及び足	M0307																							
			他に分類される疾患におけるその他の感染後関節障害 足関節部及び足	M0327																							
			他に分類されるその他の疾患における反応性関節障害 足関節部及び足	M0367																							
			破壊性関節炎 足関節部及び足	M0717																							
			関節の患(乳) 足関節部及び足	M2517																							
07	0150	上肢神経障害(胸郭出口症候群を含む。)	神経根及び神経そう<叢>の障害	G54\$							手術なし	99	99	手術なし			1	2	動脈塞栓除去術	K608\$		1	1	人工呼吸	J045\$		
			出産損傷によるエルブ<Erb>麻痺	P140							手術あり	97	01	神経腫切除術	K193\$			1	2	動脈血拴内膜摘出術	K609\$						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等							
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
														97 97 内視鏡下椎間板摘出(切除)術等	その他のKコード K134-2\$																	
07	0370	脊椎骨粗鬆症	閉経後骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 卵巣摘出(術)後骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 廃用性骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 術後吸収不良性骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 薬物誘発性骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 特発性骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの その他の骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 詳細不明の骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、病的骨折を伴うもの 閉経後骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 卵巣摘出(術)後骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 廃用性骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 術後吸収不良性骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 薬物誘発性骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 特発性骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 眼局性骨粗しょう病<症<オステオポロシス> その他の骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 骨粗しょう病<症<オステオポロシス>、詳細不明 多発性骨髄腫における骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 内分泌障害における骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 他に分類されるその他の疾患における骨粗しょう病<症<オステオポロシス> 骨格アックス(沈着)症	M800\$ M801\$ M802\$ M803\$ M804\$ M805\$ M808\$ M809\$ M810\$ M811\$ M812\$ M813\$ M814\$ M815\$ M816\$ M818\$ M819\$ M820\$ M821\$ M828\$ M851\$								手術なし その他の手術あり	99 99 97 97		手術なし その他のKコード																	
07	0380	ガングリオン	滑膜肥大<肥厚>、他に分類されないもの 一過性滑膜炎 ガングリオン	M672 M673 M674							手術なし その他の手術あり	99 99 97 97	手術なし 関節滑膜切除術等	K066\$ K035-2 K052\$ K066-2\$ K066-3\$ K066-4\$ K066-5 K066-6 K066-7 K066-8 K070\$																		
07	0390	線維芽細胞性障害	手掌腱膜線維腫症[デュピュイトラン<Dupuytren>拘縮] ナックルバッド 足底腱膜線維腫症 偽肉腫性線維腫症 その他の線維芽細胞性障害 線維芽細胞性障害、詳細不明	M720\$ M721\$ M722\$ M724\$ M728\$ M729\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 97	手術なし 筋膜切離術、筋膜切開術 四肢・躯幹部腫瘍摘出術 デュピュイトラン拘縮手術	K015\$ K023 K030\$ K099-2\$ その他のKコード		1 2 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K013\$ K013-2\$														
07	0395	壊死性筋膜炎	ガスえく壊>疽	A480				00 0 6歳以上			手術なし	99 99	手術なし			1 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	K015\$					1 3	人工腎臓 其他の場合	J0384							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			全身性結合組織疾患、詳細不明 他に分類される疾患における全身性 結合組織障害 サルコイドーシスにおける筋炎	M359 M368 M633																						
07	0570	癬癩拘縮	皮膚の癬癩状態及び線維症 皮膚の肥厚性障害	L905 L915							手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 02 97 02 97 02 97 97 01 01		手術なし 創傷処理 皮膚切開術 デブリードマン 皮膚剥離術 癬癩拘縮形成手術	 K000\$ K001\$ K002\$ K009\$ その他のK コード K010\$		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K013\$ K013-2\$	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人工呼吸	J045\$				
07	0580	斜頸	斜頸 胸鎖乳突筋の先天(性)変形	M436\$ Q680							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 01 97 97		手術なし 腰切離・切除術(関節鏡下によるものを含む。) 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方椎体固定 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方又は後側方固定 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 後方椎体固定 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(多椎間又は多椎弓の場合を含む。) 前方後方同時固定 歯突起骨折骨接合術 腰椎分離部修復術 体外式脊椎固定術 その他のK コード	K034 K1421 K1422 K1423 K1424 K142-6 K142-7 K144 その他のK コード		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	人工呼吸	J045\$							
07	0590	血管腫、リンパ管腫	血管腫、全ての部位 リンパ管腫、全ての部位 遺伝性出血性毛細血管拡張症	D180 D181 I780							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01 97 97		手術なし 皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部外) リンパ管腫摘出術 その他のK コード	K003\$ K004\$ K625\$ その他のK コード		1 3 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等) 皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 粘膜炎移植術 粘膜炎手術 組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合 分層植皮術 全層植皮術	K615\$ K015\$ K016 K0172 K019 K020 K021\$ K021-2\$ K0222 K013\$ K013-2\$	2 4 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚レーザー照射療法 人工呼吸	J054-2\$ J045\$				
07	0600	骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢以外)	骨折の変形癒合 骨盤部及び大腿 骨折の変形癒合 下腿 骨折の変形癒合 足関節部及び足 骨折の癒合不全[偽関節] 骨盤部及び大腿 骨折の癒合不全[偽関節] 下腿 骨折の癒合不全[偽関節] 足関節部及び足 骨折の癒合不全[偽関節] 足関節部及び足 骨折の癒合遅延 骨盤部及び大腿 骨折の癒合遅延 下腿 骨折の癒合遅延 足関節部及び足 病的骨折、他に分類されないもの 骨盤部及び大腿 病的骨折、他に分類されないもの 下腿 病的骨折、他に分類されないもの 足関節部及び足 骨のその他の癒合障害 骨盤部及び大腿 骨のその他の癒合障害 下腿	M8405 M8406 M8407 M8415 M8416 M8417 M8425 M8426 M8427 M8445 M8446 M8447 M8465 M8466							手術なし その他の手術あり	99 99 97 02 97 02 97 02 97 97 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01 01		手術なし 難治性骨折電磁波電気治療法(一連につき) 難治性骨折超音波治療法(一連につき) 超音波骨折治療法(一連につき) 骨長調整手術 偽関節手術 変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿 変形治癒骨折矯正手術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他 関節形成手術 胸鎖、肘、手、足	K047 K047-2 K047-3 その他のK コード K058\$ K056\$ K0572 K0573 K0782 K0802		1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 組織拡張器による再建手術(一連につき) その他の場合 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K059\$ K013\$ K013-2\$	1 3 1 2 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射 人工呼吸	J0384 G005 J045\$				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			骨のその他の癒合障害 足関節部及び足趾 癒合術後又は関節固定術後の偽関節 椎骨骨折の続発・後遺症 胸部<肋骨>及び骨盤部のその他の骨折の続発・後遺症 大腿骨骨折の続発・後遺症 下肢のその他の骨折の続発・後遺症	M8487 M960 T911 T912 T931 T932																								
07	0610	骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢)	骨折の変形癒合 肩甲帯 骨折の変形癒合 上腕 骨折の変形癒合 前腕 骨折の変形癒合 手 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕 肩甲帯 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕 上腕 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕 前腕 骨折の骨癒合不全〔偽関節〕 手 骨折の癒合遅延 肩甲帯 骨折の癒合遅延 上腕 骨折の癒合遅延 前腕 骨折の癒合遅延 手 疲労骨折、他に分類されないもの 肩甲帯 疲労骨折、他に分類されないもの 上腕 疲労骨折、他に分類されないもの 前腕 疲労骨折、他に分類されないもの 手 病的骨折、他に分類されないもの 肩甲帯 病的骨折、他に分類されないもの 上腕 病的骨折、他に分類されないもの 前腕 病的骨折、他に分類されないもの 手 骨の癒合障害、詳細不明 肩甲帯 骨の癒合障害、詳細不明 上腕 骨の癒合障害、詳細不明 前腕 骨の癒合障害、詳細不明 手 骨の骨折の続発・後遺症 手首及び手の骨折の続発・後遺症	M8401 M8402 M8403 M8404 M8411 M8412 M8413 M8414 M8421 M8422 M8423 M8424 M8431 M8432 M8433 M8434 M8441 M8442 M8443 M8444 M8491 M8492 M8493 M8494 T921 T922								手術なし その他の手術あり	99 99 97 02	手術なし 難治性骨折電磁波電気治療法(一連につき)			1 2 1 2	2 2	皮膚作成術、移動術、切断術、遅延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	K015\$ K016	1 3 1 2	人工腎臓 その他の場合 中心静脈注射	J0384 G005	1 3 1 3	脊椎骨粗鬆症 2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)(末梢循環不全なし。)	070370 100070		
07	1030	その他の筋骨格系・結合組織の疾患	この表の傷病名の欄に掲げるICDコード以外の筋骨格系及び結合組織の疾患に係るICDコード ブドウ球菌性(多発性)関節炎 多部位 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 その他 ブドウ球菌性(多発性)関節炎 部位不明 肺炎球菌性(多発性)関節炎 多部位 肺炎球菌性(多発性)関節炎 その他 肺炎球菌性(多発性)関節炎 部位不明 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 多部位 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 その他 その他の連鎖球菌性(多発性)関節炎 部位不明 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 多部位 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 その他 その他の明示された病原体による(多発性)関節炎 部位不明 化膿性関節炎、詳細不明 多部位 化膿性関節炎、詳細不明 その他 化膿性関節炎、詳細不明 部位不明 髄膜炎菌性関節炎 多部位	M!!!! M0000 M0008 M0009 M0010 M0018 M0019 M0020 M0028 M0029 M0080 M0088 M0089 M0090 M0098 M0099 M0100								手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり			1 1	人工呼吸	J045\$									

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			椎弓切除後症候群,他に分類されないもの 整形外科的挿入物,関節プロステシス又は骨プレートの使用後に続発する骨折 その他の処置後筋骨格障害 処置後筋骨格障害,詳細不明 分節性及び身体的機能不全 垂脱臼(症)(椎骨) 神経管の垂脱臼性狭窄(症) 神経管の骨性狭窄(症) 神経管の結合組織性狭窄(症) その他の生体力学的傷害<損傷> 生体力学的傷害<損傷>,詳細不明	M961 M966 M968 M969 M990\$ M991\$ M992\$ M993\$ M994\$ M998\$ M999\$																								
08	0005	黒色腫	皮膚の悪性黒色腫 口唇の上皮内黒色腫 その他及び部位不明の顔面上皮内黒色腫 頭皮及び顔部の上皮内黒色腫 体幹の上皮内黒色腫 上肢の上皮内黒色腫,肩を含む 下肢の上皮内黒色腫,股関節部を含む その他の部位の上皮内黒色腫 上皮内黒色腫,部位不明	C43\$ D030 D033 D034 D035 D036 D037 D038 D039							手術なし その他の手術あり 皮膚悪性腫瘍切除術等 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 骨盤切断術 脊髄腫瘍摘出術 髄内のもの リンパ節群郭清術 四肢切断術 上腕,前腕,手,大腿,下腿,足 四肢切断術 指(手,足) 四肢関節離断術 骨内異物(挿入物を含む。)除去術 骨部分切除術 骨悪性腫瘍手術	99 99 手術なし 97 97 01 01 01 01 01 01 01 01 01 02 01 02 01 02 01 03 01 03 01 03		その他のK コード K007\$ K031\$ K137 K1912 K627\$ K0841 K0842 K085\$ K048\$ K049\$ K053\$		1 3 血管塞栓術(頭部,胸腔,腹腔内血管等) 2 皮弁作成術,移動術,切断術,遅延皮弁術 2 動脈(皮)弁術,筋(皮)弁術 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)その他の場合 2 複合組織移植術 2 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 2 粘膜移植術 2 組織拡張器による再建手術(一連につき)その他の場合 2 腱縫合術+韧带断裂縫合術 2 腱縫合術+関節鏡下韧带断裂縫合術 2 腱移植術(人工腱形成術を含む。)+韧带断裂形成手術 2 腱移植術(人工腱形成術を含む。)+関節鏡下韧带断裂形成手術 2 骨長調整手術 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 2 神経縫合術 2 神経移植術 2 動脈形成術,吻合術 其他の動脈動脈 2 血管移植術,バイパス移植術 下腿,足部動脈 2 血管移植術,バイパス移植術 膝窩動脈 2 血管移植術,バイパス移植術 其他の動脈 1 1 分層植皮術 1 1 全層植皮術	K615\$ K015\$ K016 K0172 K019 K020 K021\$ K0222 K037+ K074\$ K037+ K074- 2\$ K039\$ +K079 \$ K039\$ +K079 -2\$ K058\$ K059\$ K182\$ K190 K6105 K6145 K6146 K6147 K013\$ K013- 2\$	4 12 4 12 3 11 2 10 2 10 1 9 1 8 1 6 2 2 1 1	12 ニボルマブ ベムプロリスマブ イピリムマブ ダブラフェニブメシル メチルシトルホキシド付 加物あり エンコラフェニブ+ピニ メチニブあり インターフェロン 化学療法 放射線療法 中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$			1 2 脳腫瘍 1 2 骨の悪性腫瘍(脊髄を除く。)	010010 070040				
08	0006	皮膚の悪性腫瘍(黒色腫以外)	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,口唇の皮膚 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,その他及び部位不明の顔面の皮膚 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,頭皮及び顔部の皮膚 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,体幹の皮膚 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,上肢の皮膚,肩を含む 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,下肢の皮膚,股関節部を含む 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,皮膚の境界部病巣 皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>,部位不明 皮膚の続発性悪性新生物<腫瘍> 皮膚の上皮内癌,眼瞼の皮膚,眼角を含む 皮膚の上皮内癌,頭皮及び顔部の皮膚 皮膚の上皮内癌,体幹の皮膚	C440 C443 C444 C445 C446 C447 C448 C449 C792 D041 D044 D045							手術なし その他の手術あり 皮膚悪性腫瘍切除術等 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術	99 99 手術なし 97 97 01 01 01 02 01 02 01 02 01 02		その他のK コード K007\$ K005\$ K006\$-4\$ K031\$		1 1 分層植皮術 1 1 全層植皮術 1 1 皮弁作成術,移動術,切断術,遅延皮弁術 1 1 動脈(皮)弁術,筋(皮)弁術 1 1 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)その他の場合 1 1 複合組織移植術 1 1 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 1 1 組織拡張器による再建手術(一連につき)その他の場合 1 1 骨移植術(軟骨移植術を含む。) 1 1 リンパ節摘出術 1 1 リンパ節群郭清術 後腹膜 1 1 リンパ節群郭清術 骨盤	K013\$ K013- 2\$ K015\$ K016 K0172 K019 K020 K0222 K059\$ K626\$ K6277 K6278	3 8 2 6 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	化学療法ありかつ放射線療法なし 放射線療法 中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$								

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術				手術・処置等1				手術・処置等2				定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
			シュヴェニガー-ブッジ<Schwerner-Buzzi>の斑状皮膚萎縮症 ヤダツソ、ベリツアリ<Jadassohn-Pellizzari>の斑状皮膚萎縮症 パシーニ<Pasini>及びビエリニ<Pierini>の皮膚萎縮症 慢性萎縮性鼓膜皮膚炎 線状皮膚萎縮症 皮膚のその他の萎縮性障害 皮膚の萎縮性障害、詳細不明	L901 L902 L903 L904 L906 L908 L909							97 97		その他のKコード		1 2		遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術	K0172 K019													
08	0180	母斑、母斑症	口唇のメラニン細胞性母斑 耳及び外耳道のメラニン細胞性母斑 その他及び部位不明の顔面のメラニン細胞性母斑 頭皮及び顔部のメラニン細胞性母斑 メラニン細胞性母斑、部位不明 母斑、非新生物性 先天性非腫瘍性非新生物性母斑 結節性硬化症 その他の母斑症、他に分類されないもの 母斑症、詳細不明	D220 D222 D223 D224 D229 I781 Q825 Q851 Q858 Q859							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)			1 2 1 2 1 2	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術	K015\$ K016 K0172 K019		5		皮膚レーザー照射療法	J054-2\$							
08	0190	脱毛症	円形脱毛症 男性ホルモン性脱毛症 その他の非瘢痕性脱毛症	L63\$ L64\$ L65\$							手術なし 手術あり	99 99 97 97		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 皮膚剥削術			1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K013\$ K013-2\$												
08	0210	ざ瘡、皮膚の障害(その他)	ざ瘡<アクネ> その他の毛包障害 化膿性肉芽腫	L70\$ L73\$ L900							手術なし	99 99		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 皮膚剥削術			1 2 1 1 1 1	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K013\$ K013-2\$												
08	0220	エクリン汗腺の障害、アポクリン汗腺の障害	エクリン汗腺の障害 アポクリン汗腺の障害	L74\$ L75\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 腋臭症手術 交感神経節切除術 胸腔鏡下交感神経節切除術(両側) その他Kコード			1 2 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの) 分層植皮術 全層植皮術	K015\$ K016 K0172 K019 K020 K013\$ K013-2\$												
08	0230	皮膚色素異常症	白斑 その他の色素異常症	L80 L81\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01		手術なし 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部) 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外) 分層植皮術 全層植皮術			1 1 1 1 1 1 1 1	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術	K015\$ K016 K0172 K019												
08	0240	多汗症	発汗過多<多汗>(症)	R61\$							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 97		手術なし 腋臭症手術 交感神経節切除術 その他Kコード																	
08	0245	放射線皮膚障害	非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化 放射線皮膚炎 皮膚及び皮下組織の放射線に関連するその他の明示された障害 皮膚及び皮下組織の放射線に関連する障害、詳細不明	L57\$ L58\$ L59\$ L599							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 01		手術なし 創傷処理 皮膚切開術 デブリードマン 皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)			1 2 1 2 1 2 1 2	皮膚弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) その他の場合 複合組織移植術 自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	K015\$ K016 K0172 K019 K020		1		人工呼吸	J045\$							

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード フラグ	病態区分	コード フラグ	年齢・出生時体重	手術 フラグ	手術 フラグ	点数表名称	区分番号 等	対応コード フラグ	処置等名称	区分番号 等	対応コード フラグ	処置等名称	区分番号 等	対応コード フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード フラグ	重症度等			
10	0060	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし。)	1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E102 DM>、腎合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E103 DM>、眼合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E104 DM>、神経(学的)合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E106 DM>、その他の明示された合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E108 DM>、詳細不明の合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E109 DM>、合併症を伴わないもの						手術なし	99	99	手術なし				2	3	人工腎臓 その他の場合	J0384	1	1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
									手術あり	97	97	手術あり				1	1	インスリン製剤(注射薬に限る。)		1	1	閉塞性動脈疾患 胃の悪性腫瘍 肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。) 膵臓病(変形性を含む。) 慢性腎炎(慢性腎不全)	050170 060020 060300 070230 110280	1	1	85歳以上
10	0061	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全あり。)	1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E105 DM>、末梢循環合併症を伴うもの 1型<インスリン依存性>糖尿病<ID E107 DM>、多発合併症を伴うもの						手術なし	99	99	手術なし				2	3	人工腎臓 その他の場合	J0384	1	1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
									手術あり	97	97	手術あり				1	1	インスリン製剤(注射薬に限る。)		1	1	閉塞性動脈疾患 胃の悪性腫瘍 肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。) 膵臓病(変形性を含む。) 慢性腎炎(慢性腎不全)	050170 060020 060300 070230 110280	1	1	85歳以上
10	0070	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし。)	2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E112 NIDDM>、腎合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E113 NIDDM>、眼合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E114 NIDDM>、神経(学的)合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E116 NIDDM>、その他の明示された合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E118 NIDDM>、詳細不明の合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E119 NIDDM>、合併症を伴わないもの						手術なし	99	99	手術なし				2	3	人工腎臓 その他の場合	J0384	1	1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
									手術あり	97	97	手術あり				1	1	インスリン製剤(注射薬に限る。)		1	1	閉塞性動脈疾患 胃の悪性腫瘍 肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。) 膵臓病(変形性を含む。) 慢性腎炎(慢性腎不全)	050170 060020 060300 070230 110280	1	1	85歳以上
10	0071	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全あり。)	2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E115 NIDDM>、末梢循環合併症を伴うもの 2型<インスリン非依存性>糖尿病<ID E117 NIDDM>、多発合併症を伴うもの						手術なし	99	99	手術なし				2	3	人工腎臓 その他の場合	J0384	1	1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
									手術あり	97	97	手術あり				1	1	インスリン製剤(注射薬に限る。)		1	1	閉塞性動脈疾患 胃の悪性腫瘍 肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。) 膵臓病(変形性を含む。) 慢性腎炎(慢性腎不全)	050170 060020 060300 070230 110280	1	1	85歳以上
10	0080	その他の糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)(末梢循環不全なし。)	栄養障害に関連する糖尿病、昏睡を伴うもの E120 栄養障害に関連する糖尿病、ケトアシドーシスを伴うもの E121						手術なし	99	99	手術なし				2	3	人工腎臓 その他の場合	J0384	1	1	認知症	01021x	0	0	85歳未満
									手術あり	97	97	手術あり				1	1	インスリン製剤(注射薬に限る。)		1	1	閉塞性動脈疾患	050170	1	1	85歳以上

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病			重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等					
10	0130	甲状腺の良性結節	甲状腺の良性新生物<腫瘍> ヨード欠乏による甲状腺障害及び類縁病態 その他の非中毒性甲状腺腫 甲状腺ホルモン合成障害による甲状腺腫	D34 E01\$ E04\$ E071							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 02 97 02 97 03 97 97	手術なし 手術あり	手術なし 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合 内視鏡下甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 両葉の場合 内視鏡下甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 両葉の場合 縦隔腫瘍、胸腺摘出術	K4611 K461-21 K4612 K461-22 K502 その他のKコード					1 5 1 4	5 4	組織試験採取、切除法 甲状腺 エタノールの局所注入	D4179 J017												
10	0140	甲状腺機能亢進症	びまん性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症 中毒性単発性甲状腺結節を伴う甲状腺中毒症 中毒性多結節性甲状腺腫を伴う甲状腺中毒症 異所性甲状腺組織による甲状腺中毒症 人工的甲状腺中毒症 甲状腺グラーゼ又は急性発症 その他の甲状腺中毒症 甲状腺中毒症 詳細不明 亜急性甲状腺炎	E050 E051 E052 E053 E054 E055 E058 E059 E061							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01 97 97	手術なし 手術あり	手術なし バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉) 内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉) その他のKコード	K462 K462-2 その他のKコード					2 9 1 6 1 5 1 2 1 1	9 6 5 2 1	1131内用療法 放射線療法 エタノールの局所注入 中心静脈注射 人工呼吸	D4179 J017 G005 J045\$			1 2	2	脊椎骨粗鬆症	070370						
10	0150	慢性甲状腺炎	一過性甲状腺中毒症を伴う慢性甲状腺炎 自己免疫性甲状腺炎 薬物誘発性甲状腺炎 その他の慢性甲状腺炎 甲状腺炎、詳細不明 分娩後甲状腺炎	E062 E063 E064 E065 E069 O905							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	手術なし 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合 喉頭腫瘍切開術	K4611 K384 その他のKコード																				
10	0160	甲状腺機能低下症	無症候性ヨード欠乏性甲状腺機能低下症 その他の甲状腺機能低下症 その他の明示された甲状腺障害 治療後甲状腺機能低下症	E02 E03\$ E078 E890							手術なし 手術あり	99 99 97 97	手術なし 手術あり	手術なし 手術あり												1 1	1	心不全	050130	0 0 1 1	JCS10未満 JCS10以上				
10	0170	急性甲状腺炎	急性甲状腺炎	E060							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 02 97 97	手術なし 手術あり	手術なし 甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合 喉頭腫瘍切開術	K4611 K384 その他のKコード			1 1	1	咽頭嚥閉鎖術	K382														
10	0180	副腎皮質機能亢進症、非機能性副腎皮質腫瘍	副腎の悪性新生物<腫瘍>、副腎皮質 副腎の悪性新生物<腫瘍>、副腎部位不明 副腎の続発性悪性新生物<腫瘍>、その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>、副腎内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、副腎薬物誘発性クッシング<Cushing>症候群 異所性ACTH<副腎皮質刺激ホルモン>症候群 アルコール性偽性クッシング<Cushing>症候群 その他のクッシング<Cushing>症候群 クッシング<Cushing>症候群、詳細不明 その他の副腎性障害 副腎性障害、詳細不明 原発性アルドステロン症 続発性<二次性>アルドステロン症 アルドステロン症、詳細不明 その他の副腎皮質機能亢進症	C740 C749 C797 D350 D441 E242 E243 E244 E248 E249 E258 E259 E260 E261 E269 E270								手術なし 手術あり	99 99 97 05 97 06 97 06 97 97 02 02 02 02 02 02 02 02 01 01 01 01	手術なし 手術あり	手術なし 胆管形成手術(胆管切除術を含む。) リンパ節摘出術 脾摘出術 その他のKコード 腹腔鏡下副腎摘出術等 腹腔鏡下副腎摘出術 副腎摘出術(副腎部分切除術を含む。) 腹腔鏡下小切開副腎摘出術 副腎腫瘍摘出術 皮質腫瘍 副腎悪性腫瘍手術 腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	K4611 K673 K626\$ K711 その他のKコード K754-2 K754 K754-3 K7551 K756 K756-2			1 1 1 6	1 6	副腎静脈サンプリング 化学療法 放射線療法	D4195 J017 J017			1 2 1 2	2 2	肺の悪性腫瘍 脊椎骨粗鬆症	040040 070370	0 0 1 1	0 1	一側 両側				
10	0190	褐色細胞腫、パラングリオーマ	副腎の悪性新生物<腫瘍>、副腎髄 その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>、大動脈小体及びその他のパラングリア<傍神経節> 内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>、大動脈小体及びその他のパラングリア<傍神経節>	C741 D356 D447							手術なし 手術あり	99 99 97 01 97 01	手術なし 手術あり	手術なし 後腹膜悪性腫瘍手術 腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術	K643 K643-2					1 8	8	化学療法							0 0 1 1	0 1	一側 両側				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢・出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等	
												97 04		脱垂肢整復術	K900-2	1 4		小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K7161								
												97 04		子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	K901	1 4		虫垂切除術	K718\$								
												97 04		胎盤用手剥離術	K902	1 4		結腸切除術	K719\$								
												97 04		胎児内(双合)回転術	K908	1 3		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$								
												97 05		分娩時頭部切開術(縫合を含む。)	K891	1 2		子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	K8721								
												97 05		会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	K895	1 2		子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	K8881								
												97 05		会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時)	K896\$	1 1		子宮頸管縫縮術	K906\$								
												97 05		頭管裂創縫合術(分娩時)	K897												
												97 97		その他のKコード													
												01 01		子宮破裂手術	K903\$												
												01 01		妊婦子宮摘出術(ボロー手術)	K904												
												01 02		帝王切開術	K898\$												
												01 02		子宮内反症整復手術(腹式、腹式)	K905\$												
12	0180	胎児及び胎児付属物の異常	多胎妊娠に特異的な合併症	O31\$							手術なし	99 99		手術なし		1 4		試験開腹術	K636	1 4		人工腎臓 その他の場合	J0384				
			既知の胎位異常又はその疑いのため	O32\$							その他の手術あり	97 97		その他のKコード		1 4		腹腔鏡下試験開腹術	K636-3	1 4		血漿交換療法	J039				
			既知の胎児骨盤不均衡又はその疑いのため	O33\$							内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	04 08		内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	K910-2	1 4		腹腔鏡下試験切除術	K636-4	1 3		中心静脈注射	G005				
			既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのため	O34\$							胎児外回転術等	03 07		胎児外回転術	K907	1 4		胆嚢摘出術	K672	1 2		人工呼吸	J045\$				
			既知の胎児異常及び傷害又はその疑いのため	O35\$							胎児内(双合)回転術	03 07		胎児内(双合)回転術	K908	1 4		腸管癒着症手術	K714								
			その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのため	O36\$							骨盤位娩出術等	02 04		骨盤位娩出術	K892	1 4		小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	K7161								
			羊水過多症	O40							吸引娩出術	02 04		吸引娩出術	K893	1 4		虫垂切除術	K718\$								
			羊水及び羊膜のその他の障害	O41\$							鉗子娩出術	02 04		鉗子娩出術	K894\$	1 4		結腸切除術	K719\$								
			前期破水	O42\$							胎児縮小術(娩出術を含む。)	02 04		胎児縮小術(娩出術を含む。)	K899	1 3		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$								
			胎盤輸血症候群	O430							臍帯還納術	02 04		臍帯還納術	K900	1 2		子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	K8881								
			胎盤の奇形	O431							脱垂肢整復術	02 04		脱垂肢整復術	K900-2	1 4		虫垂切除術	K718\$								
			その他の胎盤障害	O438							子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	02 04		子宮双手圧迫術(大動脈圧迫術を含む。)	K901	1 4		結腸切除術	K719\$								
			胎盤障害、詳細不明	O439							胎盤用手剥離術	02 04		胎盤用手剥離術	K902	1 4		血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)	K615\$								
			分娩前出血、他に分類されないもの	O46\$							分娩時頭部切開術(縫合を含む。)	02 05		分娩時頭部切開術(縫合を含む。)	K891	1 2		子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	K8721								
			遅延妊娠	O48							会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	02 05		会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	K895	1 2		子宮附属器腫瘍摘出術(両側) 開腹によるもの	K8881								
											会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時)	02 05		会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時)	K896\$	1 1		子宮頸管縫縮術	K906\$								
											頭管裂創縫合術(分娩時)	02 05		頭管裂創縫合術(分娩時)	K897												
											胎児外回転術	07 06		胎児外回転術	K907												
											胎児内(双合)回転術	07 06		胎児内(双合)回転術	K908												
											その他のKコード	97 97		その他のKコード													
											子宮筋腫摘出(核出)術	02 02		子宮筋腫摘出(核出)術 腹式	K8722												
											腹式等	02 02		帝王切開術	K898\$												
											子宮内反症整復手術(腹式、腹式)	02 02		子宮内反症整復手術(腹式、腹式)	K905\$												
											子宮全摘術等	01 01		子宮全摘術	K877												
											子宮破裂手術	01 01		子宮破裂手術	K903\$												
											妊婦子宮摘出術(ボロー手術)	01 01		妊婦子宮摘出術(ボロー手術)	K904												
12	0185	(常位)胎盤早期剥離	その他の(常位)胎盤早期剥離	O458							手術なし	99 99		手術なし		1 4		試験開腹術	K636	1 4		人工腎臓 その他の場合	J0384				
			(常位)胎盤早期剥離、詳細不明	O459							手術あり	97 01		子宮全摘術	K877	1 4		腹腔鏡下試験開腹術	K636-3	1 4		血漿交換療法	J039				
											子宮破裂手術	97 01		子宮破裂手術	K903\$	1 4		腹腔鏡下試験切除術	K636-4	1 3		中心静脈注射	G005				

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等			
			アルファサラセミア<地中海貧血> ベータサラセミア<地中海貧血> デルタ・ベータサラセミア<地中海貧血> サラセミア<地中海貧血> 原因者 遺伝性胎児ヘモグロビン<血色素>症 [HPFH] サラセミア<地中海貧血>、詳細不明 鎌状赤血球貧血、クリーゼを伴うもの 鎌状赤血球貧血、クリーゼを伴わないもの 重複ヘテロ複合型鎌状化障害 鎌状赤血球原因者 遺伝性球状赤血球症 遺伝性構内赤血球症 その他の異常ヘモグロビン<血色素>症 その他の明示された遺伝性溶血性貧血 遺伝性溶血性貧血、詳細不明 薬物誘発性自己免疫性溶血性貧血 その他の自己免疫性溶血性貧血 薬物誘発性非自己免疫性溶血性貧血 溶血性尿毒症症候群 その他の非自己免疫性溶血性貧血 発作性夜間ヘモグロビン<血色素> 尿症 [マルキアファヴァ・ミケリ<Marchiafava-Micheli>症候群] その他の外因による溶血性ヘモグロビン<血色素>尿症 後天性溶血性貧血、詳細不明 急性出血後貧血 遺伝性鉄芽球性貧血 続発性鉄芽球性貧血、疾病によるもの 続発性鉄芽球性貧血、薬物及び毒素によるもの その他の鉄芽球性貧血 先天性赤血球生成障害性貧血 その他の明示された貧血 貧血、詳細不明	D560 D561 D562 D563 D564 D569 D570 D571 D572 D573 D580 D581 D582 D588 D589 D590 D591 D592 D593 D594 D595 D596 D599 D62 D640 D641 D642 D643 D644 D648 D649																									
13	0100	播種性血管内凝固症候群	播種性血管内凝固症候群 [脱線毒素症候群]	D65							99 99 手術なし 97 97 手術あり							4 9 トロンボモデュリンアルファ 3 8 アンチトロンピンIII製剤 2 5 血漿交換療法 J039 2 2 人工呼吸 J045\$ 1 1 中心静脈注射 G005											
13	0110	出血性疾患(その他)	血小板機能異常症 その他の血小板非減少性紫斑病 特発性血小板減少性紫斑病 その他の原発性血小板減少症 続発性血小板減少症 血小板減少症、詳細不明 その他の明示された出血性病態 出血性病態、詳細不明	D691 D692 D693 D694 D695 D696 D698 D699			00 0 16歳以上 16 1 16歳未満				99 99 手術なし 97 97 手術あり	1 1 脾摘出術 1 1 腹腔鏡下脾摘出術		K711 K711-2		5 11 ガンマグロブリン 4 10 アルガトロバン水和物 3 9 リツキシマブ 2 8 ロミブrostテム 1 6 放射線療法 1 5 血漿交換療法 J039 1 1 人工呼吸 J045\$		1 1 播種性血管内凝固症候群 1 1 敗血症	130100 180010										
13	0111	アレルギー性紫斑病	アレルギー性紫斑病	D690							99 99 手術なし 97 97 手術あり							1 9 第XIII因子製剤											
13	0120	血液疾患(その他)	多病巣性及び単一臓器型ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症 単局性ランゲルハンス<Langerhans>細胞組織球症 スクレオチド代謝障害による貧血 酵素障害によるその他の貧血 その他のサラセミア<地中海貧血> その他の鎌状赤血球障害 その他の後天性溶血性貧血 その他の明示された無形成性貧血 他に分類される慢性疾患における貧血 脾疾患 メヘモグロビン血症 家族性赤血球増加症 続発性<二次性>赤血球増加症<多血症> 血液及び造血器の疾患、詳細不明	C965 C966 D553 D558 D568 D578 D598 D618 D63\$ D73\$ D74\$ D750 D751 D759							99 99 手術なし 97 03 脾摘出術 97 04 腹腔鏡下脾摘出術 97 05 リンパ節摘出術 97 97			K711 K711-2 K626\$ その他のKコード		4 11 メチルチオニウム塩化合物水和物 3 10 カナキスマブ 2 9 インターフェロン 2 8 化学療法 1 6 放射線療法 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045\$		1 1 播種性血管内凝固症候群 1 1 敗血症	130100 180010										

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢、出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等								
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
14	0170	正中頭蓋陥・側頭蓋陥	臑溝<裂>の洞、瘻及びうく囊> Q180 臑面及び顔部のその他の明示された先天奇形 Q188 その他の内分泌腺の先天奇形 Q892								手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 01 甲状舌管嚢嚢摘出術 K414-2 97 01 頸瘻、頸嚢嚢摘出術 K467 97 97 その他のKコード					1 1 全層植皮術 K013-2\$												
14	0190	小耳症・耳介異常・外耳道閉鎖	先天性耳介欠損 Q160 外耳道の先天(性)欠損、閉鎖及び狭窄 Q161 巨<大>耳(症) Q171 小耳(症) Q172 その他の耳の変形 Q173 耳の位置異常 Q174 聾立耳 Q175								手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 01 小耳症手術 K299\$ 97 02 耳介形成手術 K296\$ 97 04 外耳道形成手術 K297 97 04 外耳道造設術・閉鎖症手術 K298 97 97 その他のKコード					1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 2 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 K016 1 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K0172 1 2 組織拡張器による再建手術(一連につき) K0222 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$ 1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$												
14	0210	先天性耳嚢孔、副耳	副耳(介) Q170 前耳介洞及びのうく囊>胞 Q181								手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 03 皮膚切開術 K001\$ 97 97 その他のKコード 副耳(介)切除術 02 02 副耳(介)切除術 K288 先天性耳嚢嚢摘出術 01 01 先天性耳嚢嚢摘出術 K287					1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 2 組織拡張器による再建手術(一連につき) K0222 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$ 1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$												
14	0220	耳の疾患(その他)	耳管欠損 Q162 中耳のその他の先天奇形 Q164 内耳の先天奇形 Q165 聴覚障害の原因となる耳の先天奇形、詳細不明 Q169 耳のその他の明示された先天奇形 Q178 耳の先天奇形、詳細不明 Q179 その他の臑溝<裂>奇形 Q182 頤の異状異常 Q183 臑面及び顔部の先天奇形、詳細不明 Q189								手術なし 99 99 手術なし 97 01 耳介形成手術 K296\$ 97 02 鼓室形成手術 K319\$ 97 97 その他のKコード					1 2 皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術 K015\$ 1 2 動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術 K016 1 2 遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの) K0172 1 2 組織拡張器による再建手術(一連につき) K0222 1 2 骨移植術(軟骨移植術を含む。) K059\$ 1 1 分層植皮術 K013\$ 1 1 全層植皮術 K013-2\$	1 1 人工呼吸 J045\$											
14	0230	嚢頭の疾患(その他)	嚢頭底形成不全> Q312 嚢頭のうく囊>胞 Q313 先天性嚢頭軟化症 Q315 嚢頭の先天奇形、詳細不明 Q319								手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 97 手術あり											1 9 バリビズマブ J045\$ 1 9 肺サーファクタント J005 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J045\$						
14	0245	舌・口腔・咽頭の先天異常	巨口(症) Q184 小口(症) Q185 (巨)大(口)唇(症) Q186 小(口)唇(症) Q187 口唇の先天奇形、他に分類されないもの Q380 舌小帯短縮(症) Q381 巨(大)舌(症) Q382 舌のその他の先天奇形 Q383 唾液腺及び唾液腺管の先天奇形 Q384 口蓋の先天奇形、他に分類されないもの Q385 口(腔)のその他の先天奇形 Q386 咽頭のうく囊> Q387 咽頭のその他の先天奇形 Q388								手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 02 口唇嚢嚢摘出術 K421\$ 97 02 口唇裂形成手術(片側) K426\$ 97 02 口唇裂形成手術(両側) K426-2\$ 97 03 舌形成手術(巨舌症手術) K418 97 04 鼻咽腔閉鎖術 K375-2 97 04 咽頭嚢嚢摘出術 K382 97 04 咽頭皮膚嚢嚢孔閉鎖術 K382-2 97 97 その他のKコード 舌繫帯短縮矯正術等 01 01 舌繫帯短縮矯正術等 K418-2 01 01 類、口唇、舌小帯形成手術 K419					1 1 人工呼吸 J045\$												
14	0260	胸郭の変形および先天異常	漏斗胸 Q676 鳩胸 Q677 胸のその他の先天(性)変形 Q678 頸肋 Q765 肋骨のその他の先天奇形 Q766 胸骨の先天奇形 Q767					00 0 15歳以上 15 1 15歳未満			手術なし 99 99 手術なし その他の手術あり 97 03 肋骨切除術 K482\$ 97 03 膿胸腔有蓋大網充填術 K497-2 97 03 胸郭形成手術(膿胸手術の場合) 肋骨切除を主とするもの K4981 97 97 その他のKコード 漏斗胸手術 胸骨挙上法によるもの 01 01 漏斗胸手術 胸骨挙上法によるもの K4871 01 01 漏斗胸手術 胸骨翻転法によるもの K4872 01 02 漏斗胸手術 胸腔鏡によるもの K4873					1 5 胸腔穿刺 J008 1 4 持続的胸腔ドレーナージ J019 1 1 人工呼吸 J045\$												
14	0270	肺の先天性異常	先天性のうく囊>胞肺 Q330					00 0 15歳以上			手術なし 99 99 手術なし											1 9 バリビズマブ J045\$						

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢・出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病			重症度等									
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			肺の副葉 肺分面症 肺の無発生 先天性気管支拡張症 肺の異形組織 肺の底形成<形成不全>及び異形 成<形成異常> 肺のその他の先天奇形 肺の先天奇形、詳細不明 胸膜の異常	Q331 Q332 Q333 Q334 Q335 Q336 Q338 Q339 Q340				15	1	15歳未満	手術あり	97 01 97 02 97 97		肺切除術 区域切除(1肺葉に満たないもの) 肺切除術 楔状部分切除 その他のK コード	K5112 K5111 その他のK コード			1 9 1 2 1 1	肺サーファクタント 中心静脈注射 人工呼吸	G005 J045\$												
14	0230	気道の先天異常	喉頭横隔膜症 先天性声門下狭窄(症) 喉頭のその他の先天奇形 気管及び気管支の先天奇形 呼吸器系のその他の明示された先天 奇形 呼吸器系の先天奇形、詳細不明	Q310 Q311 Q318 Q32\$ Q348 Q349				00	0	15歳以上	手術なし	99 99	手術なし					2	人工心肺(1日につき)	K601\$	1 9	パピズマブ										
			喉頭横隔膜症 先天性声門下狭窄(症) 喉頭のその他の先天奇形 気管及び気管支の先天奇形 呼吸器系のその他の明示された先天 奇形 呼吸器系の先天奇形、詳細不明	Q310 Q311 Q318 Q32\$ Q348 Q349			15	1	15歳未満	手術あり	97 01 97 02 97 02 97 02 97 02 97 02 97 03 97 97		気管切開術 喉頭狭窄症手術 気管狭窄症手術 喉頭形成手術 気管支形成手術 喉頭横隔膜切除術(ステント挿入固定術を含 む。) その他のK コード	K386 K398\$ K399 K400\$ K518\$ K397 その他のK コード			1 9 1 1	肺サーファクタント 人工呼吸	J045\$													
14	029x	動脈管開存症、 心房中隔欠損症	140291 動脈管開存症 動脈管開存(症) 140292 心房中隔欠損症 心房中隔欠損(症)	Q250 Q251 Q211				00	0	2500g以上 251 2500g未満 00	手術なし その他の手術あり	99 99 97 02	手術なし 経皮的動脈管開存閉鎖術 経皮的心房中隔欠損閉鎖術					1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検 査について)	D206\$	1 9	パピズマブ										
			140291 動脈管開存症 動脈管開存(症) 140292 心房中隔欠損症 心房中隔欠損(症)	Q250 Q251 Q211			00	0	2500g以上 251 2500g未満 00	手術なし その他の手術あり	99 99 97 02	手術なし 経皮的動脈管開存閉鎖術 経皮的心房中隔欠損閉鎖術						1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検 査について)	D206\$	1 9	パピズマブ										
14	031x	先天性心疾患 (動脈管開存 症、心房中隔欠 損症を除く。)	140311 心室中隔欠損症 心室中隔欠損(症) 140312 房室中隔欠損症 房室中隔欠損(症) 140313 その他の左右短縮性心奇 形 大動脈肺動脈中隔欠損(症) 冠(状)血管の奇形 大動脈のその他の先天奇形 肺動脈のその他の先天奇形 部分肺静脈還流<結合>異常(症) 140314 非短縮性心奇形 大動脈弁の先天性閉鎖不全(症) 先天性僧帽弁狭窄(症) 先天性僧帽弁閉鎖不全(症) 大動脈狭窄(症) 肺動脈狭窄(症) 140315 ファロー四徴症 ファロー四徴(症) 140316 新生児乳児の先天性心奇 形 総動脈幹(症) 両大血管右室起始(症) 両大血管左室起始(症) (心)室大血管結合不一致 肺動脈閉鎖(症) 右心低形成<形成不全>症候群 左心低形成<形成不全>症候群 大動脈縮窄(症)	Q210 Q212 Q213 Q214 Q245 Q254 Q257 Q262 Q231 Q232 Q233 Q253 Q256 Q213 Q200 Q201 Q202 Q203 Q220 Q226 Q234 Q251			00	0	1歳以上 01 1 1歳未満	手術なし その他の手術あり	99 99 97 97	手術なし 経皮的肺動脈形成術等							1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検 査について)	D206\$	1 9	パピズマブ		1 3	敗血症	180010					
			140311 心室中隔欠損症 心室中隔欠損(症) 140312 房室中隔欠損症 房室中隔欠損(症) 140313 その他の左右短縮性心奇 形 大動脈肺動脈中隔欠損(症) 冠(状)血管の奇形 大動脈のその他の先天奇形 肺動脈のその他の先天奇形 部分肺静脈還流<結合>異常(症) 140314 非短縮性心奇形 大動脈弁の先天性閉鎖不全(症) 先天性僧帽弁狭窄(症) 先天性僧帽弁閉鎖不全(症) 大動脈狭窄(症) 肺動脈狭窄(症) 140315 ファロー四徴症 ファロー四徴(症) 140316 新生児乳児の先天性心奇 形 総動脈幹(症) 両大血管右室起始(症) 両大血管左室起始(症) (心)室大血管結合不一致 肺動脈閉鎖(症) 右心低形成<形成不全>症候群 左心低形成<形成不全>症候群 大動脈縮窄(症)	Q210 Q212 Q213 Q214 Q245 Q254 Q257 Q262 Q231 Q232 Q233 Q253 Q256 Q213 Q200 Q201 Q202 Q203 Q220 Q226 Q234 Q251			00	0	1歳以上 01 1 1歳未満	手術なし その他の手術あり	99 99 97 97	手術なし 経皮的肺動脈形成術等							1	心臓カテーテル法による諸検査(一連の検 査について)	D206\$	1 9	パピズマブ		1 3	敗血症	180010					

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類		年齢・出生時体重等		手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等						
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢・出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等
			股関節部及び下肢の第2度腐食、足首及び足を除く T246																							
			股関節部及び下肢の第3度腐食、足首及び足を除く T247																							
			足首及び足の程度不明の熱傷 T250																							
			足首及び足の第1度熱傷 T251																							
			足首及び足の第2度熱傷 T252																							
			足首及び足の第3度熱傷 T253																							
			足首及び足の程度不明の腐食 T254																							
			足首及び足の第1度腐食 T255																							
			足首及び足の第2度腐食 T256																							
			足首及び足の第3度腐食 T257																							
			口腔及び咽喉の熱傷 T280																							
			内部腎尿路生殖器の熱傷 T283																							
			その他及び詳細不明の内臓の熱傷 T284																							
			口腔及び咽喉の腐食 T285																							
			多部位の熱傷、程度不明 T290																							
			多部位の熱傷、第1度以下と記載されたもの T291																							
			多部位の熱傷、第2度以下と記載されたもの T292																							
			多部位の熱傷、少なくとも1か所が第3度と記載されたもの T293																							
			多部位の腐食、程度不明 T294																							
			多部位の腐食、第1度以下と記載されたもの T295																							
			多部位の腐食、第2度以下と記載されたもの T296																							
			多部位の腐食、少なくとも1か所が第3度と記載されたもの T297																							
			部位不明の熱傷、程度不明 T300																							
			第1度熱傷、部位不明 T301																							
			第2度熱傷、部位不明 T302																							
			第3度熱傷、部位不明 T303																							
			部位不明の腐食、程度不明 T304																							
			第1度腐食、部位不明 T305																							
			第2度腐食、部位不明 T306																							
			第3度腐食、部位不明 T307																							
			傷害された体表面積による熱傷分類 T318																							
			傷害された体表面積による腐食分類 T328																							
			頭部の表在性凍傷 T330																							
			頸部の表在性凍傷 T331																							
			胸部<郭>の表在性凍傷 T332																							
			腹壁、下背部及び骨盤部の表在性凍傷 T333																							
			腕の表在性凍傷 T334																							
			手首及び手の表在性凍傷 T335																							
			股関節部及び大腿の表在性凍傷 T336																							
			膝及び下腿の表在性凍傷 T337																							
			足首及び足の表在性凍傷 T338																							
			その他及び部位不明の表在性凍傷 T339																							
			頭部の組織えく壊>死を伴う凍傷 T340																							
			頸部の組織えく壊>死を伴う凍傷 T341																							
			胸部<郭>の組織えく壊>死を伴う凍傷 T342																							
			腹壁、下背部及び骨盤部の組織えく壊>死を伴う凍傷 T343																							
			腕の組織えく壊>死を伴う凍傷 T344																							
			手首及び手の組織えく壊>死を伴う凍傷 T345																							
			股関節部及び大腿の組織えく壊>死を伴う凍傷 T346																							
			膝及び下腿の組織えく壊>死を伴う凍傷 T347																							
			足首及び足の組織えく壊>死を伴う凍傷 T348																							
			その他及び部位不明の組織えく壊>死を伴う凍傷 T349																							
			多部位の表在性凍傷 T350																							
			多部位の組織えく壊>死を伴う凍傷 T351																							
			頭部及び頸部の詳細不明の凍傷 T352																							
			胸部<郭>、腹部、下背部及び骨盤部の詳細不明の凍傷 T353																							
			上肢の詳細不明の凍傷 T354																							
			下肢の詳細不明の凍傷 T355																							
			多部位の詳細不明の凍傷 T356																							
			詳細不明の凍傷、部位不明 T357																							
			雷撃の作用 T750																							
			振動の作用 T752																							
			電流の作用 T754																							
16	1020	体温異常	熱及び光線の作用 T673											99 99 手術なし				1 3 人工腎臓 その他の場合	J0384			1 1 肺炎等	040080			

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病		重症度等												
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等				
			アフラトキシン及びその他の真菌毒素<マイコトキシン>による食物汚染物質の毒作用 T64 その他及び詳細不明の物質の毒作用 T65\$ 薬物及び薬剤の詳細不明の有害作用 T87																															
17	0010	アルコール依存症候群	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、依存症候群 F102 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、残遺性及び避発性の精神病性障害 F107									99	99	手術なし														0	0	リハビリなし				
17	0020	精神作用物質使用による精神および行動の障害	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、急性中毒 F100 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、有害な使用 F101 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、離脱状態 F103 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、せん妄を伴う離脱状態 F104 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、精神病性障害 F105 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、健忘症候群 F106 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、その他の精神及び行動の障害 F108 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害、詳細不明の精神及び行動の障害 F109 アヘン類使用による精神及び行動の障害 F11\$ 大麻類使用による精神及び行動の障害 F12\$ 鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害 F13\$ コカイン使用による精神及び行動の障害 F14\$ カフェインを含むその他の精神刺激薬使用による精神及び行動の障害 F15\$ 幻覚薬使用による精神及び行動の障害 F16\$ タバコ使用<喫煙>による精神及び行動の障害 F17\$ 揮発性溶剤使用による精神及び行動の障害 F18\$ 多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害 F19\$					0	0	GAF40以上		99	99	手術なし		1	1	SPECT	E101	1	5	リハビリテーション		1	1	アルコール性肝障害 060280								
17	0030	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	統合失調症 F20\$ 統合失調症型障害 F21 持続性妄想性障害 F22\$ 急性一過性精神病性障害 F23\$ 感応性妄想性障害 F24 統合失調感情障害 F25\$ その他の非器質性精神病性障害 F28 詳細不明の非器質性精神病 F29					0	0	GAF40以上		99	99	手術なし		1	1	SPECT	E101	1	5	リハビリテーション		1	5	精神科専門療法	G005	1	2	中心静脈注射	J045\$	1	1	人工呼吸
17	0040	気分[感情]障害	躁病エピソード F30\$ 双極性感情障害<躁うつ病> F31\$ うつ病エピソード F32\$ 反復性うつ病性障害 F33\$ 持続性気分[感情]障害 F34\$ その他の気分[感情]障害 F38\$ 詳細不明の気分[感情]障害 F39					0	0	GAF40以上		99	99	手術なし		1	1	SPECT	E101	1	5	リハビリテーション		1	5	精神科専門療法	G005	1	2	中心静脈注射	J045\$	1	1	人工呼吸
17	0050	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	恐怖症性不安障害 F40\$ その他の不安障害 F41\$ 強迫性障害<強迫神経症> F42\$ 重度ストレスへの反応及び適応障害 F43\$ 解離性[転位性]障害 F44\$ 身体表現性障害 F45\$ その他の神経症性障害 F48\$					0	0	GAF40以上		99	99	手術なし		1	1	SPECT	E101	1	5	リハビリテーション		1	5	精神科専門療法	G005	1	2	中心静脈注射	J045\$	1	1	人工呼吸

診断群分類			医療資源を最も投入した傷病名		病態等分類			年齢、出生時体重等			手術			手術・処置等1			手術・処置等2			定義副傷病			重症度等					
MDC	コード	分類名	ICD名称	ICDコード	対応コード	フラグ	病態区分	コード	フラグ	年齢、出生時体重	手術分岐	対応コード	フラグ	点数表名称	区分番号等	対応コード	フラグ	処置等名称	区分番号等	対応コード	フラグ	疾患名	疾患コードまたはICDコード	対応コード	フラグ	重症度等		
			その他の型のアスペルギルス症 B448 アスペルギルス症、詳細不明 B449 脳クリプトコックス症 B451 皮膚クリプトコックス症 B452 骨クリプトコックス症 B453 播種性クリプトコックス症 B457 その他の型のクリプトコックス症 B458 クリプトコックス症、詳細不明 B459 肺ムーコルくムコール>症 B460 鼻脳ムーコルくムコール>症 B461 胃腸ムーコルくムコール>症 B462 皮膚ムーコルくムコール>症 B463 ムーコルくムコール>症、詳細不明 B465 その他の接合菌症 B468 接合菌症、詳細不明 B469 菌腫 B478 その他の真菌症、他に分類されないもの B488 詳細不明の真菌症 B49																									
18	0040	手術・処置等の合併症	輸液、輸血及び治療用注射に続発する合併症 T803 処置の合併症、他に分類されないもの T813 人工心臓弁の機械的合併症 T820 冠(状)動脈バイパス<副行路>及び弁移植片の機械的合併症 T822 その他の血管移植片の機械的合併症 T823 血管透析カテーテルの機械的合併症 T824 その他の心臓及び血管の人工器具及び挿入物の機械的合併症 T825 人工心臓弁による感染症及び炎症性反応 T826 その他の心臓及び血管の人工器具、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応 T827 心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片のその他の明示された合併症 T828 心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の詳細不明の合併症 T829 尿路性器プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 T833 体内整形外科的プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症 T843 脳室頭蓋内(交通性)シャントの機械的合併症 T850 植え込み式神経系電気刺激装置の機械的合併症 T851 その他の眼球プロステーシス、挿入物及び移植片の機械的合併症 T853 乳房プロステーシス及び挿入物の機械的合併症 T854 腎臓プロステーシス、挿入物及び移植片による機械的合併症 T855 その他の明示された体内プロステーシス、挿入物及び移植片の機械的合併症 T856 その他の体内プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応 T857 体内プロステーシス、挿入物及び移植片のその他の合併症、他に分類されないもの T858 体内プロステーシス、挿入物及び移植片の詳細不明の合併症 T859 再接着及び切断に特有の合併症 T878 予防接種に続発する感染症 T880 予防接種に続発するその他の合併症、他に分類されないもの T881 麻酔によるショック T882 麻酔による悪性高熱<体温>(症) T883 挿管の不成功又は困難 T884 麻酔のその他の合併症 T885 適正に投与された正しい薬物及び薬剤の有害作用によるアナフィラキシーショック T886 外科的及び内科的ケアのその他の明示された合併症、他に分類されないもの T888									手術なし 99 99 手術なし 手術あり 97 97 手術あり							2 4 テクスラゾキサラン 1 3 人工腎臓 その他のJ0384 場合 1 2 中心静脈注射 G005 1 1 人工呼吸 J0458									

